

山陽小野田市立山口東京理科大学

研究室棟新築工事

建 築								電 気		機 械									
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称								
A-00	図面リスト	A-61	壁仕様図 2階	G-01	外構図（撤去図）	S-01	新構造設計標準仕様その1	E-01	電気設備仕様書	M-01	特記仕様書								
A-01	特記仕様書 1	A-62	壁仕様図 3階	G-02	外構図（新設図）	S-02	新構造設計標準仕様その2	E-02	構内配線図	M-02	空調設備 凡例								
A-02	特記仕様書 2	A-63	部分詳細図 1	G-03	PH中和槽 配筋図	S-03	新鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(1)	E-03	幹線設備系統図	M-03	空調設備 機器表-1								
A-03	特記仕様書 3	A-64	部分詳細図 2	G-04	舗装撤去・復旧図	S-04	新鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(2)	E-04	発電機設備図	M-04	空調設備 機器表-2								
A-04	特記仕様書 4	A-65	部分詳細図 3			S-05	新鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(3)	E-05	幹線設備系統図	M-05	空調設備 機器表-3 制気口リスト								
A-05	特記仕様書 5	A-66	カーテンウォール詳細図 1			S-06	鉄骨構造標準図(1)	E-06	分電盤結線図①	M-06	空調設備 ダクト空調換気フロー図								
A-06	特記仕様書 6	A-67	カーテンウォール詳細図 2			S-07	鉄骨構造標準図(2)	E-07	分電盤結線図②	M-07	空調設備 ダクト系統図								
A-07	特記仕様書 7	A-68	カーテンウォール詳細図 3			S-08	露出型弾性固定柱脚標準図(1)	E-08	分電盤結線図③	M-08	空調設備 ダクト1階平面図								
A-08	特記仕様書 8	A-69	実験備品計画図 1			S-09	露出型弾性固定柱脚標準図(2)	E-09	分電盤姿図	M-09	空調設備 ダクト2階平面図								
A-09	特記仕様書 9	A-70	実験備品計画図 2			S-10	露出型弾性固定柱脚標準図(3)	E-10	1.2階電灯動力幹線設備 電灯分岐(空調)図・動力分岐設備図	M-10	空調設備 ダクト3階平面図								
A-10	特記仕様書 10	A-71	実験備品計画図 3			S-11	合成スラブ設計施工標準図	E-11	3階電灯動力幹線設備 電灯分岐(空調)図・動力分岐設備図	M-11	空調設備 ダクト空調機器室詳細図								
A-11	全体配置図・付近見取図	A-72	実験備品計画図 4			S-12	柱梁接合工法標準図(1)	E-12	1.2階電灯分岐設備図	M-12	空調設備 配管系統図(冷水・温水・冷媒)								
A-12	敷地求積図	A-73	実験備品計画図 5			S-13	柱梁接合工法標準図(2)	E-13	3階電灯分岐設備	M-13	空調設備 配管ビット平面図								
A-13	配置図	A-74	実験備品計画図 6			S-14	梁貫通孔補強工法標準図(1)	E-14	照明器具姿図	M-14	空調設備 配管1階平面図								
A-14	建物求積図・求積表	A-75	実験備品計画図 7			S-15	梁貫通孔補強工法標準図(2)	E-15	1.2階電灯分岐(非常照明)設備図	M-15	空調設備 配管2階平面図								
A-15	室面積求積図	A-76	実験備品計画図 8			S-16	ボーリング柱状図	E-16	3階電灯分岐(非常照明)設備図	M-16	空調設備 配管3階平面図								
A-16	室面求積表・LVS計算・消防無窓階判定	A-77	中央実験台 1詳細図			S-17	基礎伏図	E-17	1.2階コンセント分岐設備	M-17	空調設備 配管熱源廻り・空調機械室詳細図								
A-17	仕上表 1	A-78	流し台詳細図			S-18	1階柱2階床梁伏図	E-18	3階コンセント分岐設備	M-18	自動制御設備 中央監視構成図								
A-18	仕上表 2	A-79	低風量型ドラフトチャンパー詳細図			S-19	2階柱3階床梁伏図	E-19	1.2階コンセント分岐設備(詳細)	M-19	自動制御設備 中央監視点一覧表								
A-19	1・2階平面図	A-80	ドラフトチャンパー機内配線図			S-20	3階柱R階床梁伏図	E-20	弱電設備系統図	M-20	自動制御設備 計装図(1)								
A-20	3階・屋上平面図	A-81	ボトルキャビネット詳細図			S-21	軸組図(1)	E-21	1.2階構内交換設備 構内情報網設備・呼出設備図	M-21	自動制御設備 計装図(2)								
A-21	立面図	A-82	収納棚詳細図			S-22	軸組図(2)	E-22	拡声設備系統図	M-22	自動制御設備 計装図(3)								
A-22	断面図	A-83	スーパードライイングシェルフ詳細図			S-23	軸組図(3)	E-23	1.2階拡声設備図	M-23	自動制御設備 計装図(4)								
A-23	矩計図 1	A-84	サイド実験台詳細図			S-24	軸組図(4)	E-24	3階拡声設備図	M-24	自動制御設備 計装図(5)								
A-24	矩計図 2	A-85	収納戸棚(滅菌専用)詳細図			S-25	RC部材リスト(1)	E-25	火災報知設備 防排煙設備系統図	M-25	自動制御設備 計装図(6)								
A-25	矩計図 3	A-86	サイド実験台詳細図			S-26	RC部材リスト(2)	E-26	1.2階火災報知設備図	M-26	自動制御設備 平面図凡例								
A-26	矩計図 4	A-87	ラボチェア詳細図			S-27	鉄骨部材リスト	E-27	3階自動火災報知設備図	M-27	自動制御設備 外構図								
A-27	矩計図 5	A-88	バイオハザード対策用クラスⅡキャビネット詳細図			S-28	鉄骨詳細図	E-28	1.2階火災報知(防火戸)設備図	M-28	自動制御設備 ビット平面図								
A-28	地下ビット平面図	A-89	分析機器台詳細図			S-29	伏図・軸組図(庇)	E-29	C02制御室配管設備図	M-29	自動制御設備 1階平面図								
A-29	1階平面詳細図	A-90	収納戸棚詳細図			S-30	部材リスト(庇)			M-30	自動制御設備 2階平面図								
A-30	2階平面詳細図	A-91	中央実験台 2詳細図							M-31	自動制御設備 3階平面図								
A-31	3階平面詳細図	A-92	中央実験台 3詳細図							M-32	衛生設備 凡例								
A-32	屋上平面詳細図	A-93	低風量型ドラフトチャンパー詳細図							M-33	衛生設備 機器表・器具表								
A-33	建具キープラン	A-94	ドラフトチャンパー機内配線図							M-34	衛生設備 配置図								
A-34	建具表 1	A-95	制御風速型ドラフトチャンパー詳細図							M-35	衛生設備 系統図								
A-35	建具表 2	A-96	ドラフトチャンパー機内配線図							M-36	衛生設備 1階平面図								
A-36	建具表 3	A-97	マイクロ用天秤台							M-37	衛生設備 2階平面図								
A-37	展開図 1	A-98	制御風速型ウォークインドラフトチャンパー詳細図							M-38	衛生設備 3階平面図								
A-38	展開図 2	A-99	ドラフトチャンパー機内配線図							M-39	衛生設備 1階平面詳細図(天井)								
A-39	展開図 3	A-100	純水製造装置組込み型流し台							M-40	衛生設備 2階平面詳細図(天井)								
A-40	展開図 4	A-101	乾式排ガス処理装置 1							M-41	衛生設備 1階平面詳細図(床下)								
A-41	展開図 5	A-102	乾式排ガス処理装置 2							M-42	衛生設備 2階平面詳細図(床下)								
A-42	展開図 6	A-103	排ガス処理装置							M-43	衛生設備 3階平面詳細図								
A-43	展開図 7	A-104	法チェック図 1							M-44	衛生設備 受水槽詳細図								
A-44	展開図 8	A-105	法チェック図 2							M-45	排水処理設備 PH中和設備配管・二次側R線平面図、PH中和槽設備図								
A-45	展開図 9	A-106	法チェック図 3							M-46	衛生設備 2階平面詳細図(床下)								
A-46	展開図 10	A-107	庇詳細図																
A-47	展開図 11	A-108	平均地盤面算定 1																
A-48	展開図 12	A-109	平均地盤面算定 2																
A-49	天井伏図 1	A-110	平均地盤面算定 3																
A-50	天井伏図 2	A-111	全体日影図																
A-51	天井伏図 3	A-112	仮設計画面 1(参考図)																
A-52	階段詳細図 1	A-113	仮設計画面 2(参考図)																
A-53	階段詳細図 2																		
A-54	サインキープラン																		
A-55	サイン詳細図																		
A-56	昇降機詳細図 1																		
A-57	昇降機詳細図 2																		
A-58	昇降機詳細図 3																		
A-59	昇降機詳細図 4																		
A-60	壁仕様図 1階																		
(A1→A3 = 50%縮小)				株式会社 笹戸建築事務所		管理建築士 設計者 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 一級建築士登録 第391895号 林 高大		日付	R07/10	工事名称	山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事		図面名称	図面リスト		縮尺	A1:- A3:-	図面番号	A - 00

建築工事特記仕様書

1. 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標準仕様書」という）及び「建築工事監理指針 令和7年版」による。

2. 特記仕様書の適用方法

（1）項目の番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項に○印の付いたものを適用する。

（3）項目に記載の表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。

特記事項について、（ ）は標準仕様書の記載内容を示し、[]は標準仕様書以外の内容を含む。

（4）下線部は、標準仕様書に記載されている仕様を示す。

章	項目	特記事項
1共通事項	1適用基準等	建築工事標準詳細図（令和7年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（以下「標準詳細図」という）分類番号は図示する。 すべての設計図書は、相互に補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の（ア）から（オ）までの順番のとおりとし、これにより難しい場合は、標準仕様書1.1.8による。 （ア）質問回答書（イ）から（オ）までに対するもの （イ）現場説明書 （ウ）特記仕様書 （エ）図面 （オ）標準仕様書
	2着工時の提出図書	工事請負契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。 ・工事用製本図面（工事用A1版）（2）部（監督職員1部、施設管理者1部、事業課0部、その他0部） （縮小版A3版）（2）部（監督職員1部、施設管理者1部、事業課0部、その他0部）
	3総合図	施工図作成に先立ち、建築・電気・機械及び別途工事と協議、調整を行い、統合した図面（総合図）を作成し、監督職員に提出して承諾を受ける。なお、作成の主導は本工事で行う。 重機による掘削調査等の協力を求められた場合、掘削調査について協力すること。
	4埋蔵文化財包蔵地	[1.1.12]
	5電気保安技術者	(1.3.3)
	6施工条件	(1.3.5)
	7施工中の安全確保	[1.3.7]
	8安全衛生管理体制	[1.3.7]
	9発生材の処理等	[1.3.11]
	10環境への配慮	[1.4.1]

11建築材料等

[1.4.1～6]

12技能士

[1.5.2]

13施工の検査等

(1.5.5)

14化学物質の濃度測定

[1.5.9]

15技術検査

[1.6.2]

16工事写真

17完成写真

18完成時の提出図書等

[1.7.1～3]

[23.3.4]

2）保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか放散が極めて少ないもの。

3）接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか放散が極めて少ないもの。

4）塗料は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか放散が極めて少ないもの。

5）1）、3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか放散が極めて少ないもの。

労働安全衛生法施行令別表第三に定められた特定化学物質を規定値以上含有する物を使用する場合は、特定化学物質障害予防規則を遵守すること。

材料の選定は、JIS、JAS、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」（以下「評価名簿」という）によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、「同等承諾願」を監督職員に提出し、承諾を受ける。

なお、設計図書にその品質が明示されていない場合は、中等の品質を有するものとする。

技能士の適用は下記による。

工事種目	適用種別	工事種目	適用種別
仮設	○ とび	屋根及びとい	○ 建築板金（内外装板金作業）
鉄筋	○ 鉄筋施工	屋根及びとい	・スレート施工 ・かわらぶき
コンクリート	○ 型枠施工 ○ コンクリート圧送施工	金属	○ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
鉄骨	○ とび		
コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント板	・ブロック建築 ○ ALCパネル施工	左官	○ 左官
		建具	○ サッシ施工 ○ ガラス施工
防水	○ アスファルト防水 ○ ウレタンゴム系塗膜防水 ・合成ゴムシート防水 ・塩化ビニル系シート防水 ○ シーリング防水	カーテンウォール	○ カーテンウォール施工
		塗装	○ 塗装（建築塗装作業）
		内装	○ 内装仕上施工の各仕上工事作業 ○ プラスチック系床 ・カーペット系床 ○ ボード仕上げ ○ 表装
石	・石材施工	植栽	・造園
タイル	・タイル張り		
木	・建築大工		

見本施工を行うもの（ ）

測定対象室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に測定結果を提出する。（提出部数 2 部）

測定対象室及び測定箇所数
○ 全（ 4 箇所）

測定方法及び測定対象化学物質
○ 予備濃度測定
測定法（○ 検知管法 ・ ）
測定対象化学物質 ホルムアルデヒド・トルエン
○ 濃度測定（引渡し前）
学校施設の場合 ○ 厚生労働省の標準測定法 ・
学校施設以外の場合 ・パッシブ型採取機器 ・
測定対象化学物質 ○ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン
用途が学校の場合は、パラジクロロベンゼンを加えた6物質を測定 ・その他（ ）
測定方法等については、監督職員の指示を受けること。

技術検査に必要な資機材等は以下による。
バケツ、懐中電灯、木槌、鏡、脚立、ドライバー、チョーク、下げ張り、レベル、スコップ、スチールテープ（50m程度）、散水ホース、ガラス厚を測定する器具、その他監督職員が指示する資機材

下記のものを監督職員に提出する。

分類・規格	撮影時期	撮影場所	部数	備考
カラー・サービス版（L版）	着工前、施工中、完成	適宜	1部	電子データ共

電子データの提出方法については「山口県営繕工事完成図書の電子提出要領」による。

工事写真は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック」及び「営繕工事写真撮影要領（最新版）」による。

下記のものを監督職員に提出する

分類・規格等	撮影箇所	部数
カラー・サービス版（L版） ○ キヤペナ版（2L版）	○ 工事用アルバム形式 注解（室名）する。 ○ 電子データ（CD-R）	適宜 1 部

アルバムの表紙及び背表紙に工事名・工期・施工業者名を記入し、提出のこと。

アルバムに写真の撮影箇所を記入すること。（電子データの写真のファイル名も同様）

電子データは、RGB（カラー）、JPEG形式の最高画質とすること。

作成方法は「山口県営繕工事完成図作成要領」及び「山口県営繕工事完成図書の電子提出要領」による。

下記に記載されていない事項は、監督職員の指示による。

19施工図及び施工計画書

[1.7.2]

20設備工事との取合い

完成図		表1.7.1		
種類	記入内容			
○ 配置図及び案内図	敷地及び建築物等の面積表、屋外排水系統図、外構			
○ 各階平面図	室名、室面積			
○ 各立面図	外壁仕上げ			
○ 断面図	階高、天井高等を表示し、2面以上作成			
○ 仕上表	屋外、屋内の仕上げ、色番号、材料名、メーカー名等			
○ 施工図	○ 構造躯体	○ カーテンウォール		
○ 施工図計画書	○ カーテンウォール			

製本図面
黒表紙付きA4版（年度、工事名、工期、施工業者名を金文字で記入）に下記図面を製本したもの。
○ 完成図（確認済証、検査済証、施工体系図、保証書の写し共） ○ 設計図
提出部数（ 1 ）部 CADデータを含む
A3版（年度、工事名、工期、施工業者名を記入）に下記図面を製本したもの。
○ 完成図 提出部数（ 1 ）部

保全に関する資料（取扱説明書、性能試験成績書、その他監督職員が指示するもの）
提出部数 ・1部 ○2部 ・（ ）部 ・不要
保証書
黒表紙に写しを綴じること。
○ 防水 保証期間（ ○ 工事引渡日の翌日から10年 ・ 年）
提出部数（ 1 ）部
・住宅建設瑕疵担保責任保険契約を証する書類
保証期間（ ・ 工事引渡日から10年 ・ 年）
提出部数（ ）部

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。

設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図及び総合図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

設備工事との取合い	建築	電気	機械
鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋込盤、ブルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ	開口部補強 ○	・	・
埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び下地補強	電気のスリーブ等 ・	○	・
	機械のスリーブ等 ・	・	○
	切込み及び補強 ○	・	・
	電気墨出し ・	○	・
	機械墨出し ・	・	○
電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）	基礎及びビット ○	・	・
	電気墨出し ・	○	・
天井点検口	○	・	・
軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	・	○	・
機器類の吊りボルト用インサート	電気設備 ・	○	・
	機械設備 ・	・	○
機器類の取付け用アンカーボルト	電気設備 ・	○	・
	機械設備 ・	・	○
コンクリート基礎（外灯設備）	・	○	・
コンクリート基礎（機械設備機器類）	屋上設置 ○	・	・
	屋内設置 ・	・	・
	屋外設置 ・	・	・
オイルサービスタンク防油堤	○	・	・
自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、ドアヒンジ	○	・	・
OAフロア・フリーアクセスフロアパネルの切込み及び補強	○	・	・
OAフロア・フリーアクセスフロア仕上材の切込み及び補強	○	・	・
外壁取付けガラリ	○	・	・
換気扇枠、換気扇枠用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）	○	・	・
建築工事に含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側 ・	○	・
	2次側（盤含む） ○	・	・
機械設備工事に含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側 ・	○	・
	2次側（盤含む） ・	・	○
機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続	・	○	・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管	・	○	・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線	・	・	○
エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付	・	・	○
エアコンの室内、室外ユニット間の渡り配線（アース共）	・	・	○
換気機器用スイッチ本体（空調換気扇用、24時間換気用を除く）	・	○	・
換気機器用のスイッチの配管・配線及びスイッチ取付	・	○	・
機械設備工事に含む遮断弁装置の操作器及び感知器の配管・配線	・	○	・
機械設備工事に含む電極の配管・配線	・	○	・
擬音装置の埋込ボックス	・	・	○
電気開閉式大便器用洗浄弁の一次側電源の配管、配線	・	○	・
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配管	・	○	・
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	○
ガス給湯器のアース配線	・	・	○
屋内、屋外雨水管	○	・	・

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

日付 R07/10

山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

図面名称 特記仕様書 1

縮尺 A1:→
A3:→

図面番号 A - 01

21	耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区分等 風速 (m/s) 3 4 地表面粗度区分 (・ II ○ III) 垂直積雪量 (30) cm	22	工事の一時中止に係る計画の作成	1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合、中止期間中の工事現場の維持・管理に関する計画 (以下「基本計画書」という。) を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書において、中止時点における工事の出来高、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること、工事現場の維持・管理に関する基本的事項、工事再開に向けた方策及び基本計画に変更が生じた場合の手続きを記載すること。 2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え、基本計画書に基づき、工事現場の維持・管理を行うこと。	23	部分の引渡し	指定部分 ・ 図示による ・ 引渡しの時期 (頃) 契約書第38条により、指定部分の完成検査を受け、引渡すこと。	24	地盤の載荷試験 (4.2.4)	・ 平板載荷試験 試験位置、載荷荷重及び試験の方法は、図示による。 地盤の載荷試験の報告書の記載事項 ・ JGS 1521-2003と部分的に異なる方法を用いた場合のその方法 ・ 試験方法 ・ 試験結果の図及び表 ・ 地盤反力係数 ・ 極限支持力 ・ 試験地盤の観察結果と地下水の状況	25	既製コンクリート杭地業 (4.3.1~9)	材料 杭の種類 ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) 杭の曲げ強度による区分 ・ A種 ・ B種 ・ C種 杭の寸法 (mm × mm) 継手 ・ なし ・ あり (箇所) 先端部の形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉塞形 ・ セメントミルク工法 (標準仕様書4.3.4) 支持地盤の位置及び種類 図示による 本杭 アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ・ 1.5m程度 根入れ深さ 杭の水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 構造計画において許容された範囲内 (mm) 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 構造計画において許容された範囲内 (mm) ・ 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法) (標準仕様書4.3.5) 支持地盤の位置及び種類 図示による 杭の根入れ長さ 杭の水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 構造計画において許容された範囲内 (mm) 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 評定条件または認定条件による ・ 構造計画において許容された範囲内 (mm) 継手の工法 ・ アーク溶接 (半自動溶接) ・ アーク溶接 (自動溶接) ・ 無溶接継手 (工法) 杭頭処理 ・ 切断する 切断方法 ・ 外圧方式 ・ ダイヤモンドカッター方式 ・ 切断しない 材料 種類の記号 () 寸法 () アースオーガー 施工精度 () 傾斜 () 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法) (標準仕様書4.4.4) 支持地盤の位置及び種類 図示による 杭の水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 構造計画において許容された範囲内 (mm) 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 評定条件または認定条件による ・ 構造計画において許容された範囲内 (mm) 現場継手の工法 ・ アーク溶接 (半自動溶接) ・ アーク溶接 (自動溶接) ・ 無溶接継手 杭頭処理 ・ 切断する 切断方法 ・ ガス切断 ・ 切断しない 材料その他 鉄筋の加工及び組立 帯筋は構造図による	26	鉄筋かごの補強 ・ 補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋との接触部を溶接 ・ 杭径1.5m以下 鋼板6×50 (mm) の補強リングとすること ・ 杭径1.5mを超える 鋼板9×50~75 (mm) の補強リングとすること 鉄筋の最小かぶり厚さ () コンクリート セメントの種類 ・ 高炉セメントB種 スランブ ・ 18cm 設計基準強度 () N/mm2 種別 ・ 表4.5.1による (ただし、標準仕様書4.5.6に規定する工法を用いる場合は、工法で定められた条件の値とする) 構造体強度補正値 (S) ・ 3 N/mm2 (ただし、標準仕様書4.5.6に規定する工法を用いる場合は、工法で定められた条件の値とする) ・ アースドリル工法 (標準仕様書4.5.5) ・ リバース工法 (標準仕様書4.5.5) ・ オールケーシング工法 (標準仕様書4.5.5) 支持層の位置及び土質 図示による 超音波測定 ・ 行う ・ 行わない 杭の水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 構造計画において許容された範囲内 (mm) 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 評定条件または認定条件による ・ 構造計画において許容された範囲内 (mm) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (建築基準法に基づくもの) (標準仕様書4.5.6) ・ 拡底杭工法 (建築基準法に基づくもの) (標準仕様書4.5.6) 支持層の位置及び土質 図示による	27	砂利及び砂地業 (4.6.2~3)	○砂利地業 砂利 (・ 再生クラッシュラン ○ 切込砕石 ・ 切込砂利) 厚さ 使用範囲 ○ 60 mm ・ 基礎下 ○ 地中梁下 ○ 土間スラブ下 ・ 100 mm ・ 基礎下 ・ 地中梁下 ・ 土間スラブ下 ・ 砂地業 砂 (・ シルト ・ 有機物等の混入しない締固めに適した山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂) 厚さ 使用範囲 ・ 60 mm ・ 基礎下 ・ 地中梁下 捨コンクリート 捨コンクリート 厚さ 使用範囲 ○ 50 mm ○ 基礎下 ○ 地中梁下 ○ ビット底盤下 ○ 土間スラブ下 床下防湿層 (4.6.2.5) 材料と厚さ ○ポリエチレンフィルム0.25mm以上 施工箇所 ○ 建物内土間スラブ及び土間コンクリート直下 (ビット下を除く) 範囲 図示による。 改良形式、改良体の条件 (配置、直径、周長、長さ、設計基準強度等)、攪拌条件は図示による。 品質管理、施工機械及び装置、施工管理は図示による。 支持地盤の位置及び種類 図示による。 施工精度 (図示による) 掘削に伴う排液及び排土の処理方法は「1 一般共通事項」の「8 発生材の処理等」における建設汚泥による。 室内配合試験及び、一軸圧縮試験を行う。 改良形式、改良体の条件 (範囲、深さ、設計基準強度等)、攪拌条件は図示による。 品質管理、施工機械及び装置、施工管理は図示による。 支持地盤の位置及び種類 図示による。 掘削に伴う排液及び排土の処理方法は「1 一般共通事項」の「8 発生材の処理等」における建設汚泥による。 室内配合試験及び、一軸圧縮試験を行う。 国土交通省 国官技第16号 国営健第1号 (平成13年4月20日) 「セメント及びセメント系固化工材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領 (案)」により試験を実施し、試験結果 (計量証明書) を提出する。 ・ 六価クロム溶出試験 (・ 配合設計段階 1検体 ・ 施工後段階 1検体) ・ タンクリーチング試験 施工後段階 検体	28	捨コンクリート地業 (4.6.4)	捨コンクリート 厚さ 使用範囲 ○ 50 mm ○ 基礎下 ○ 地中梁下 ○ ビット底盤下 ○ 土間スラブ下 床下防湿層 (4.6.2.5) 材料と厚さ ○ポリエチレンフィルム0.25mm以上 施工箇所 ○ 建物内土間スラブ及び土間コンクリート直下 (ビット下を除く) 範囲 図示による。 改良形式、改良体の条件 (範囲、深さ、設計基準強度等)、攪拌条件は図示による。 品質管理、施工機械及び装置、施工管理は図示による。 支持地盤の位置及び種類 図示による。 掘削に伴う排液及び排土の処理方法は「1 一般共通事項」の「8 発生材の処理等」における建設汚泥による。 室内配合試験及び、一軸圧縮試験を行う。 国土交通省 国官技第16号 国営健第1号 (平成13年4月20日) 「セメント及びセメント系固化工材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領 (案)」により試験を実施し、試験結果 (計量証明書) を提出する。 ・ 六価クロム溶出試験 (・ 配合設計段階 1検体 ・ 施工後段階 1検体) ・ タンクリーチング試験 施工後段階 検体	29	地盤改良に伴う試験 (深層混合処理工法)	改良形式、改良体の条件 (配置、直径、周長、長さ、設計基準強度等)、攪拌条件は図示による。 品質管理、施工機械及び装置、施工管理は図示による。 支持地盤の位置及び種類 図示による。 施工精度 (図示による) 掘削に伴う排液及び排土の処理方法は「1 一般共通事項」の「8 発生材の処理等」における建設汚泥による。 室内配合試験及び、一軸圧縮試験を行う。 改良形式、改良体の条件 (範囲、深さ、設計基準強度等)、攪拌条件は図示による。 品質管理、施工機械及び装置、施工管理は図示による。 支持地盤の位置及び種類 図示による。 掘削に伴う排液及び排土の処理方法は「1 一般共通事項」の「8 発生材の処理等」における建設汚泥による。 室内配合試験及び、一軸圧縮試験を行う。 国土交通省 国官技第16号 国営健第1号 (平成13年4月20日) 「セメント及びセメント系固化工材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領 (案)」により試験を実施し、試験結果 (計量証明書) を提出する。 ・ 六価クロム溶出試験 (・ 配合設計段階 1検体 ・ 施工後段階 1検体) ・ タンクリーチング試験 施工後段階 検体	30	地盤改良に伴う試験 (浅層混合処理工法)	改良形式、改良体の条件 (範囲、深さ、設計基準強度等)、攪拌条件は図示による。 品質管理、施工機械及び装置、施工管理は図示による。 支持地盤の位置及び種類 図示による。 掘削に伴う排液及び排土の処理方法は「1 一般共通事項」の「8 発生材の処理等」における建設汚泥による。 室内配合試験及び、一軸圧縮試験を行う。 国土交通省 国官技第16号 国営健第1号 (平成13年4月20日) 「セメント及びセメント系固化工材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領 (案)」により試験を実施し、試験結果 (計量証明書) を提出する。 ・ 六価クロム溶出試験 (・ 配合設計段階 1検体 ・ 施工後段階 1検体) ・ タンクリーチング試験 施工後段階 検体	31	六価クロム溶出試験	改良形式、改良体の条件 (範囲、深さ、設計基準強度等)、攪拌条件は図示による。 品質管理、施工機械及び装置、施工管理は図示による。 支持地盤の位置及び種類 図示による。 掘削に伴う排液及び排土の処理方法は「1 一般共通事項」の「8 発生材の処理等」における建設汚泥による。 室内配合試験及び、一軸圧縮試験を行う。 国土交通省 国官技第16号 国営健第1号 (平成13年4月20日) 「セメント及びセメント系固化工材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領 (案)」により試験を実施し、試験結果 (計量証明書) を提出する。 ・ 六価クロム溶出試験 (・ 配合設計段階 1検体 ・ 施工後段階 1検体) ・ タンクリーチング試験 施工後段階 検体
	2	①ベンチマーク (2.2.2) ②足場等 (2.2.4) 3 監督職員事務所 (2.3.1) 4 工事用水 5 工事用電力 6 工事表示板 7 工事現場における掲示物等 8 イメージアップ・指定仮設物等		位置及び高さ 図示による。 養生 (・ 要 ○ 不要) 足場を設ける場合は、標準仕様書2.2.4(b)によるほか、「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 監督職員事務所の規模 (m程度) 監督職員事務所の標準仕様は下表とし、下表によらない場合は監督職員との協議による。 部位等 仕上げ 床 合板張り又はビニル床シート張り 内壁、天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り 設置する備品等 (机、いす、冷暖房機、消火器、保護帽、ゴム長靴、雨合羽、他) の種類及び数量は監督職員との協議による。 構内既存の施設 ○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない 構内既存の施設 ○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない 監督職員の承諾を受けること 1,200 工事概要 工事名 工事 建築物名 用途 m 延べ面積 階数 地上 階 地下 階 工期 令和 年 月 日~ 令和 年 月 日 建設標準法による確認 確認年月日 番号 令和 年 月 日 第 号 確認済証交付書 監理 監理 監理 設計者氏名 工事監理者氏名 工事監理者氏名 工事現場管理責任者氏名 監理者氏名 現場代理人 TEL 監理者 TEL ラワン合板 75.5T-1 白ペンキ塗り (文字黒) 建設業法及び	3		鋼杭地業 (4.4.1~7)	表4.4.1		32	場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1~8)																				

(A1→A3 = 50%縮小)		株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高次	日付 R07/10	山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 特記仕様書2	縮尺 A1:- A3:-	図面番号 A - 02
-----------------	--	--------------	--	-----------	-----------------------------	-------------	-----------------	-------------

鉄筋工事

5

1

鉄筋

(5.2.1)

2

溶接金網

(5.2.2)

3

継手及び定着

(5.3.4)

4

基礎梁主筋の継手

5

鉄筋のかぶり厚さ

(5.3.5)

6

各部配筋

7

帯筋

8

壁開口部の補強

9

梁貫通孔の補強

10

構造耐震スリット

11

機械式継手

(5.5.2)

12

溶接継手

(5.6.2~4)

13

圧接完了後の圧接部の試験

[5.4.10]

6

コンクリート工事

1

一般事項

2

コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度

(6.2.1~4)

鉄筋の種類

表5.2.1

規格番号	種類の記号	規格名称	径
JIS G 3112	SD295	鉄筋コンクリート用棒鋼	D10、D13、D16
JIS G 3112	SD345	鉄筋コンクリート用棒鋼	D19、D22、D25
JIS G 3112	SD390	鉄筋コンクリート用棒鋼	D29

規格番号	網目の形状	寸法及び鉄線の径	施工箇所
JIS G 3551	#	100×100×φ6.0	階段・保護コン
		150×150×φ6.0	合成スラブ

鉄筋の継手方法等

ガス圧接は、原則D19以上を対象とする。

部位	継手方法	呼び名
柱、梁の主筋	ガス圧接継手	
その他の鉄筋（）	重ね継手	

鉄筋の継手の位置

構造図（構造関係共通事項）による

構造図による

鉄筋の継手長さ

40dと表5.3.2の重ね長さのうち大きい値

40d

柱、梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所に入れる（先組み工法等）

鉄筋の定着長さ

40dと表5.3.4の重ね長さのうち大きい値

40d

構造図による

構造図による

構造図による

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは表5.3.6による。

塩害を受けるおそれのある部分等の耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ（）

主筋にD29以上を使用する場合の主筋の最小かぶり厚さ（）

構造図による

H形

構造図による

（全て

構造図による

）

W-I形

構造図による

（全て

構造図による

）

S-P形

構造図による

（全て

構造図による

）

一般壁

A形

構造図による

（全て

構造図による

）

B形

構造図による

（全て

構造図による

）

構造図による

耐震壁

構造図による

H形

構造図による

（全て

構造図による

）

M形

図示による

（全て

構造図による

）

M-H形

図示による

（全て

構造図による

）

構造図及び地下ビット平面図による

耐震スリットの設置箇所

構造図による

方式

完全

部分

形状

構造図による

耐火、遮音、防水処理への配慮

適用箇所、仕様及びスリット部詳細は図示による

施工計画書の品質管理計画による

施工計画書の品質管理計画による

外観試験

行う

行わない

抜き試験

超音波探傷試験

引張試験

3

コンクリートの種類

[6.2.1]

4

構造体コンクリートの仕上り

(6.2.5)

5

セメントの種類

(6.3.1)

6

骨材

(6.3.1)

7

混和材料

(6.3.1)

8

調合管理強度

(6.3.2)

9

打継ぎ

(6.6.4)

10

ひび割れ誘発目地

(6.8.1)

11

型枠

(6.8.1)

12

コンクリートの強度試験

(6.9.3)

13

軽量コンクリート

(6.10.1)

14

マスコンクリート

(6.13.1~2)

施工時期（適用時期）は当該工事場所における生コンクリート組合の適合表による。

・建築基準法第37条第二号に規定する国土交通大臣の認定を受けたコンクリート（）

表6.2.1

類別

I類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）

II類（I類を除くJIS A 5308に適合したコンクリート）

工場の選定

JISマーク表示認証製品を製造している工場で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者が常駐しており配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場（全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定し、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するものを用いること

合板せき板を用いた打放し仕上げの種類

A種

B種

C種

表6.2.4

コンクリート仕上がりの平たんさ

a種

b種

c種

表6.3.1

普通ポルトランドセメント

混合セメントA種

高炉セメントB種（適用箇所）

アルカリシリカ反応性による区分

A

B（監督職員の承諾が必要）

混和剤の種類

JIS A 6204による

AE剤

AE減水剤

高性能AE減水剤

混和材の種類

JIS A 6201による

フライアッシュの1種

フライアッシュの2種

調合管理強度は、設計基準強度（Fc）に表6.3.2の構造体強度補正値（S）を加えた値以上、かつ、品質が「標準仕様書」のコンクリート工事 10節以降の関係を節の規定を満たすものとする。

構造体強度補正値（S）

0N/mm2

3N/mm2

打継ぎ目地の寸法

15mm

20mm

打継ぎの位置

標準仕様書6.6.4(1)による

図示

目地寸法

標準仕様書9.7.3(1)による

間隔、位置

図示による

形状

図示による

ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する。

外部に面するコンクリート打増し厚さ（20）mm

型枠のせき板

材料（合板）

合板

合板（表面加工品）

区分（A

B

C）

厚さ

12mm

（）mm

材料（その他）

床型枠用鋼製デッキプレート（評価名簿による）

断熱材兼用型枠（25mm以下かつ熱抵抗値1m²h²C/kcal以上）

スリーブに用いる材料

材種

表6.8.1による

規格

表6.8.1による

材齢28日の構造体コンクリートの圧縮強度推定用試験については、第3者機関に行うこと。

ただし、監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。

種類

1種

2種

気乾単位容積質量（）t/m³

スランプ

21cm

（）cm

水セメント比

55%

（）%

試し練り

要

不要

適用箇所（）

セメントの種類

中熟ポルトランドセメント

低熟ポルトランドセメント

高炉セメントB種

フライアッシュセメントB種

普通ポルトランドセメント

混和剤の種類

JIS A 6204（コンクリート用化学混和材）によるAE減水剤又は高性能AE減水剤

溶接部の外観試験の方法

スランプ

15cm

（）cm

15

無筋コンクリート

(6.14.1)

16

コンクリート単位水量測定

7

鉄骨工事

1

鉄骨製作工場

(7.1.3~4)

2

鋼材

(7.2.1)

3

高力ボルト

(7.2.2)

4

普通ボルト

(7.2.3)

5

アンカーボルト

(7.2.4)

6

溶接材料

(7.2.5)

7

ターンバックル

(7.2.6)

8

床構造用のデッキプレート

(7.2.7) (6.8.3)

9

スタッド

(7.2.8)

10

柱底均しモルタル

(7.2.9)

11

材料試験等

(7.2.10)

12

仮組

(7.3.10)

13

摩擦面の性能及び処理

(7.4.2)

14

溶接の準備

(7.6.4)

15

溶接施工

(7.6.7)

16

溶接部の試験

(7.6.12)

コンクリートの種類

設計基準強度（Fc）（N/mm²）

スランプ（cm）

適用箇所

適用箇所

普通コンクリート

街きよ、緑石、側溝類のコンクリート

及びこれらの基礎コンクリート

間知石積みの基礎及び裏込めコンクリート

捨てコンクリート

機械室等で用いる配管埋設用コンクリート

防水層の保護コンクリート

嵩上コンクリート

「レディーミクストコンクリートの品質確保について」（平成15年11月10日付け国営建第95号）及び「「レディーミクストコンクリートの品質確保について」の運用について」（平成15年11月10日付け国営技第71号）に基づき実施する。

なお、測定方法は「レディーミクストコンクリート単位水量測定要領（案）」による。

測定の対象は、延床面積1、500m²以上の新築工事とする。

測定は、コンクリート打込み日・工区毎かつ150m³以下にばば均等に分割した単位毎に行う。

加工能力等

建築基準法第77条の56第1項の規定に基づく指定性能評価機関（（株）日本鉄骨評価センター又は（株）全国鉄骨評価機構）による評価を受けて国土交通大臣が指定した工場の加工能力等とする。

工場の加工能力等のグレード（S・H

M

R

J）

施工管理技術者（配置する

配置しない）

主な鋼材の品質、種類の記号等は次による。材質、形状及び寸法は図示による。

表7.2.1

規格番号

種類の記号

規格名称

適用箇所

JIS G 3101

SS400

一般構造用圧延鋼材

梁型鋼、鋼板類

JIS G 3136

SN

建築構造用圧延鋼材

梁型鋼、鋼板類

JIS G 3138

SNR

建築構造用圧延棒鋼

柱鋼管

JIS G 3444

STK

一般構造用炭素鋼鋼管

柱鋼管

JIS G 3466

STKR

一般構造用角形鋼管

柱鋼管

JIS G 3352

SDP

デッキプレート

デッキプレート

—

BCR295

建築基準法に基づき指定又は認定を受けた構造用鋼材及び鉄鋼

柱鋼管

トルシア形高力ボルト

セットの種類（2種（S10T））

JIS形高力ボルト

セットの種類（2種（F10T））

溶融亜鉛めっき高力ボルト

セットの種類（1種（F8T）相当）

（建築基準法に基づき認定を受けたもの）

ねじの呼び

構造図による

ボルト及びナットの材料等

表7.2.3による

ボルトの径

構造図による

構造用アンカーボルト（JIS B 1220）

ABR400

ABR490

構造図による

建方用アンカーボルト（JIS G 3101）

SS400

公差域クラス及び仕上げの程度

表7.2.3による

表7.2.4による

種類、ねじの呼び等

構造図による

材質、形状及び寸法

構造図による

呼び径

16

19

22

材料

モルタル

無収縮モルタル（製造所：評価名簿による）

表7.2.5

工法の種別

A種

B種

表7.10.2

厚さ（30）

内部品質確認が必要とされる鋼材の使用（SM材

SN材

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験はJIS G 0901による

仮組の実施

部位（

すべり試験の実施

試験方法

すべり係数試験

すべり耐力試験

開先の形状

構造図による

エンドタブ

切断箇所（見えがかり部

切断範囲（

完全溶込み溶接

低応力高サイクル疲労を受ける部位（

スカラップの形状

構造図による

溶接部の外観試験の方法

「突合せ接手の食い違い仕口ずれの検査・補強マニュアル」3.5.2受入検査による

JASS6付則6[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)による

完全溶込み溶接部の抜き試験（超音波探傷試験

実施しない）

工場溶接の場合の試験における品質の保証（AQL（平均出検品質限界））の値は4.0%とする。

工場溶接の場合の試験における検査水準（抜取率の大小）は第6水準とする。

表7.6.2

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

日付 R07/10

山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

図面名称 特記仕様書 3

縮尺 A1:→
A3:→

図面番号 A - 03

		(17)デッキプレートの溶接 （7.7.8） (18)塗料の種別 （7.8.3）（18.3.2） （18.7.2） (19)耐火被覆の種類等 （7.9.2） (20)アンカーボルト等の設置等 （7.10.3） (21)熔融亜鉛めっき高力ボルト接合 （7.12.5）	デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法（○図示（構造図）・焼抜き栓溶接） デッキプレートの敷込みと同時に行う仮留めの方法（・アークスポット溶接　・隅肉溶接） 溶接技能技術者（○配置する　・配置しない） 溶錆止め塗装範囲　・図示 耐火被覆材の接着する面への塗装　適用箇所（全て）　塗料種別（錆止め塗装） 仕上げが耐候性塗料塗り（DP）の場合は、表18.7.1の工程1～3の下塗りを工場で行うこと 種類・材料・工法等 ○耐火材吹付け（・乾式吹付けロッキング工法○半乾式吹付けロッキング工法） ・耐火板張り（・けい酸加珪板　・強化石膏ボード　・押出成形セメント板） ・耐火材巻付け（・ロッキング　・） ・ラス張りモルタル塗り ○耐火塗料 性能（１時間耐火） ○構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状並びに寸法 ・建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・A種　・B種 ○柱底均しモルタル 厚さ（30） 工法の種別○A種　・B種 摩擦面の処理方法　・プラスト処理　○りん酸塩処理　・ プラスト処理、りん酸塩処理以外の方法の場合　すべて耐力の確認方法（）		(4)押出成形セメント板 （8.5.2～5）	材料 パネル材料はJIS A 5441による 種類使用箇所表面形状厚さ(mm) ○外壁外壁○フラットパネル・50○60 ・デザインパネル・50・60 ・フラットパネル・50・60 ・デザインパネル・50・60 製造所：評価名簿による 外壁パネル工法 種別○A種　・B種 ○建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法（） パネル幅の最小限度○300mm　・（）mm（300mm未満の場合） パネル相互の目地幅長辺○10mm(8mm以上)短辺○15mm（15mm以上） 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅○15mm（シーリング材を充填）　・ 標準仕様書8.5.3(i)以外を目地及び隙間の処理○製造所の仕様による　・ 間仕切壁パネル工法 種別　・B種　・C種 パネル相互の目地幅長辺　・mm(8mm以上)短辺　・mm（15mm以上） 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅　・15mm（シーリング材を充填）　・ 標準仕様書8.5.3(9)以外が目地及び隙間の処理　・製造所の仕様による　・ 溝掘り及び開口部の処置 パネル欠き込み　・行　う パネルの開口の限度（） ・行わない		(2)改質アスファルトシート防水 （9.3.2～3）	脱気装置 防水種別 ・D-1　・D-2　・D-3 ・D-4　・DI-1　・DI-2 脱気装置の種類 主材料製造所の仕様 平場部脱気型 立上り部脱気型 材質 主材料製造所の仕様による 設置数量 ４ヶ所 施工 防水層の下地モルタル塗りとする場合の適用箇所（） アスファルトルーフィング類の張付け 平場の張付け ルーフトレイン回り及び立上り部の断熱材の張りまい位置　図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート　厚さ（） 材料 改質アスファルトシート 改質アスファルトシートの種類及び厚さ（JIS A 6013） ・表9.3.1から表9.3.3による　・ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ（JIS A 6013） ・表9.3.1から表9.3.3による　・ 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ（JIS A 6013） ○表9.3.1から表9.3.3による　・ その他の材料 押え金物の材質及び形状寸法○アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度　・ 屋根露出防水断熱工法の断熱材 材質硬質ウレタンフォーム断熱材２種１号若しくは２号で透湿係数を除く規格に適合するもの（JIS A 9521） 厚さ　・25mm　・50mm　○35mm 防水層の種別表9.3.1～3 工法防水層の種別施工箇所備考 屋根露出防水密着工法・AS-T1　・AS-T2 ・絶縁工法・AS-T3　・AS-T4　・AS-J1 ○絶縁断熱工法○ASI-T1　・ASI-J1 屋上種類（高反射水性保護塗料） 脱気装置 防水種別 ・AS-T3　・AS-T4　・AS-J1 ○ASI-T1　・ASI-J1 脱気装置の種類 主材料製造所の仕様 ○平場部脱気型 立上り部脱気型 材質 主材料製造所の仕様による 設置数量 図示による 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿層 ○設ける（改質アスファルト製造所の仕様による）　・設けない 材料 ルーフィングシートの種類及び厚さ（JIS A 6008） ・表9.4.1から表9.4.3による　・ 絶縁用シート　・発泡ポリエチレンシート　・ 固定金具の材質及び寸法形状 ・防錆処理した鉄板（厚さ0.4mm以上）　・ステンレス鋼板（厚さ0.4mm以上）　・ 断熱材　材質　・標準仕様書9.4.2(3)(エ)による　・ 厚さ（） 防水層の種別表9.4.1～3 工法防水層の種別施工箇所備考 合成高分子系ルーフィングシート防水・S-F1　・S-F2 ・S-M1　・S-M2 ・S-M3 合成高分子系ルーフィングシート防水（断熱工法）・SI-F2　・SI-F1 ・SI-M2　・SI-M1 合成高分子系ルーフィングシート防水（屋内保護密着工法）・S-C1　・ 施工 接着工法の目地処理PCコンクリート下地（） 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシート張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法（） 保護層の施工 立上り部の保護モルタル塗厚（）		(8)コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 1補強コンクリートブロック造 （8.2.1） （8.2.2） （8.2.4） （8.2.5） （8.2.8） 2コンクリートブロック帳壁及び塀 （8.3.2） （8.3.3） 3ALCパネル （8.4.2～5）	適用：基礎、がりよう、スラブ等については、５章（鉄筋工事）及び６章（コンクリート工事）によるブロックの種類 適用箇所断面形状及び圧縮強度による区分(JIS A 5406)正味厚さモジュール呼び寸法 空洞ブロック(C16) 空洞ブロッkW-C(16) 図示 各部の配筋　図示による まぐさを受ける開口部両側のブロックの充填範囲　図示による ブロックの種類表8.3.1 適用箇所断面形状及び圧縮強度による区分(JIS A 5406)正味厚さモジュール呼び寸法 間仕切壁地下二重壁空洞ブロック(C16)空洞ブロッkW-C(16)図示 壁鉄筋の継手・定着及び末端部の折曲げ形状　図示による 各部の配筋　図示による 材料 パネル材料はJIS A 5416の厚形パネルとする 種類使用箇所厚さ(mm)設計荷重(N/m2)正荷重負荷重耐火性能(時間)製造業者備考 外壁1251,8001,2001 間仕切100—1 屋根1002,0001,0000.5 床1003,6001 床1503,6001 外壁パネル構法 種別　・A種　・B種表8.4.2 ・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法（） パネル幅の最小限度　・300mm　・（）mm（300mm未満の場合） 出隅及び入隅のパネル接合部並びに他部材との取合い部の目地幅　・10～20mm　・ 伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない 耐火目地材　・アルカリアースシリケートウール　・ 間仕切壁パネル構法 構成 標準詳細図Z-31-による 図示による 種別　・C種　・D種　・E種表8.4.3 パネル幅の最小限度　・300mm　・（）mm（300mm未満の場合） 出隅及び入隅のパネル接合部並びに他部材との取合い部の目地幅　・10～20mm　・ 伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない 耐火目地材　・アルカリアースシリケートウール　・ 屋根及び床パネル構法 種別F種表8.4.4 ・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法（） パネル幅の最小限度　・300mm　・（）mm（300mm未満の場合）	(9)防水工事 (1)アスファルト防水 （9.2.2～5）	材料 アスファルトルーフィング類 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ（JIS A 6013） ○表9.2.3から表9.2.8による　・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ（JIS A 6013） ・表9.2.5から表9.2.8による　・ 押え金物 材質及び形状寸法 ○アルミニウム製L-30×15×2.0（mm）程度 ・図示 屋根保護防水断熱工法の断熱材 材質押出法ポリステレンフォーム断熱材３種 bA（スキん層付き）（JIS A 9521） 厚さ　・25mm　・50mm　○35mm 屋根露出防水断熱工法の断熱材 材質硬質ウレタンフォーム断熱材２種１号若しくは２号で透湿係数を除く規格に適合するもの（JIS A 9521） 厚さ　・25mm　・50mm　・ 絶縁用シートに使用する材料 屋根保護防水密着工法及び絶縁工法の場合 材料と厚さ　・ポリエチレンフィルム0.15mm以上　・ 屋根保護防水密着断熱工法及び絶縁断熱工法の場合 フラットヤーncロス（70g/m2程度） 成形伸縮目地材（製造所：評価名簿による）表9.2.1 防水立上り部の保護方法　・乾式保護材（製造所：評価名簿による）　・れんが押え ・コンクリート押え 防水層の種別表9.2.3～9 工法新設防水層の種別施工箇所備考 密着工法・A-1　・A-2　・A-3 ○密着断熱工法・AI-1　・AI-2　○AI-3機器置場（2階屋上） 絶縁工法・B-1　・B-2　・B-3 絶縁断熱工法・BI-1　・BI-2　・BI-3 屋根露出防水 絶縁工法・D-1　・D-2　・D-3　・D-4 絶縁断熱工法・DI-1　・DI-2 密着工法・E-1　・E-2 日付R07/10	山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事 </
--	--	---	--	--	---------------------------------------	--	--	---	---	--	--	--	---	--	--

2	折板葺 (13.2.3) (13.3.2～3)	建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・適用する（図示） ・適用しない 雪止め ・設置する（図示） ・設置しない	7	金属成形板張り (14.6.2～3)	種別	製法	表面処理	寸法 (mm)	伸縮継手	形状	適用箇所										
		・7mmバントレ			・押出し形材 ・ロール	・B－1種 ・B－2種	板幅 板厚	・設ける（図示） ・設けない	・図示												
		・																			
		・																			
		取付け用下地			・JIS A 6517（建築用鋼製下地材（壁・天井）） ・																
		押出し形材			表14.7.1																
		部材の種類			・175形		・300形		・350形		・400形										
		表面処理			・B－1種		・B－2種		・												
		コーナ－部及び突当り部等の役物 製造所の仕様による。																			
		材料の種類 ○ 図示による																			
表面処理 ・表14.2.1による ○ 図示による																					
材料の種類 ○ ステンレス製（SUS 304）																					
表面処理 ・表14.2.2のC種 ○ 図示による																					
8	アルミニウム製 笠木 (14.7.2～3)	手すり (14.8.2)	1	下地 (15.2.3～7)	ラス系下地	ステーブル ・ L925TS（リプラスの場合） ・ L1019JS（波形ラスの場合） ラスシート ・ LS2 ・ LS4（耐力壁の場合） ・通気工法二層下地（ ・ 2種波形ラス700 ・ ） 換気口部の措置 ・ 木造標準仕様書11.4.3(2) (7)による ・通気工法単層下地（ ・ 2種防水紙付きリプラス800 ・ ） ・直張りラスモルタル下地（ ・ ） ・直張工法ラスシートモルタル下地（ ・ ） 耐力壁として使用する場合のラスシートの施工方法（ ・ ） せっこうボード、その他のボード下地 ・木質系セメント板 種類（ ・ ） 厚さ（ ・ ） ・せっこうボード及びせっこうラスボード 種類（ ・ ） 厚さ（ ・ ）															
		材料			・モルタル ・現場調査材料 ・既調合材料（材料 ・ ） ・吸水調整材（製造所：評価名簿による） ・防水剤（製造所：評価名簿による） ・既製目地材の適用及び形状 ・ 図示による																
		工法			床の目地 ・ 設ける 目地割り ・ 2㎡程度、最大目地間隔3㎡程度 目地の種類 ・ 3.6㎡程度の割付け間隔 ・ 設けない 仕上げの平たんさ ○ a種 ・ b種 ・ c種																
		種類			厚さ (mm)		施工箇所														
		○ セメント系			・ 10 ○ 13																
		・ せっこう系			・ 10																
		薄付け仕上塗材 表15.6.1																			
		呼び名			仕上りの形状		工法														
塗り回数は仕上塗材製造所の指定による 吸放湿性を有する内装厚塗材 ・ 使用する ・ 使用しない																					
厚付け仕上塗材 表15.6.1～2																					
呼び名	仕上りの形状		工法		上塗材		下塗材														
					・ 行う ・ 行わない		・ 行う ・ 行わない														
塗り回数は仕上塗材製造所の指定による 吸放湿性を有する内装厚塗材 ・ 使用する ・ 使用しない																					
複層仕上塗材 表15.6.1～2																					
呼び名	仕上りの形状		工法		上塗材(耐候性 ・ 耐候形3種 ・)																
					溶媒		樹脂		外観												
					・ 水系		・ 7クリル系		・ つやあり (5分艶)												
					・ 溶剤系		・ シリル系		・ つやなし												
					・ 弱溶剤系		・ 6リルン系		・ 7クリルシリコン系												
							・ フッ素系		・ 7クリル												
9	左官工事	15	2	モルタル塗り (15.3.2.5)																	
14	金属工事	1	1	工法（受材） (14.1.3)	あと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験(引張試験機による引張試験) 設計用引張強度 (・) KN/本 確認用引張強度 (・) KN/本 アンカーの種類（ ・ 金属系 ・ 接着系） 径 (・) mm 種類 ・ HL ・ 鏡面仕上 ○ 設計図による 表14.2.1																
					種別	被膜又は複合被膜の種類		施工箇所		種別	被膜又は複合被膜の種類		施工箇所								
					A5110AP-H24	陽極酸化処理		コーナ－役物 庇（上屋）幕板・天井													
					・ 常温乾燥形塗装 表面処理 (・) 陽極酸化皮膜 着色方法 ・ 二次電解着色 ○ 電解研磨＋シルバ－アルマイト 色 ・ 標準色 ・ 特注色 表14.2.2																
					種別	施工箇所			種別	施工箇所											
					○ A種	地下タラップ			・ C種												
					○ B種	ステップ			・												
					野縁等の種類 ○ 屋内 (○ 19形 ・) 表14.4.1 ○ 屋外 (○ 25形 ・) 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔は図示による。																
					工法 構成 ○ 標準詳細図 3 - 01 - 1 による ・ 図示による 開口部の補強方法 吊りボルトの間隔が900を超える場合 (・) ○ 天井のふところが3 mを超える場合 補強箇所及び補強方法は図示による。 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐圧性を考慮した補強 (・) 天井下地における耐震性を考慮した補強 (・) スタッド、ランナー等の種類 表14.5.1 ○ 50形 ○ 65形 ・ 90形 ○ 100形 ・ スタッドの高さが5.0mを超える場合 図示による 構成 ○ 標準詳細図 2 - 03 - 11 による ・ 図示による																
3	とい (13.5.2)	14	1	金属工事																	
6	マスチック 塗材塗り (15.7.2) せっこう プaster塗り (15.8.2～5) ロックウール 吹付け (15.12.3)	16	建具工事	1	防火戸 (16.1.3)	防火戸の指定 ○ 図示による ・ 自動閉鎖機構及び防火戸との連動 図示による ・ 建具見本の製作 ・ 仮組の実施 防火建物部品の使用 図示による 性能値等 アルミニウム製建具の性能等級等 ・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H－1 ・ H－2 耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・ D－1 ・ D－2 ・ D－3 材料 網戸等 防虫網の材質 材質 線径 網目 ・ ステンレス製（SUS316） ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製 防虫網の材質 ・ ステンレス製（SUS304）径1.5mmピッチ15mm 形状及び仕上げ 建具の枠の見込み寸法 ○ 内部に面する建具 ○ 70mm ○ 外部に面する建具 ・ 100mm ○ 70mm 表面処理（標準仕様書14.2.1による。） 種別 ・ BA－2種 ○ BB-2種 ・ BC-2種 色 ○ 標準色 ・ 特注色 結露水の処理は建具から外へ排出する方法とする 製造所：評価名簿による 標準型鋼製建具 ・ 適用する ・ 適用しない 簡易気密ドアセット ・ 適用する ・ 適用しない 外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ○ S－4 ・ S－5 ・ S－6 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H－1 ・ H－2 耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・ D－1 ・ D－2 ・ D－3 材料 ○ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ 形鋼 鋼板類 鋼板 めっきの付着量 ○ Z12又はF12を満足するもの ステンレス鋼板 種類 ○ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS430J1L 製造所：評価名簿による 防火戸 煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。 扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う。 取合い ・ 標準詳細図4 - - による ○ 図示による 標準型鋼製軽量建具 ・ 適用する ・ 適用しない 性能値等 簡易気密ドアセットの気密性の等級 ・ A－3 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H－1 ・ H－2 耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・ D－1 ・ D－2 ・ D－3 材料 鋼板類 ○ 鋼板 (○ 表面亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被膜鋼板 ・ カラー鋼板 ・) ステンレス鋼板 種類 ○ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1															
						2	見本の製作等 (16.1.4)														
7	せっこう プaster塗り (15.8.2～5)	16	建具工事	2	見本の製作等 (16.1.4)																
8	ロックウール 吹付け (15.12.3)	16	建具工事	3	その他 (16.1.6)																
5	鋼製建具 (16.1.3) (16.4.2～4) (16.6.3)	6	鋼製建具 (16.5.2～4)	5	鋼製建具 (16.1.3) (16.4.2～4) (16.6.3)	標準型鋼製建具 ・ 適用する ・ 適用しない 簡易気密ドアセット ・ 適用する ・ 適用しない 外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ○ S－4 ・ S－5 ・ S－6 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H－1 ・ H－2 耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・ D－1 ・ D－2 ・ D－3 材料 ○ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ 形鋼 鋼板類 鋼板 めっきの付着量 ○ Z12又はF12を満足するもの ステンレス鋼板 種類 ○ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS430J1L 製造所：評価名簿による 防火戸 煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。 扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う。 取合い ・ 標準詳細図4 - - による ○ 図示による 標準型鋼製軽量建具 ・ 適用する ・ 適用しない 性能値等 簡易気密ドアセットの気密性の等級 ・ A－3 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H－1 ・ H－2 耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・ D－1 ・ D－2 ・ D－3 材料 鋼板類 ○ 鋼板 (○ 表面亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被膜鋼板 ・ カラー鋼板 ・) ステンレス鋼板 種類 ○ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1															
(A1→A3 = 50%縮小)																					
株式会社 笹戸建築事務所				管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大				日付 R07/10				山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事				図面名称 特記仕様書 6		縮尺 A1:→ A3:→		図面番号 A - 06	

[illegible]

18	塗装工事	1	補強鉄線 径 3.2 網目寸法 50 150 300 耐火目地材 建具枠 図示による。 ゴンドラ用ガイドレール 図示による。 構造ガスケット アンカー溝の寸法 寸法許容差 配筋 図示による。 配筋を定めた計算書により、監督職員の承諾を受ける。	素地ごしらえ (18.2.2～7) (18.9.2、18.10.2)	① 木部 ・ 不透明塗料塗り (A種 B種) ② 透明塗料塗り (A種 B種) ③ 鉄鋼面 種類 (A種 B種 C種) ④ 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 種別(A種 B種 C種) 鋼製建具以外 種別(A種 B種 C種) ⑤ モルタル面及びプラスター面 種別 (A種 B種) ⑥ コンクリート面及びALCパネル面 (DP塗装は除く) 種別 A種 B種 ⑦ コンクリート面及び押出成形セメント版面 種別 (A種 B種) ⑧ せっこうボード面及びその他ボード面 目地 ⑨ 継目処理工法 (A種 B種) ⑩ その他 (A種 B種)	表18.2.1 表18.2.2 表18.2.3 表18.2.4 表18.2.5 表18.2.6 表18.2.7							
			2	錆止め塗料塗り (18.3.2～3)	塗料の種類 ① 鉄鋼面 EP-G 種別 (A種 B種) EP-G以外 種別 (A種) ② 亜鉛めっき鋼面 ・ EP-G 種別(A種 B種 C種) ③ EP-G以外 種別(A種 B種 C種) 塗料塗りの工法 ④ 鉄鋼面 見え掛り部 種別(A種 B種) 見え隠れ部 種別(A種 B種) ⑤ 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 種別(A種 B種) 鋼製建具以外 種別(A種 B種) (表18.4.1～表18.14.1)	表18.3.1 表18.3.2 表18.3.3 表18.3.4							
19	内装工事	1	塗料 (18.4.2～18.13.2)	3	塗料 (18.4.2～18.13.2)	① クリヤラッカー塗り (CL) ・ アクリル樹脂系非水分散型 塗料塗り (NAD) ② 耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面 建具 ー 上塗り等級 (1) 級 亜鉛めっき鋼面 ー 上塗り等級 () 級 コンクリート面及び押出 成形セメント版面 A種 B種 上塗り等級 (2) 級 ・ つや有合成樹脂エマルシ ンペイント塗 り (EP-G) コンクリート面等 ー ー 屋内の木部 ー ー 屋内の鉄鋼面 A種 B種 ー 屋内の亜鉛めっき鋼面 ー ー ③ 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP) ・ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T) A種 B種 ー ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) A種 B種 ー ・ オイルステイン塗り (OS) ー 油性 水性 ・ 木材保護塗料塗り (WP) A種 B種 ー	カーペット敷き (19.3.2～3)	2	カーペット敷き (19.3.2～3)	① タイルカーペット (構成 標準詳細図1-01- による 図示による) 種類 A B C 織り方 ウィルトンカーペット ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット パイルの形状 カットパイル ループパイル カット、ループ併用 色柄 模様のない無地 接合方法 ヒートボンド工法 ・ 帯電性 (JIS L 1021-16による人体耐電圧の値の3kV以下とする) ・ タフテッドカーペット パイルの形状 () パイル長 () ・ 帯電性 (JIS L 1021-16による人体耐電圧の値の3kV以下とする) 工法 全面接着工法 グリッパ―工法 ・ ニードルパンチカーペット 厚さ () ・ 帯電性 JIS L 1021-16による人体耐電圧の値の3kV以下とする。 ② タイルカーペット (構成 標準詳細図1-02- による 図示による) 表19.3.2 種別 パイル形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 工法 ③ 第一種 ④ ループパイル ⑤ 500角 ⑥ 6.0 ⑦ 全面接着 ・ 第二種 ・ カットパイル ・ ー のり付 加工品数き ・ 帯電性 JIS L 1021-16による人体耐電圧の値の3kV以下とする。 タイルカーペット全面接着工法における タイルカーペットの敷き方 平場 ⑧ 市松敷き 階段部分 模様流し 下敷き材 種類 JIS L 3204の第2種2号 呼び厚さ 8mm () mm	3	カーペット敷き (19.3.2～3)	① タイルカーペット (構成 標準詳細図1-01- による 図示による) 種類 A B C 織り方 ウィルトンカーペット ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット パイルの形状 カットパイル ループパイル カット、ループ併用 色柄 模様のない無地 接合方法 ヒートボンド工法 ・ 帯電性 (JIS L 1021-16による人体耐電圧の値の3kV以下とする) ・ タフテッドカーペット パイルの形状 () パイル長 () ・ 帯電性 (JIS L 1021-16による人体耐電圧の値の3kV以下とする) 工法 全面接着工法 グリッパ―工法 ・ ニードルパンチカーペット 厚さ () ・ 帯電性 JIS L 1021-16による人体耐電圧の値の3kV以下とする。 ② タイルカーペット (構成 標準詳細図1-02- による 図示による) 表19.3.2 種別 パイル形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 工法 ③ 第一種 ④ ループパイル ⑤ 500角 ⑥ 6.0 ⑦ 全面接着 ・ 第二種 ・ カットパイル ・ ー のり付 加工品数き ・ 帯電性 JIS L 1021-16による人体耐電圧の値の3kV以下とする。 タイルカーペット全面接着工法における タイルカーペットの敷き方 平場 ⑧ 市松敷き 階段部分 模様流し 下敷き材 種類 JIS L 3204の第2種2号 呼び厚さ 8mm () mm
			2	素地ごしらえ (18.2.2～7) (18.9.2、18.10.2)	① 木部 ・ 不透明塗料塗り (A種 B種) ② 透明塗料塗り (A種 B種) ③ 鉄鋼面 種類 (A種 B種 C種) ④ 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 種別(A種 B種 C種) 鋼製建具以外 種別(A種 B種 C種) ⑤ モルタル面及びプラスター面 種別 (A種 B種) ⑥ コンクリート面及びALCパネル面 (DP塗装は除く) 種別 A種 B種 ⑦ コンクリート面及び押出成形セメント版面 種別 (A種 B種) ⑧ せっこうボード面及びその他ボード面 目地 ⑨ 継目処理工法 (A種 B種) ⑩ その他 (A種 B種)	表18.2.1 表18.2.2 表18.2.3 表18.2.4 表18.2.5 表18.2.6 表18.2.7							
			(A1→A3 = 50%縮小)	株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大	日付 R07/10	山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 特記仕様書 8	縮尺 A1:ー A3:ー	図面番号 A - 08			

[illegible]



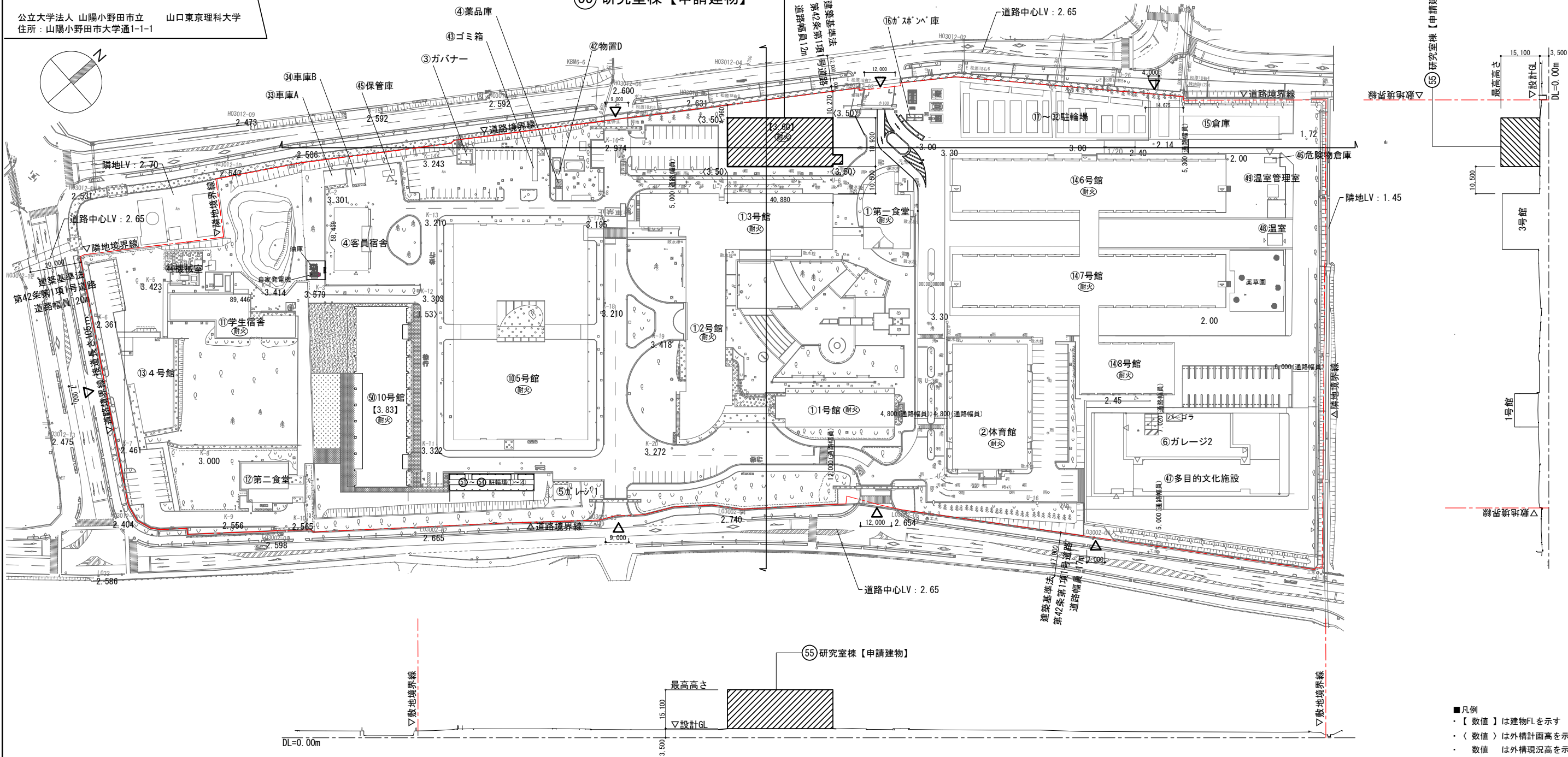
付近見取図

公立大学法人 山陽小野田市立 山口東京理科大学
住所：山陽小野田市大学通1-1-1

公立大学法人 山陽小野田市立 山口東京理科大学 敷地建物集計表																																							
建物名					構造階数				建築面積				延床面積				備考			建物名					構造階数				建築面積				延床面積				備考		
①	1～3号館・第一食堂(耐火)	RC3/0	3,522.63	6,903.13	S61.1.24 第10号増築H17.12.12 宇 1502号	28	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	47	多目的文化施設	W2/0	1,381.92	1891.33	R4.8.30 第 ER1-22012635	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)				
②	2号館増築(耐火)	RC2/0	254.80	455.46	H1.10.26 宇 2300号	28	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
③	体育館(耐火)	RC2/0	1,380.98	1,554.86	S61.1.24 第10号	28	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
④	ガバナー	RC1/0	9.81	9.81	S61 建築	28	自転車置場	S1/0	37.34	37.34	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑤	客員宿舎	RC2/0	338.93	513.62	S61.10.9 宇 2154号	28	自転車置場	S1/0	37.34	37.34	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑥	薬品庫	RC1/0	6.25	6.25	S61.10.9 宇 2154号	28	自転車置場	S1/0	24.93	24.93	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑦	ガレージ1	S1/0	62.31	62.31	平成28年11月29日設置	28	自転車置場	S1/0	24.93	24.93	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑧	ガレージ2	S1/0	29.96	29.96	H4.4.4 宇 405号	28	自転車置場	S1/0	24.93	24.93	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑨	除却済					31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑩	除却済					31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑪	除却済					31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑫	5号館(耐火)	RC3/0	4,160.89	10,712.82	H5.12.21 第163号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑬	学生宿舎(耐火)	RC3/0	503.14	1,270.96	H3.7.24 宇794号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑭	第二食堂	RC2/0	291.48	474.68	H3.7.24 宇794号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑮	4号館 (総合教育)	RC2/0	587.51	862.55	H8.1.17 H07認建宇土001064号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑯	6～8号館(耐火)	PRC5/0	5,003.33	20,985.04	H30.9.20BVJ-HRS16-15-0227号 EV設置89.2m2 最高高さ24.85m	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑰	倉庫	S1/0	288.02	267.84	H30.9.20BVJ-HRS16-15-0227号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑱	ガスボンベ庫	S1/0	14.88	14.88	H30.9.20BVJ-HRS16-15-0227号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑲	バイク置場	S1/0	31.51	31.51	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
⑳	自転車置場	S1/0	49.76	49.76	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉑	自転車置場	S1/0	49.76	49.76	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉒	自転車置場	S1/0	49.76	49.76	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉓	自転車置場	S1/0	49.76	49.76	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉔	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉕	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉖	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉗	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉘	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉙	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉚	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉛	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉜	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉝	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉞	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1,590.17	4,180.19	R7.3.5 第ER1-25000271号 (油庫含む)										
㉟	自転車置場	S1/0	22.92	22.92	計認H31.3.14 第1号	31	自転車置場	S1/0	28.64	28.64	計認H31.3.14 第1号	48	温室	S1/0	25.87	25.87	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	49	温室管理棟	S1/0	20.06	20.06	R5.3.25 R04補済建築山陽小野田市00009号	50	10号館(耐火)	S3/0	1												

(耐火)：耐火建築物を示す。(特記無き限りその他建築物)

55 研究室棟【申請建物】



- 凡例
- ・【 数値 】は建物FLを示す
 - ・〈 数値 〉は外構計画高を示す
 - ・ 数値 は外構現況高を示す
 - ・ △ 敷地への出入口

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

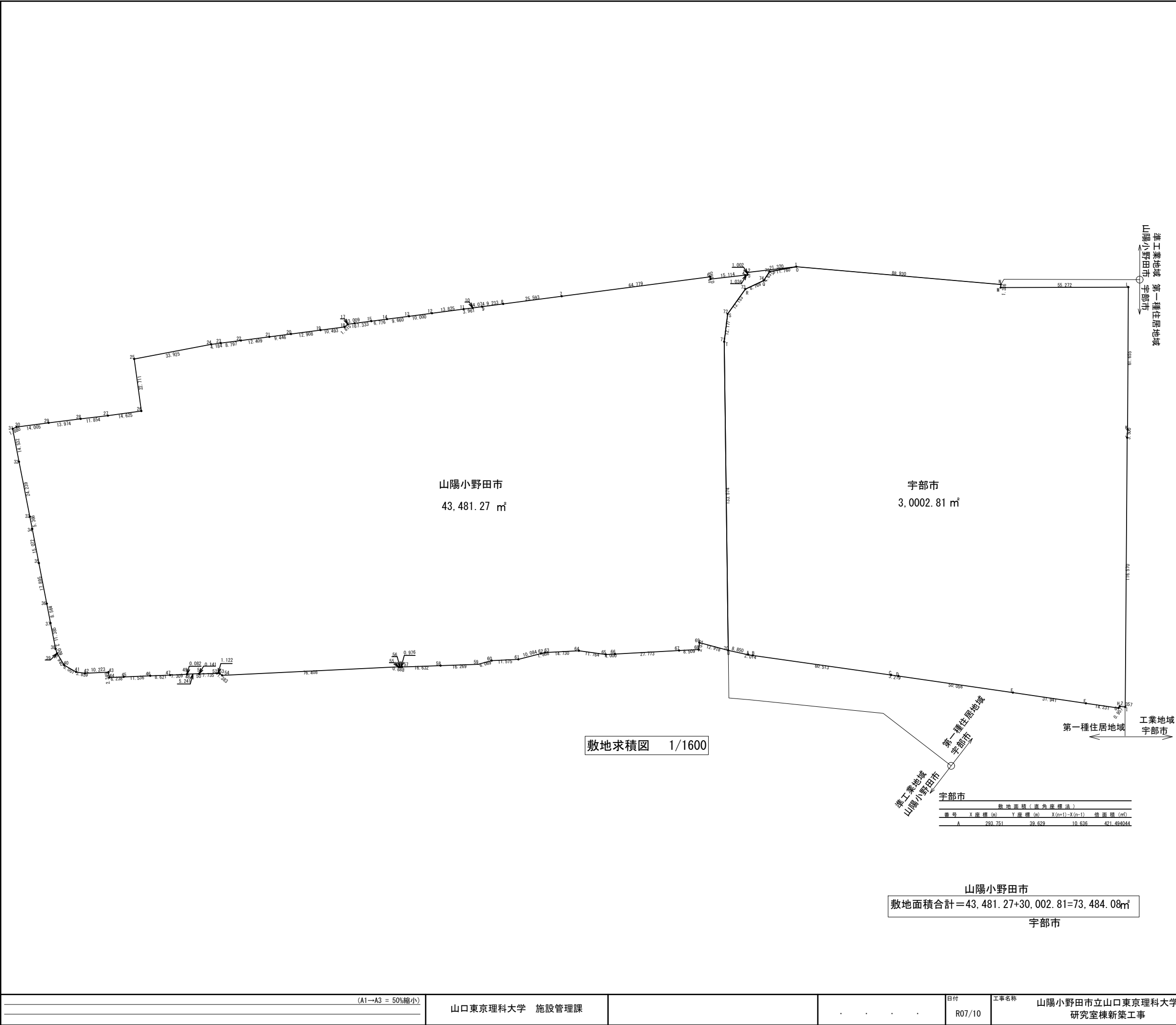
日付 R07/10

工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

図面名称 全体配置図・付近見取図

縮尺 A1:1/800
A3:1/1600

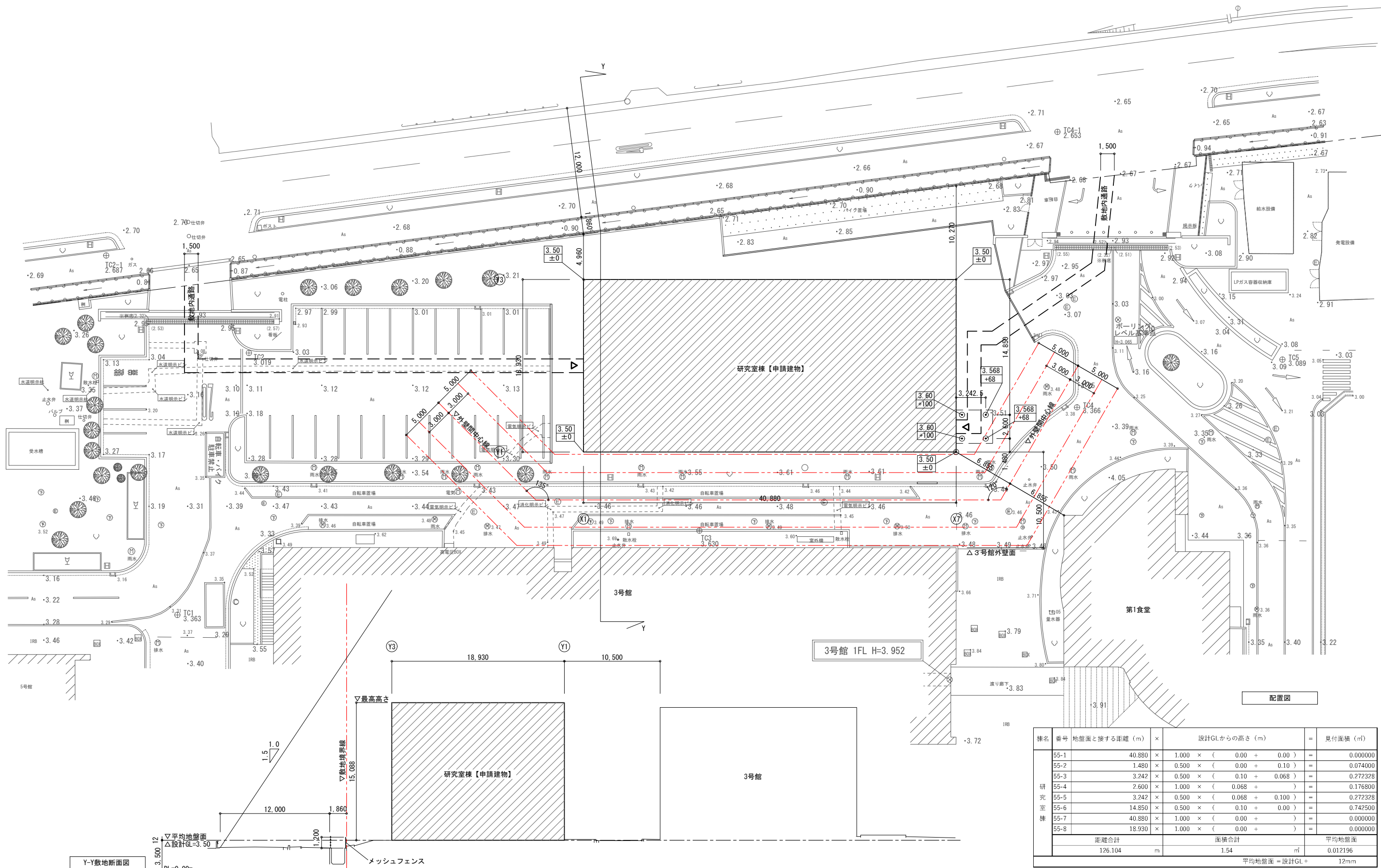
図面番号 A - 11



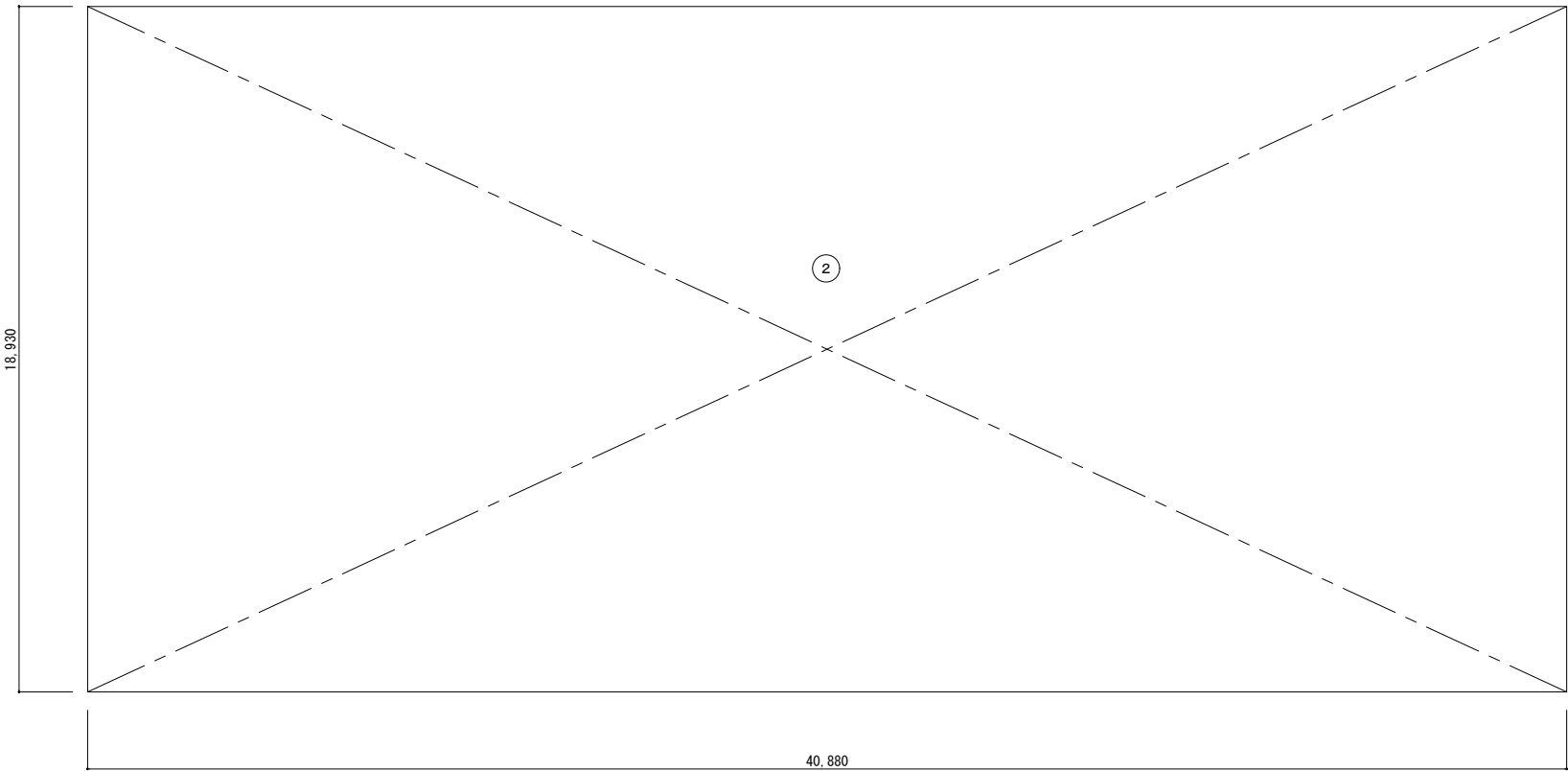
敷地面積（直角座標法）				
番号	X座標 (m)	Y座標 (m)	X(n+1)-X(n-1)	積面積 (m ²)
1	314.590	207.571	-9.611	-1994.954931
2	293.412	205.104	-21.117	-4331.181168
3	293.412	204.103	-0.965	-195.959395
4	292.447	203.951	-16.039	-3271.170092
5	277.454	202.217	-15.187	-3071.099572
6	277.260	203.175	-64.406	-13085.699050
7	213.028	194.791	-89.609	-17455.026718
8	187.651	191.445	-34.536	-6611.744520
9	178.492	190.291	-13.197	-2511.452927
10	174.454	189.739	-7.956	-1511.452928
11	170.526	189.220	-17.635	-3336.894700
12	156.819	187.427	-23.823	-4477.588021
13	146.903	186.134	-19.496	-3823.698444
14	137.323	184.874	-16.299	-3013.281726
15	130.604	184.000	-13.995	-2575.205955
16	123.328	183.093	-10.259	-1878.351087
17	120.245	182.694	-4.353	-795.266992
18	118.975	181.503	-11.777	-2137.550931
19	108.569	180.128	-23.205	-4178.670240
20	95.770	178.451	-22.165	-3955.366415
21	86.493	177.250	-21.674	-3841.716500
22	74.096	175.641	-21.029	-3693.554599
23	65.374	174.507	-12.874	-2246.603118
24	61.222	173.964	-37.478	-6519.622792
25	27.896	167.639	-30.264	-5073.456696
26	30.958	145.135	-11.425	-1858.167275
27	16.471	143.131	-26.261	-3758.763191
28	4.697	141.747	-25.639	-3634.109596
29	-9.167	140.001	-27.755	-3885.727755
30	-23.058	138.212	-15.595	-2155.416140
31	-24.762	137.419	1.074	147.588096
32	-21.984	123.154	7.452	917.743698
33	-17.310	99.369	5.727	569.086263
34	-16.257	94.107	3.892	366.264444
35	-13.418	79.304	6.269	497.156778
36	-9.989	61.740	5.065	312.713100
37	-8.353	53.339	3.840	204.617920
38	-6.148	42.163	2.845	119.953735
39	-5.598	40.257	3.662	147.421134
40	-2.496	35.142	8.238	289.499796
41	2.720	32.177	9.036	299.751372
42	6.550	31.619	14.032	443.677898
43	16.762	32.100	10.530	338.013000
44	17.080	29.772	6.550	195.006600
45	23.312	30.040	17.759	533.490360
46	34.839	30.515	20.143	614.663645
47	43.455	30.822	15.917	499.699931
48	50.756	31.175	7.298	227.515150
49	50.753	31.257	5.234	163.599138
50	55.990	31.465	5.244	165.002460
51	55.997	31.323	7.738	242.377214
52	65.728	31.552	8.854	279.361408
53	64.851	31.547	2.219	70.002793
54	65.947	30.703	77.414	2376.842042
55	142.265	34.426	77.000	2650.802000
56	142.947	34.339	-1.658	-56.919140
57	143.923	34.355	17.599	694.619645
58	160.546	34.909	32.882	1147.877738
59	176.805	35.497	22.117	785.087149
60	182.663	37.087	17.420	646.055540
61	194.225	37.640	21.329	892.823560
62	203.992	40.148	11.520	462.504960
63	205.745	40.595	16.465	668.396675
64	220.457	41.346	26.355	1090.087290
65	232.110	39.734	15.647	621.717898
66	236.104	39.951	31.727	1267.525377
67	263.837	41.466	36.233	1502.437578
68	272.337	41.860	8.792	368.033120
69	272.629	44.878	12.771	573.136938
70	285.108	41.534	10.739	446.033636
71	283.368	175.098	-0.228	-39.922344
72	284.880	187.181	9.148	1712.331788
73	292.516	197.891	15.594	3085.912254
74	300.474	201.576	10.507	2117.959032
75	303.023	205.443	14.116	2900.033388
基準	815.360	-355.810		-86962.556423
敷地面積 (m ²)			積面積 計	43481.27

敷地面積（直角座標法）				
番号	X座標 (m)	Y座標 (m)	X(n+1)-X(n-1)	積面積 (m ²)
A	293.751	39.629	10.636	421.494044
B	295.744	39.338	61.909	2435.376242
C	355.660	30.852	63.102	1946.822904
D	358.846	30.393	52.730	1602.822890
E	408.390	23.243	81.150	1886.169450
F	439.996	18.625	45.690	850.976250
G	454.080	16.578	14.671	243.215838
H	454.667	17.334	2.923	50.667282
I	457.003	17.015	3.210	54.618150
J	457.877	133.582	1.049	140.127518
K	458.052	137.078	0.485	66.482830
L	458.362	188.732	-54.962	-10922.708184
M	403.090	188.555	-55.174	-10955.073870
N	403.188	189.887	-88.500	-17689.999500
O	314.590	207.571	-100.165	-20791.349215
P	303.023	205.443	-14.116	-2900.033388
Q	300.474	201.576	-10.507	-2117.959032
R	292.516	197.891	-15.594	-3085.912254
S	284.880	187.181	-9.148	-1712.331788
T	283.368	175.098	0.228	39.922344
U	285.108	41.534	10.393	431.247522
基準	815.360	-355.810		-60005.823667
敷地面積 (m ²)			積面積 計	30002.81

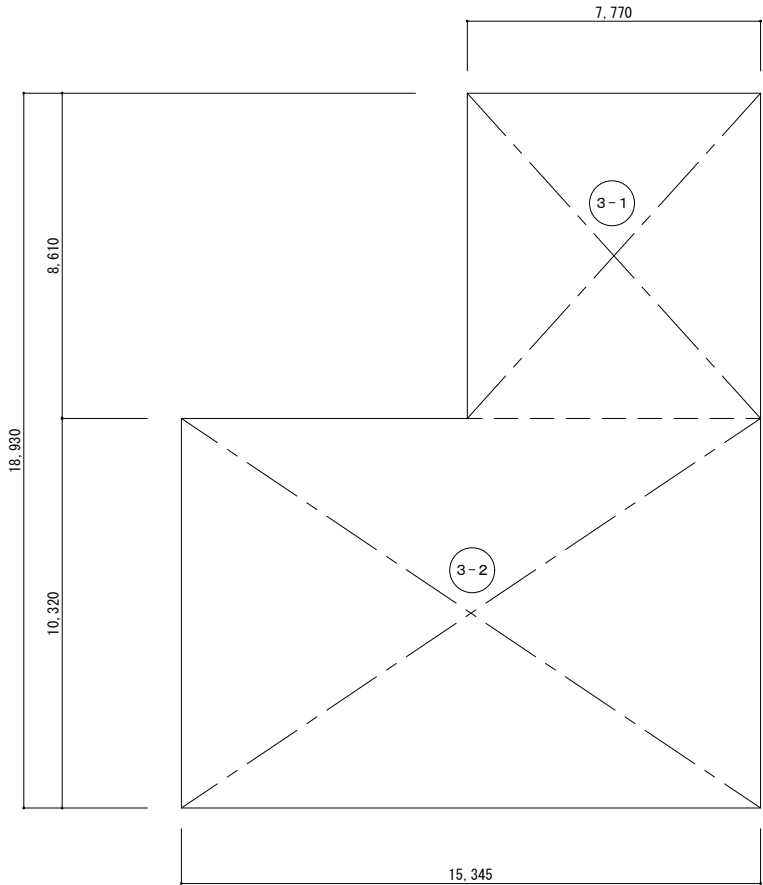
敷地面積合計 30,002.81 + 43,481.27 = 73,484.08㎡



(A1→A3 = 50%縮小)		株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大	日付 R07/10	工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 配置図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 A - 13
-----------------	--	--------------	--	-----------	----------------------------------	----------	-------------------------	-------------

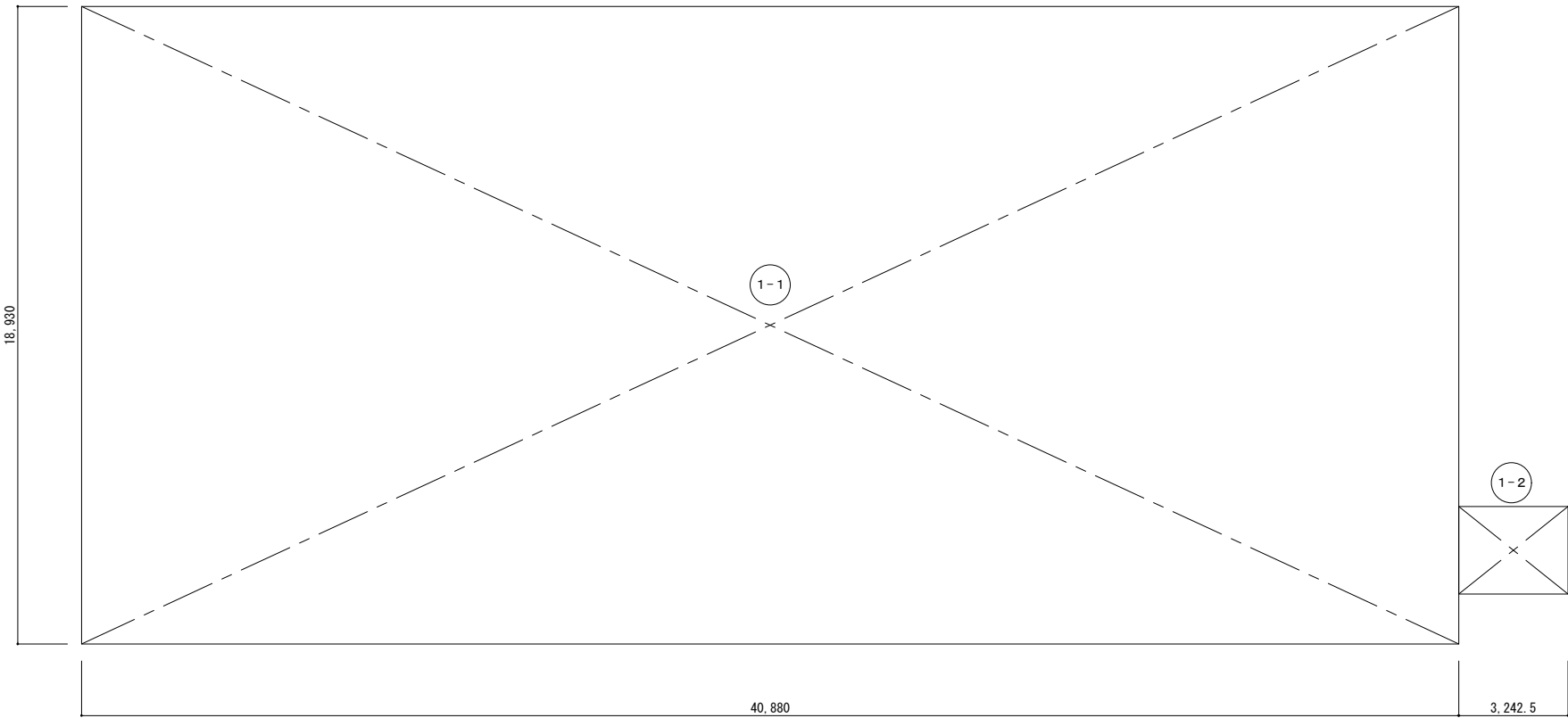


2 階求積図 1/100



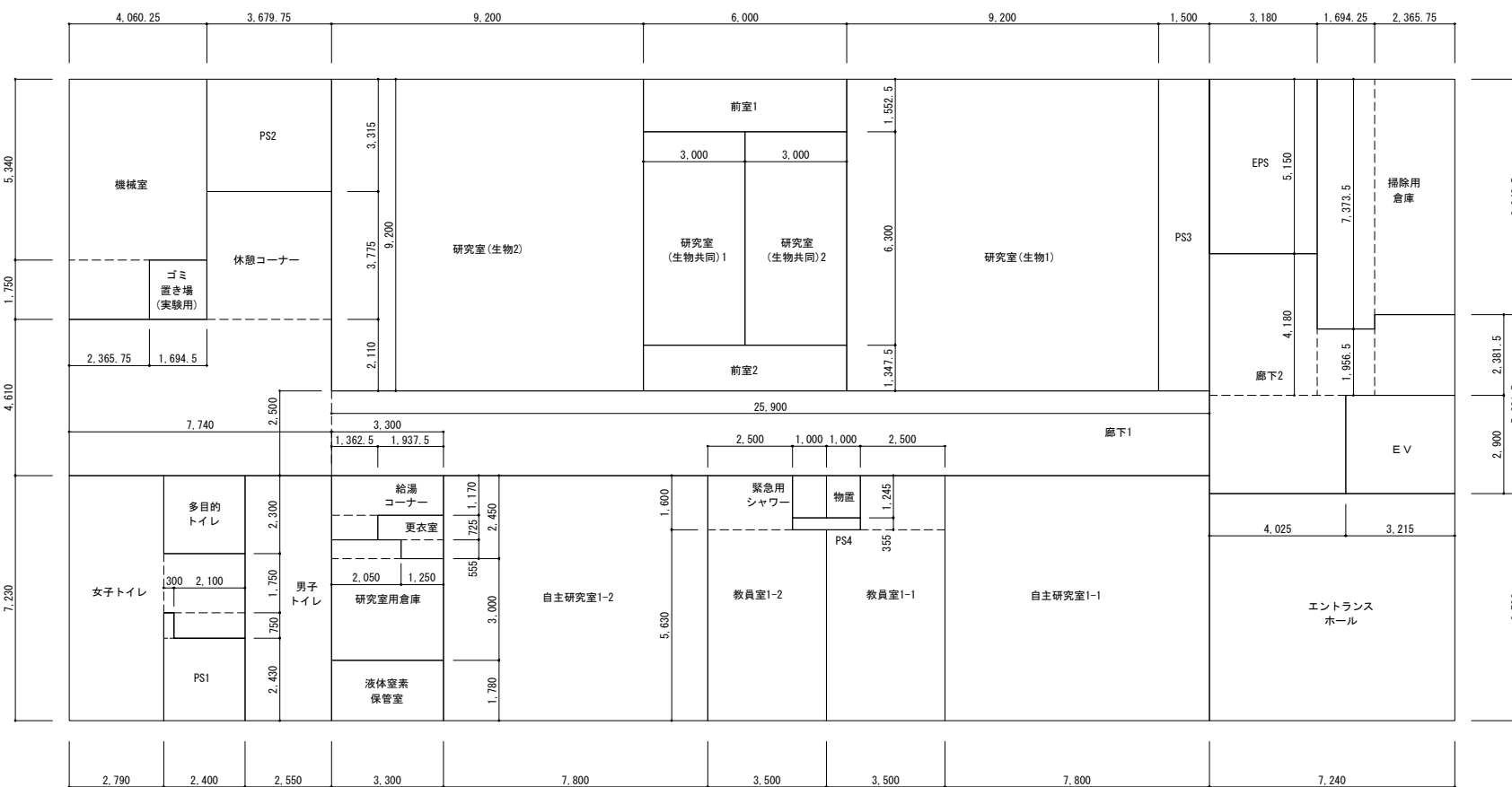
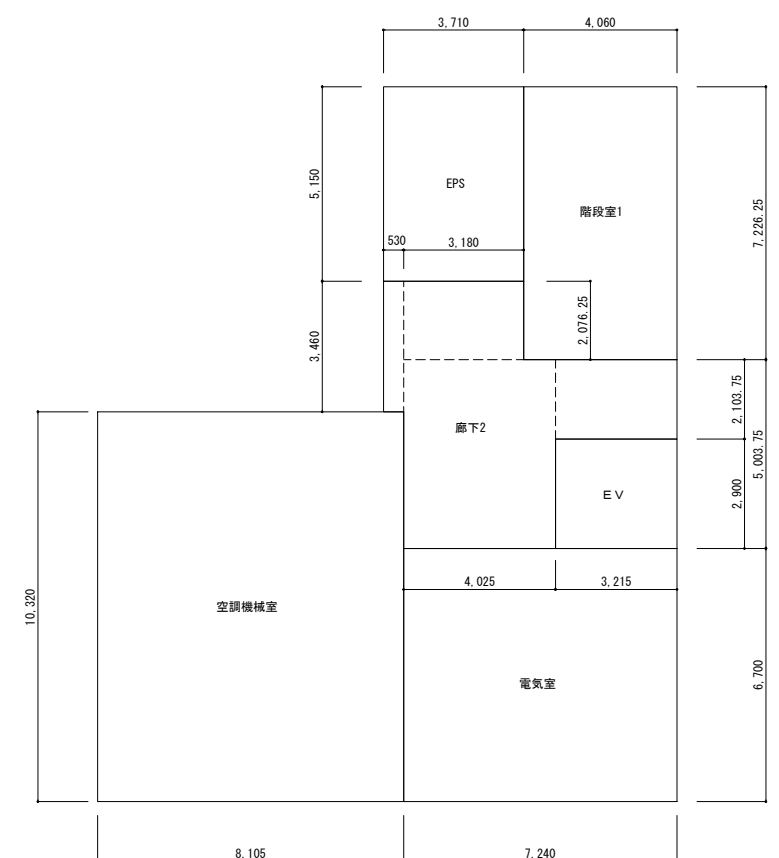
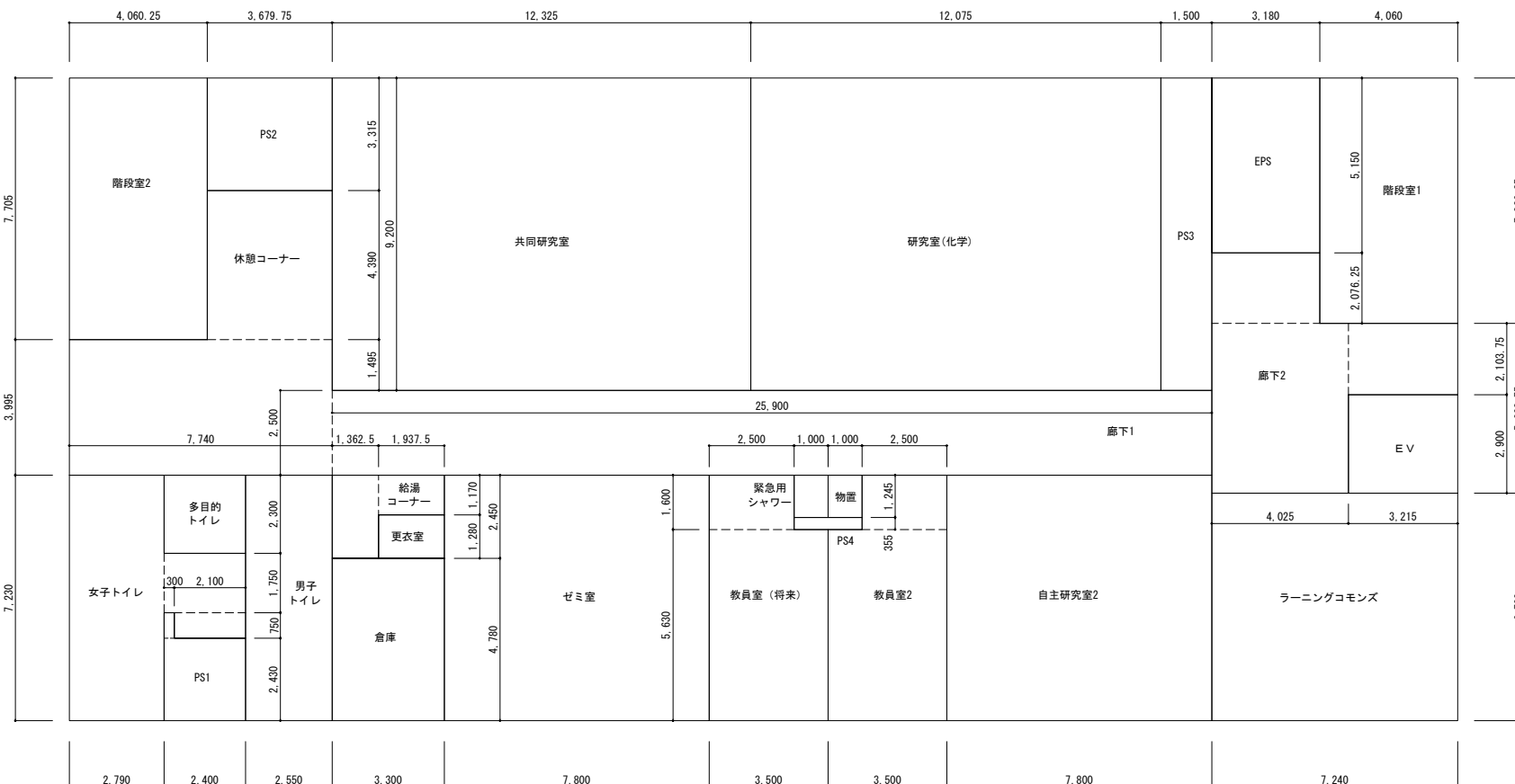
3 階求積図 1/100

3-3 ポンプ室 3.0㎡



1 階求積図 1/100

建物求積表						
名称	X(m)		Y(m)			面積
1-1	40.880	×	18.930	=	773.8584	
1-2	3.2425	×	2.600	=	8.4305	
1 階床面積	782.28890					782.28
2	40.880	×	18.930	=	773.8584	
2 階床面積	773.85840					773.85
3-1	7.770	×	8.610	=	66.8997	
3-2	15.345	×	10.320	=	158.3604	
3-3	1.500	×	2.000	=	3.0000	
3 階床面積	228.26010					228.26
延べ面積	1+2+3階床面積					1784.39
建築面積	1 階床面積					782.28



1 階各室求積図									
室名称	X(m)		Y(m)		室面積				
エントランスホール	7.240	×	6.700	=	48.508				
EV	3.215	×	2.900	=	9.3235				
廊下2	4.025	×	2.900	=	11.6725				
	3.180	×	4.180	=	13.2924				
	1.69425	×	1.9565	=	3.314800125				
	2.36575	×	2.3815	=	5.634033625				
掃除用倉庫	1.69425	×	7.3735	=	12.492552375				
	2.36575	×	6.9485	=	16.438413875				
EPS	3.1800	×	5.150	=	16.377				
自主研究室1-1	7.800	×	7.230	=	56.394				
教員室1-1	3.500	×	5.630	=	19.705				
	2.500	×	1.600	=	4.000				
物置	1.000	×	1.245	=	1.245				
緊急用シャワー	1.000	×	1.245	=	1.245				
PS4	2.000	×	0.355	=	0.71				
教員室1-2	3.500	×	5.630	=	19.705				
	2.500	×	1.600	=	4.000				
自主研究室1-2	7.800	×	7.230	=	56.394				
給湯コーナー	3.300	×	1.170	=	3.861				
	1.3625	×	0.725	=	0.9878125				
更衣室	1.9375	×	0.725	=	1.4046875				
	1.250	×	0.555	=	0.69375				
研究室用倉庫	2.050	×	0.555	=	1.13775				
	3.300	×	3.000	=	9.900				
液体窒素保管室	3.300	×	1.780	=	5.874				
男子トイレ	2.550	×	7.230	=	18.4365				
多目的トイレ	2.400	×	2.300	=	5.520				
	2.400	×	1.750	=	4.200				
女子トイレ	2.100	×	0.750	=	1.575				
	2.790	×	7.230	=	20.1717				
	0.300	×	0.750	=	0.225				
PS1	2.400	×	2.430	=	5.832				
	25.900	×	2.500	=	64.75				
廊下1	7.740	×	4.610	=	35.6814				
休憩コーナー	3.67975	×	3.775	=	13.89105625				
	7.740	×	4.610	=	35.6814				
PS3	1.500	×	9.200	=	13.8				
研究室(生物1)	9.200	×	9.200	=	84.64				
前室1	6.000	×	1.5525	=	9.3150				
研究室(生物共同)2	3.000	×	6.300	=	18.900				
研究室(生物共同)1	3.000	×	6.300	=	18.900				
前室2	6.000	×	1.3475	=	8.085				
研究室(生物2)	9.200	×	9.200	=	84.64				
PS2	3.67975	×	3.315	=	12.19837125				
	4.06025	×	5.340	=	21.681735				
機械室	2.36575	×	1.750	=	4.1400625				
	1.6945	×	1.750	=	2.965375				
ゴミ置き場 (実験用)	1.6945	×	1.750	=	2.965375				
合計					773.8584				

2階各室求積図									
室名称	X(m)		Y(m)		室面積				
ラーニングコモンス	7.240	×	6.700	=	48.508				
EV	3.215	×	2.900	=	9.3235				
廊下2	4.025	×	5.00375	=	20.14009375				
	3.215	×	2.10375	=	6.76355625				
	3.180	×	2.07625	=	6.602475				
階段室1	4.060	×	7.22625	=	29.338575				
EPS	3.1800	×	5.150	=	16.377				
自主研究室2	7.800	×	7.230	=	56.394				
教員室2	3.500	×	5.630	=	19.705				
	2.500	×	1.600	=	4.000				
物置	1.000	×	1.245	=	1.245				
緊急用シャワー	1.000	×	1.245	=	1.245				
PS4	2.000	×	0.355	=	0.710				
教員室 (将来)	3.500	×	5.630	=	19.705				
	2.500	×	1.600	=	4.000				
ゼミ室	7.800	×	7.230	=	56.394				
給湯コーナー	1.9375	×	1.170	=	2.266875				
	1.3625	×	2.450	=	3.338125				
更衣室	1.9375	×	1.280	=	2.480				
倉庫	3.300	×	4.780	=	15.774				
男子トイレ	2.550	×	7.230	=	18.4365				
多目的トイレ	2.400	×	2.300	=	5.520				
女子トイレ	2.400	×	1.750	=	4.200				
	2.100	×	0.750	=	1.575				
	2.790	×	7.230	=	20.1717				
PS1	0.300	×	0.750	=	0.225				
	2.400	×	2.430	=	5.832				
廊下1	25.900	×	2.500	=	64.75				
休憩コーナー	7.740	×	3.995	=	30.9213				
	3.67975	×	4.390	=	16.1541025				
PS3	1.500	×	9.200	=	13.8				
研究室 (化学)	12.075	×	9.200	=	111.09				
共同研究室	12.325	×	9.200	=	113.39				
PS2	3.67975	×	3.315	=	12.19837125				
階段室2	4.06025	×	7.705	=	31.28422625				
合計					773.8584				

3 階各室求積図									
室名称	X(m)		Y(m)		室面積				
電気室	7.240	×	6.700	=	48.508				
EV	3.215	×	2.900	=	9.3235				
廊下2	4.025	×	5.00375	=	20.14009375				
	3.215	×	2.10375	=	6.76355625				
	3.180	×	2.07625	=	6.602475				
	0.530	×	3.4600	=	1.8338				
階段室1	4.060	×	7.22625	=	29.338575				
EPS	3.710	×	5.150	=	19.1065				
空調機械室	8.105	×	10.320	=	83.6436				
ポンプ室	1.500	×	2.000	=	3.0000				
合計					228.2601				

LVLS計算書																
階数	室名	床面積	必要開口面積			建具NO	計算式					合計	判定			
							幅 W	高さ H	係数	個数 N						
1	自主研究室1-1	56.39	採光 換気 排煙	1/10 1/20 1/50	5.64 2.82 1.13	m m m	AW1	0.835	×	1.765	×	1	×	4	5.8951	○
1	教員室1-1	23.71	採光 換気 排煙	1/20 1/20 1/50	1.19 1.19 0.47	m m m	AW1	0.835	×	1.765	×	1	×	2	2.948	○
1	教員室1-2	23.71	採光 換気 排煙	1/20 1/20 1/50	1.19 1.19 0.47	m m m	AW1	0.835	×	1.765	×	1	×	2	2.948	○
1	自主研究室1-2	56.39	採光 換気 排煙	1/10 1/20 1/50	5.64 2.82 1.13	m m m	AW1	0.835	×	1.765	×	1	×	4	5.8951	○
1	研究室(生物1)	84.64	採光 法28条 但し書き										-			
			換気 第一種機械換気										-			
			排煙 令126条の2 但し書き										-			
1	研究室(生物共同)1	18.90	採光 換気 排煙	法28条 第一種機械換気 令126条の2 但し書き											-	
1	研究室(生物共同)2	18.90	採光 換気 排煙	法28条 第一種機械換気 令126条の2 但し書き											-	
1	研究室(生物2)	84.64	採光 換気 排煙	法28条 但し書き 第一種機械換気 令126条の2 但し書き											-	
2	ラーニングコモンス	48.51	採光 換気 排煙	1/10 4.85 令126条の2 但し書き	m m m	ACW1	0.835	×	2.840	×	1	×	3	7.1142	○	
2	自主研究室2	56.39	採光 換気 排煙	1/10 1/20 1/50	5.64 2.82 1.13	m m m	AW1	0.835	×	1.765	×	1	×	4	5.8951	○
2	教員室2	23.71	採光 換気 排煙	1/20 1/20 1/50	1.19 1.19 0.47	m m m	AW1	0.835	×	1.765	×	1	×	2	2.948	○
2	教員室 (将来)	23.71	採光 換気 排煙	1/20 1/20 1/50	1.19 1.19 0.47	m m m	AW1	0.835	×	1.765	×	1	×	2	2.948	○
2	ゼミ室	56.39	採光 換気 排煙	1/10 1/20 1/50	5.64 2.82 1.13	m m m	AW1	0.835	×	1.765	×	1	×	4	5.8951	○
2	研究室(化学)	111.09	採光 換気 排煙	法28条 但し書き 第一種機械換気 令126条の2 但し書き											-	
2	共同研究室	113.39	採光 換気 排煙	法28条 但し書き 第一種機械換気 令126条の2 但し書き											-	

消防無窓階判定															
階数	床面積	必要開口面積			建具NO	計算式				合計	判定				
						幅 W	高さ H	係数	個数 N						
1	773.85	無窓階判定	1/30	25.80	m	AW1	0.835	×	1.765	×	1	×	20	29.476	○
2	773.85	無窓階判定	1/30	25.80	m	AW1	0.835	×	1.765	×	1	×	20	29.476	○
3	228.26	無窓階判定	1/30	7.61	m	ACW1	0.835	×	2.354	×	1	×	4	7.862	○

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

日付 R07/10

工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

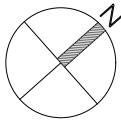
図面名称 室面求積表・LVLS計算
消防無窓階判定

縮尺 A1:1/100
A3:1/200

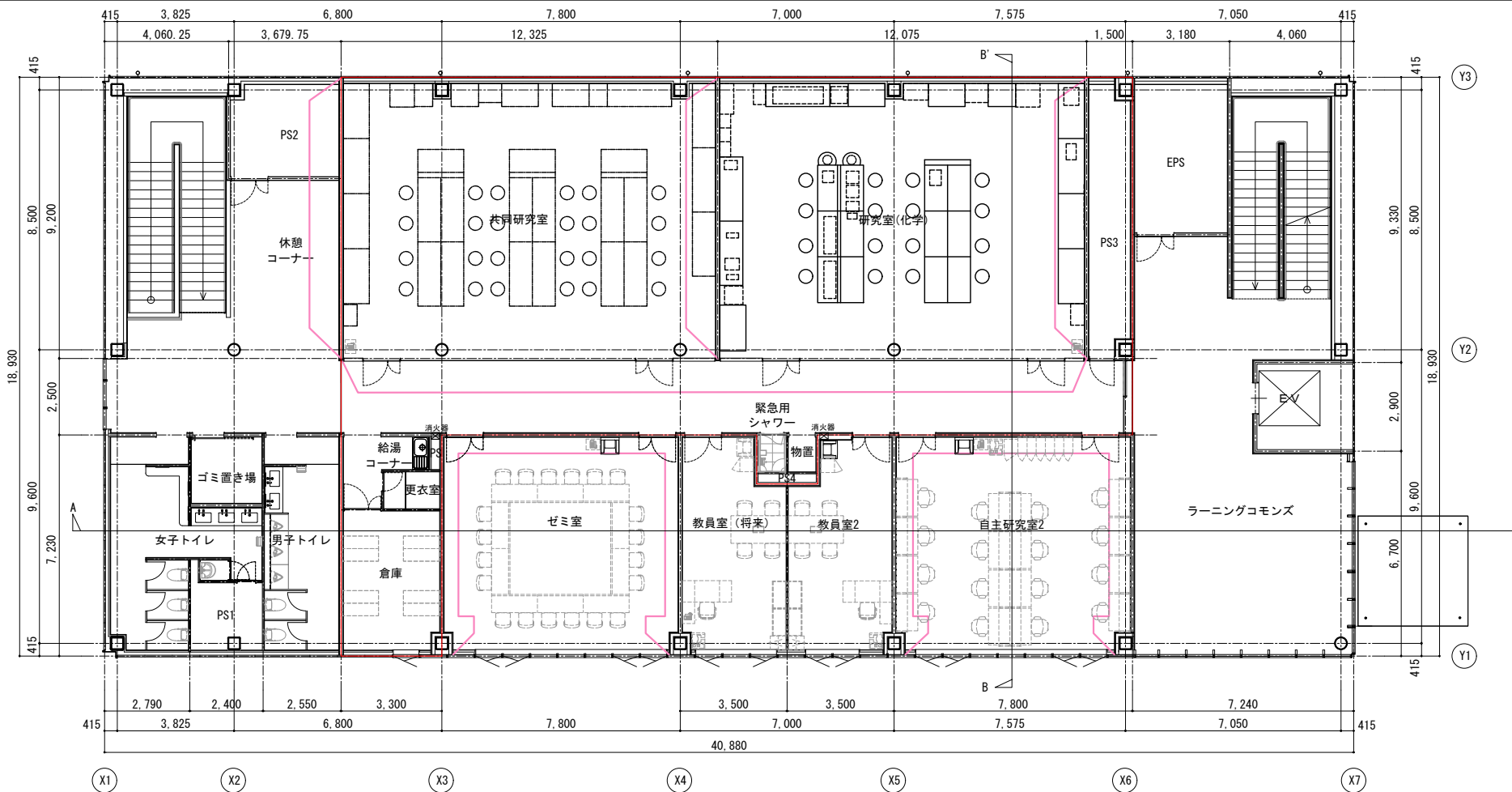
図面番号 A - 16

外 部 仕 上 表			凡 例 一 覧											
部 位	仕 上		備 考											
地中梁	コンクリート打放し (B種)													
外 壁	ECpt=60 ポリウレタン樹脂塗装 （1 時間耐火認定番号：FP060NE-9035）		サイン：ステンレス切文字t=5 焼付塗装 (指定色)											
外巾木	コンクリート打放し (B種) の上、DP塗装													
屋上機械置場	アスファルト防水 (保護) コンクリートt=80 断熱材t=35 A1-3 (耐火に対する告示：国土交通省告示第546号)		横引きドレン100φ (鑄鉄製)											
屋上部分	改質アスファルトシート防水 (露出・トーチ工法) 断熱材t=35 ASI-T1 (耐火に対する告示：国土交通省告示第546号)		ハト小屋、機械基礎：ウレタンゴム系塗膜防水X-2											
パラペット	コンクリート打放し (B種) +ウレタンゴム系塗膜防水X-2+ECpt=60		タラップ (ステンレス製)											
笠 木	ガルバリウム鋼板t=0.6加工		縦樋：アルミ89φ 設備架台：H-200 溶融亜鉛メッキ仕上 設備点検用歩廊 ステップ											
上屋	屋根：カラーガルバリウム鋼板t=0.4 (耐火に対する告示：国土交通省告示第546号) アスファルトルーフィング940 木毛セメント板t=25 垂木C形鋼 耐火被覆：ロックウール吹付t=25		縦樋：50φ SUS304 2B仕上げ 防風パネル：無孔折板W=250 H=68 St-1.6 低光沢処理 (高耐食性めっき鋼板)											
幕板	幕板：アルミパネルt=4 天井：アルミパネルt=4 鉄骨柱・梁：溶融亜鉛メッキ仕上げ 耐火塗料													
			認 定 番 号											
			材料 (仕様)		認定番号		材料 (仕様)		認定番号		材料 (仕様)		認定番号	
			石膏ボード t=12.5		NM-8619		化粧ケイ酸カルシウム板		NM-3073		硬質ウレタンフォーム		NM-4962	
			化粧石膏ボード t=9.5		NM-1864		ケイ酸カルシウム板		NM-4971		EP, EP-G, SOP		不燃基材 NM-8585	
			シーリング石膏ボード t=12.5		NM-9639						DP		不燃基材 NM-1482 NM-1538	

内 部 仕 上 表												内外仕上共通事項（特記なき限り以下による）							
階	室 名	床		巾木	壁		天井		廻り縁	天井高さ	備考								
		下地			下地						本工事	別途工事							
2階	ラーニングcommons	C	VS t=2.0	VB H=60	LGS	VC（不燃）	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=3,000	ロールスクリーンボックス(アルミ製) ロールスクリーン	備品（イス・テーブル等）	・ 床仕上げレベルはFL±0とする。 ・ VS貼りは目地溶接処理を施す。 ・ 外部出入口・トイレ等に面する箇所のVS貼りに用いる接着剤は出入口より1mの範囲をエポキシ系とする。						
	自主研究室	C	VS t=2.0	VB H=60	LGS	VC（不燃）	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=3,000	ブラインドボックス(アルミ製) アルミ製ブラインド W=25 化粧洗面台（電気温水器共）（A工事）	備品（イス・テーブル等）	・ 建物内の床仕上げ下地はセルフレベリングとする。 ・ VSの貼り分け部分には見切縁（SUS FB-4）を入れる。						
	教員室	C	VS t=2.0	VB H=60	LGS	VC（不燃）	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=3,000	ブラインドボックス(アルミ製) アルミ製ブラインド W=25 化粧洗面台（電気温水器共）（A工事）	備品（イス・テーブル等）	2. 壁廻り ・ LGS壁下地は天井高2.7m以下は50型、4m以下は65形、4mを超える場合は100形とする。						
	教員室（将来）	C	VS t=2.0	VB H=60	LGS	VC（不燃）	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=3,000	ブラインドボックス(アルミ製) アルミ製ブラインド W=25	備品（イス・テーブル等）	・ VC下地の出隅部分には下地補強材を入れる。（フクビエココーナーテープ程度） ・ ボード壁の吹付け、塗装等の下地にはジョイント部にバテ目止めを施す。						
	ゼミ室	C	VS t=2.0	VB H=60	LGS	VC（不燃）	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=3,000	ブラインドボックス(アルミ製) アルミ製ブラインド W=25 化粧洗面台（電気温水器共）（A工事）	備品（イス・テーブル等）	・ 外部に面する壁には硬質ウレタンフォーム（t=25）を施す。（吹き返し450：梁型、柱型は側面まで） ・ 外部に面する室内側（北面全面）の壁には防湿フィルムを施す。						
	研究室 共同研究室	C	VS（耐薬品性）t=2.0 巻き上げ H=200(専用役物共)	-	LGS	VC（不燃）	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=3,000	各種実験台・ドラフトファンバー （共同研究室は将来工事）		3. 天井廻り ・ 特記無い天井下地材はLGSとする。						
	給湯コーナー	C	VS t=2.0	VB H=60	LGS	VC（不燃）	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=2,400	流し台（A工事）		・ 天井ふところが1500mm以上となるLGS下地には振れ止めを設ける。（@1800mm程度） ・ 天井板が目隠しとなる場合、目地底にはテープ貼りをする。						
	倉庫	C	VS（耐薬品性）t=2.0 巻き上げ H=200(専用役物共)	-	LGS	VC（不燃）	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=2,400			4. その他 ・ サッシ廻り及び各フロアレベル等、漏水の恐れがある場所その他納まり上必要な箇所はシーリングを施す。 ・ ビット部は止水板もしくは水膨張シール材にて止水処理を施すこと。						
1階 2階 共通	廊下 休憩コーナー	C	VS t=2.0	VB H=60	LGS	VC（不燃）	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=3,000	ビクチャーレール 消火器収納箱（壁埋込）		・ 寸法は全てパネル割り、納まり取合い等により調整を行う。 ・ 保護コンクリートは金網入り（ワイヤーメッシュφ6-100×100）とする。						
	PS/EPS	C	コンクリート金ゴテ押え(素地)	-	LGS	ボード素地	-	デッキプレート表し	-	-	床下点検口		・ 基礎廻りなどコンクリート打ち放し箇所及びモルタル塗り箇所は面取りとする。 ・ ビット土間と地中梁を打継ぐ場合は止水処理をする事。						
	男子トイレ 女子トイレ	C	VS（抗菌・消臭）t=2.0 一部 汚垂タイル	VB H=60	LGS	CFK t=6	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=2,400	ライニング、トイレノース、カウンター、姿見鏡、化粧鏡、バケツコーナー鏡 衛生器具（M工事）、紙巻器（M工事） チャームボックス（M工事）		・ PSの壁に点検戸を取り付けない箇所は点検枠（300×300）を設け、点検できるようにする。 ・ 異種金属の取り合う箇所は絶縁処理を行うこととする。						
	バリアフリートイレ	C	VS（抗菌・消臭）t=2.0	VB H=60	LGS	CFK t=6	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=2,400	化粧鏡 コンパクトバリアフリートイレバック（M工事）		・ 手摺等取付補強材は鋼製補強材を原則とする。 ・ コンクリート打放しの見え掛かり箇所は補修を含む。						
	更衣室	C	VS t=2.0 TOP t=6.0	VB H=60	LGS	VC（不燃）	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=2,400	上がり框（木製CL）		・ モルタルもしくは防水モルタル等の仕上箇所は@1500程度に目地切りとする。 ・ SUS材料はSUS304を使用し、見え掛かり部で特記のないものはヘアライン仕上とする。						
3階	電気室	C	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装	-	LGS	ボード素地	-	デッキプレート表し	-	-			・ GL以下の外周部の土に接する箇所の型枠セパレータは止水型を用いる。 ・ アルミ材の見え掛かり部は電解着色とする。						
	空調機械室	C	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装	-	LGS	ボード素地	-	デッキプレート表し	-	-	出入口ステップ		・ 別途工事で設置上必要な補強は本工事に含む。 ・ 仕上を塗装又はクロスとする場合で下地種類が変わる部分には割れ防止の為の目地を設ける。						
	廊下	C	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装	VB H=60	LGS	VC（不燃）	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=3,000	ハト小屋点検口		・ 使用材料は全てJIS、JASS適合品及び大臣認定品とする。 ・ 室内使用材料及び建具、家具材は全てF☆☆☆☆を使用する。						
共通	階段室	C	VS t=2.0	-	LGS	VC（不燃）	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ製	CH=3,000	手摺、ノンスリップ		・ 塗料、加工用接着剤は全てF☆☆☆☆を使用する。 ・ 天井裏、小屋裏、床裏等の下地材、断熱材は全てF☆☆☆☆以上を使用する。						
	ビット エレベータービット	C	ポリマーセメント系塗膜防水	-	-	ポリマーセメント系塗膜防水	-	硬質ウレタンフォーム吹付 t=25	-	-			・ 加工材料の使用禁止。						
(A1→A3 = 50%縮小)				株式会社 笹戸建築事務所			管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大			日付 R07/10		工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事		図面名称 仕上表 2		縮尺 A1:- A3:-		図面番号 A - 18	



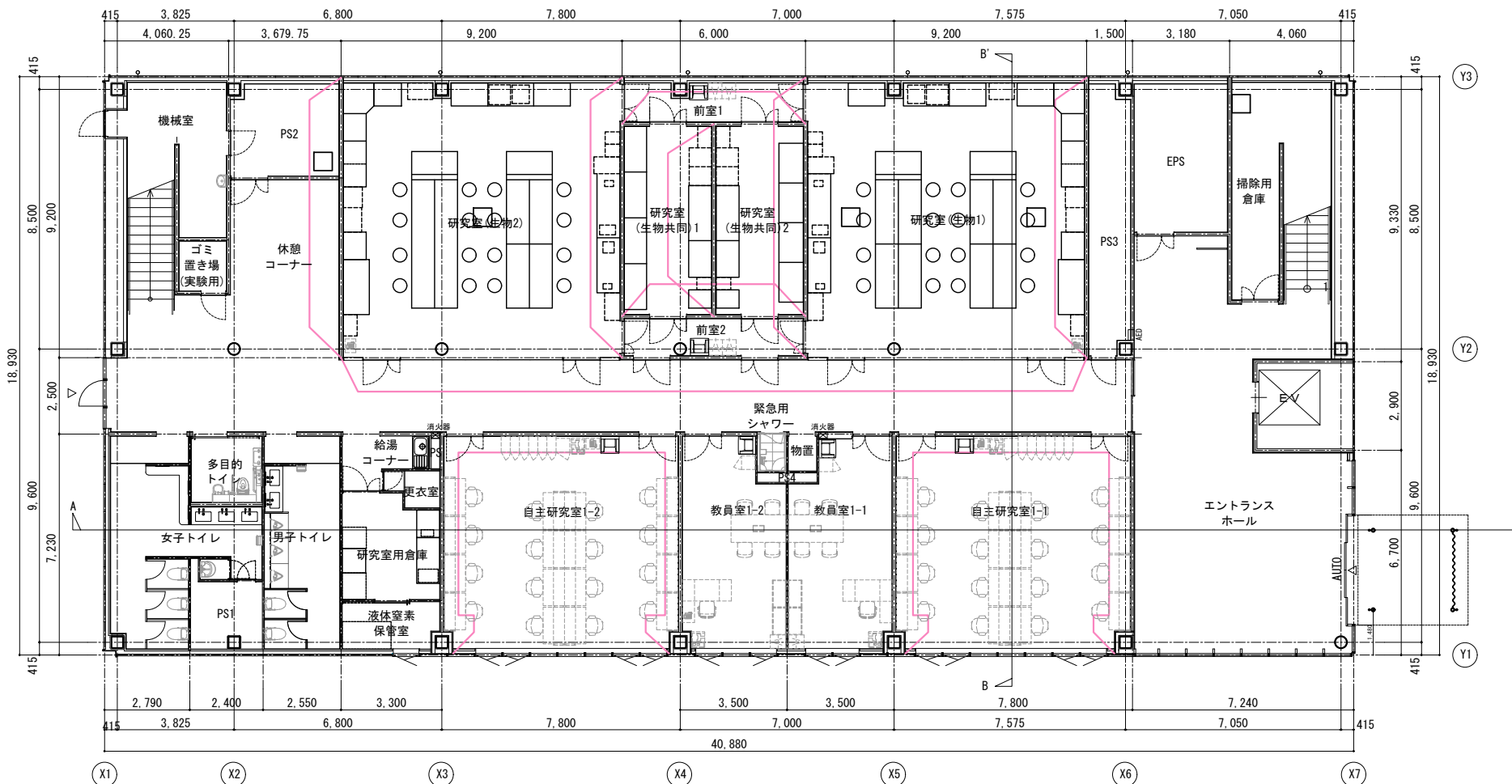
階段 2
蹴上 : 156.25mm
蹴面 : 300mm
踊場 : 1,546.5mm
幅 : 1,500mm



2階平面図 1/100

階段 1
蹴上 : 156.25mm
蹴面 : 300mm
踊場 : 1,510mm
幅 : 1,500mm

階段 2
蹴上 : 156.25mm
蹴面 : 300mm
踊場 : 1,546.5mm
幅 : 1,500mm



1階平面図 1/100

階段 1
蹴上 : 156.25mm
蹴面 : 300mm
踊場 : 1,510mm
幅 : 1,500mm

- 凡例
- 面積区画 : 壁・床1時間耐火、特定防火設備
 - 114区画 : 生徒が利用する居室と廊下、居室間の壁 (スラブ裏まで)

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

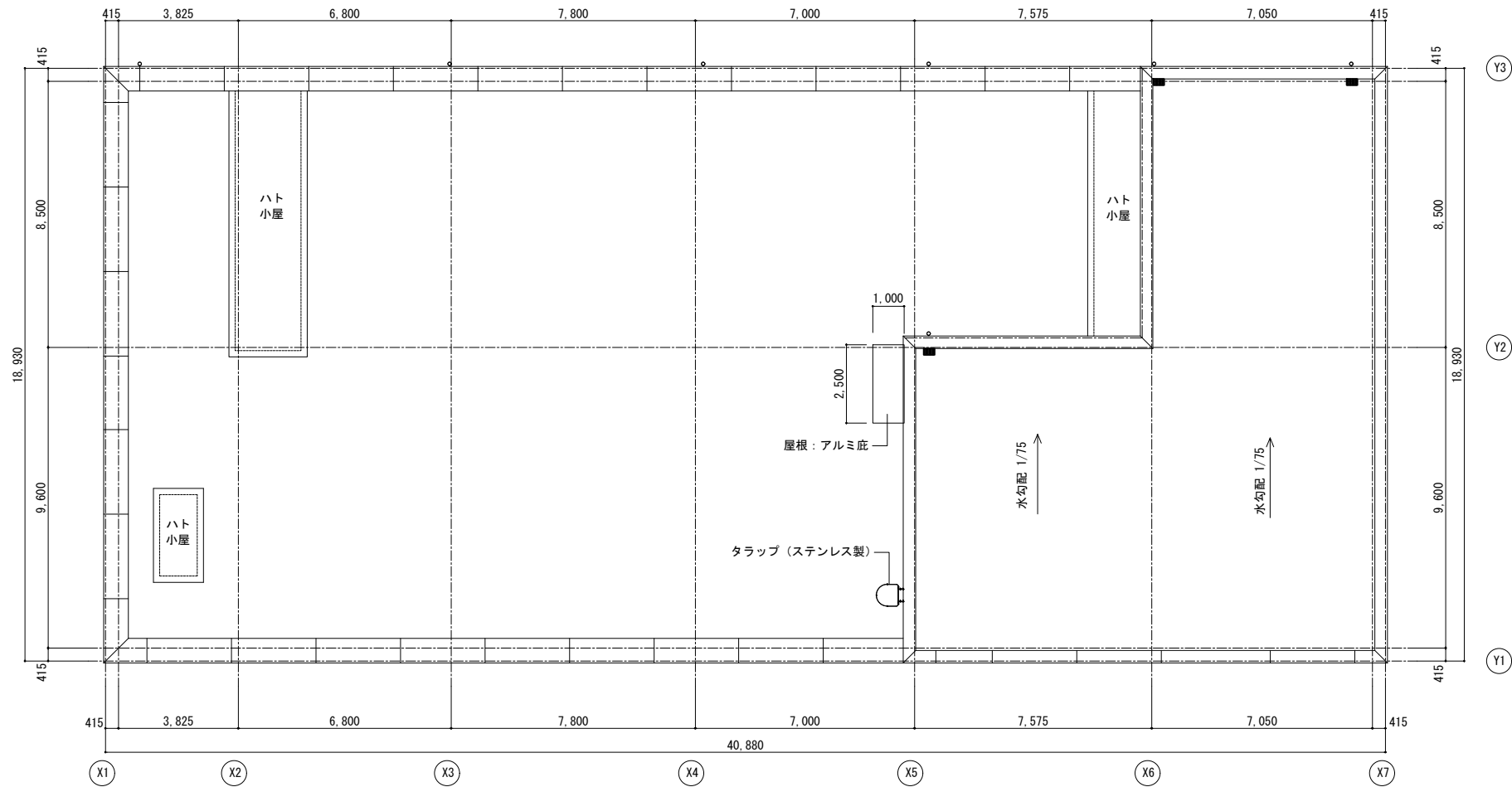
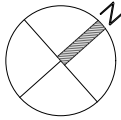
日付
R07/10

工事名称
山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

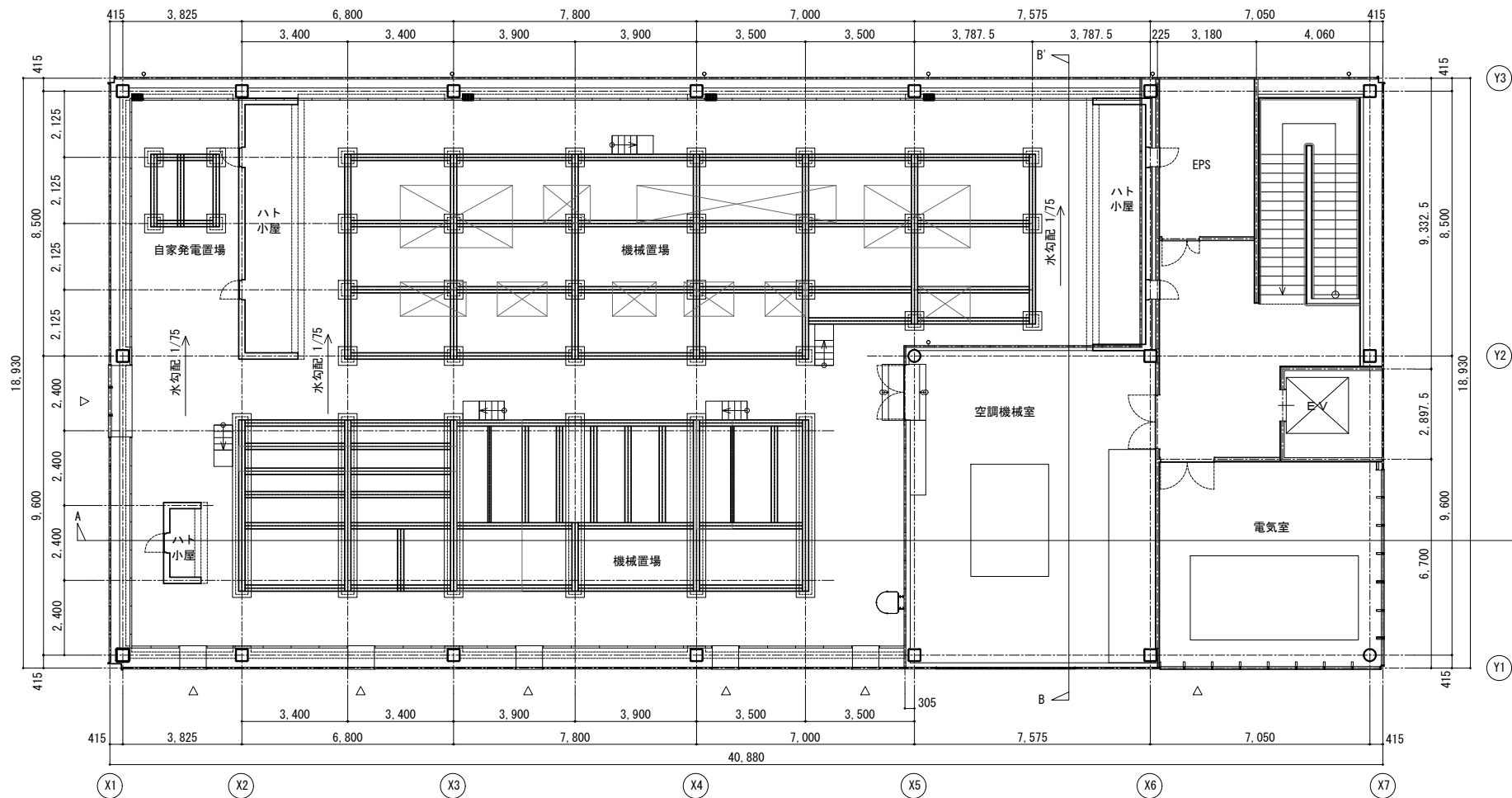
図面名称
1・2階平面図

縮尺
A1:1/100
A3:1/200

図面番号
A - 19



屋上平面図 1/100



3階平面図 1/100

階段 1
蹴上: 156.25mm
蹴面: 300mm
踊場: 1,510mm
幅: 1,500mm

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

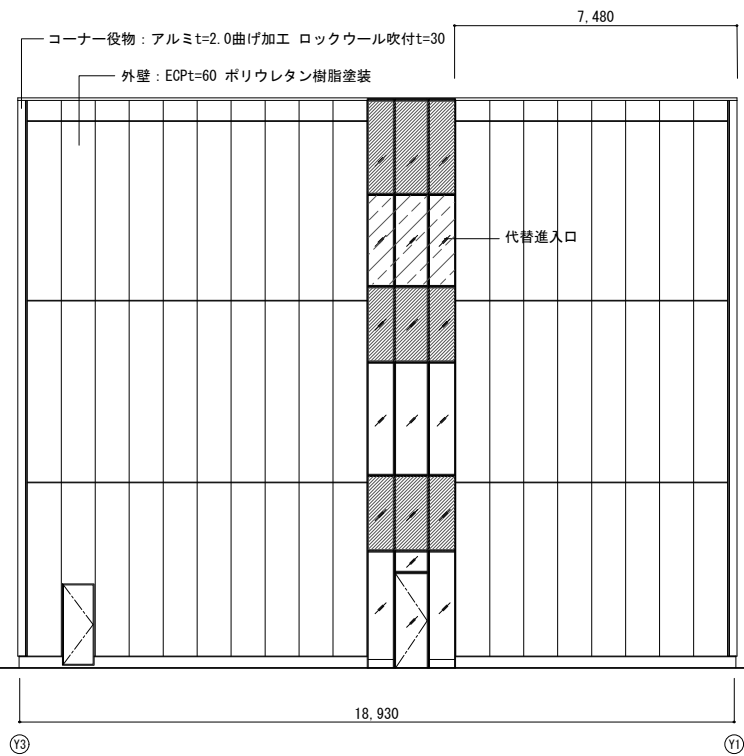
日付
R07/10

工事名称
山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

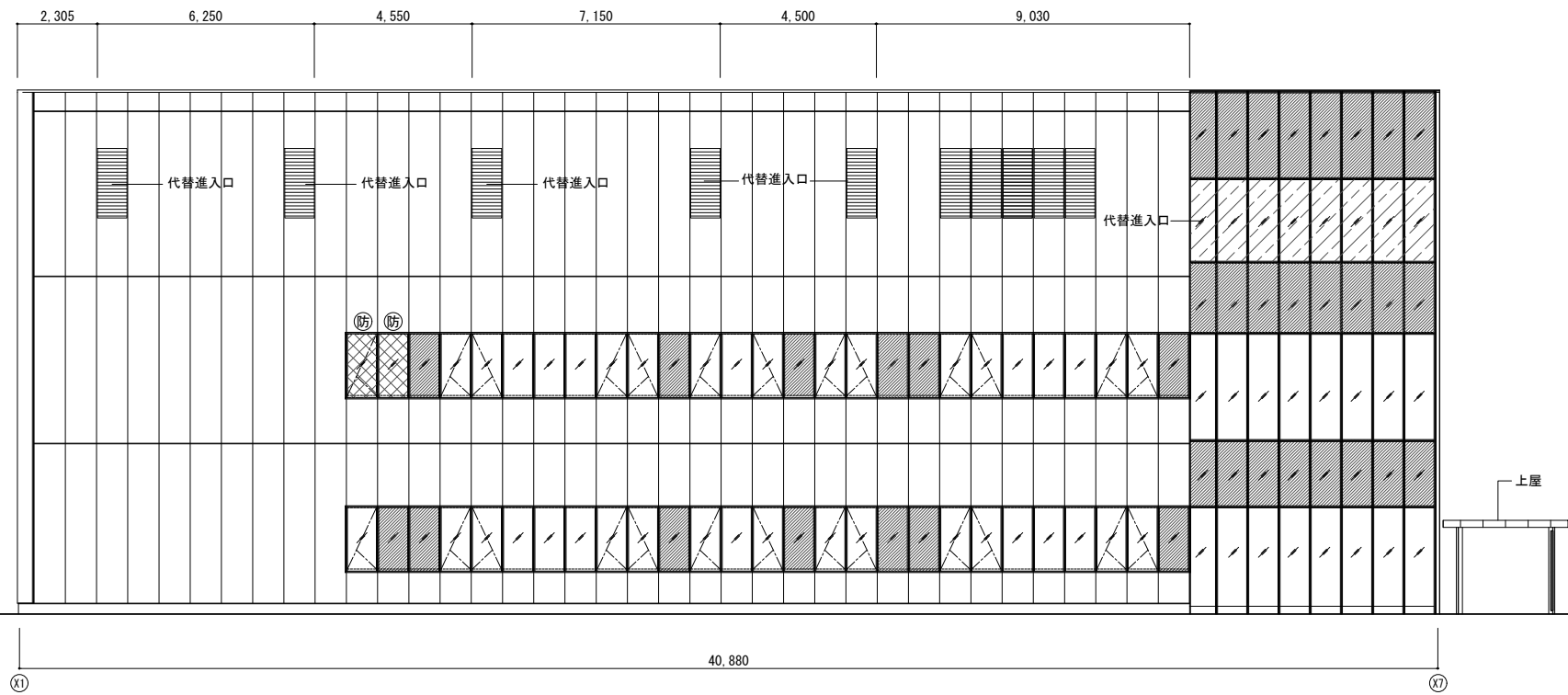
図面名称
3階・屋上平面図

縮尺
A1:1/100
A3:1/200

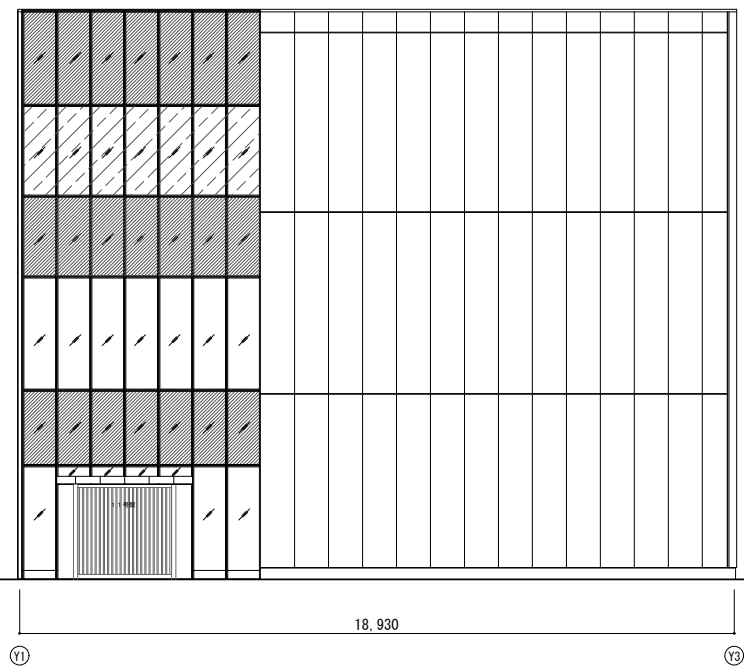
図面番号
A - 20



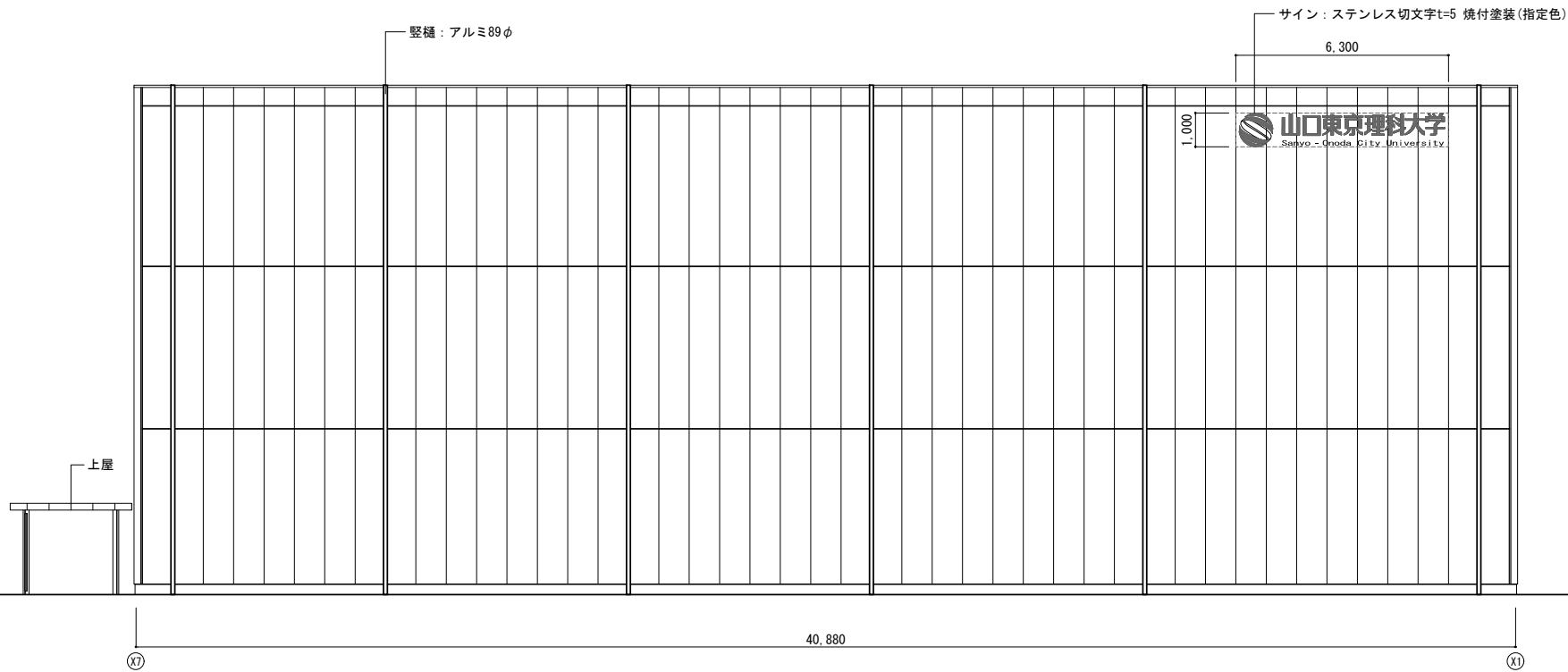
西側立面図 1/100



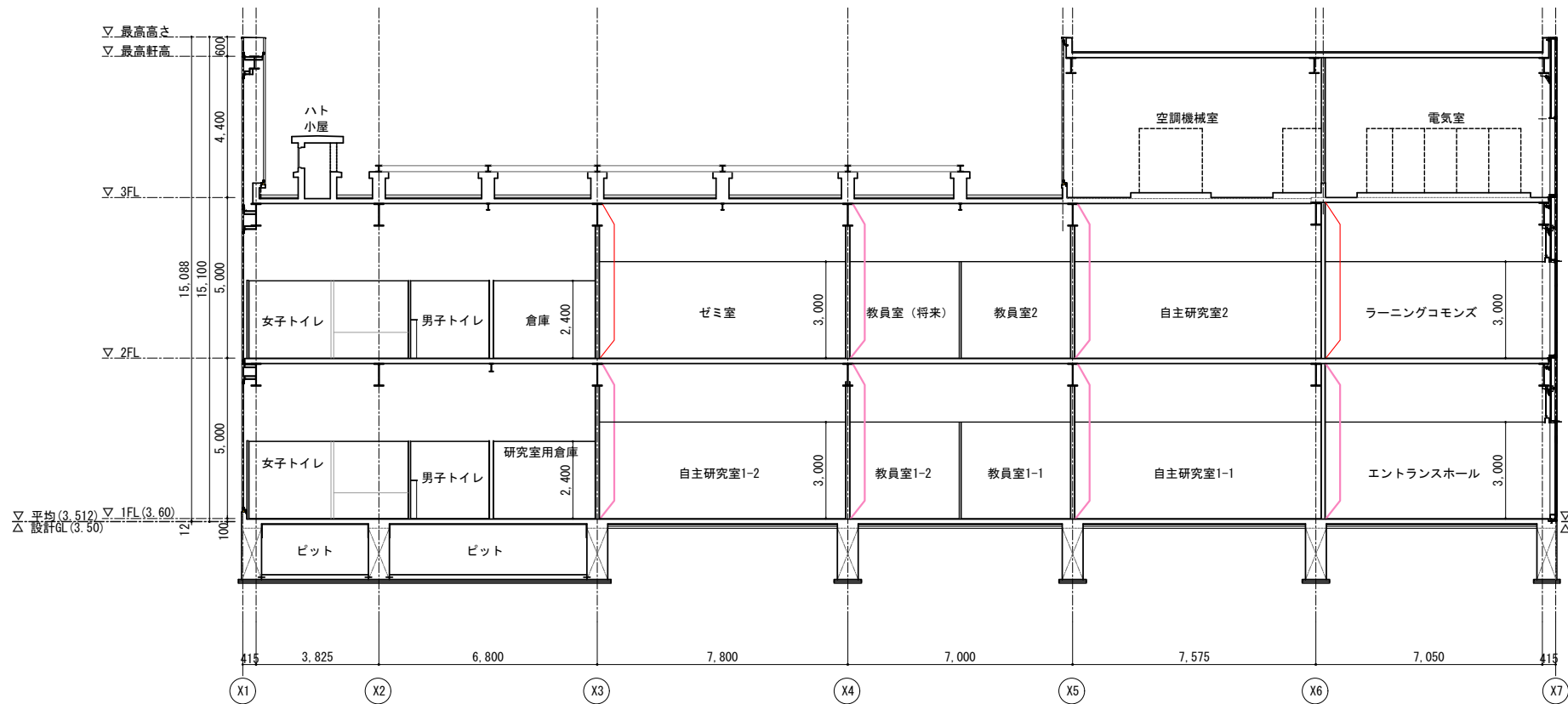
南側立面図 1/100



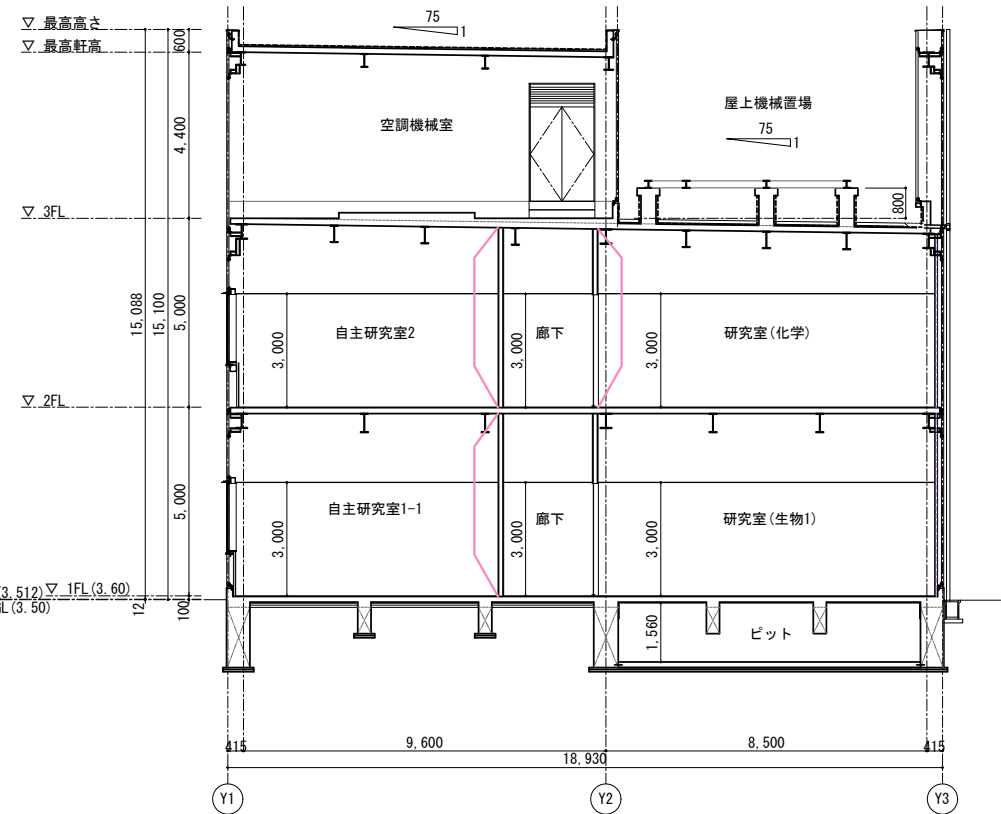
東側立面図 1/100



北側立面図 1/100

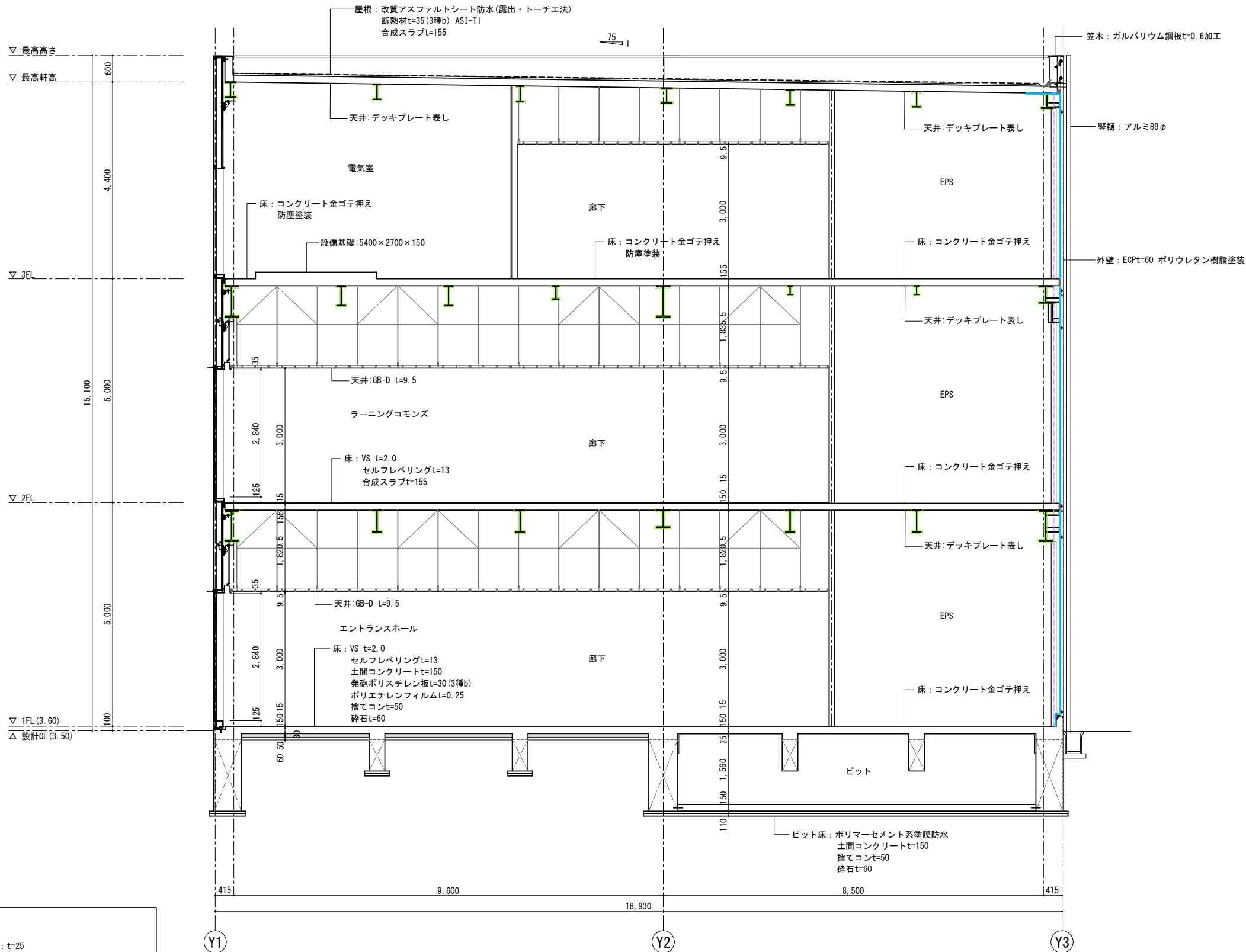


A-A' 断面図 1/100

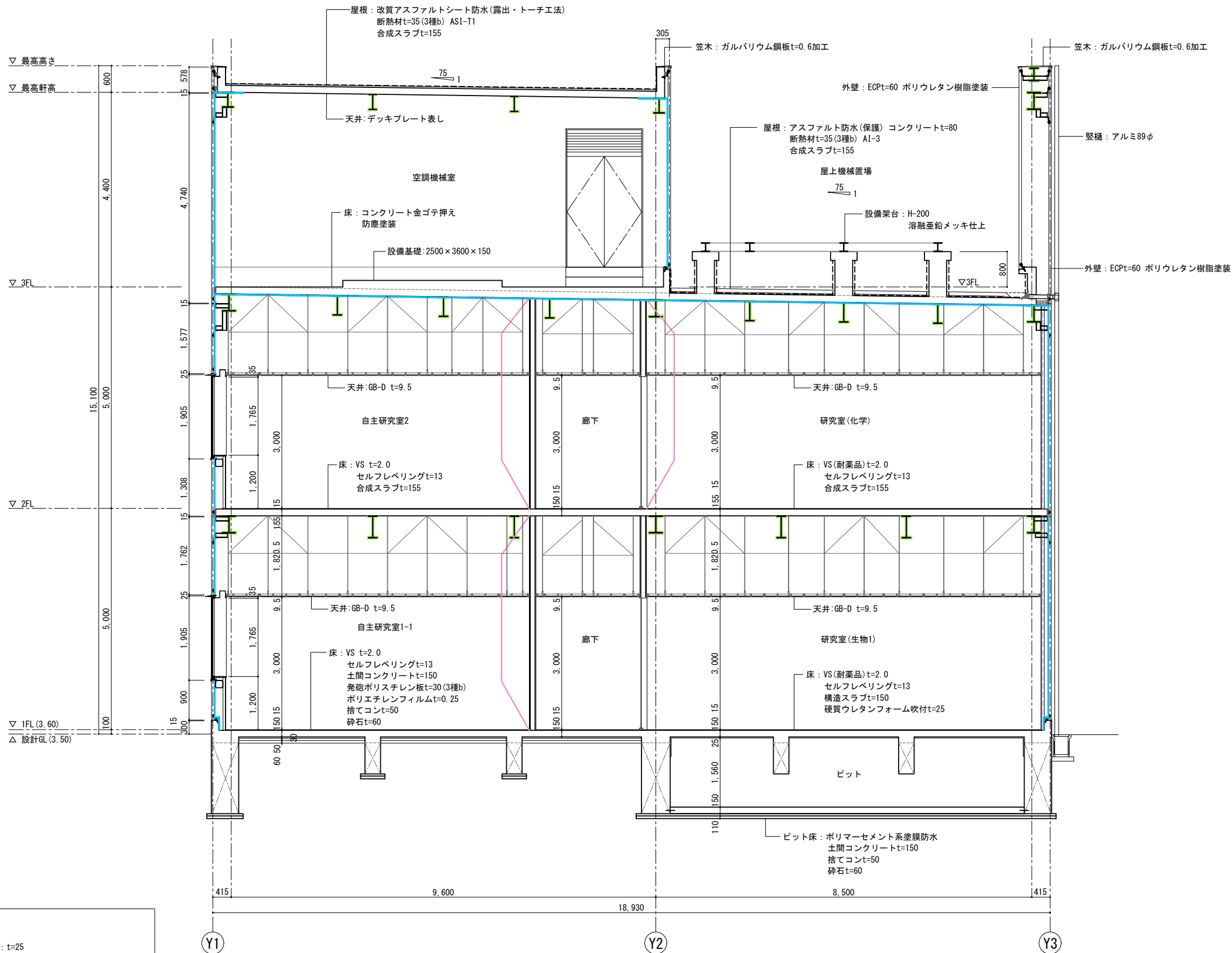


B-B' 断面図 1/100

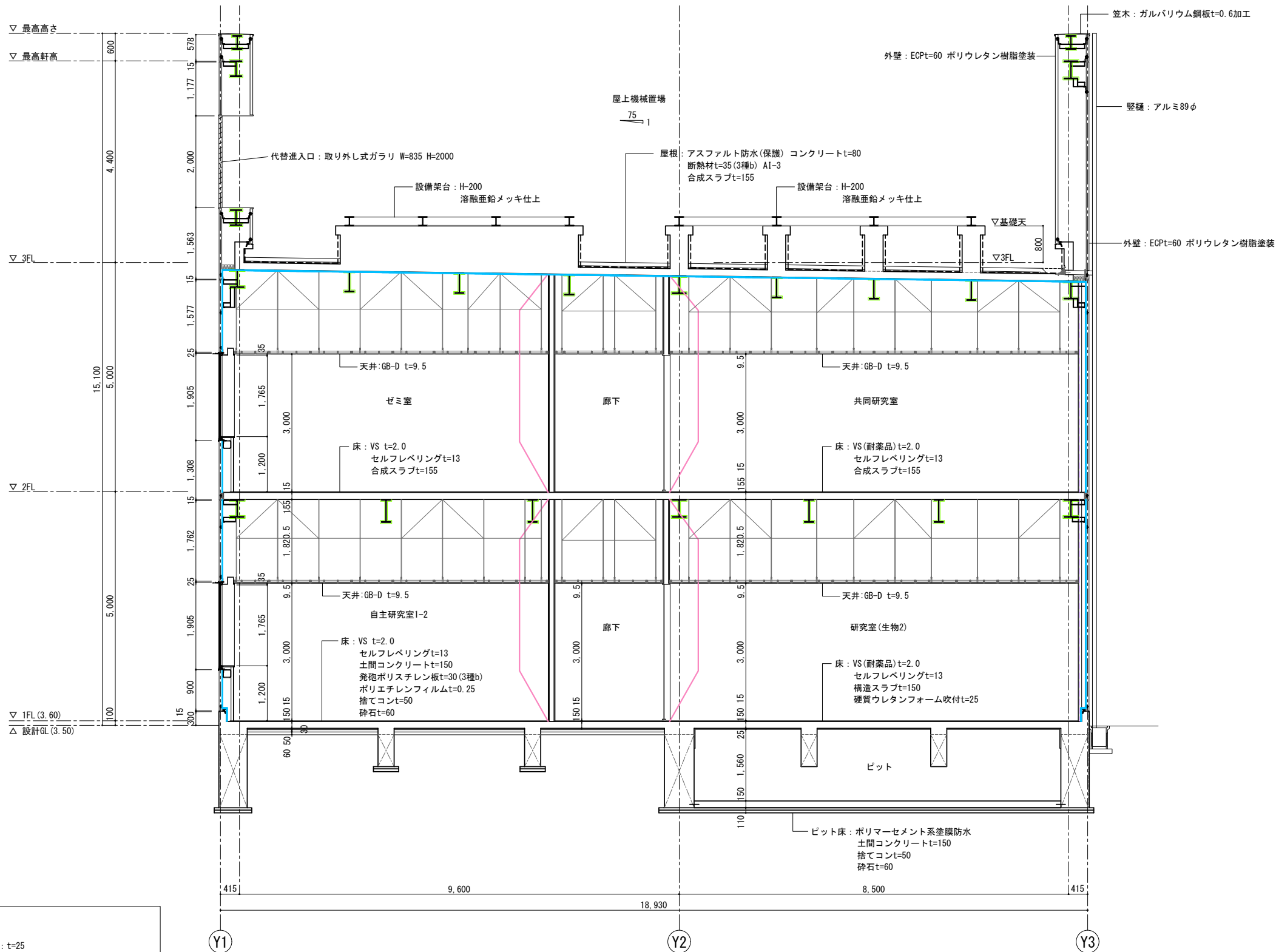
- 凡例
- 面積区画：壁・床 1 時間耐火、特定防火設備
 - 114区画：生徒が利用する居室と廊下、居室間の壁（スラブ裏まで）



- 凡例
- 耐火被覆：ロックウール吹付 梁：t=25
 - 断熱材：硬質ウレタンフォーム吹付 A種1H t=25
 - 114区画：生徒が利用する居室と廊下、居室間の壁（スラブ裏まで）
 - 防湿フィルム貼り：ポリエチレンフィルム t=0.1

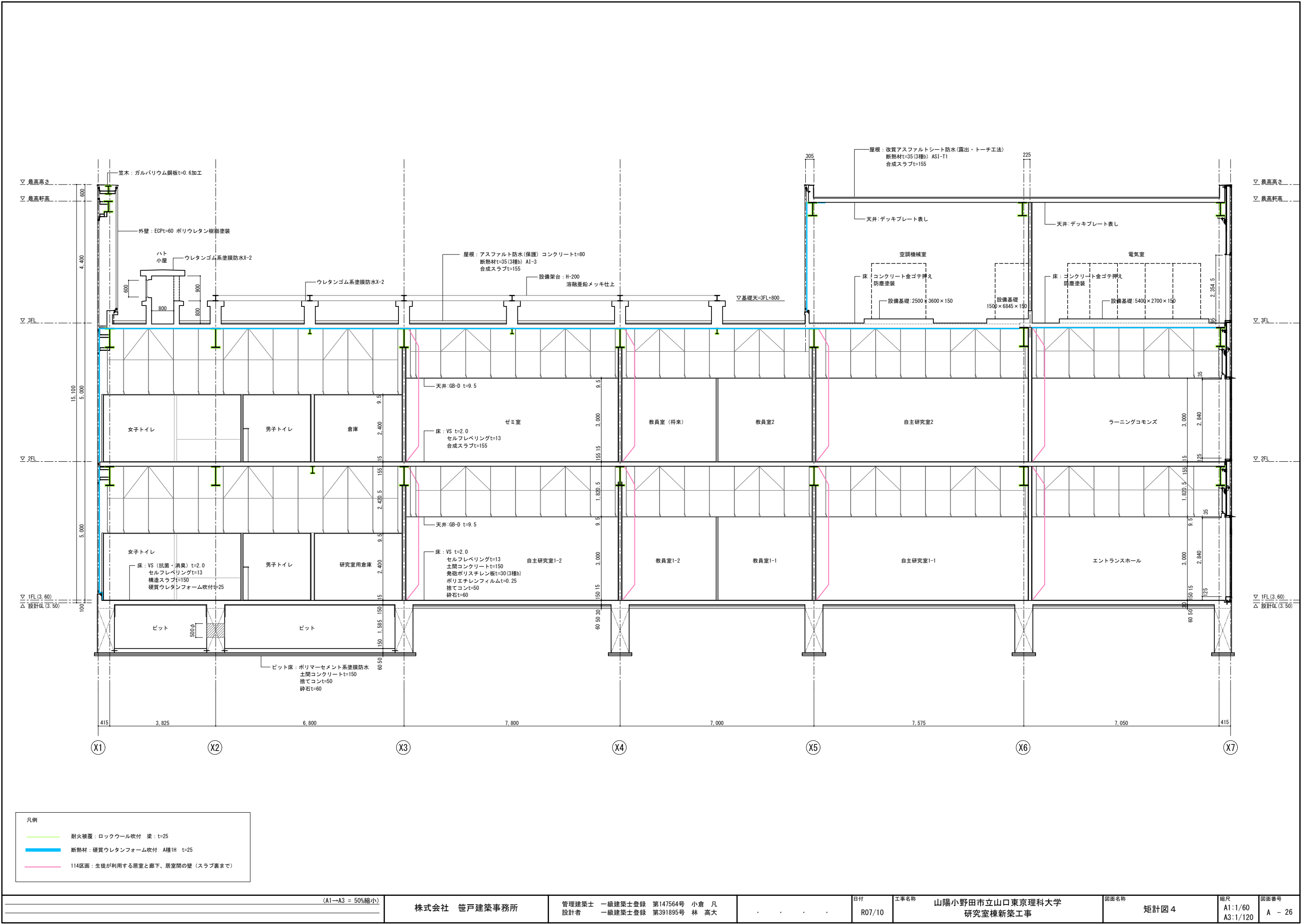


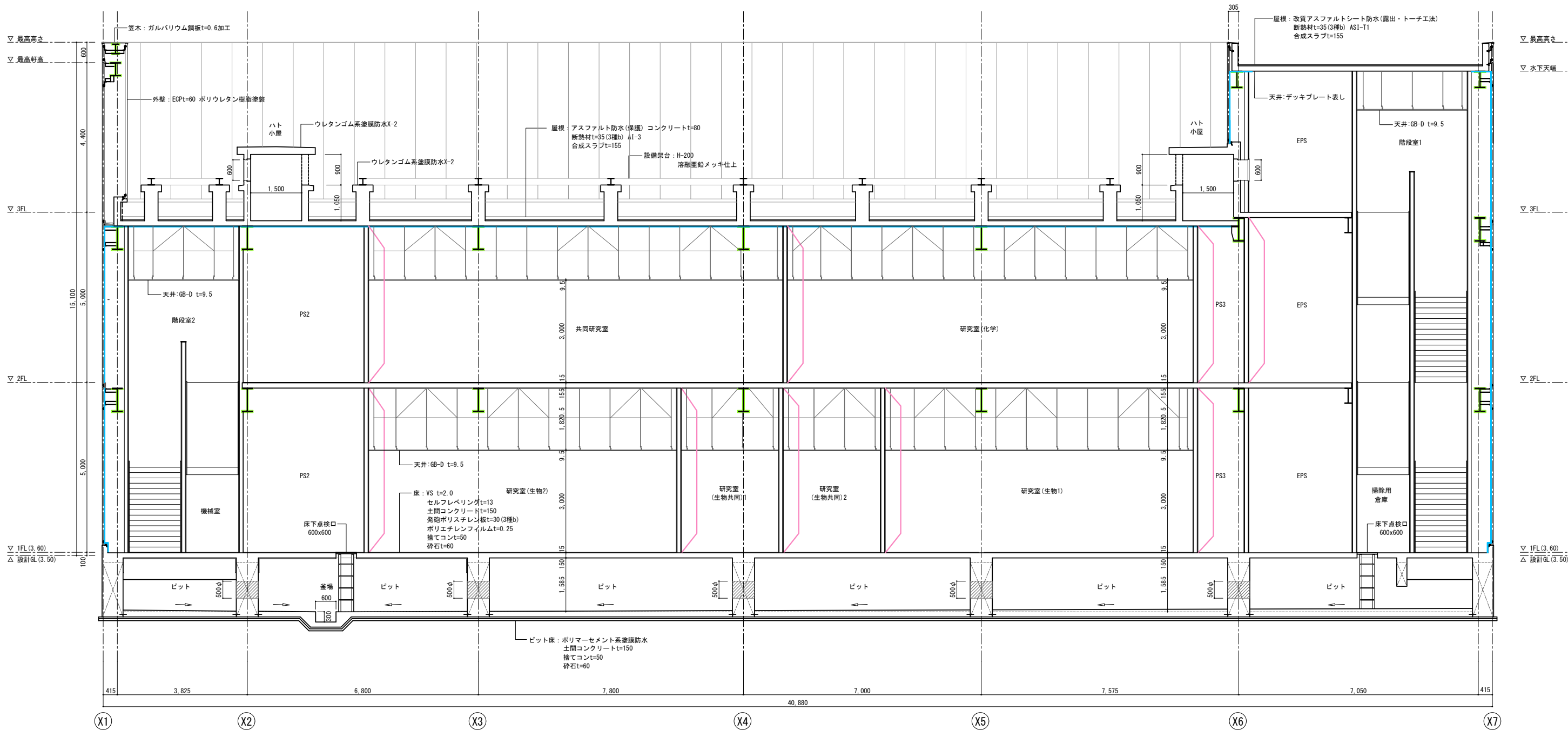
- 凡例
- 耐火被覆: ロックウール吹付 梁: t=25
 - 断熱材: 硬質ウレタンフォーム吹付 A種1H t=25
 - 114区画: 生徒が利用する居室と廊下、居室間の壁 (スラブ裏まで)
 - 防湿フィルム貼り: ポリエチレンフィルム t=0.1



凡例

- 耐火被覆：ロックウール吹付 梁：t=25
- 断熱材：硬質ウレタンフォーム吹付 A種1H t=25
- 114区画：生徒が利用する居室と廊下、居室間の壁（スラブ裏まで）
- 防湿フィルム貼り：ポリエチレンフィルム t=0.1



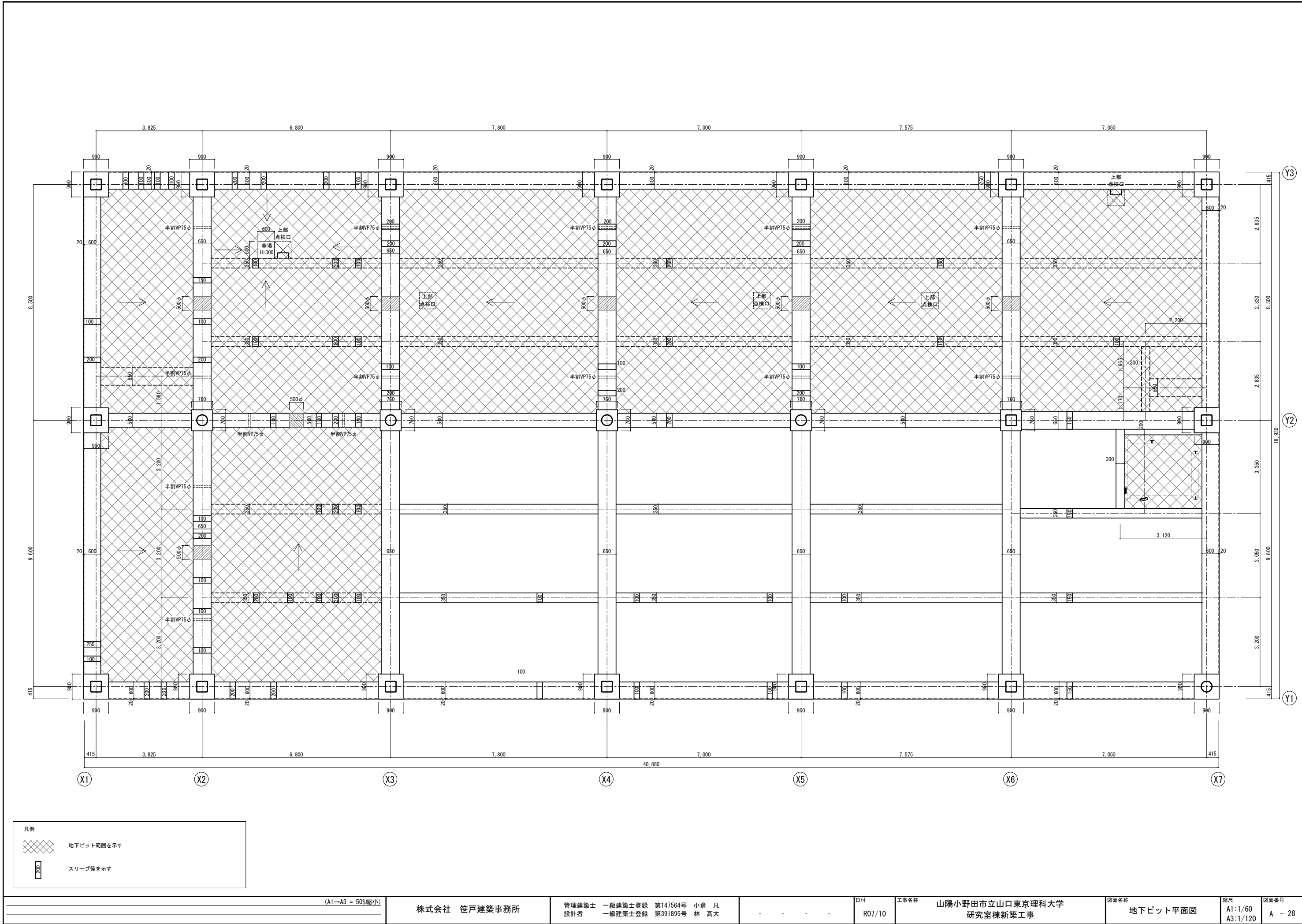


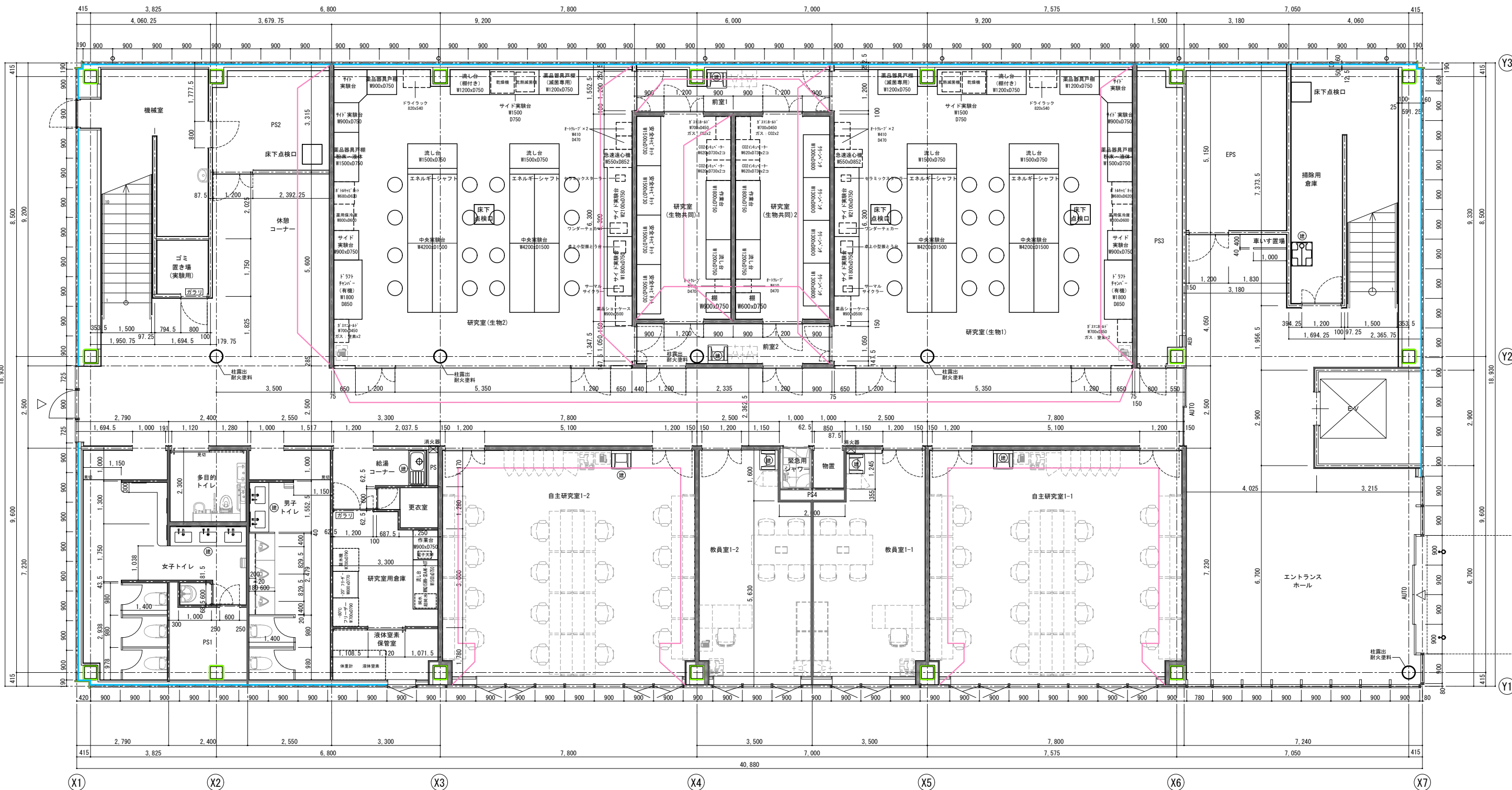
凡例

耐火被覆: ロックウール吹付 梁: t=25

断熱材: 硬質ウレタンフォーム吹付 A種1H t=25

114区画: 生徒が利用する居室と廊下、居室間の壁 (スラブ裏まで)





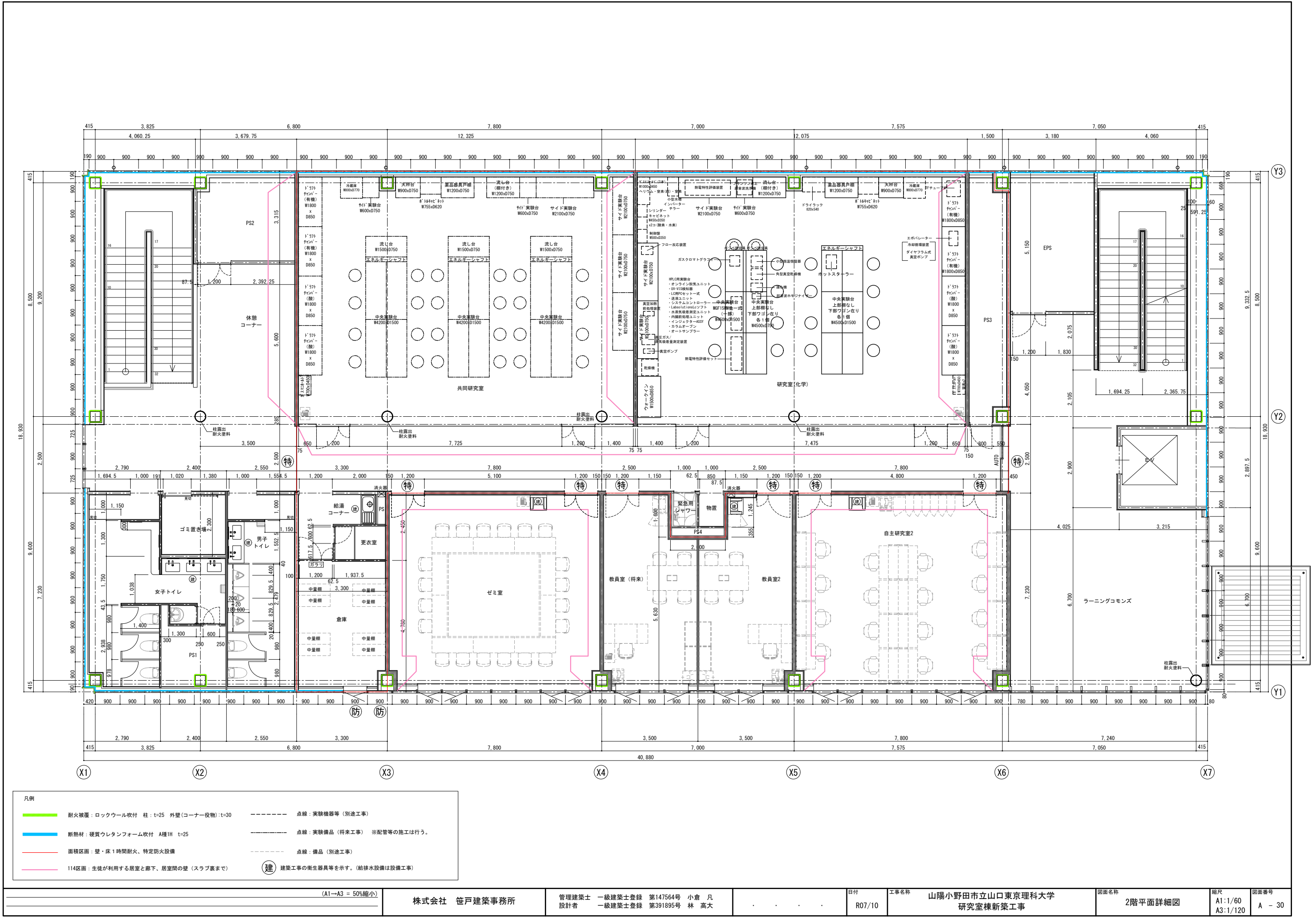
凡例

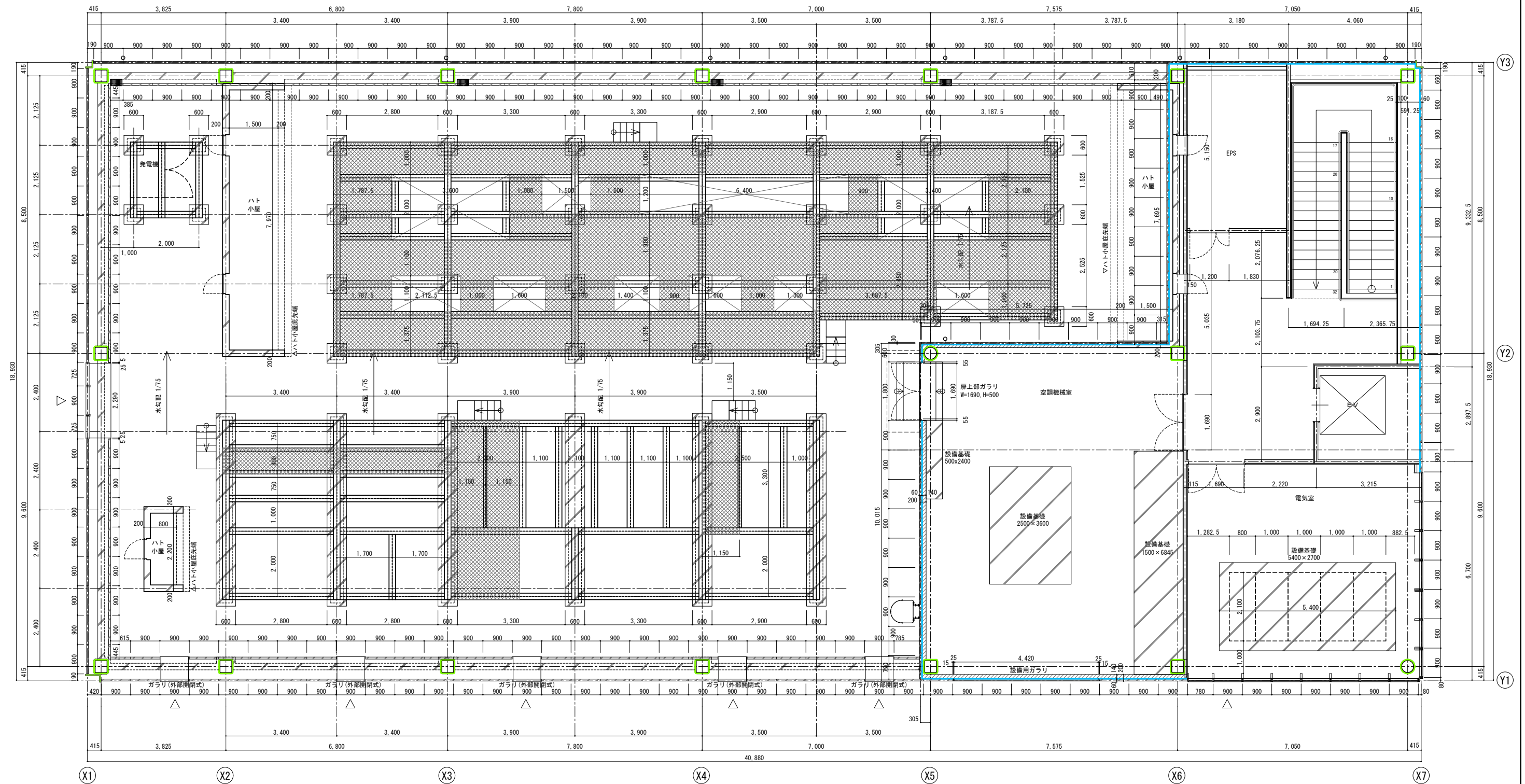
耐火被覆：ロックウール吹付 柱：t=25 外壁(コーナー役物)：t=30 (建) 建築工事の衛生器具等を示す。(給排水設備は設備工事)

断熱材：硬質ウレタンフォーム吹付 A種1H t=25

114区画：生徒が利用する居室と廊下、居室間の壁(スラブ裏まで)

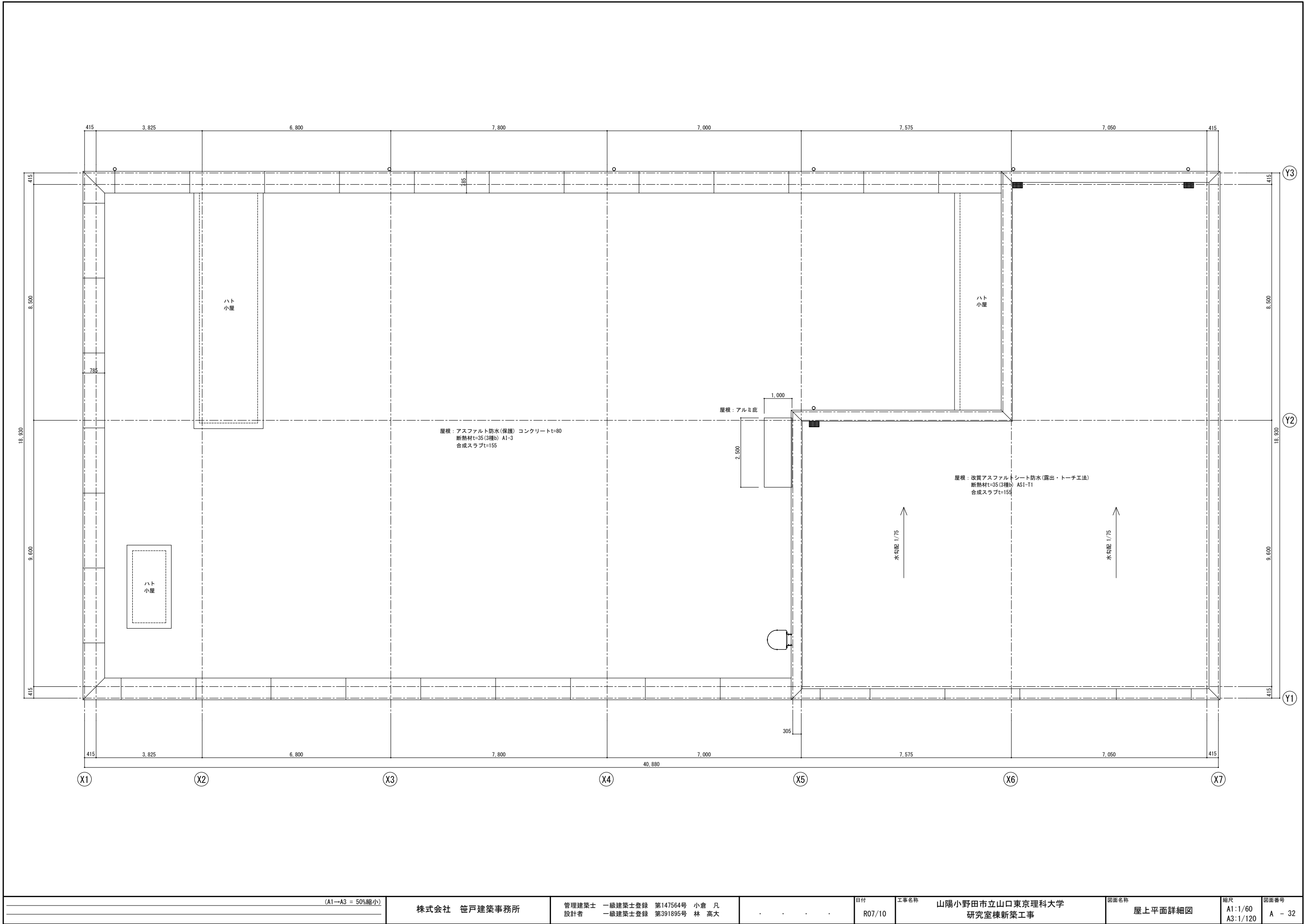
点線：実験機器等(別途工事)

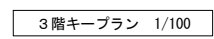
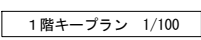
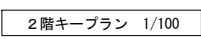




凡例

設備点検用歩廊範囲を示す。
(日鉄ファイナフロア W=250 H=60 同等品)

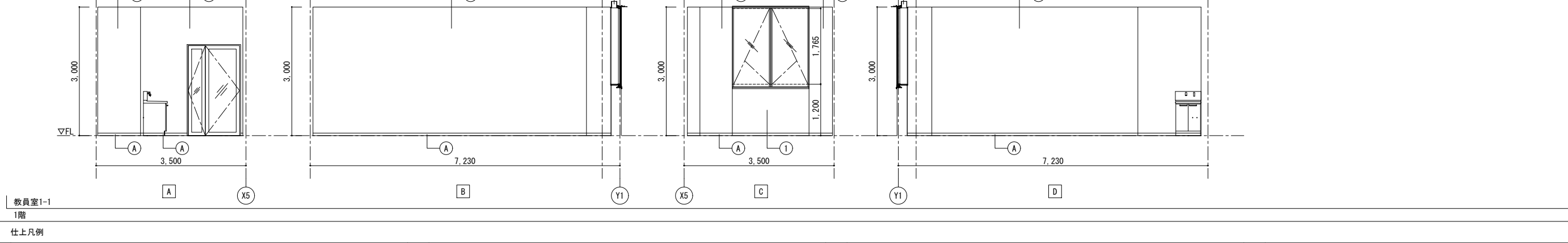




沓摺の形状と番号			■枠の形状と番号			■建具記号			■仕上凡例			■ガラス凡例			■フィルム			■特記事項											
1] ステンレス目地棒 SUS304 4x12	2] ステンレスSUS304 40x20 t=2.0	3] ステンレスSUS304 t=2.0	1] 外開き	2] 内開き	3] 枠	AW : 7㎜製窓 AD : 7㎜製扉 WD : 木製扉 WW : 木製折れ戸 LSD : 軽量鋼製扉 SD : 鋼製扉 AS : 7㎜製シャッター AP : 7㎜製折れ戸 SUT : ステンレス三方枠 ST : 鋼製枠 TB : トイレブース ACW : 7㎜カーテンウォール AG : 7㎜ガラリ SG : スチールガラリ	SOP : 合成樹脂調合ペイント WP : 木材保護塗料塗り DP-1 : 鉄鋼面DP塗 1 級 ふっ素樹脂相当 DP-2 : 鉄鋼面DP塗 2 級 アクリルシリコン樹脂相当 DP-3 : 鉄鋼面DP塗 3 級 ポリウレタン樹脂相当 PP : 粉体焼付塗装 A : 電解着色 SV : SUSバレーション仕上 MDF : マミン化粧シート MG : マミン化粧板 HMD : 高圧マミン樹脂化粧板 PG : ポリエステル化粧板 CL : クリアラッカー	F : フロートガラス FL : フロストガラス FG : 型板ガラス WF : 網入り・網入り型板ガラス WP : 網入り・網入り磨き板ガラス FFL : 耐熱強化ガラス TFL : 強化フロストガラス T : 強化ガラス GB : ガラスブロック PC : ポリカーボネイト FPC : フロストポリカーボネイト STP : 学校用強化ガラス P : パネル(スチールバレーションと同材) PC : ポリカーボネード [ツインカーボ]	※フィルムの構成の指定 PET 製窓ガラス用フィルム (JIS A 5759) のうち、多積層以外で、 基材の厚さが100μm以下のものとする。	・建具は全て施工図作成の上、監督員の承認を得た後製作のこと。 ・建具金物は原則としてSUS製とする。 ・建具の見込み寸法は標準見込み寸法とする。 ・開き扉鋼製枠には戸当りゴム取付。 ・鋼製建具仕上は扉(枠共)とする。 ・7㎜サッシの金物類は特記なき限り付属金物一式とする。																			
■防火・特防凡例																													
防 防火設備を示す 特 特定防火設備を示す																													
■建具表 1／100																													
記号/名称/数量		SD 1	親子ドア		6	SD 2	親子ドア		2	SD 3	片開きドア		3	SD 4	片開きドア		2	SD 5	親子ドア+FIX窓		2								
姿 図																													
場所 /見込		EPS・PS・掃除用倉庫 枠：145・170 扉：40				研究室用倉庫・倉庫 枠：95 扉：40				PS・機械室 枠：157.5 扉：40				PS 枠：101 扉：40				研究室（生物） 枠：100 扉：40											
材 質		溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6											
仕 上		SOP				SOP				SOP				SOP				DP-1											
硝 子		-				-				-				-				T-12 T-5（扉）											
金 物 他		レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー フランス落し				レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー フランス落し・鋼製ガラリ				レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー				レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー				レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー・フランス落し											
備 考																													
記 号 名 称 数 量		SD 6	親子ドア+FIX窓				1	SD 7	親子ドア+FIX窓				1	SD 8	親子ドア				10										
姿 図																													
場所 見込		研究室（化学） 枠：100 扉：40				研究室（化学） 枠：100 扉：40				研究室（化学） 枠：100 扉：40				研究室・廊下 枠：170 扉：40															
材 質		溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6											
仕 上		DP-1				DP-1				DP-1				DP-1				DP-1											
硝 子		T-12 T-5（扉）				T-12 T-5（扉）				T-12 T-5（扉）				T-12 T-5（扉）				T-5											
金 物 他		レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー・フランス落し				レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー・フランス落し				レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー・フランス落し				レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー・フランス落し				レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー・フランス落し											
備 考																													
記 号 名 称 数 量		SD 9 特	親子ドア		6	SD 10	片開きドア		1	SD 11	両開きドア		2	SD 12	両開きドア		1	SD 13	片開きドア		1	SD 14	点検口		3				
姿 図																													
場所 見込		自主研究室・教員室・ゼミ室 枠：170 扉：40				ゴミ置き場（実験用） 枠：157.5 扉：40				電気室・空調機械室 枠：157.5 扉：40				空調機械室 枠：120 扉：40				機械室 枠：145 扉：40				ハト小屋 枠：120 扉：40							
材 質		溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6							
仕 上		DP-1				SOP				SOP				DP-1				DP-1				DP-1							
硝 子		FFL-8				-				-				-				-				-							
金 物 他		レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー・フランス落し				レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー 鋼製ガラリ				レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー フランス落し				レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー フランス落し・鋼製ガラリ				レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー				ケースハンドル・丁番・箱錠・アームストッパー							
備 考		認定番号：EA-0500（参考）																											
		(A1→A3 = 50%縮小)				株式会社 笹戸建築事務所				管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大				日付 R07/10				工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事				図面名称 建具表 1				縮尺 A1:1/50 A3:1/100		図面番号 A - 34	

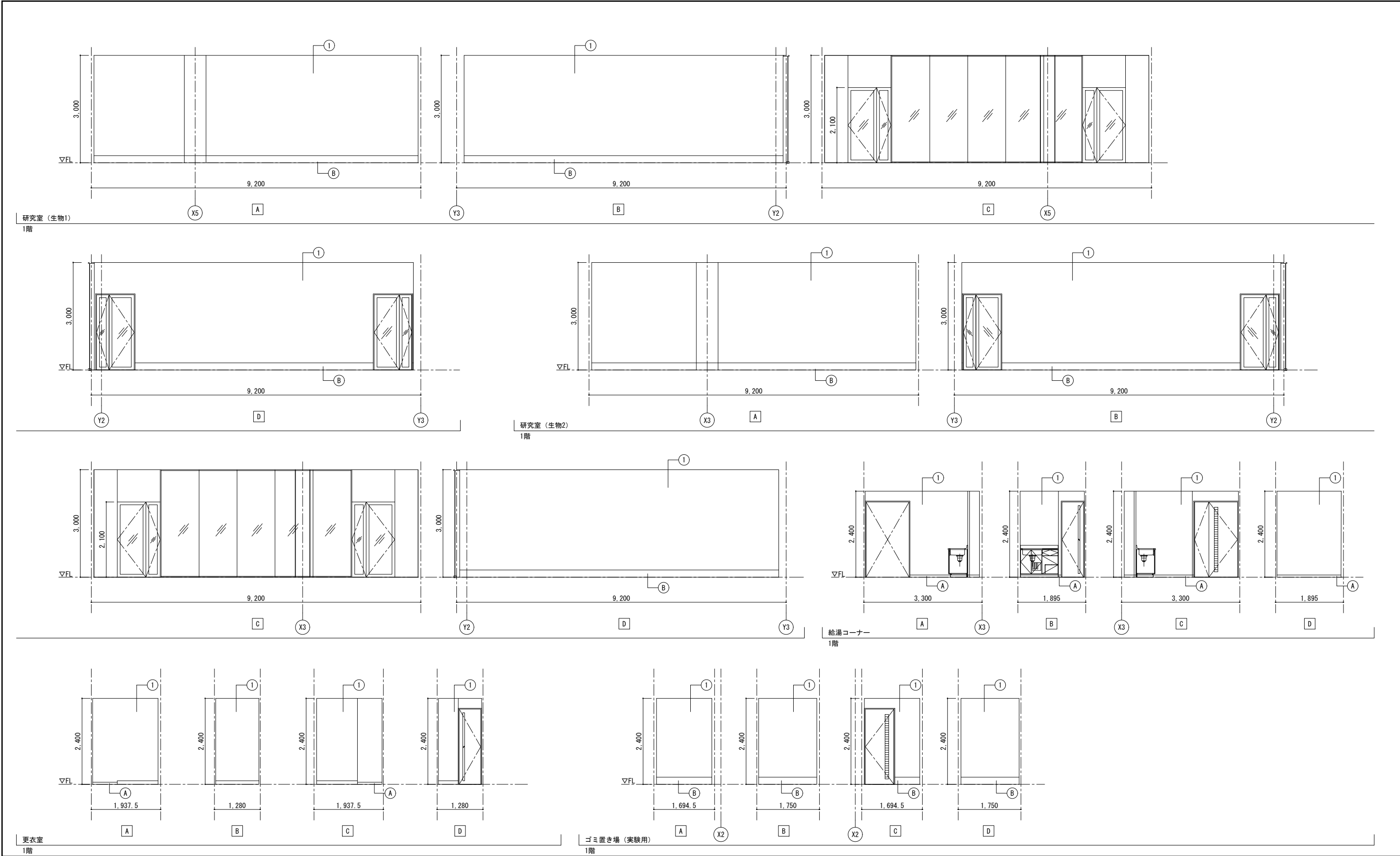
■窓の形状と番号			■枠の形状と番号			■建具記号	■仕上凡例	■ガラス凡例	■フィルム	■特記事項															
1 ステンレス目地枠 SUS304 4x12	2 ステンレスSUS304 40x20 t=2.0	3 ステンレスSUS304 t=2.0	1 外開き	2 内開き	3 枠	AW : 7㎜製窓 AD : 7㎜製扉 WD : 木製扉 WW : 木製折れ戸 LSD : 軽量鋼製扉 SD : 鋼製扉 AS : 7㎜製シャッター AP : 7㎜製折れ戸 SUT : ステンレス三方枠 ST : 鋼製枠 TB : トイレブース ACW : 7㎜カーテンウォール AG : 7㎜ガラリ SG : スチールガラリ	SOP : 合成樹脂調合ペイント WP : 木材保護塗料塗り DP-1 : 鉄鋼面DP塗 1 級 ふっ素樹脂相当 DP-2 : 鉄鋼面DP塗 2 級 アクリルシリコン樹脂相当 DP-3 : 鉄鋼面DP塗 3 級 ポリウレタン樹脂相当 PP : 粉体焼付塗装 A : 電解着色 SV : SUSバ イブレーション仕上 MDF : マリニ化粧シート MG : マリニ化粧板 HMD : 高圧マリニ樹脂化粧板 PG : マリニ化粧化粧板 CL : クリアラッカー	F : フロートガラス FL : フロストガラス FG : 型板ガラス WF : 網入り・網入り型板ガラス WP : 網入り・網入り磨き板ガラス FFL : 耐熱強化ガラス TFL : 強化フロストガラス T : 強化ガラス GB : ガラスブロック PC : ポリカーボネイト FPC : フロストポリカーボネイト STP : 学校用強化ガラス P : バ ー (スチールバ ーションと同材) PC : ポリカーボネード [ツインカーボ]	※フィルムの構成の指定 PET 製窓ガラス用フィルム (JIS A 5759) のうち、多積層以外で、 基材の厚さが100μ m以下のものと する。 ■防火・特防凡例 ○防 防火設備を示す ○特 特定防火設備を示す	・建具は全て施工図作成の上、監督員の承認を得た後製作のこと。 ・建具金物は原則としてSUS製とする。 ・建具の見込み寸法は標準見込み寸法とする。 ・開き扉鋼製枠には戸当り ゴム取付。 ・鋼製建具仕上は扉 (枠共) とする。 ・7㎜サッシの金物類は特記なき限り付属金物一式とする。															
■建具表 1 / 100																									
記号/名称/数量		SD 15	点検口		2	SW 1	FIX窓		1	SF 1	三方枠		8	SF 2	三方枠		2	SSH 1 特	シートシャッター		2				
姿 図				SAT枠				づぶし枠				窓 づ - づ 3				窓 づ - づ 3									
場所 / 見込		EPS・廊下		枠 : 355 扉 : 40		階段室		枠 : 150 扉 : -		廊下・給湯コーナー・トイレ		枠 : 163.5、175.5		緊急用シャワー		枠 : 40		廊下		枠 : 50					
材 質		溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6				シリカクロス							
仕 上		DP-1				DP-1				SOP				SOP				DP-1							
硝 子		-				T-5				-				-				-							
金 物 他		ケースハンドル・丁番・箱錠・アームストッパー								-				-				-							
備 考		ケースハンドル (UCH1110-001) 参考品番																認定番号 : CAT-0515 (参考)							
記号 名称 数量		LSD 1	親子ドア		6	LSD 2	引き戸		2	LSD 3	引き戸		1	LSD 4	片開きドア		4	TB 1	トイレブース		2	TB 2	トイレブース		2
姿 図				窓 づ - づ 2 - 2				づぶし枠				づぶし枠				窓 づ - づ 2 - 1									
場所 見込		自主研究室・教員室		枠 : 170 扉 : 40		多目的トイレ・ゴミ置き場		枠 : 237.5 扉 : 36		液体窒素保管室		枠 : 160 扉 : 36		更衣室・SK		枠 : 95.101 扉 : 40		男子トイレ		枠 : - 扉 : 40		女子トイレ		枠 : - 扉 : 40	
材 質		溶融亜鉛メッキ鋼板 t=0.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=0.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=0.6				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=0.6				メラミン樹脂化粧板 ベーパーコア				メラミン樹脂化粧板 ベーパーコア			
仕 上		焼付塗装				焼付塗装				焼付塗装				焼付塗装				-				-			
硝 子		T-5				FL-5				-				FL-5 (更衣室)				-				-			
金 物 他		レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン ドアクローザー・フランス落し				引手・表示錠・オイルダンパー制御				引手・表示錠・オイルダンパー制御				更衣室 : レバーハンドル・丁番・本締錠/サムターン・ドアクローザー SK : ケースハンドル・丁番・ドアクローザー				グラビティヒンジ・表示錠・帽子掛け戸当り				グラビティヒンジ・表示錠・帽子掛け戸当り			
備 考														ケースハンドル (UCH1110-001) 参考品番											
記号 名称 数量		AD 1	自動ドア		2	AG 1	アルミガラリ		5	AG 2	アルミガラリ		1												
姿 図																									
場所 見込		廊下		枠 : 100 扉 : 50		屋上		枠 : 100 扉 : -		空調機械室		枠 : 100 扉 : -													
材 質		アルミ				アルミ				アルミ															
仕 上		電解着色				電解着色				電解着色															
硝 子		T-5				-				-															
金 物 他		自動ドアエンジン				アルミ額縁				アルミ額縁															
備 考		パニックオープン				外部解錠 (代替進入口) 開口率36%				開口率36%															
(A1→A3 = 50%縮小)						株式会社 笹戸建築事務所			管理建築士 登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大			日付 R07/10			工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事			図面名称 建具表 2			縮尺 A1:1/50 A3:1/100		図面番号 A - 35		

記号/名称/数量		ACW 1	カーテンウォール		1	ACW 1	カーテンウォール		1							
姿 図																
	場所 /見込		外部					枠 : 70	外部		枠 : 70					
	材 質		アルミ					アルミ								
	仕 上		電解着色					電解着色								
硝 子		F8+A12+F8					F8+A12+F8									
金 物 他		自動ドアエンジン・コーナー役物・庇 (アルミ押出型材) ・ロールスクリーンボックス・アルミ額縁・バックパネル耐火ボード35mm・方立150mm					開き戸 (自動施錠) 庇 (アルミ押出型材) ・ロールスクリーンボックス・アルミ額縁・バックパネル耐火ボード35mm・方立150mm									
備 考		参考 : Comfort N					参考 : Comfort N									
記号 名称 数量		AW 1	縦すべり出し窓+FIX窓						2							
姿 図																
	場所 見込		外部													
	材 質		アルミ													
	仕 上		電解着色													
	硝 子		F5+A12+F5													
金 物 他		庇 (アルミ押出型材) ・ブラインドボックス・アルミ額縁・バックパネル8mm														
備 考		防火設備 : EB-2922-1 (たてすべり), EB-3043-1 (FIX)														
(A1→A3 = 50%縮小)			株式会社 笹戸建築事務所		管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大		日付 R07/10		工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事		図面名称 建具表 3		縮尺 A1:1/50 A3:1/100		図面番号 A - 36	

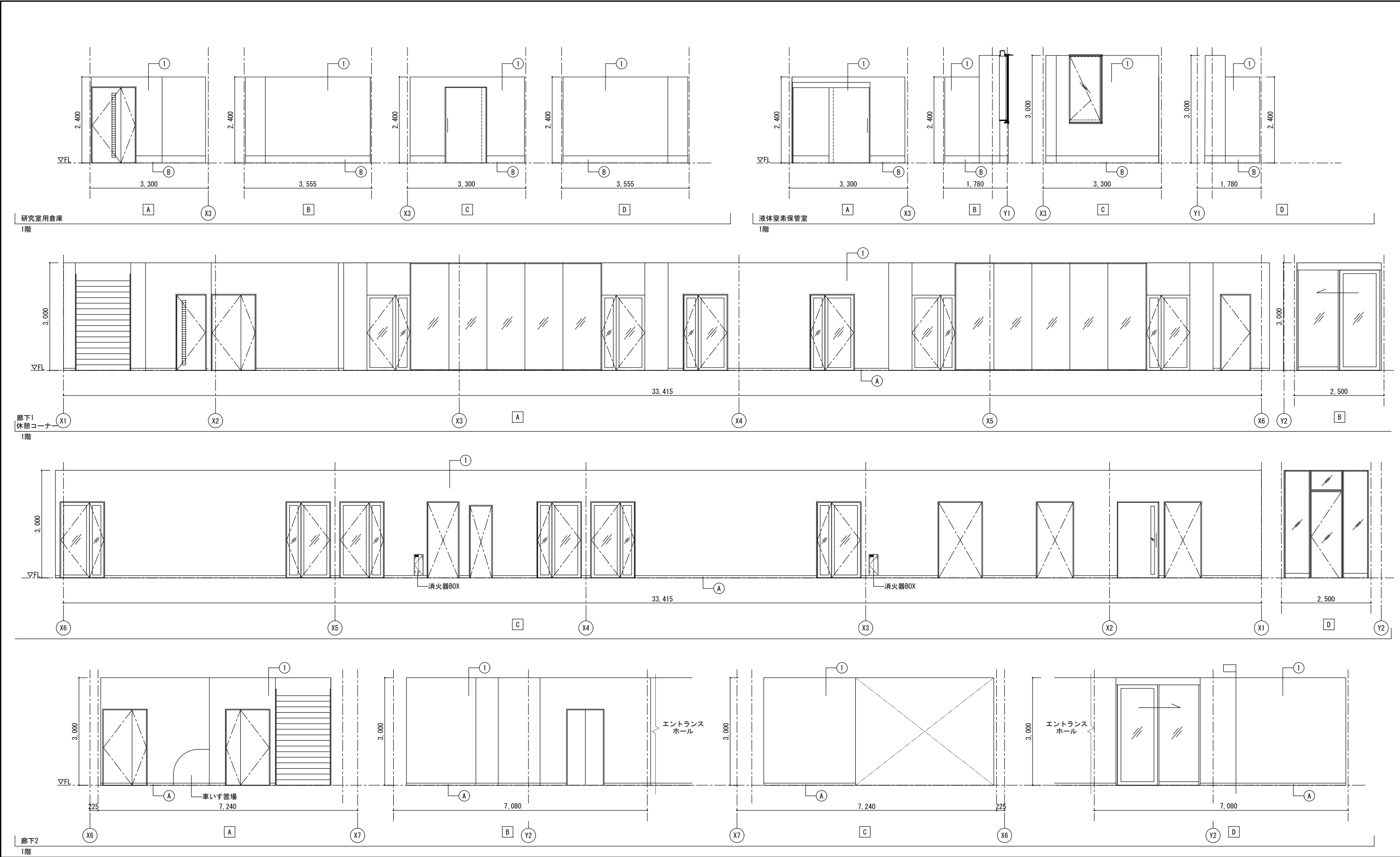


符号	項目	符号	項目	符号	項目	符号	項目
①	VC（不燃）	Ⓐ	VB H=60	㊥	ロールスクリーンボックス（アルミ製）+ロールスクリーン		
②	ボード素地	Ⓑ	VS（耐薬品性）t=2.0 巻き上げ H=200（専用役物共）	㊦	ブラインドボックス+アルミ製ブラインド		
③	OFK t=6	Ⓒ	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装				
(A1→A3 = 50%縮小)			株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大	日付 R07/10	工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 展開図 1 縮尺 A1:1/50 A3:1/100 図面番号 A - 37

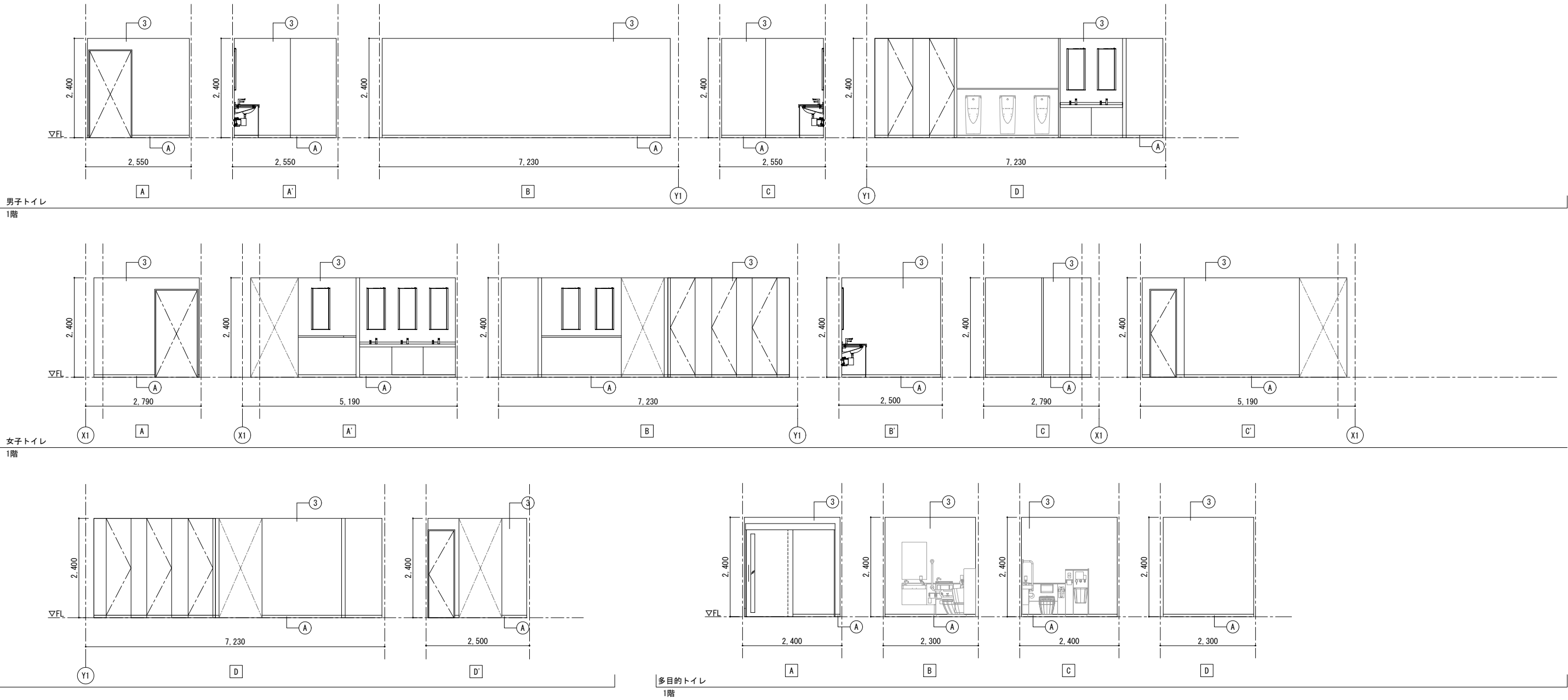
仕上凡例									
符号	項目	符号	項目	符号	項目	符号	項目		
①	VC（不燃）	Ⓐ	VB H=60	㊦	ロールスクリーンボックス（アルミ製）+ロールスクリーン				
②	ボード素地	Ⓑ	VS（耐薬品性）t=2.0 巻き上げ H=200（専用役物共）	㊧	ブラインドボックス+アルミ製ブラインド				
③	CFK t=6	Ⓒ	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装						
(A1→A3 = 50%縮小)			株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大	・ ・ ・ ・	日付 R07/10	工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 展開図 2	縮尺 A1:1/50 A3:1/100 図面番号 A - 38



仕上凡例			
符号	項目	符号	項目
①	VC (不燃)	Ⓐ	VB H=60
②	ボード素地	Ⓑ	VS (耐薬品性) t=2.0 巻き上げ H=200 (専用役物共)
③	CFK t=6	Ⓒ	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装
縮尺 (A1→A3 = 50%縮小)		株式会社 笹戸建築事務所	
		管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大	
		日付 R07/10	
		工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	
		図面名称 展開図 3	
		縮尺 A1:1/50 A3:1/100	
		図面番号 A - 39	

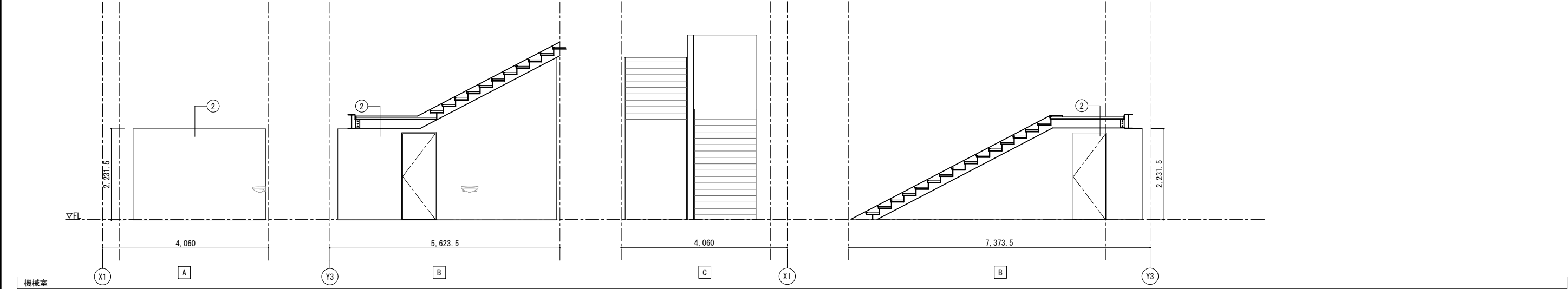
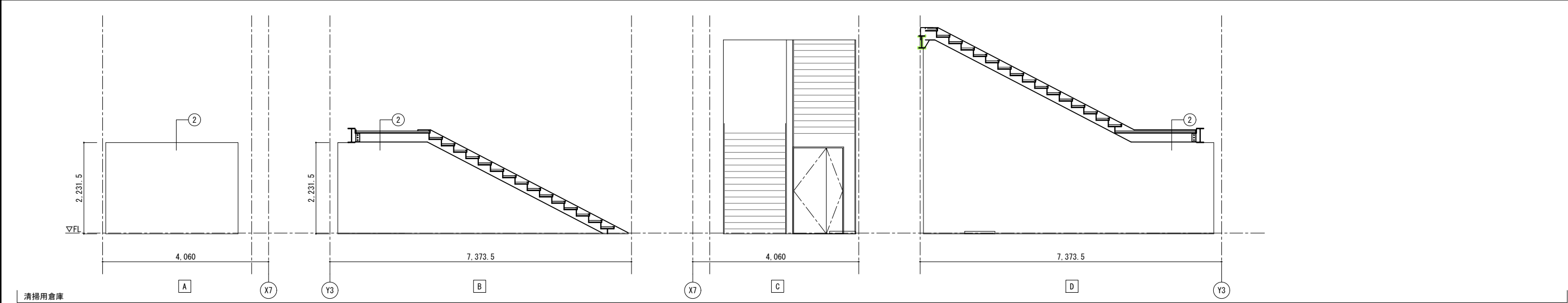


仕上凡例			
符号	項目	符号	項目
①	VC (不燃)	Ⓐ	VB H=60
②	ボード素地	Ⓑ	VS (耐薬品性) t=2.0 巻き上げ H=200 (専用役物共)
③	CFK t=6	Ⓒ	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装
(A1→A3 = 50%縮小)		株式会社 笹戸建築事務所	
		管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大	
		日付 R07/10 工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	
		図面名称 展開図 4 縮尺 A1:1/50 A3:1/100 図面番号 A - 40	

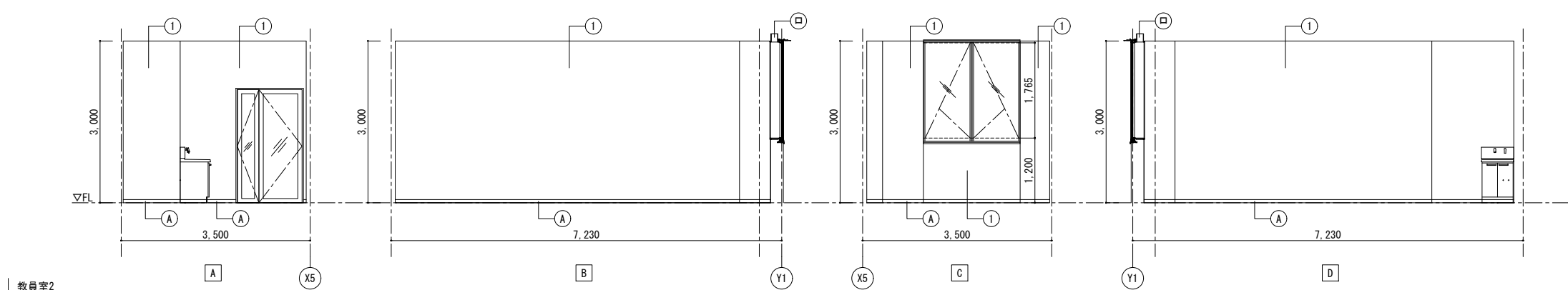


仕上凡例

符号	項目	符号	項目	符号	項目	符号	項目
①	VC (不燃)	Ⓐ	VB H=60	Ⓔ	ロールスクリーンボックス (アルミ製) + ロールスクリーン		
②	ボード素地	Ⓑ	VS (耐薬品性) t=2.0 巻き上げ H=200 (専用役物共)	㉞	ブラインドボックス+アルミ製ブラインド		
③	CFK t=6	Ⓒ	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装				

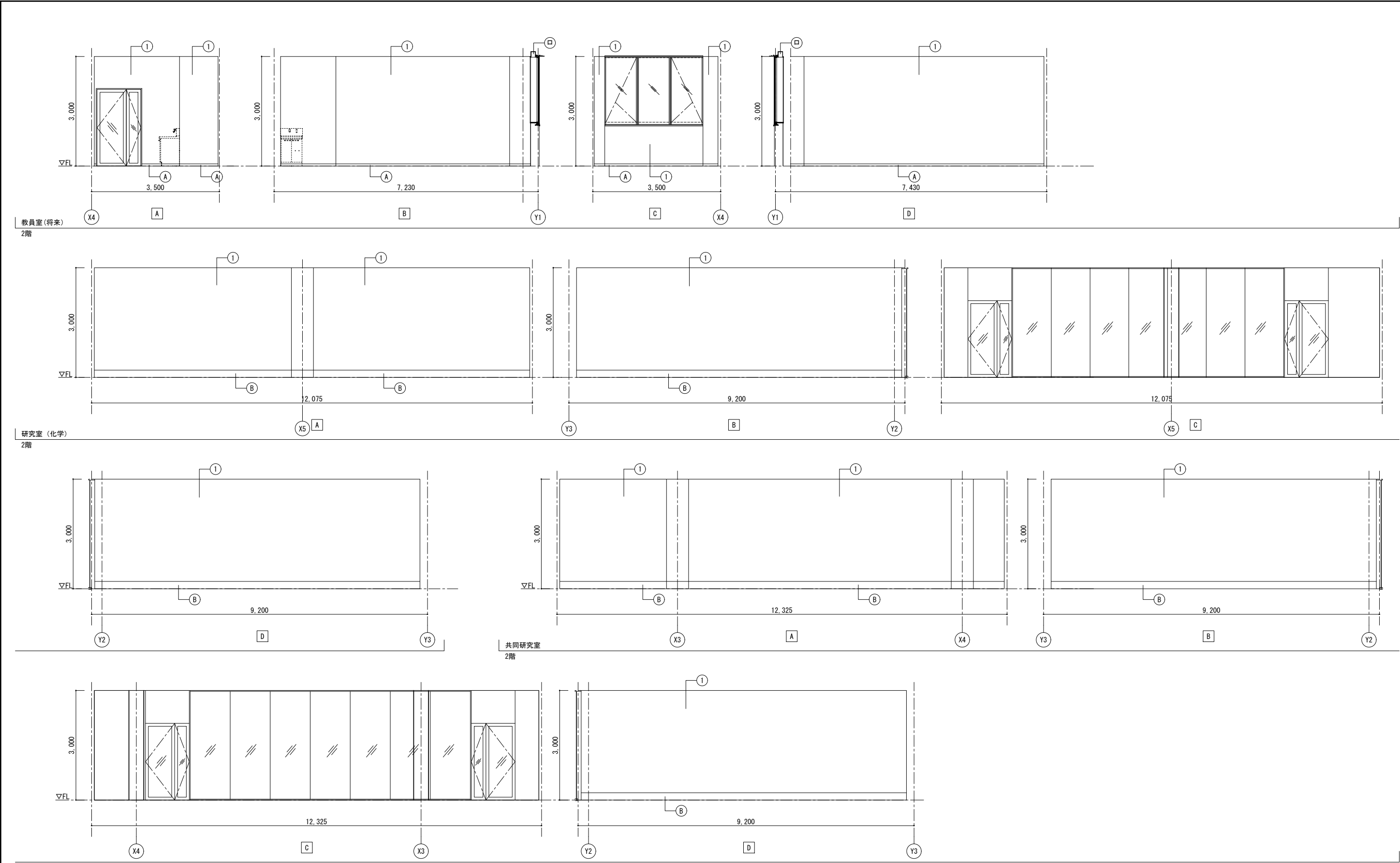


仕上凡例							
符号	項目	符号	項目	符号	項目	符号	項目
①	VC (不燃)	Ⓐ	VB H=60	㊥	ロールスクリーンボックス (アルミ製) + ロールスクリーン		
②	ボード素地	Ⓑ	VS (耐薬品性) t=2.0 巻き上げ H=200 (専用役物共)	㊦	ブラインドボックス+アルミ製ブラインド		
③	CFK t=6	Ⓒ	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装				
(A1→A3 = 50%縮小)			株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大	日付 R07/10	工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 展開図 6
						縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A - 42

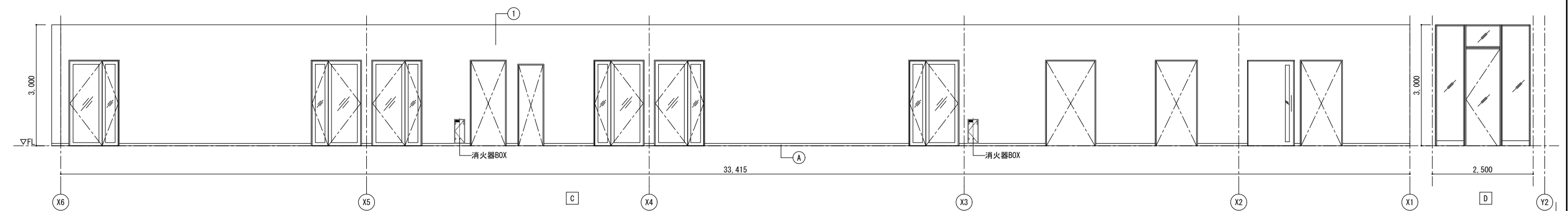
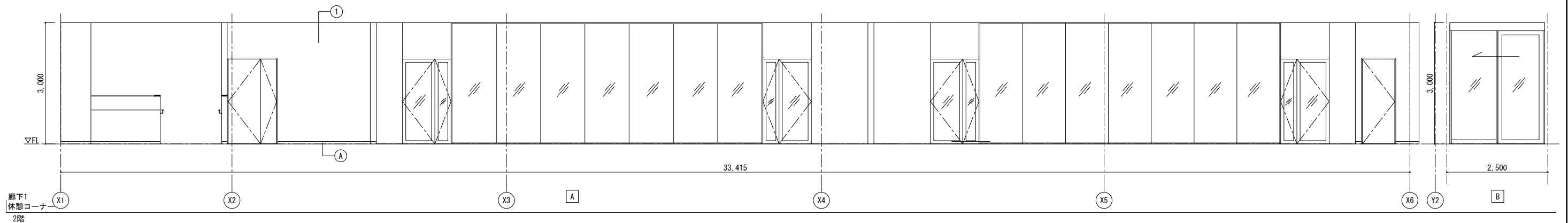
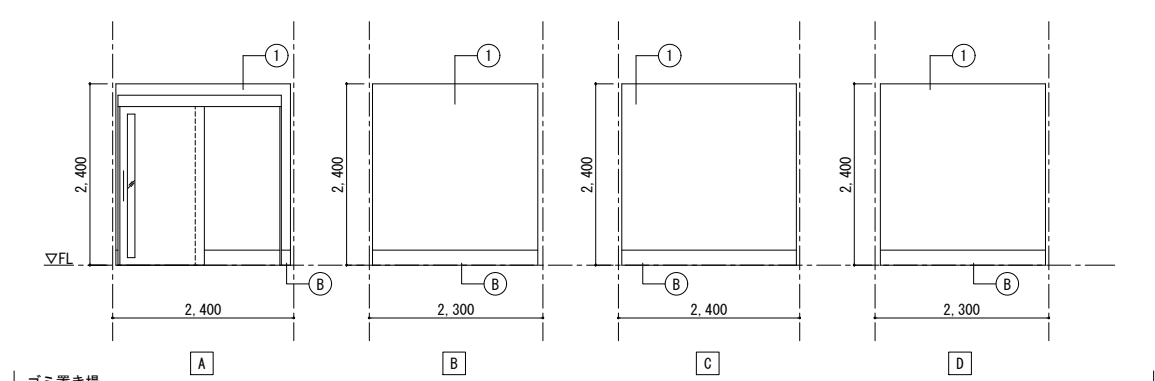
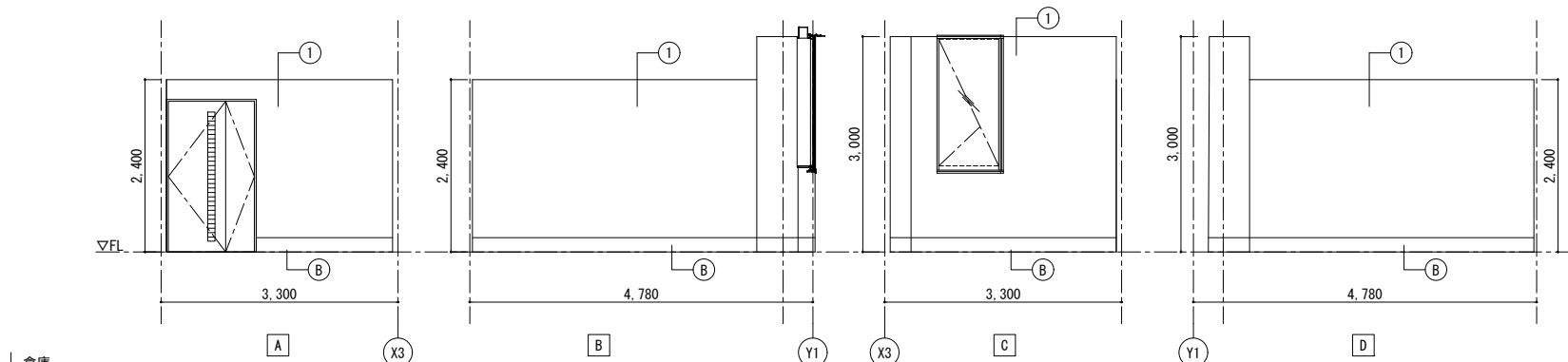
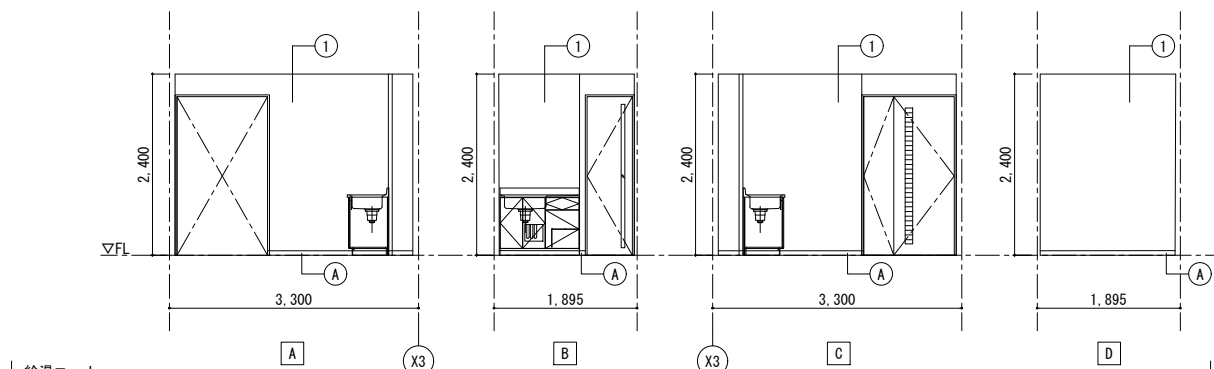


仕上凡例									
符号	項目	符号	項目	符号	項目	符号	項目		
①	VC（不燃）	A	VB H=60	□	ロールスクリーンボックス（アルミ製）+ロールスクリーン				
②	ボード素地	B	VS(耐薬品性) t=2.0 巻き上げ H=200（専用役物共）	フ	ブラインドボックス+アルミ製ブラインド				
③	CFK t=6	C	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装						

(A1→A3 = 50%縮小)		株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大	・ ・ ・ ・	日付 R07/10	工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 展開図 7	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A - 43

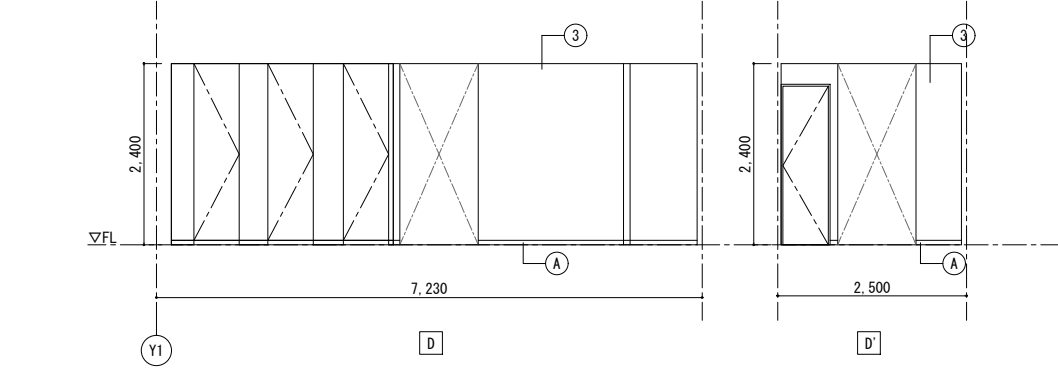
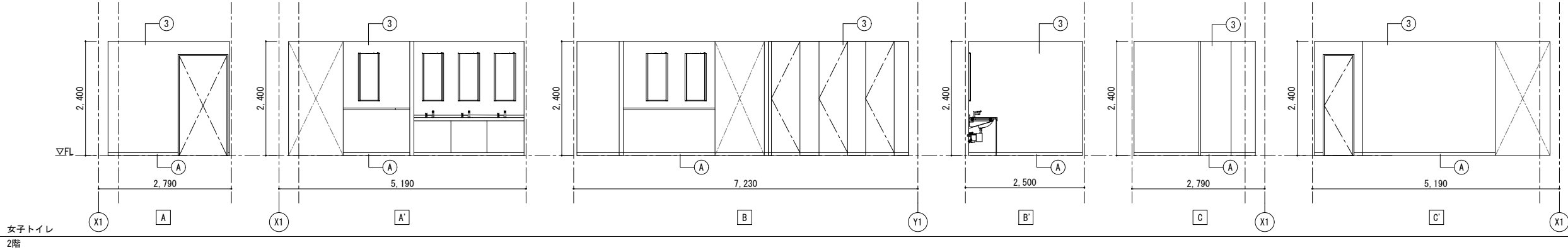
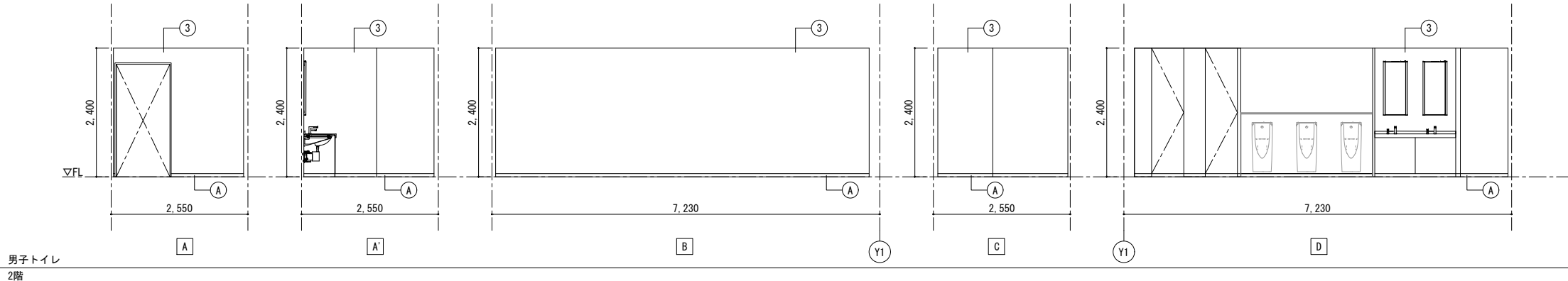
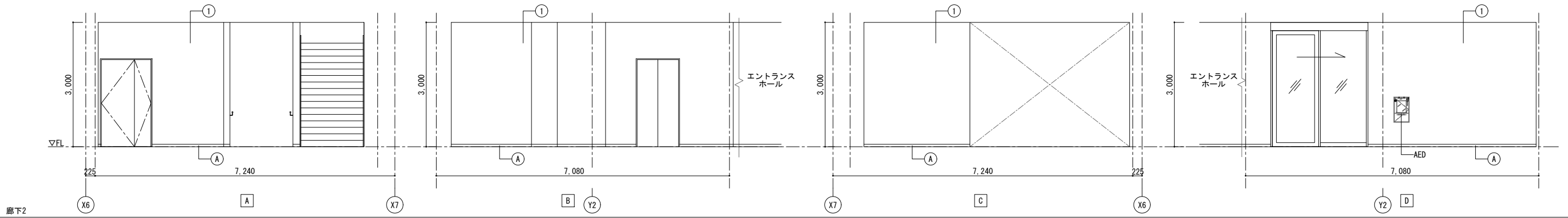


仕上凡例							
符号	項目	符号	項目	符号	項目	符号	項目
①	VC (不燃)	Ⓐ	VB H=60	Ⓚ	ロールスクリーンボックス (アルミ製) + ロールスクリーン		
②	ボード素地	Ⓑ	VS (耐薬品性) t=2.0 巻き上げ H=200 (専用役物共)	㉿	ブラインドボックス+アルミ製ブラインド		
③	CFK t=6	Ⓒ	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装				
(A1→A3 = 50%縮小)			株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大	日付 R07/10	工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 展開図 8
							縮尺 A1:1/50 A3:1/100
							図面番号 A - 44

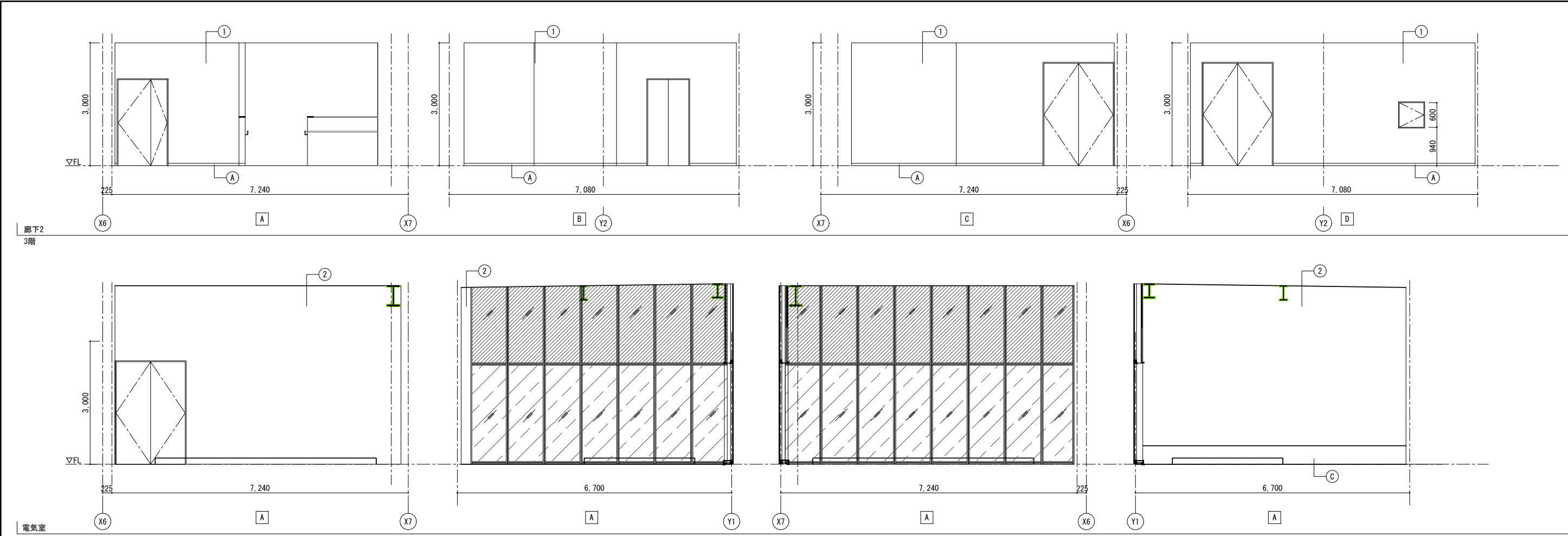


仕上凡例									
符号	項目	符号	項目	符号	項目	符号	項目		
①	VC（不燃）	Ⓐ	VB H=60	㊦	ロールスクリーンボックス（アルミ製）+ロールスクリーン				
②	ボード素地	Ⓑ	VS（耐薬品性）t=2.0 巻き上げ H=200（専用役物共）	㊧	ブラインドボックス+アルミ製ブラインド				
③	CFK t=6	Ⓒ	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装						

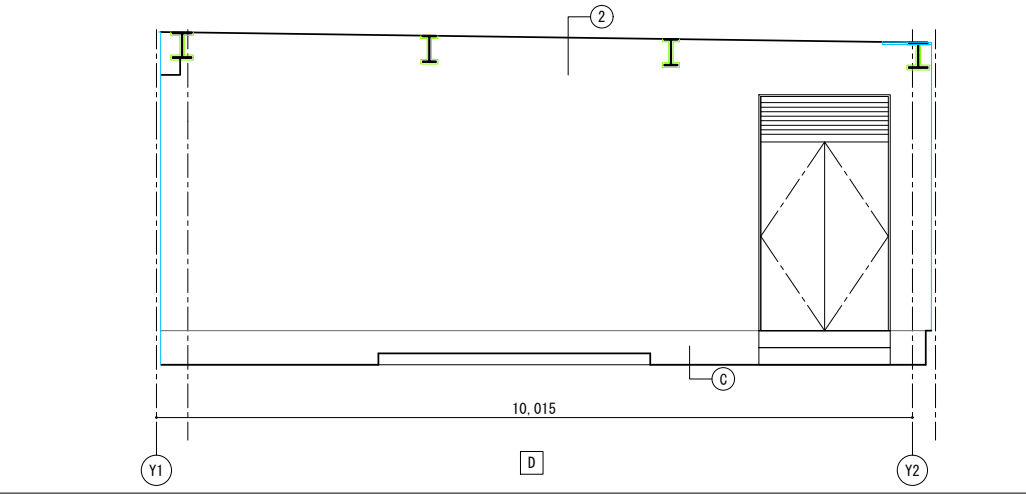
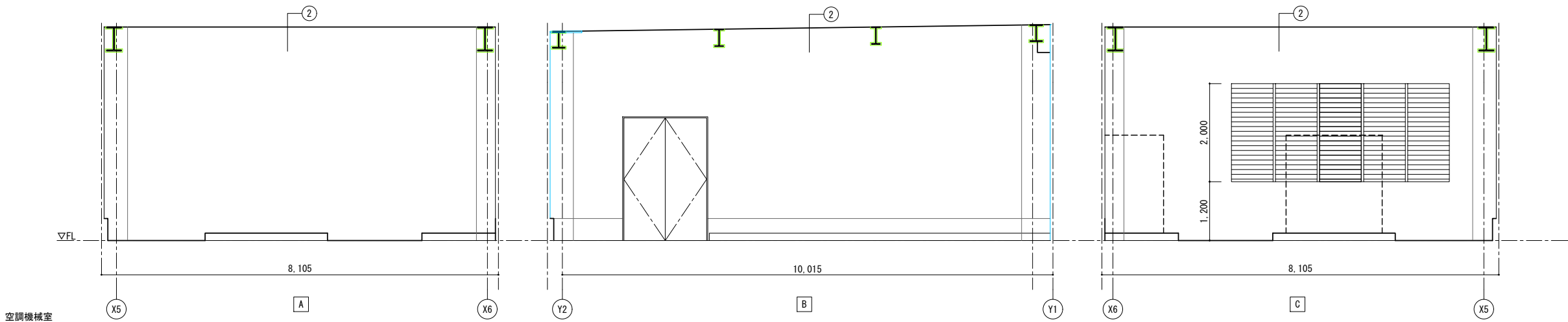
(A1→A3 = 50%縮小)		株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大	 R07/10	日付 工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 展開図 9	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A - 49



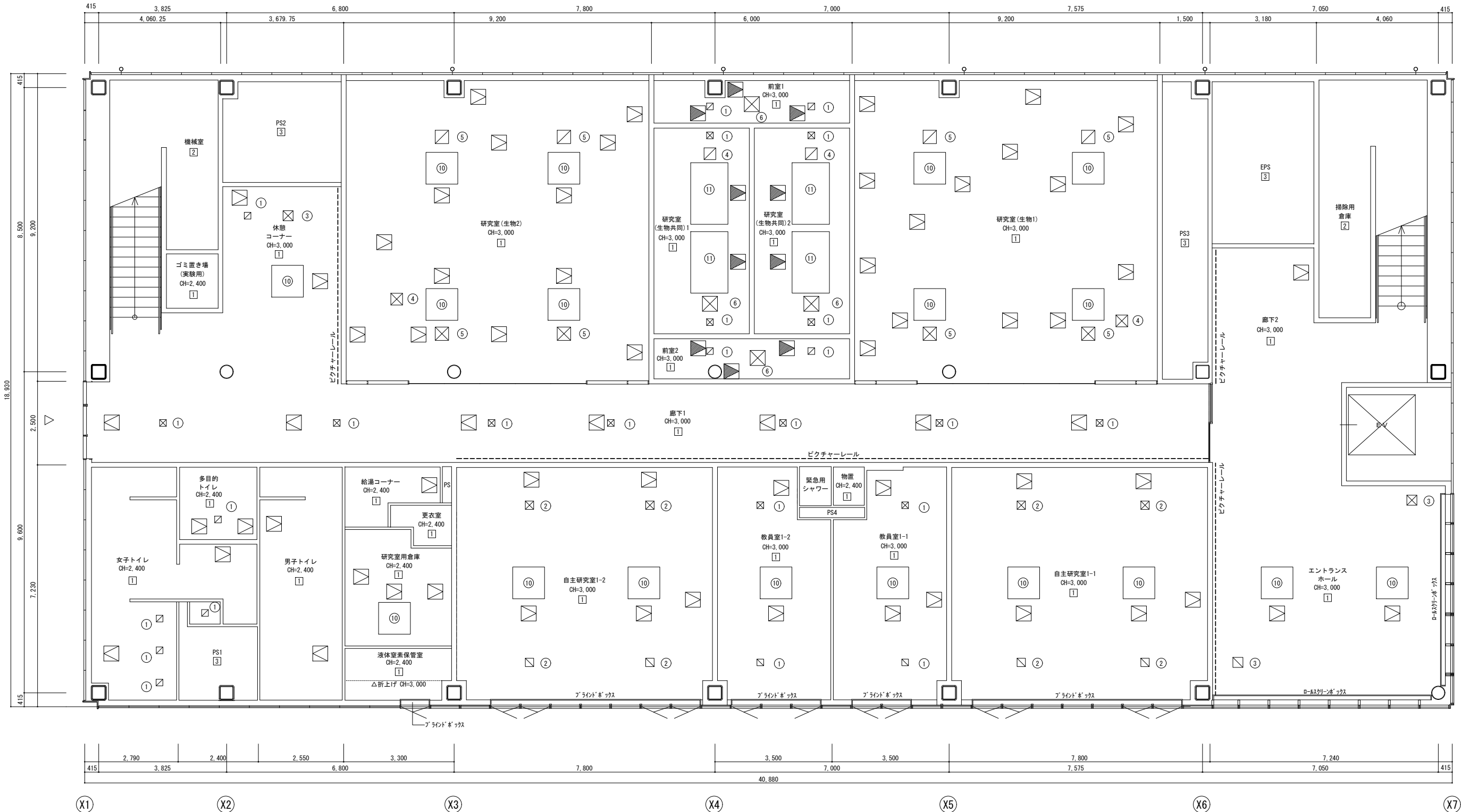
仕上凡例			
符号	項目	符号	項目
①	VC (不燃)	Ⓐ	VB H=60
②	ボード素地	Ⓑ	VS (耐薬品性) t=2.0 巻き上げ H=200 (専用役物共)
③	CFK t=6	Ⓒ	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装
(A1→A3 = 50%縮小)		株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大
			日付 R07/10
		工事名称	山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事
		図面名称	展開図 1 O
		縮尺	A1:1/50 A3:1/100
		図面番号	A - 46



仕上凡例							
符号	項目	符号	項目	符号	項目	符号	項目
①	VC (不燃)	Ⓐ	VB H=60	㊦	ロールスクリーンボックス (アルミ製) + ロールスクリーン		
②	ボード素地	Ⓑ	VS (耐薬品性) t=2.0 巻き上げ H=200 (専用役物共)	㊧	ブラインドボックス+アルミ製ブラインド		
③	CFK t=6	Ⓒ	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装				
(A1→A3 = 50%縮小)			株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大	日付 R07/10	工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 展開図 1 1
							縮尺 A1:1/50 A3:1/100
							図面番号 A - 47



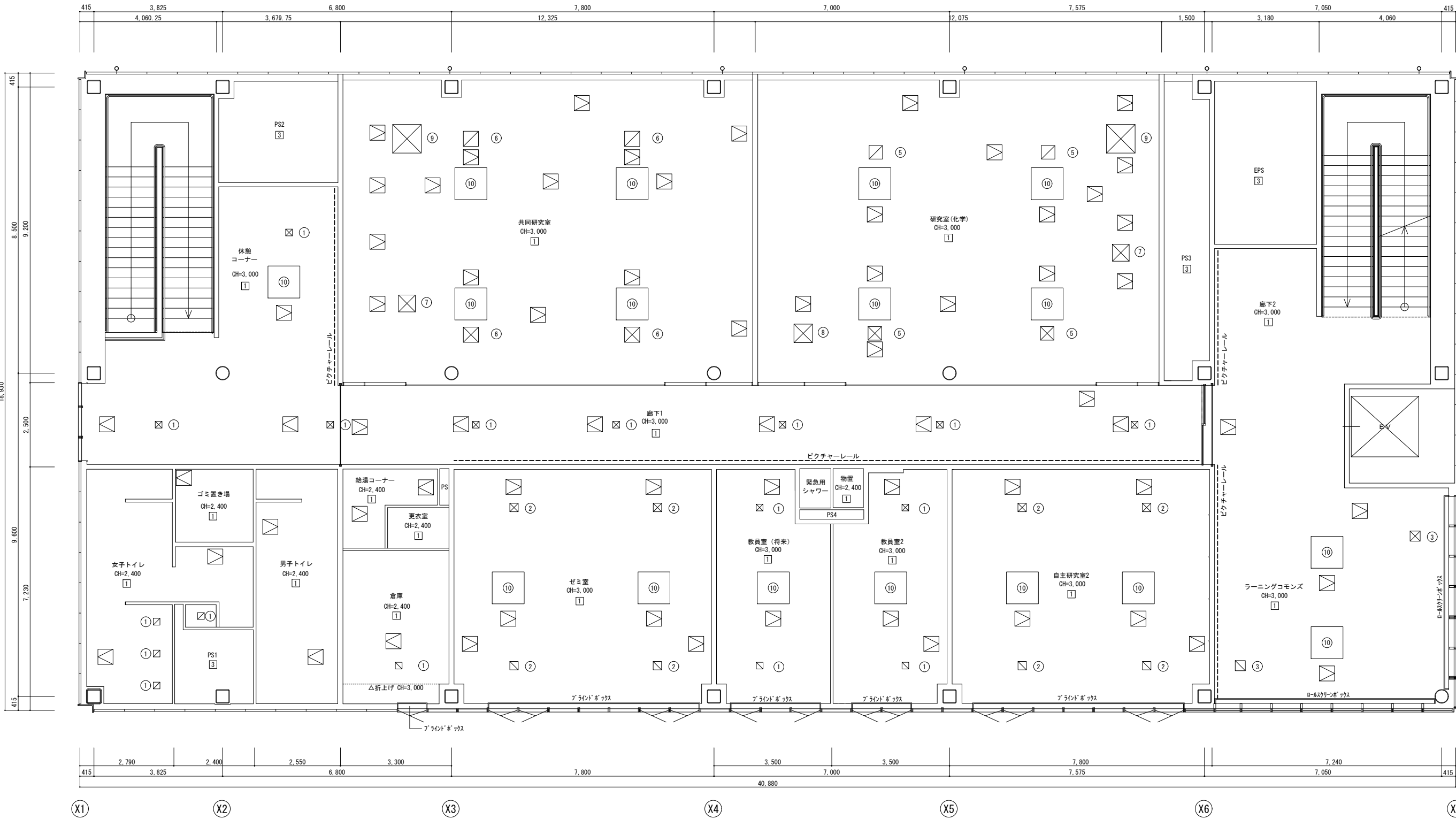
仕上凡例							
符号	項目	符号	項目	符号	項目	符号	項目
①	VC (不燃)	Ⓐ	VB H=60	㊥	ロールスクリーンボックス (アルミ製) + ロールスクリーン		
②	ボード素地	Ⓑ	VS (耐薬品性) t=2.0 巻き上げ H=200 (専用役物共)	㊦	ブラインドボックス+アルミ製ブラインド		
③	CFK t=6	Ⓒ	コンクリート金ゴテ押え 防塵塗装				
(A1→A3 = 50%縮小)			株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 設計者 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 一級建築士登録 第391895号 林 高大	日付 R07/10	工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 展開図 1 2
						縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A - 48



天井仕上凡例

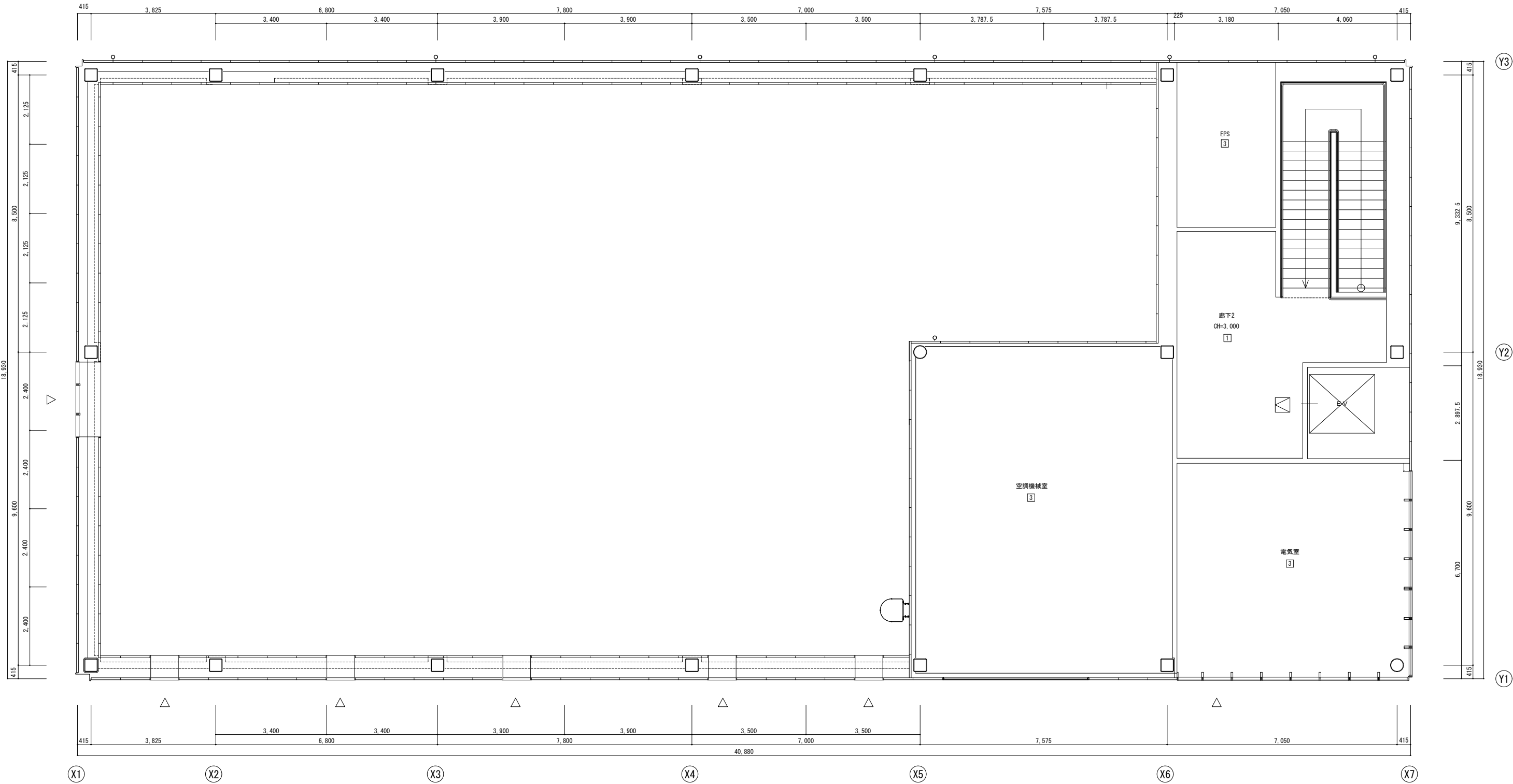
1	GB-D t=9.5
2	階段表し
3	デッキプレート表し

	点検口	450×450	64	天井開口補強 ⑥	450×450	4
	点検口クリーニングルーム仕様	450×450	10	天井開口補強 ⑦	500×500	2
	天井開口補強 ①	200×200	25	天井開口補強 ⑧	550×550	1
	天井開口補強 ②	250×250	8	天井開口補強 ⑨	850×850	2
	天井開口補強 ③	300×300	3	天井開口補強 ⑩	950×950	17
	天井開口補強 ④	350×350	4	天井開口補強 ⑪	1115×1840	4
	天井開口補強 ⑤	400×400	8			



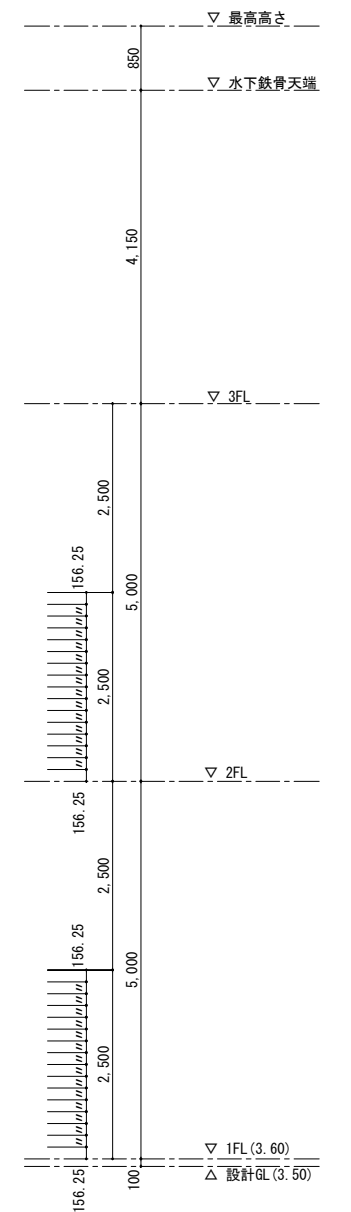
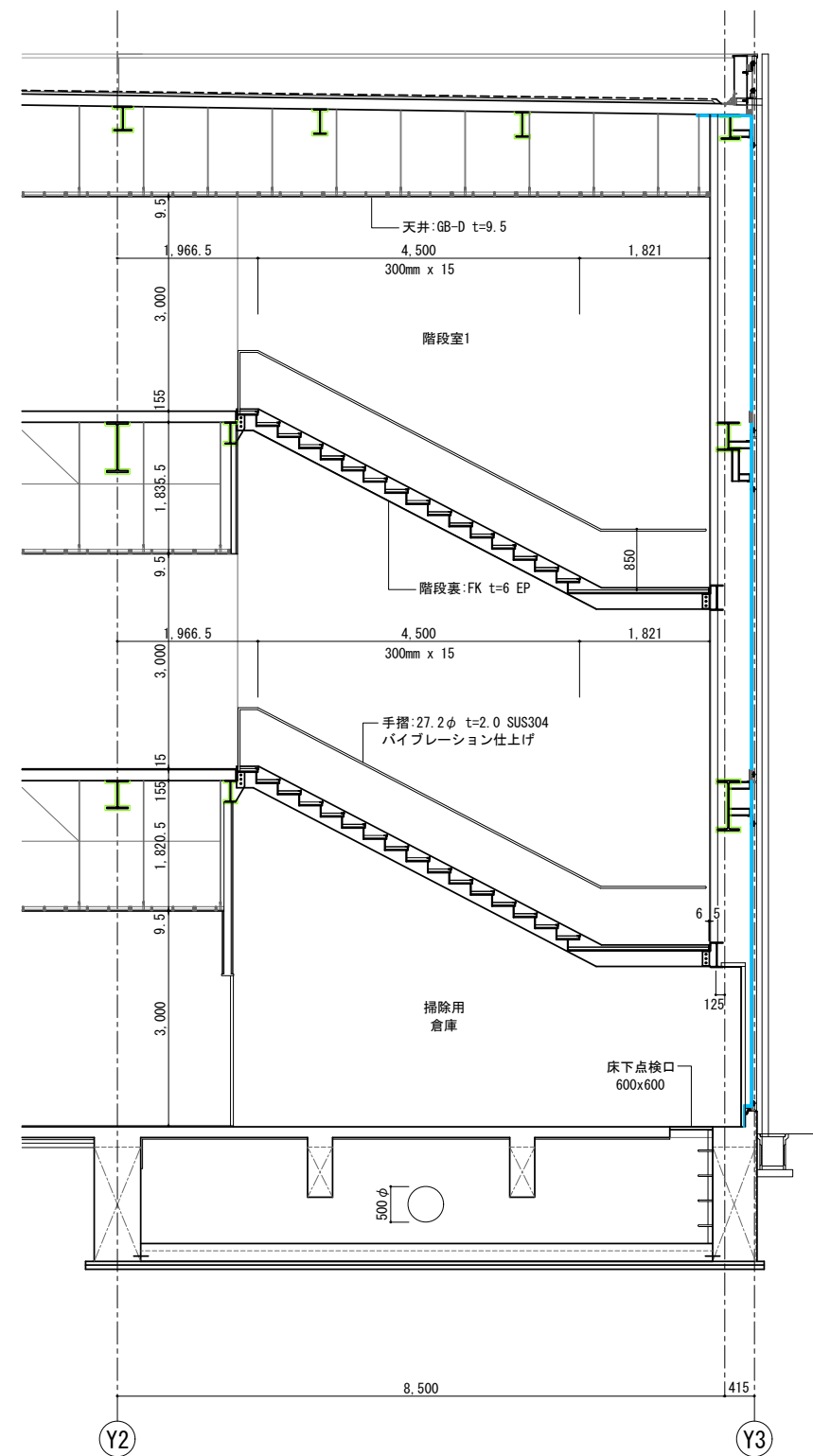
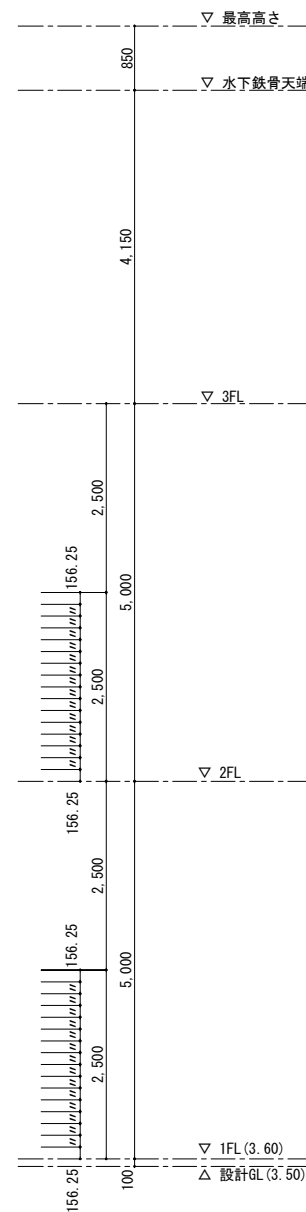
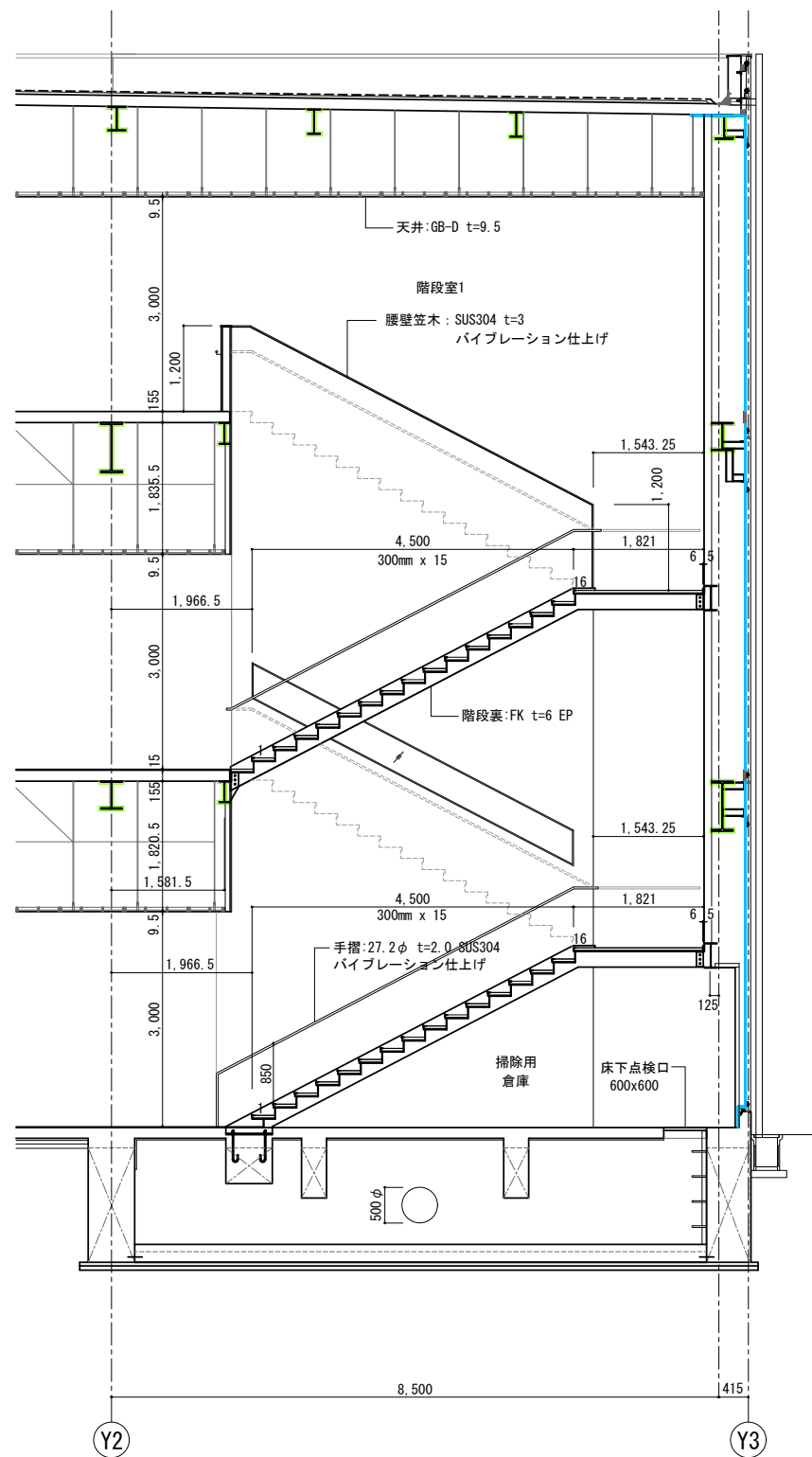
天井仕上凡例	
1	GB-D t=9.5
2	階段表し
3	デッキプレート表し

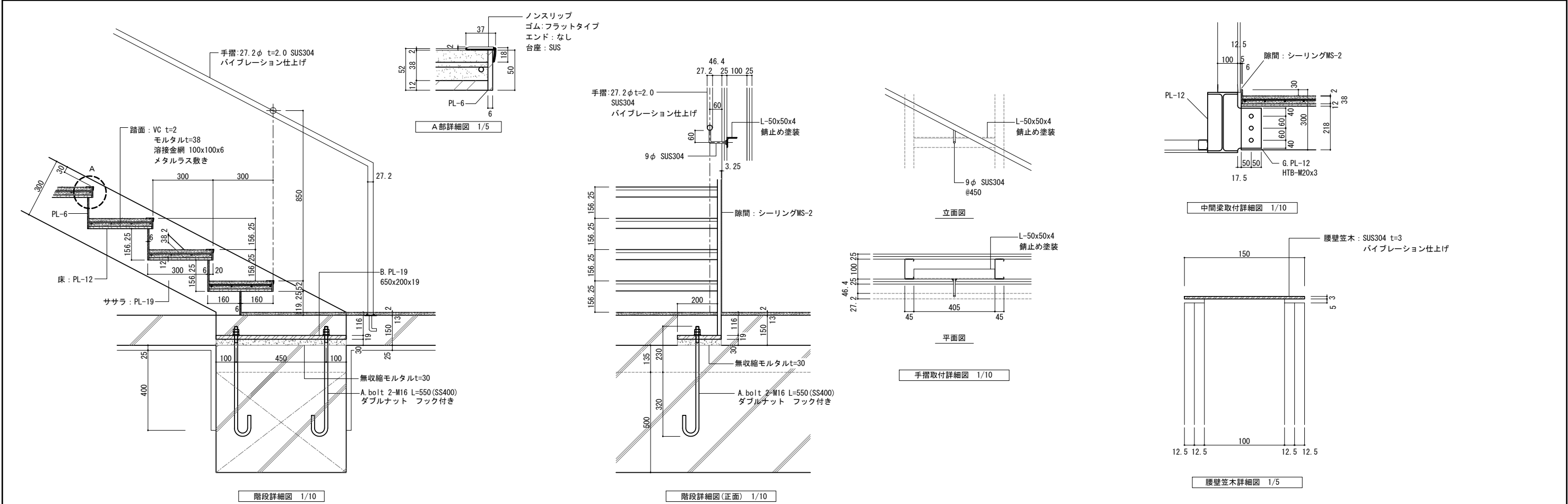
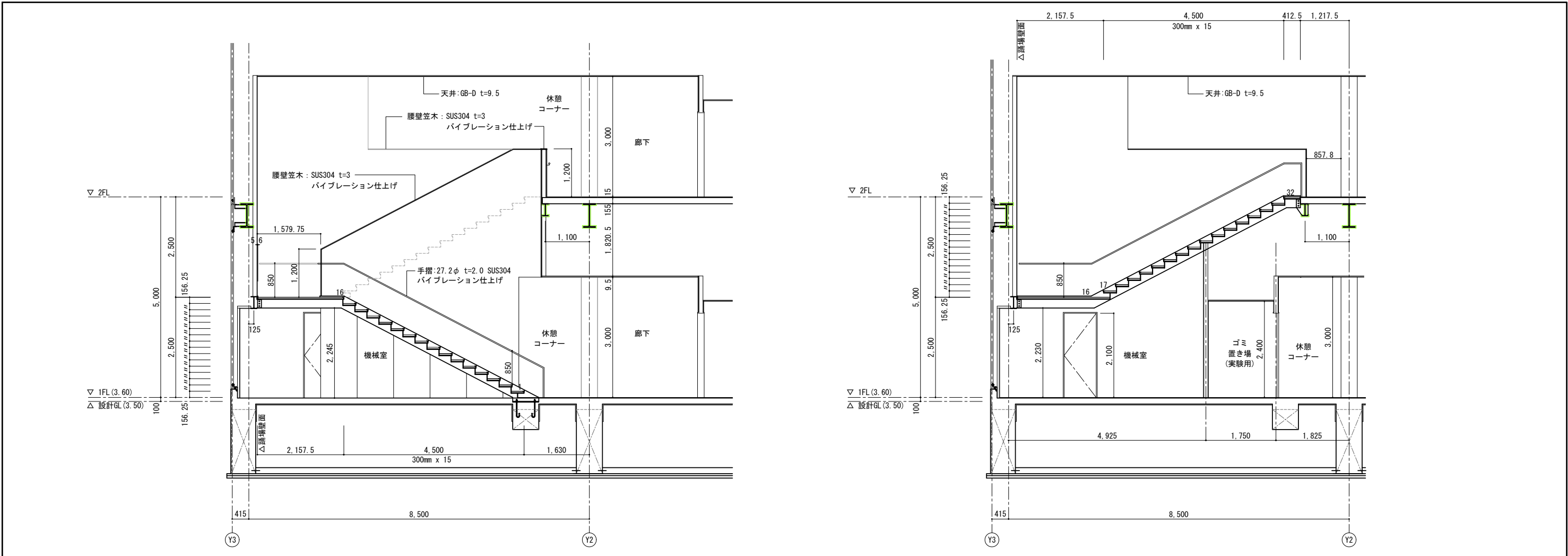
点検口	450×450	67	天井開口補強 ⑥	450×450	4
点検口クリーンルーム仕様	450×450	-	天井開口補強 ⑦	500×500	2
天井開口補強 ①	200×200	17	天井開口補強 ⑧	550×550	1
天井開口補強 ②	250×250	8	天井開口補強 ⑨	850×850	2
天井開口補強 ③	300×300	2	天井開口補強 ⑩	950×950	17
天井開口補強 ④	350×350	-	天井開口補強 ⑪	1115×1840	-
天井開口補強 ⑤	400×400	4			

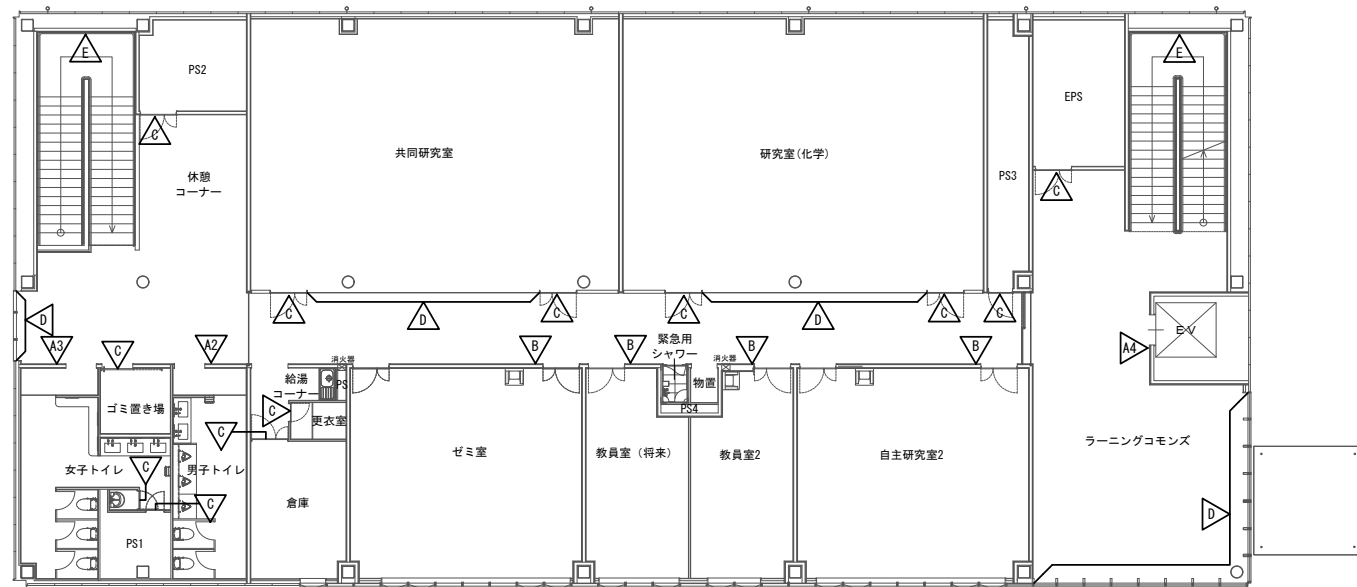


天井仕上凡例	
①	GB-D t=9.5
②	階段表し
③	デッキプレート表し

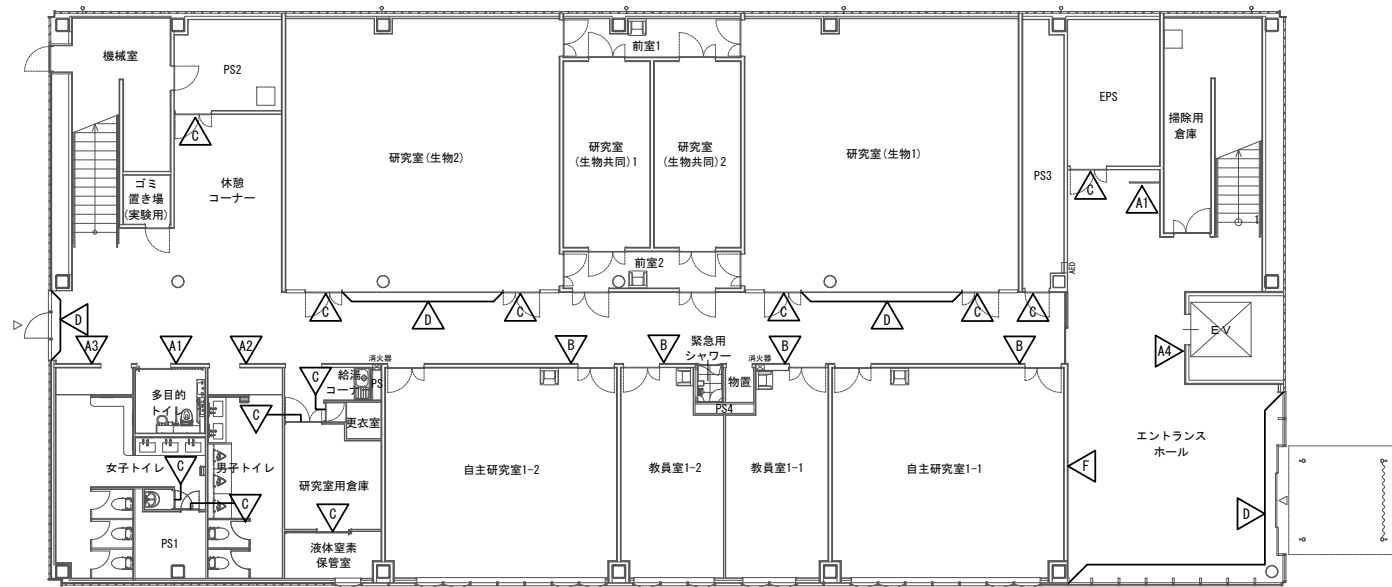
点検口	450×450	1	天井開口補強 ⑥	450×450	-
点検口クリーンルーム仕様	450×450	-	天井開口補強 ⑦	500×500	-
天井開口補強 ①	200×200	-	天井開口補強 ⑧	550×550	-
天井開口補強 ②	250×250	-	天井開口補強 ⑨	850×850	-
天井開口補強 ③	300×300	-	天井開口補強 ⑩	950×950	-
天井開口補強 ④	350×350	-	天井開口補強 ⑪	1115×1840	-
天井開口補強 ⑤	400×400	-			



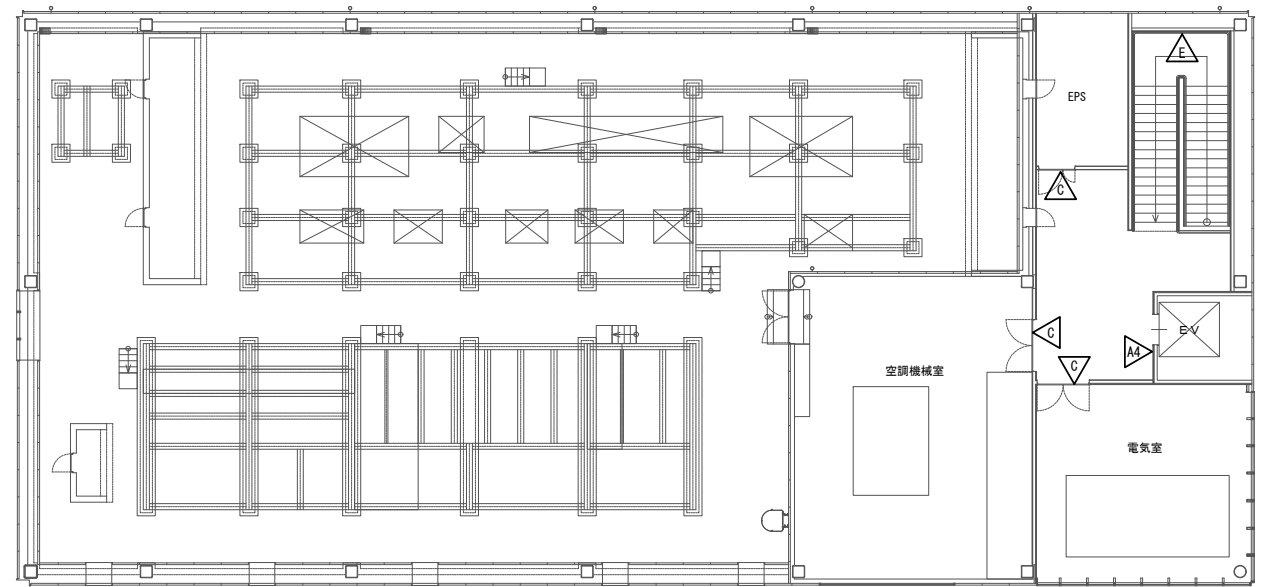




2階サインキープラン



1階サインキープラン



3階サインキープラン

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

日付
R07/10

工事名称
山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

図面名称
サインキープラン

縮尺
A1:1/-
A3:1/-

図面番号
A - 54

A ピクトサイン 1/10		D 衝突防止シール 1/10		F 案内表示板 1/20	
〈A1〉多目的トイレ・車いす置き場 2箇所 多目的トイレ 車いす置き場 100 100 100 TOILET アクリルプレート t=10 100 100 100 アクリルプレート t=10		カッティングシート 50 50 350		1箇所 案内表示板：仕様 透明アクリル板t=10 表示シルク印刷（概略平面図9色程度） コーナードット表示シルク印刷 文字シルク印刷 45×45 30文字程度 20×20 375文字程度 点字表示付(利用円滑化経路共) 化粧ビス(ステンレス) ※内容は監督員との協議により決定すること	
〈A2〉男子トイレ 2箇所 60 100 100 MEN アクリルプレート t=10		階段表示 1/20 3箇所 250 200 FLOOR 23		案内表示板 2F 1F	
〈A3〉女子トイレ 2箇所 100 100 100 WOMEN アクリルプレート t=10		3箇所 250 125 125 アクリルプレート t=10			
〈A4〉EV 3箇所 250 125 125 アクリルプレート t=10					
B 室名札 1/10 8箇所 文字：丸ゴシック 120 125 25 150 95 ベース：アクリル板 t=2 表示基板：透明アクリル t=2 UV印刷 アルミ板 t=1 ブラケット：タモ材 t=18 ウレタンクリア塗装 2 1 2 9 125 25 18 45 ※文字の内容は監督員との協議により決定すること					
C カッティングシート 1/10 27箇所 文字：丸ゴシック 25 25 PS 更衣室 W ※建具の扉に設置すること ※文字の内容は監督員との協議により決定すること					

										日付		工事名称		図面名称		縮尺		図面番号	
		株式会社 世戸建築事務所		管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大		・ ・ ・ ・		R07/10		山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事		サイン詳細図		A1:1/10 A3:1/20		A - 55			

エレベーター仕様			
基本仕様	号機名	NO.1	
	型式	日立機械室レスオーダーアパン OU-P	
	用途	乗用兼車いす用	
	定格積載質量/定員	1700kg/26人乗	
	定格速度	60m/min	
	運転方式	乗合全自動方式(専用運転付き)(乗り捨て方式)	
	制御方式	インバータ制御方式(マイコン制御、変頻ファウンス付)	
	停止階	3箇所(1~3階)	
	かご寸法	開口1800mm 奥行2000mm 天井高さ2300mm	
	出入口寸法	幅1000mm 高さ2100mm	
戸型式	2枚戸中央開き		
	電動機	AC 12kW	
	動力用電源	AC 3φ 210V 60Hz	
	照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz	
連絡装置	同時通話式インターホン		
設置場所	リモートメンテナンス用インターフェース (リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約を していただく必要があります)		
管制運転	地震	有り(P波およびS波感知)(リスタート機能付)	
	火災	有り(火報と連動した検点による自動式)	
	停電	有り	
	自家発電	無し	
標準装備	マルチビームドアセンサー付		
	数回撥ギャップ10mm ケアフルセンサー付		
乗場仕様	三方弁	1~3階	大枠 ステンレスヘアライン仕上
	乗場戸	1~3階	ステンレスヘアライン仕上
			戸目地: ステンレスヘアライン仕上
	幕板	1~3階	無し
	敷居	1~3階	硬質アルミ
	ホールファンタム	1~3階	無し
インジケータ	1~3階	底層デジタル表示 カバー: ステンレスヘアライン仕上	
ホールボタン	1~3階	抗菌UV文字ボタン(φ45)(SIAA認証) インジケータに組込	
かご仕様	天井	セレクトタイプ(SL-11)(天井照明色: 白色光)	
	前板	ステンレスヘアライン仕上	
	側板	鋼板塗装仕上	
	戸	鋼板塗装仕上	
	出入口上部	ステンレスヘアライン仕上	
	床	ゴムタイル(6T)	
	幅木	ステンレスヘアライン仕上	
	敷居	硬質アルミ	
	操作盤	抗菌UV文字ボタン(φ33)(SIAA認証) カバー: ステンレスヘアライン仕上	
	インジケータ	カラー液晶表示(青黄色: 白) 操作盤に組込	
	車いす用操作盤	抗菌UV文字ボタン(φ33)(SIAA認証) カバー: ステンレスヘアライン仕上	
	扉	ガラス製	
	ハンドレール	ステンレスパイプ	
	監視装置	無し	
耐震クラス	A14		
特記仕様	昇降機技術基準の解説2016年版対応 ビット冠木製運転(基本仕様)		
	遠程性能付乗場戸(大臣認定番号: CAS-Q216)(火災、停電時)(1~3階)		
	車いす仕座付(手すり2方向、ガラス製かみ)、音声案内装置付		
	車いす用・点字注意銘板付(ステンレスヘアライン仕上、鏡型ビス止め) 視覚障がい者仕座付(全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付)		
	かご内荷重リ付(ステンレスヘアライン仕上、床面+300)		
	非常放送・BGM放送用スピーカー付(共用)(かご天井上)		
	運転停止スイッチ付(1階に取付)、フェッシャープレート付		
	緊急感知器点検用ドアスイッチ付、呼び表示内蔵インターホン		
	乗場戸目地付(ステンレスヘアライン仕上)、乗場戸に省強追加(直射日光対策) 「ナイターJ」発生装置搭載、短尺ガイドレール(4m)		
	かご内カメラ付、昇降器内四輪ケーブル付(昇降器外は電気工事) かご側保護マット(高さ1800mm)、かご床保護マット付		

- P

見解は下記条件に基づき積算を行っております。										
工 事 区 分 表										
号機名	NO.1				建屋構造		工事区分			
範囲	項目	工 事 名			RC	S	建築電気	空調	エレ	ELV
昇降路	1	昇降路の築造と誘導は正工事 1) 壁または囲いは開閉なきものとする 2) 昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸は、任意の5cm ² の面にこれと直角方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において 15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと 3) コンクリート厚さは150mm以上とする 4) コンクリート基準圧縮強度 21N/mm ² 以上とする			○	○	○			
	2	昇降路内鉄骨構造部の構造耐火処理工事および補修工事					○	○	○	
	3	各階出入口の敷居取り付け用かき込みまたは敷居受け持ち出し工事					○	○	○	
	4	各階出入口および壁の穴あけ工事（出入口、押しボタソ、かご位置表示灯、ホールモニターなど） ・コンクリートの躯体該差が30mmを超えるないこと					○	○	○	
	5	エレベーター簀付後の出入口壁および床その他建築仕上げ及び補修工事					○	○	○	
	6	三方井、インジケータなどとは壁間の防火区画処理					○	○	○	
	7	三方井、インジケータなどとは壁間のすきま塞ぎ工事（ふさが板またはフス材）					○	○	○	○
	8	ピット内防水仕上げ工事（ピット仕上げ面の水平度は 1/200 以下）					○	○	○	
	9	併設されたエレベーターの地下階が異なる場合のピット壁仕切り工事（H=1800以上）					○	○	○	
	10	オーバヘッド・ピット寸法が図面と異なる場合はつり・埋め戻し工事					○	○	○	
	11	ピット点検用タフプまたは梯子の設置工事					○	○	○	○
	12	ピット点検用コンベント設置工事（1ヶ/台）					○	○	○	
	13	インターホンならびにその他の機器（放送（一般・非常）・自家発商用電算機接続ポート・火災時警報用接続点、防犯カメラ等）用配管、配線工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）					○	○	○	
	14	昇降路内の受電制御盤への動力電源、照明用電源およびアース線の引き込みならびにつなぎ込み工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）					○	○	○	
	15	監視盤がある場合の監視盤用配管配線工事（監視設備場所より昇降路地下階の制御盤位置まで引き込み）					○	○	○	
	16	昇降路頂部の煙感知器の設置工事（昇降路外部から保守点検可能な構造）（点検扉は、厚さ1.5mm以上の鉄板製）					○	○	○	
	17	昇降路頂部の煙感知器点検扉ELV活動停止スイッチ取付					○	○	○	○
	18	リモートメンテナンス用として電話中継箱から昇降路までの配管（最小直径25mm）、配線工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）					○	○	○	
	19	昇降路出入口側内壁（敷居下および出入口上部）とかご前縁が125mm以上離れる場合のフェッシャープレート取付用下地設置工事					○	○	○	
	20	昇降路出入口側内壁（敷居下および出入口上部）とかご前縁が125mm以上離れる場合のフェッシャープレート設置工事					○	○	○	○
	21	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事					○	○	○	
	22	昇降路頂部への吊りフックの設置工事					○	○	○	
	23	昇降路頂部への吊りビーム設置工事					○	○	○	
	24	昇降路内の中間ビーム設置工事（コンクリート階）					○	○	○	○
	25	昇降路内の中間ビーム及び立柱設置工事（鉄骨階）					○	○	○	
	26	レール・三方井・敷居・ホールボタン・インジケータなどとの固定用鋼材設置工事および該差は正工事					○	○	○	
	27	PC構造に於けるインサート埋め込み工事またはプレート設置工事					○	○	○	
	28	不停止階の昇降路放出口扉の設置工事（施行令 129条の7の1による）					○	○	○	
	29	かごドレン式クレーン設置時のピット排水管工事					○	○	○	
	30	昇降路内温度が40℃超過の場合のガリ設置工事					○	○	○	
	31	昇降路内温度が40℃超過の場合の換気扇設置工事					○	○	○	
	32	昇降路内温度が5℃未満又は40℃超過の場合の空調設備設置工事					○	○	○	○
その他	1	エレベーター部品搬入経路の確保（必要に応じてコンクリートの穴あけおよび埋め戻し工事）					○	○	○	
	2	エレベーター重要部品搬入の際の仮設荷重床の張り					○	○	○	
	3	エレベーター簀付工事現場事務所および材料置場の確保					○	○	○	
	4	エレベーター簀付工事用電力の供給（動力用および照明用電源）					○	○	○	
	5	エレベーター運転調整用電力の供給（動力用および照明用電源とともに本設置配管経路で引き込み）					○	○	○	
	6	医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事					○	○	○	
	7	昇降路と居室が隣接する場合の居室側断音および断熱工事					○	○	○	
	8	昇降路内建築工事仮設床（水平養生）用の金網、デッキプレートなどの撤去工事					○	○	○	
	9	エレベーター着工前の各階出入り口開口部の塞ぎ材支給および施工					○	○	○	
	10	出入口が直接外気と接する乗場における雨ふり工事（庇、水切り等）					○	○	○	
	11	昇降路内仮設足場の設置および解体工事					○	○	○	
	12	エレベーター承認図と躯体が異なる場合の手直し					○	○	○	
	13	昇降路がガラスの場合の養生施工および塗装工事					○	○	○	
	14	ALC工量の補修、シバボルトの撤去					○	○	○	
15	非常用エレベーターホール全階の避難経路板設置工事					○	○	○		
16	非常用エレベーター乗場水勾配、排水溝、クレーンチング施工					○	○	○		
17	監視盤用電源の監視盤までの引き込み工事					○	○	○	○	

【注意事項】

エレベーター設備計画にあつては、以下の事項にご注意願います。

- 1.昇降路内にエレベーターに関係のない用途の配管・ダクトなどを露出しないようにしてください。
- 2.昇降路内温度は室温＋5℃、最高室温40℃以下、湿度は月平均90%、日平均95%を越えないようにしてください。
- 3.昇降路は有酸素ガス、臭気、ほこりなどの塵埃などが入らないようにしてください。
- 4.昇降路内壁や床骨材に使用する塗料、接着剤、モルタルなどはホルムアルデヒドの発散が少ない材料を使用してください。
- 5.電圧電圧の変動は－10～＋10%以内、電圧不平衡率5%以内に保つて電圧を設置願います。

電 気 設 備				
号機名	NO.1			
	AC 3φ 210V 60Hz	最大サイズ	1×180 1台	
	線サイズ (mm ²)	8.0	14.0	22.0
	最大引込距離 (m)	26	45	70
動力用電線	MCB容量	75A/台		
	トランス容量	10kVA/台		
	起動KVA	37kVA/台		
照明用電線	AC 1φ 100V 60Hz	5.5mm ² x 180	2.0kVA/台	
アース線	1.5mm ² (D) 電/台			
インターネン用配管配線	FCPEV 0.9-5P			
リモートメンテナンス用配管配線	CPEV 0.9-1P, 配管サイズφ25			
ヒート線用コンセント	AC 100V 1.5kVA以上 x 1台/台			
	(電下層FL+200の出入口付近に設置)			
火災報知信号無電圧 α 接続支線及び配管配線	印加電圧 DC24V	接続容量	1A/台	
BGM兼非常放送用スピーカ-用配管配線	HP 1.2-30/台			
防犯カメラ用配管配線 (昇降機除外)	四層ケーブル 5C - 2V x 1本			
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線区で引込み			

労基法適用（本設用）： 有（設置届・設置報告） ・ 無
遮煙性耐火構造物設置上の条件 ・ 遮煙性耐火構造物を設置するためには、自動火災報知設備が必要です。 設置義務の無い建物であっても、必ず設けてください。 ・ 自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、遮煙性耐火構造物設置箇所のエレベーターホールに必ず遮煙感知などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報器を介してエレベーター制御盤に供給してください。

特定防火設備：防犯型ガス設置不可（防犯あり入りガス配付の場合は防火設備となります）

設備まるごと監視サービス

＜昇降路＞

エレベーター

※1 遠隔監視診断装置
(無線通信装置)

遠隔監視

日立
管制センター

防火
発報

警備会社

＜共用部＞

※2 <管理人室等>
電話AC14

※3 装置

接続交換
100V,3相以上

受水槽

ポンプ

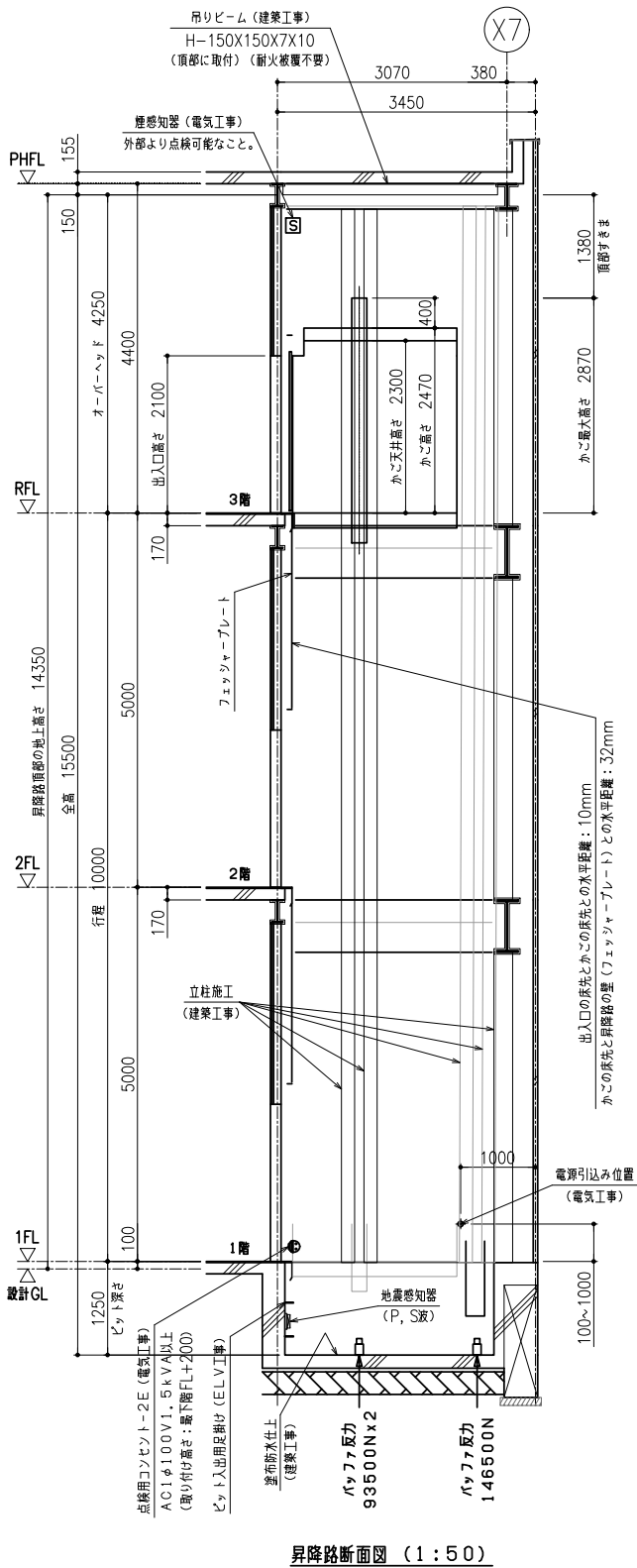
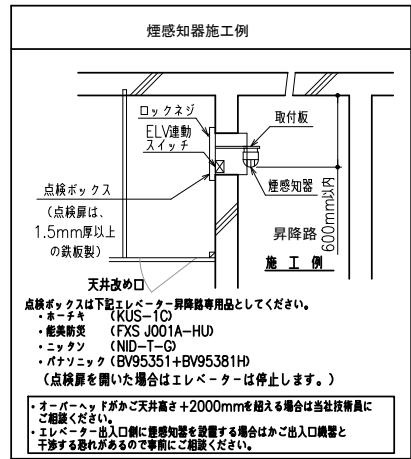
自動火災
報知器

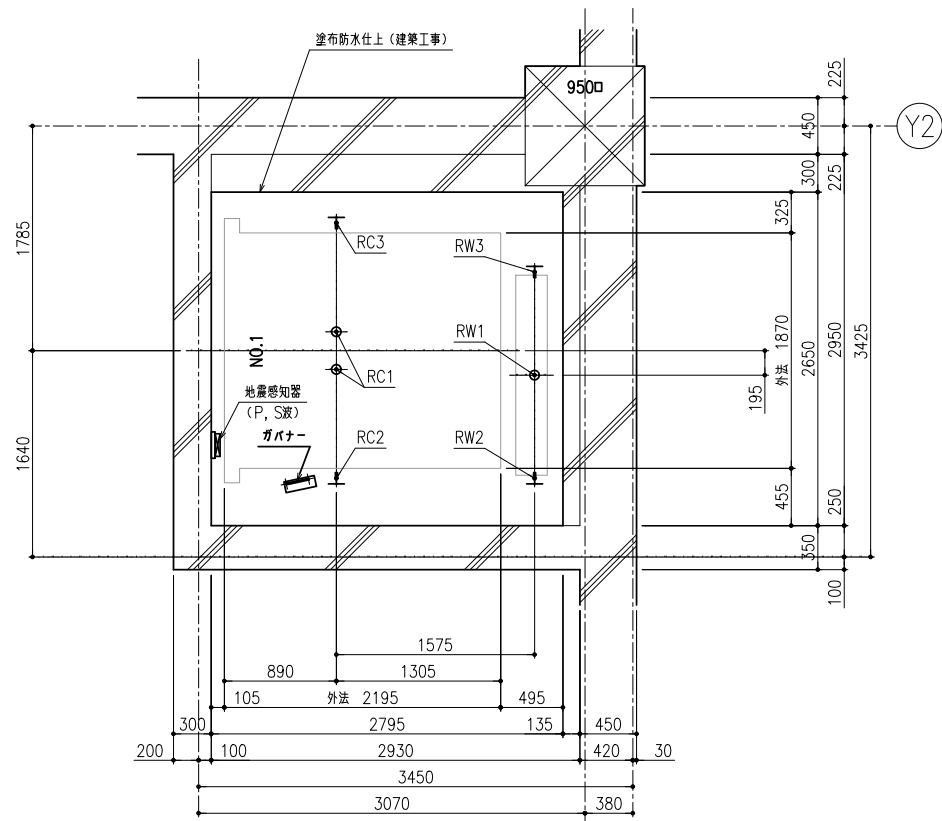
※(株)日立ビルシステムと保安契約を締結頂いた場合、※1,3の装置を
設置し、昇降機の遠隔監視回線を活用して最大8点までのビル設備（受水槽
やポンプ等）の遠隔監視や防犯監視がサービス可能です。

- ・ビル設備遠隔監視利用の専用回線が不要です。
- ・昇降機、ビル設備の遠隔監視を（株）日立ビルシステムで
一括対応可能になります。
- ・地域により本サービスがご提供できない場合があります。

※2 昇降路と接続交換装置の記録として2石（1戸）の確保をお願いします。

※3 接続交換装置（W390×H330×D141）の設置スペースの確保を
お願いします。





ピット平面図 (1:30)

ピット反力値 (N)

	短期荷重			長期荷重		
号機名	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
NO.1	93500x2	146500	45500	45500	52500	38000

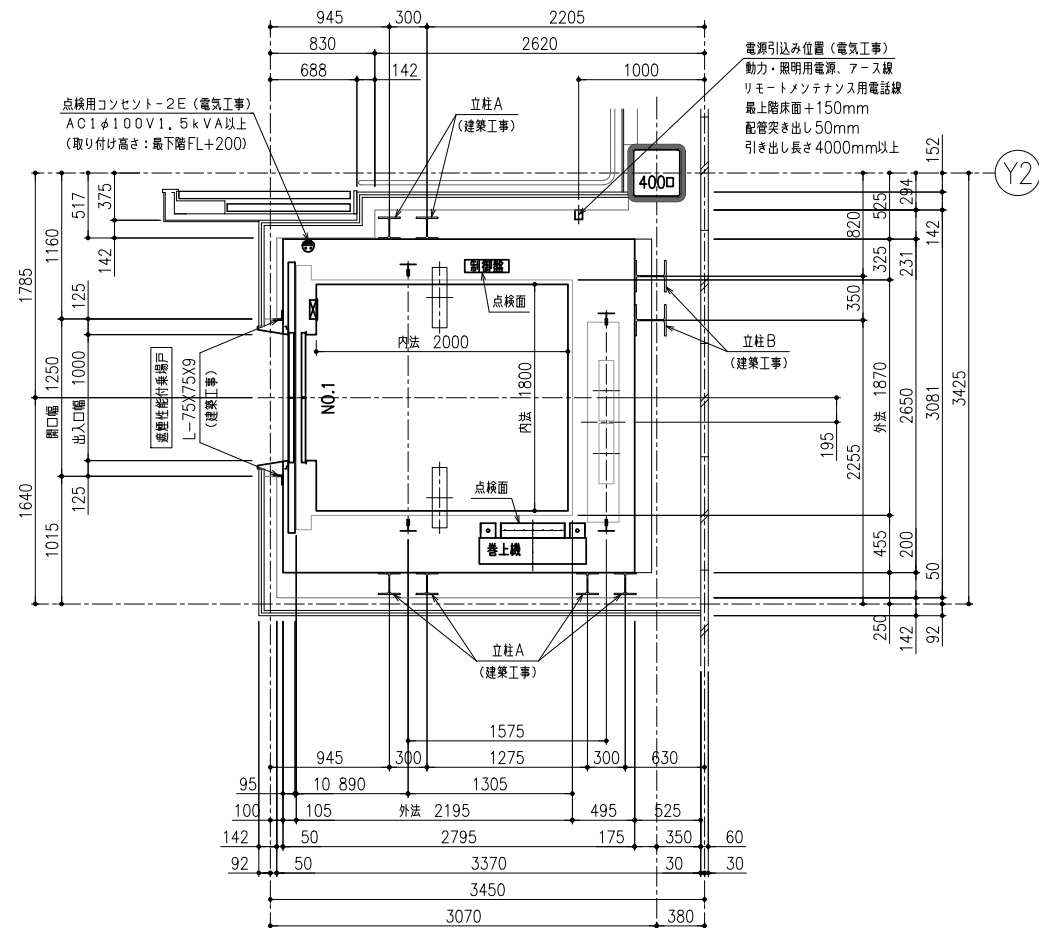
耐震クラス：A14



ガイドレール 部分荷重 (N)	かご側		ウェート側	
	PX	PY	PX	PY
NO.1	9500	5600	14750	7400

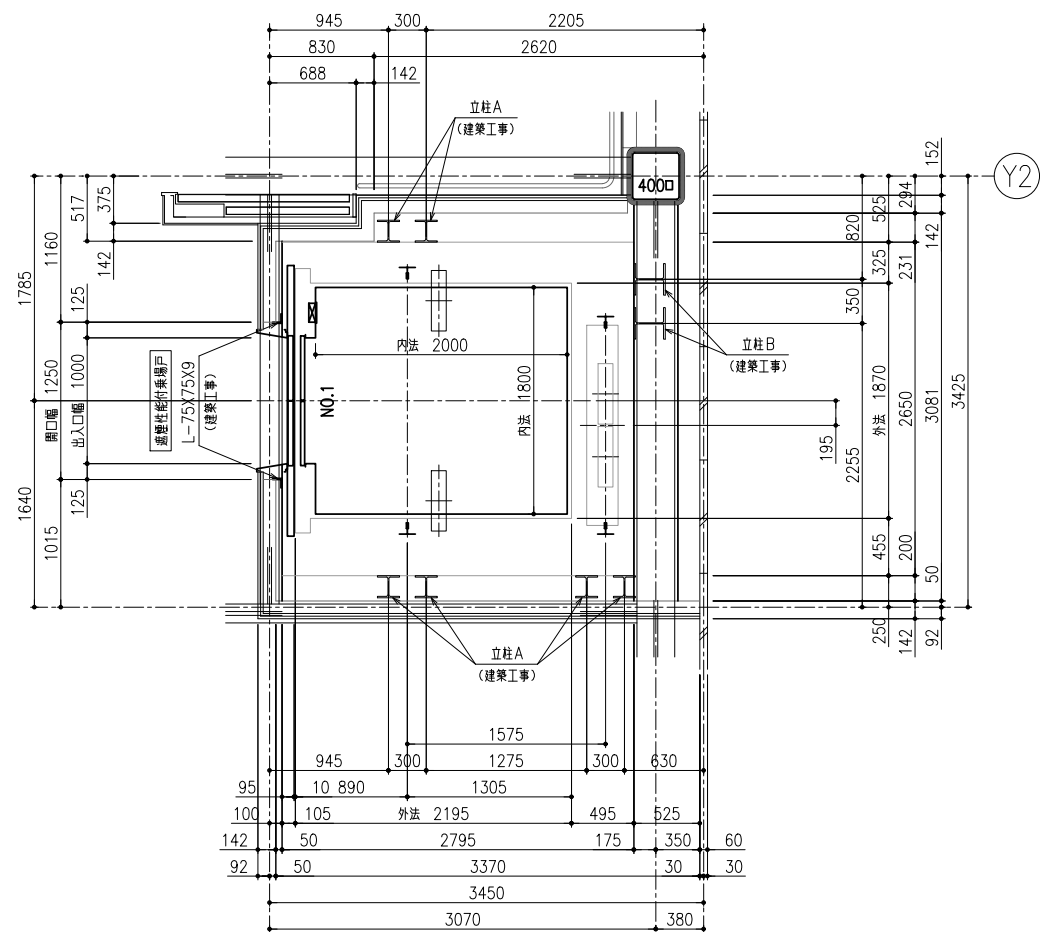
注) 上記荷重により柱及びはりのたわみは
5mm以下になるよう部材を設計のこと

地震時建物に掛る荷重



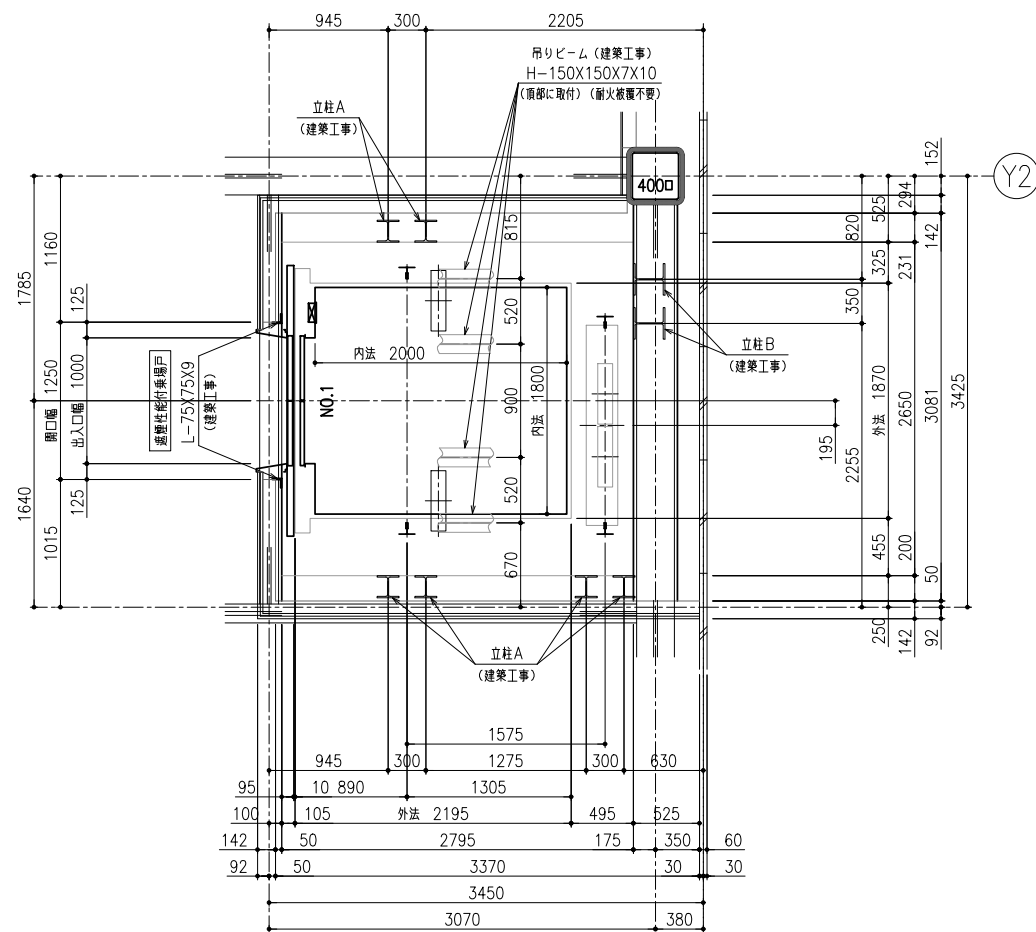
1階 昇降路平面図 (1:30)

立柱A: H-175X175X7.5X11- 6本 (建築工事)
立柱B: H-250X250X9X14- 2本 (建築工事)



2階 昇降路平面図 (1:30)

立柱A: H-175X175X7.5X11- 6本 (建築工事)
立柱B: H-250X250X9X14- 2本 (建築工事)



3階 昇降路平面図 (1:30)

立柱A: H-175X175X7.5X11- 6本 (建築工事)
立柱B: H-250X250X9X14- 2本 (建築工事)

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

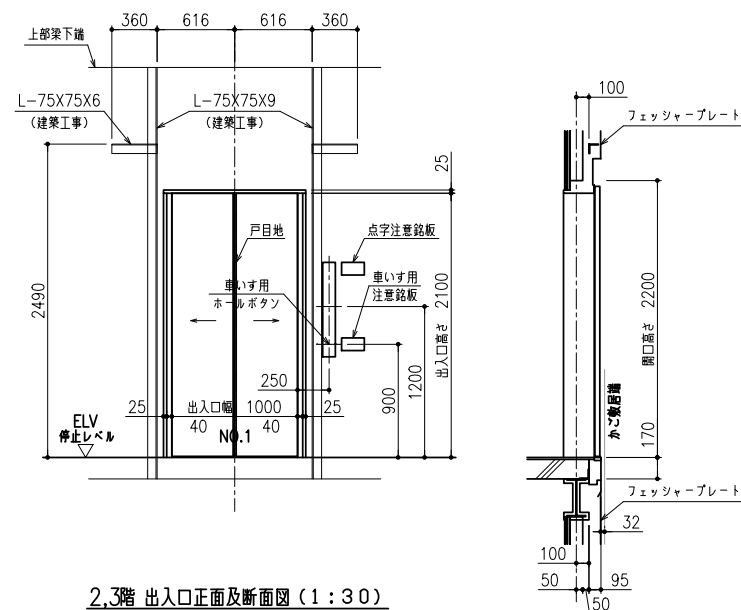
日付
R07/10

工事名称
山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

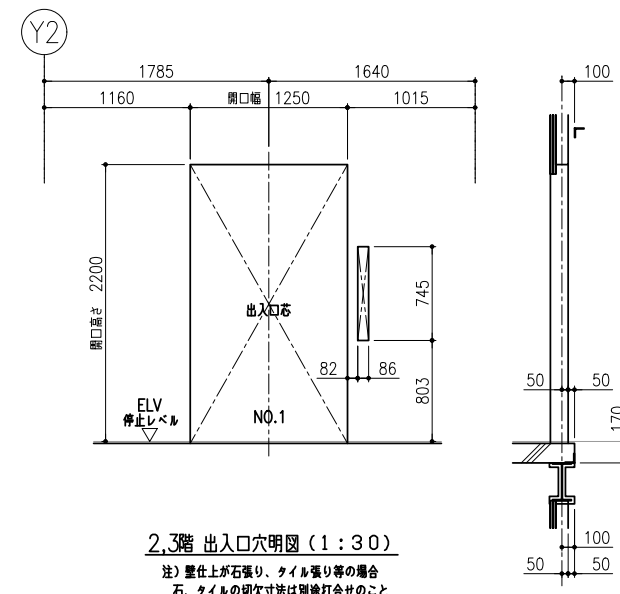
図面名称
昇降機詳細図 3

縮尺
A1:1/30
A3:1/60

図面番号
A - 58

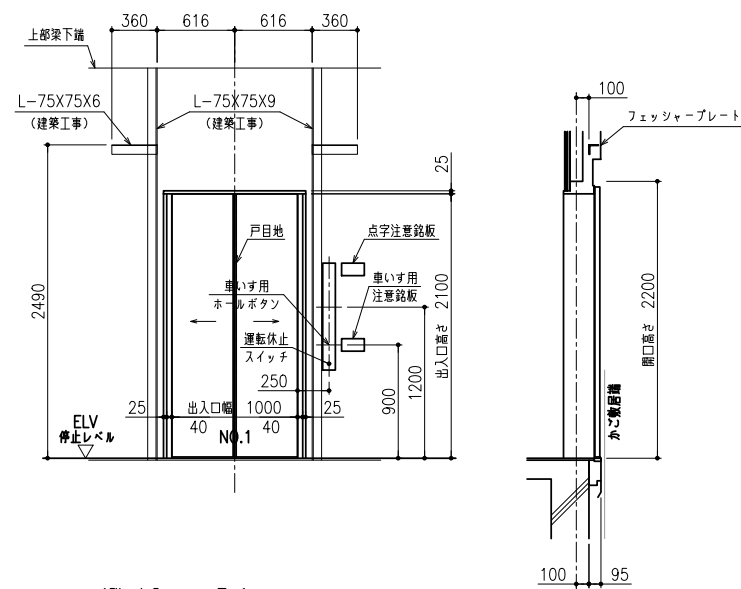


2,3階 出入口正面及断面図 (1:30)

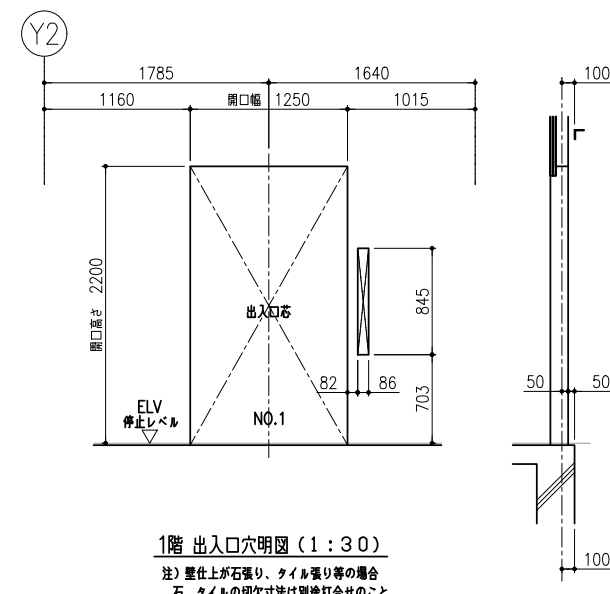


2,3階 出入口穴明図 (1:30)

注) 壁仕上が石張り、タイル張り等の場合
石、タイルの切欠寸法は別途打合せのこと



1階 出入口正面及断面図 (1:30)



1階 出入口穴明図 (1:30)

注) 壁仕上が石張り、タイル張り等の場合
石、タイルの切欠寸法は別途打合せのこと

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

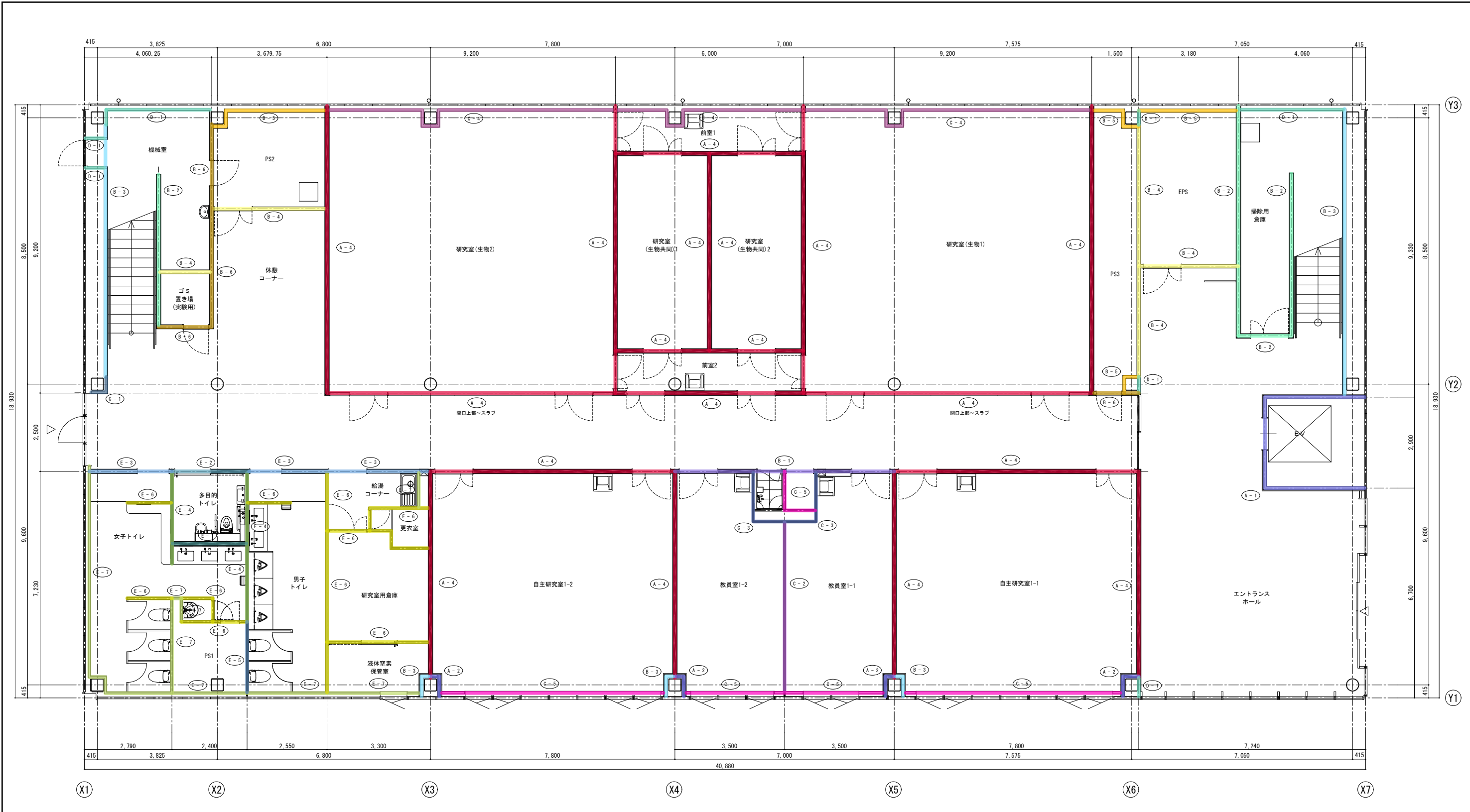
日付 R07/10

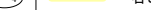
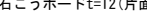
工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

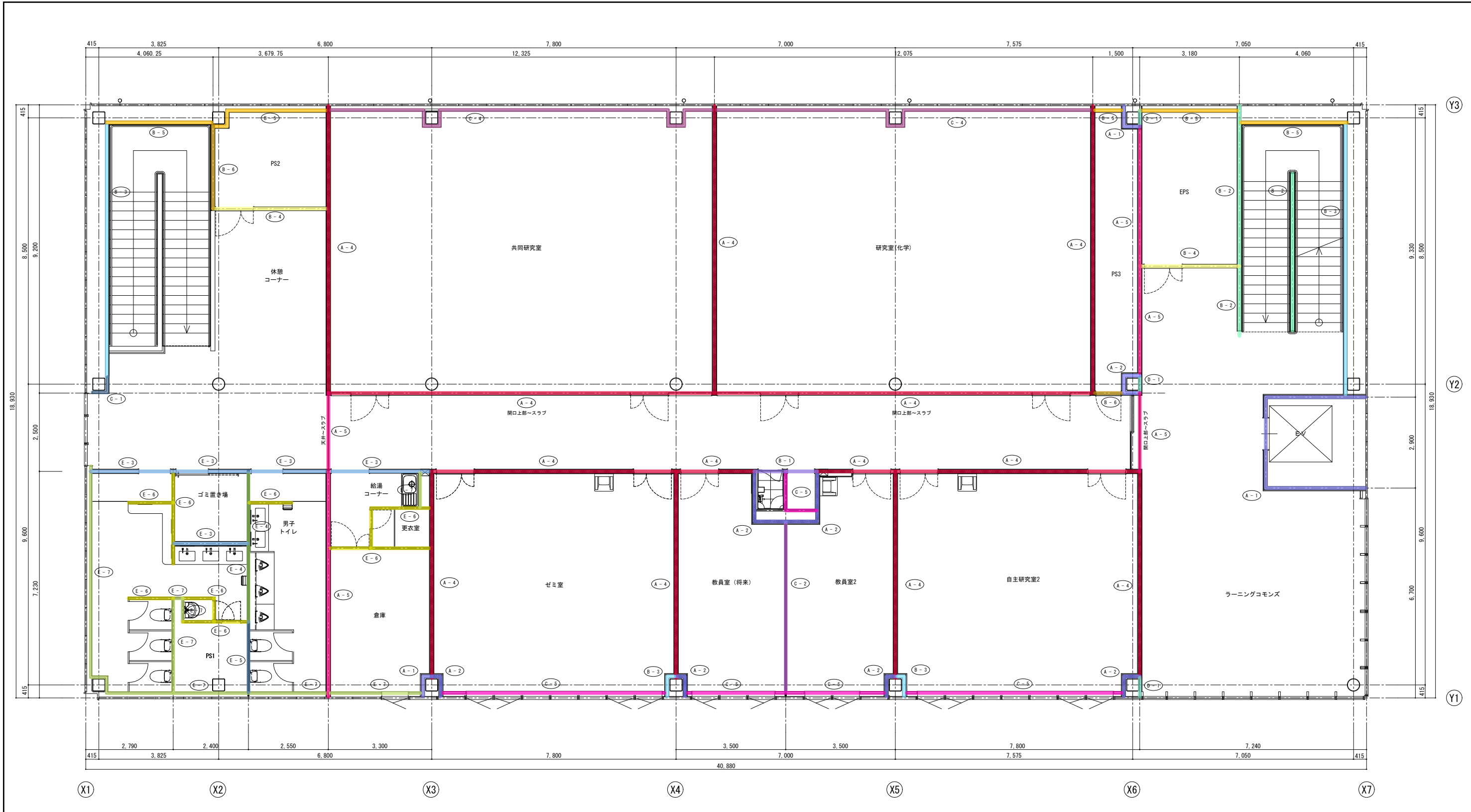
図面名称 昇降機詳細図 4

縮尺 A1:1/30
A3:1/60

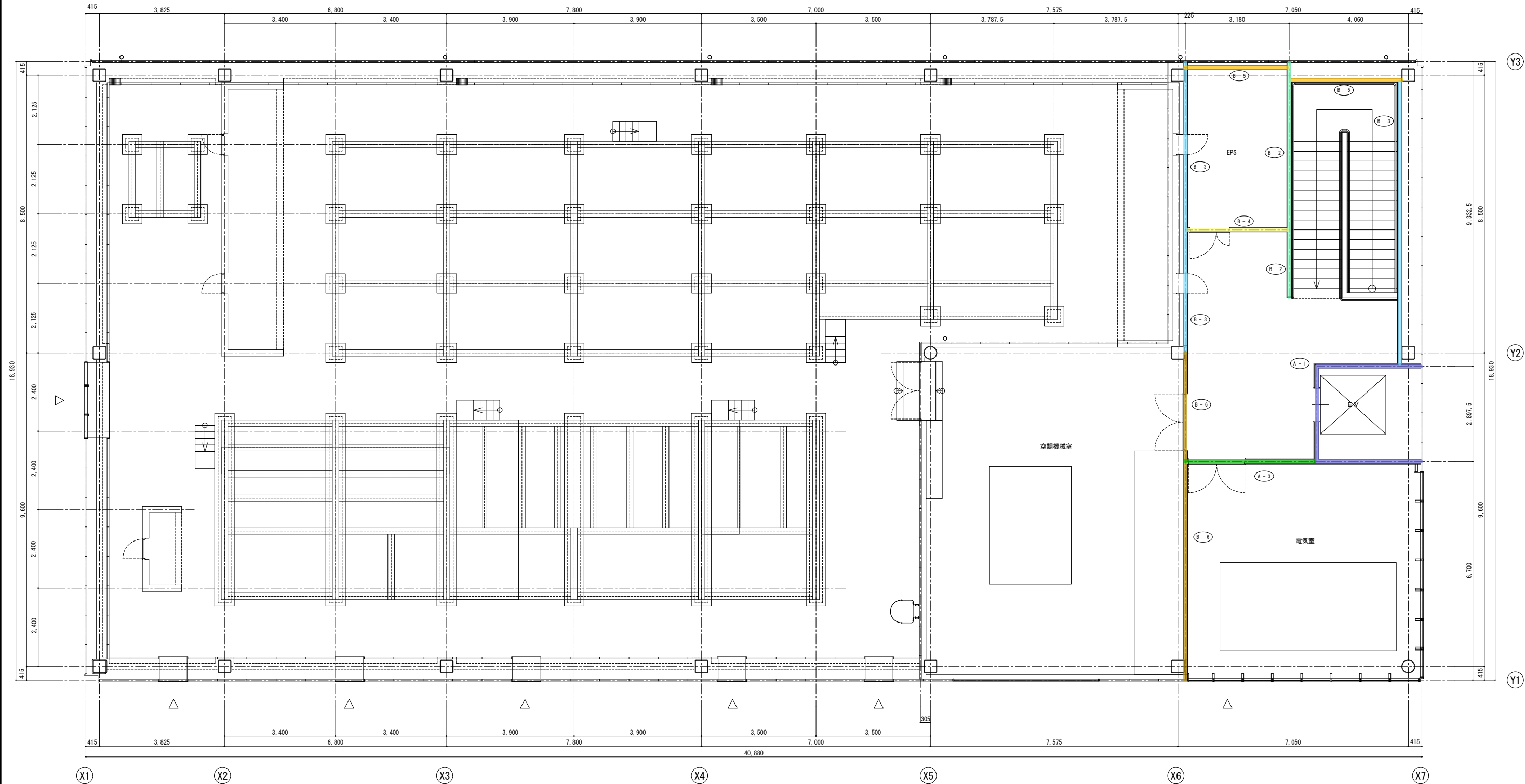
図面番号 A - 59



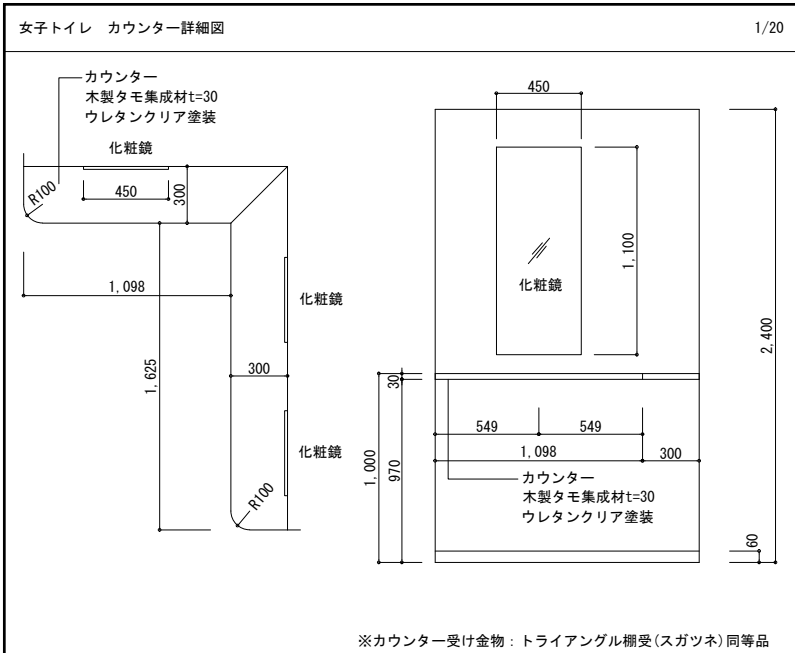
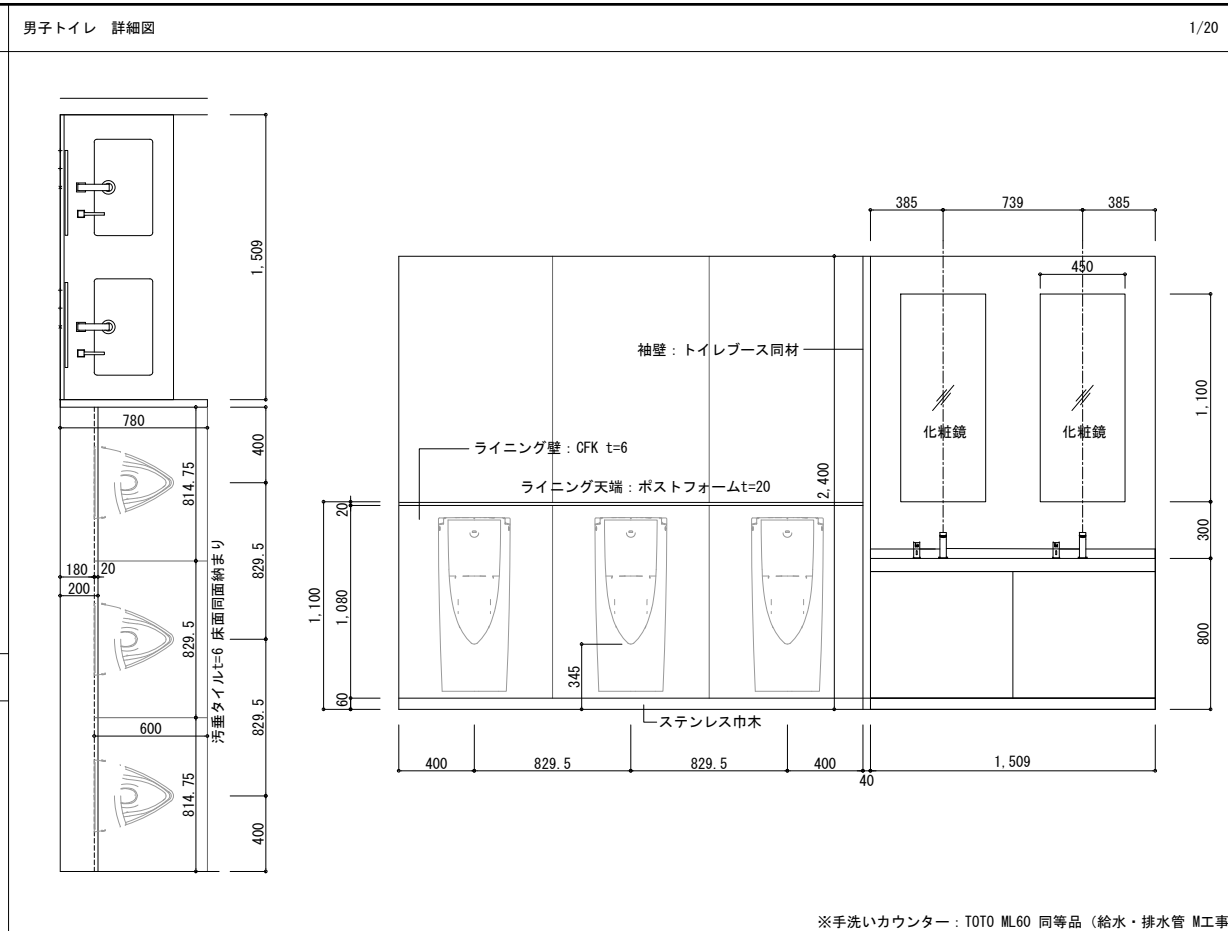
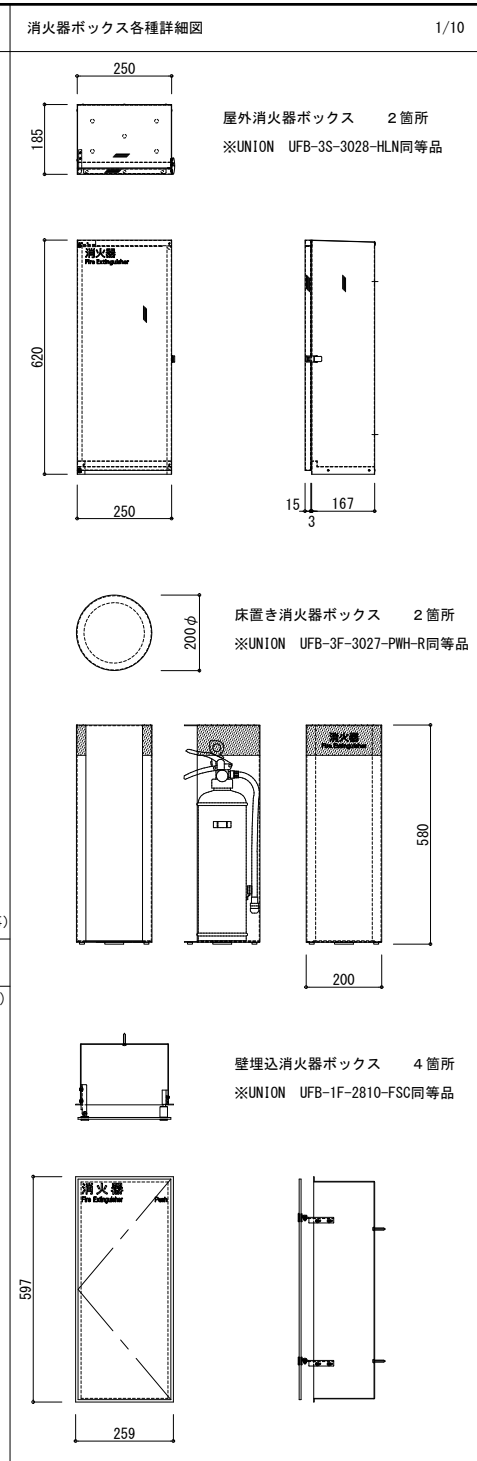
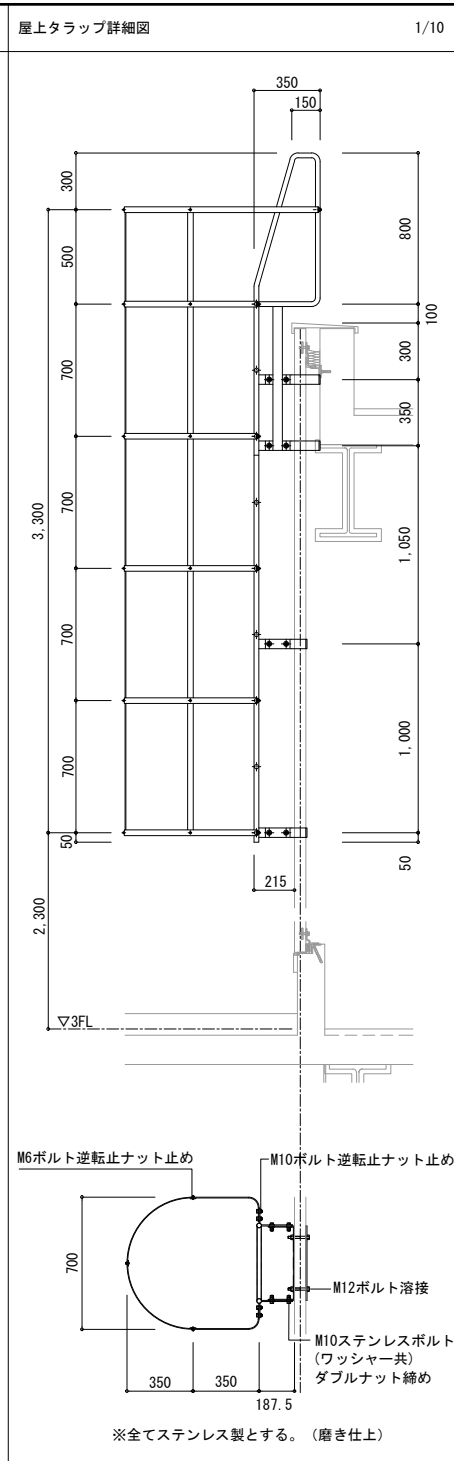
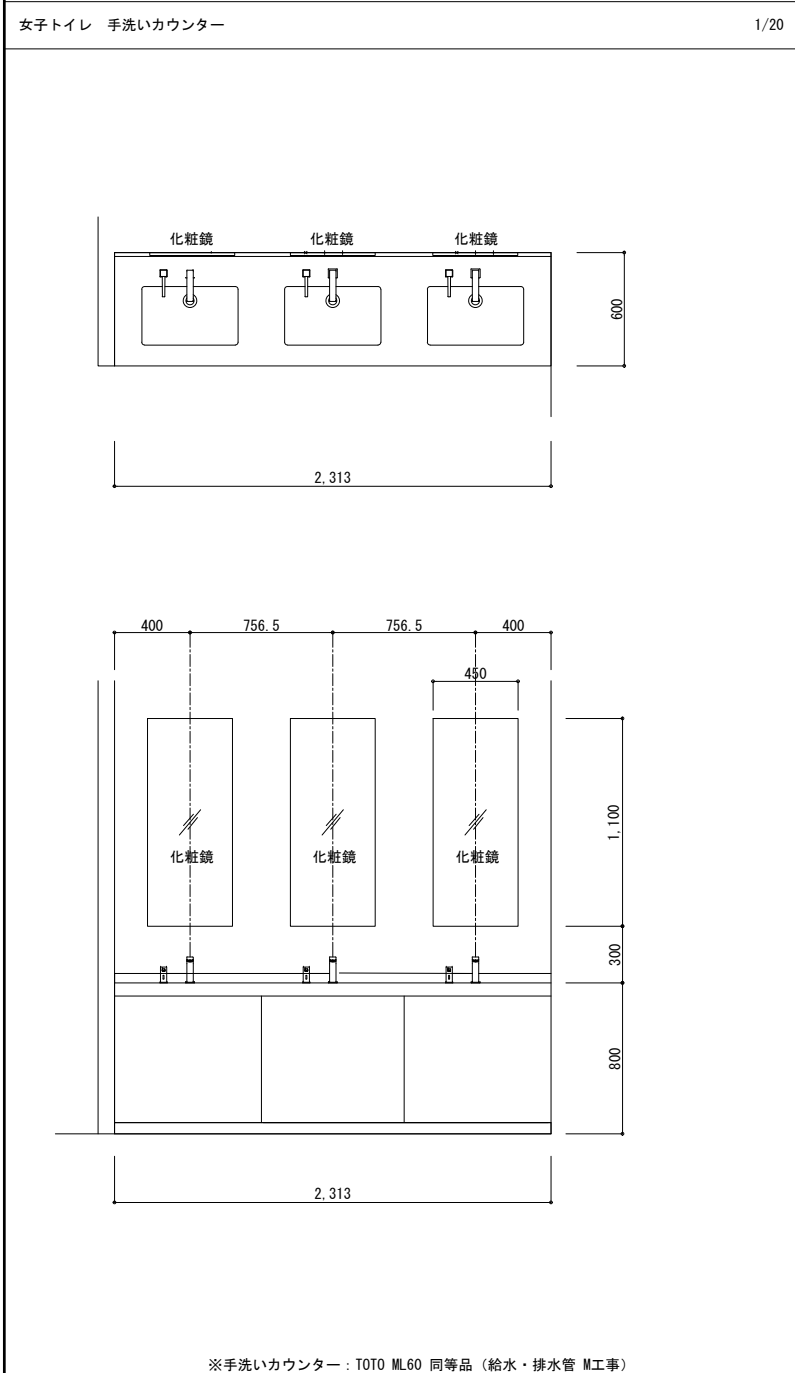
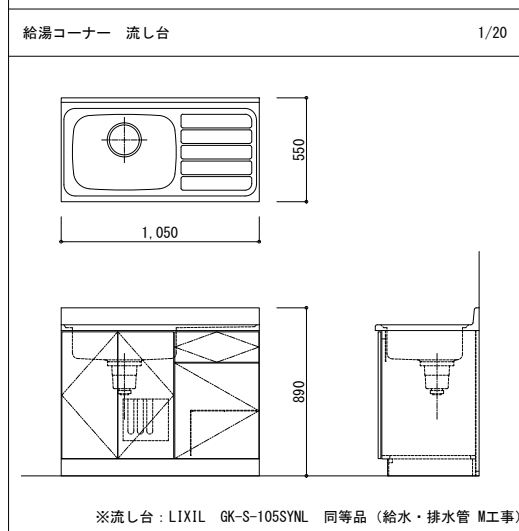
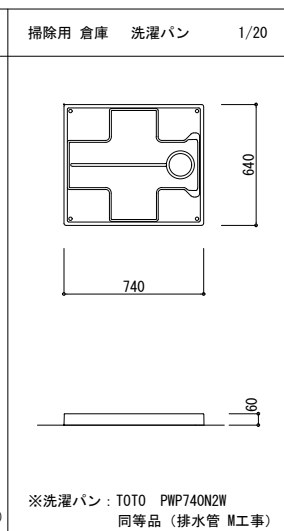
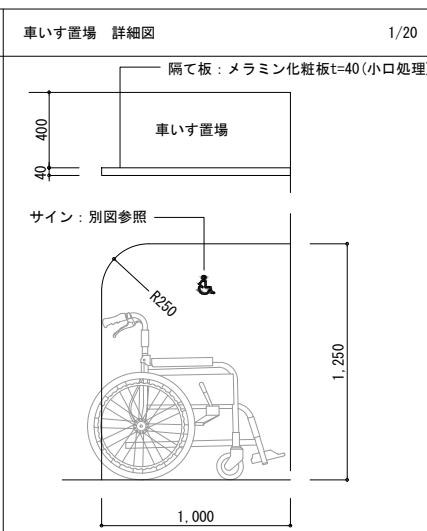
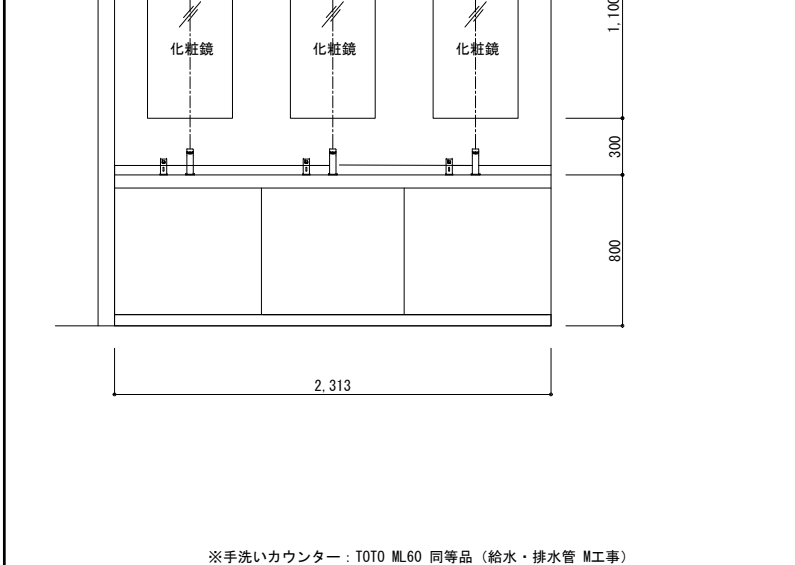
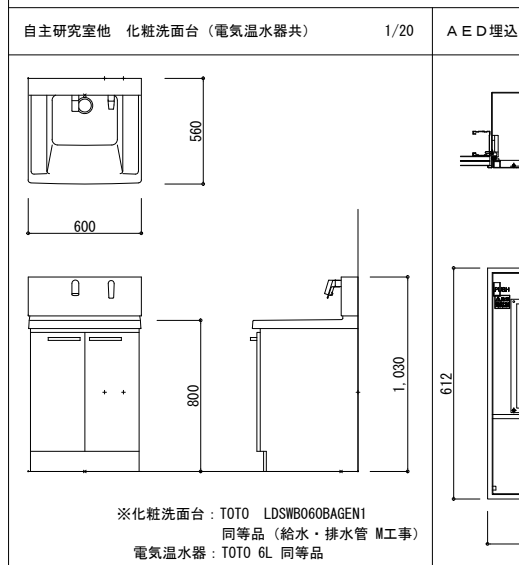
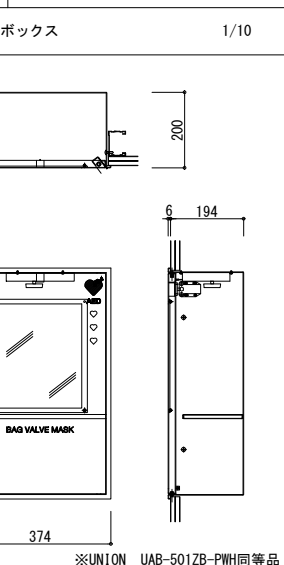
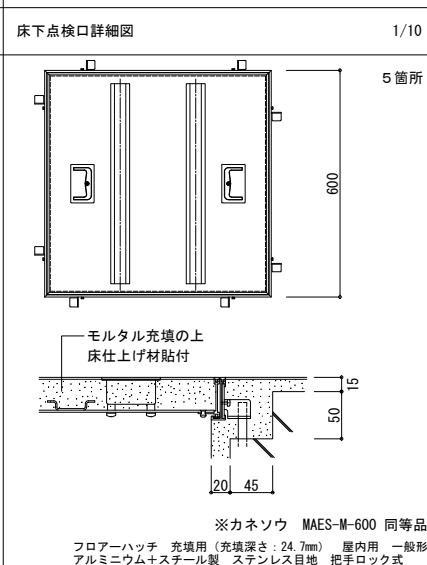
凡例										
(A-1)	 強化石こうボードt=21+21 (片面) LGS100(スラブまで) 【1時間耐火】	(B-1)	 石こうボードt=12+12, t=12 GW t=100 LGS100(スラブまで)	(C-1)	 石こうボードt=12+12(片面) LGS65(スラブまで)	(D-1)	 石こうボードt=12(片面) LGS50(スラブまで)	(E-1)	 シーリング石こうボードt=12(両面) GW t=100 LGS100(天井まで)	
(A-2)	 強化石こうボードt=21+21 (片面) GW t=100 LGS100(スラブまで) 【1時間耐火】	(B-2)	 石こうボードt=12+12(両面) LGS100(スラブまで)	(C-2)	 石こうボードt=12(両面) GW=50 LGS65(天井まで)			(E-2)	 シーリング石こうボードt=12+12, t=12 GW t=100 LGS100(天井まで)	
(A-3)	 強化石こうボードt=21+21, 石こうボードt=12 LGS100(スラブまで)	(B-3)	 石こうボードt=12+12(片面) LGS100(スラブまで)	(C-3)	 石こうボードt=12(片面) GW=50 LGS65(天井まで)			(E-3)	 シーリング石こうボードt=12+12, t=12 LGS100(天井まで)	
(A-4)	 強化石こうボードt=12+12, t=12+12 GW t=100 LGS100(スラブまで) 【1時間耐火】	(B-4)	 石こうボードt=12(両面) LGS100(スラブまで)	(C-4)	 石こうボードt=12(片面) LGS65(スラブまで)			(E-4)	 シーリング石こうボードt=12(両面) GW t=50 LGS50(天井まで)	
(A-5)	 強化石こうボードt=12+12, t=12+12 LGS100(スラブまで) 【1時間耐火】	(B-5)	 石こうボードt=12(片面) LGS100(スラブまで)	(C-5)	 石こうボードt=12(片面) LGS65(天井まで)			(E-5)	 シーリング石こうボードt=12(片面) GW t=50 LGS50(天井まで)	
		(B-6)	 石こうボードt=12, t=12+12 LGS100(スラブまで)					(E-6)	 シーリング石こうボードt=12(両面) LGS50(天井まで)	
								(E-7)	 シーリング石こうボードt=12(片面) LGS50(天井まで)	
(A1→A3 = 50%縮小)		株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大			日付 R07/10	工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 壁仕様図 1階	縮尺 A1:1/60 A3:1/120	図面番号 A - 60

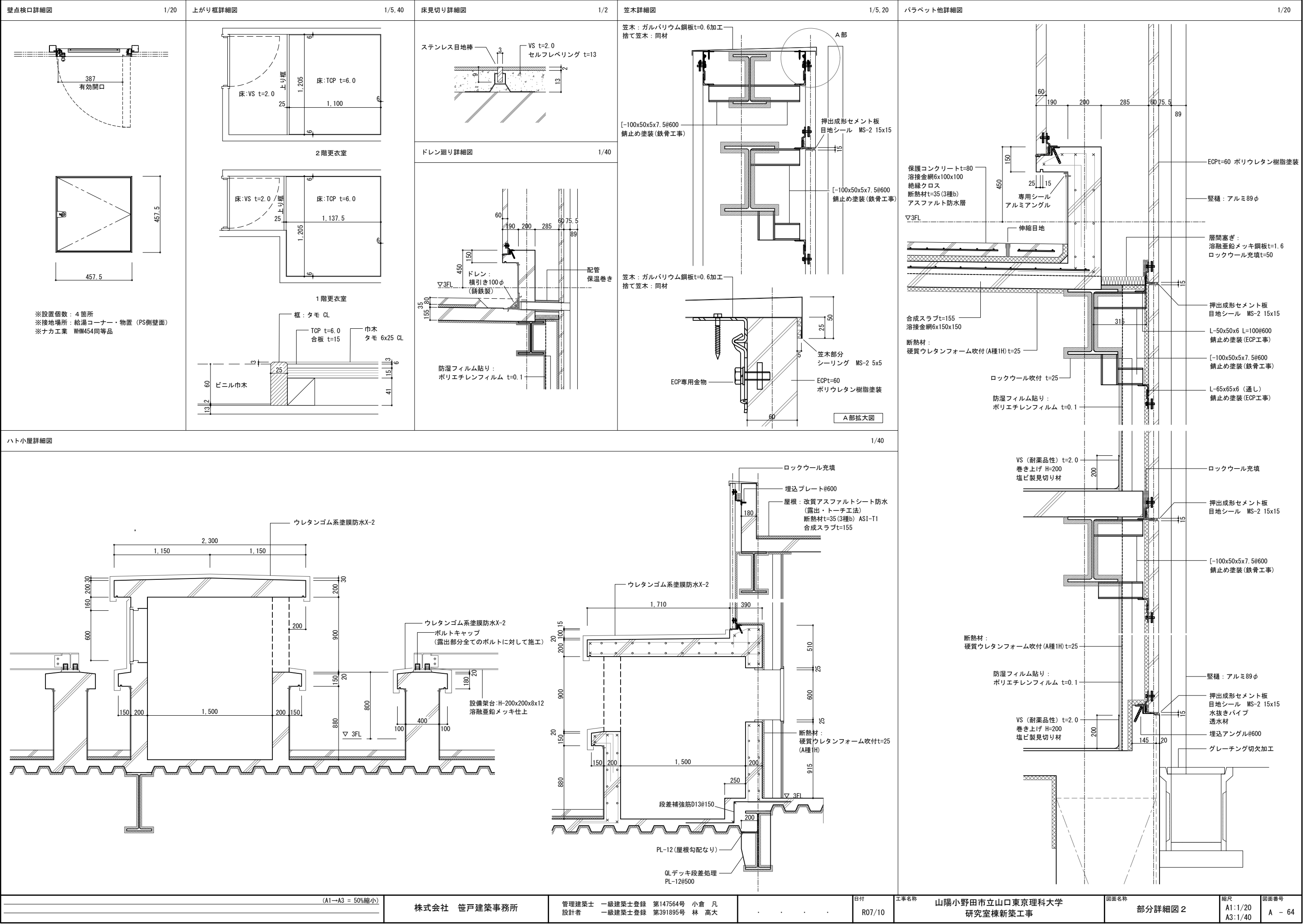


凡例									
(A-1)	 強化石こうボードt=21+21 (片面) LGS100(スラブまで) 【1時間耐火】	(B-1)	 石こうボードt=12+12, t=12 GW t=100 LGS100(スラブまで)	(C-1)	 石こうボードt=12+12(片面) LGS65(スラブまで)	(D-1)	 石こうボードt=12(片面) LGS50(スラブまで)	(E-1)	 シーリング石こうボードt=12(両面) GW t=100 LGS100(天井まで)
(A-2)	 強化石こうボードt=21+21 (片面) GW t=100 LGS100(スラブまで) 【1時間耐火】	(B-2)	 石こうボードt=12+12(両面) LGS100(スラブまで)	(C-2)	 石こうボードt=12(両面) GW=50 LGS65(天井まで)			(E-2)	 シーリング石こうボードt=12+12, t=12 GW t=100 LGS100(天井まで)
(A-3)	 強化石こうボードt=21+21, 石こうボードt=12 LGS100(スラブまで)	(B-3)	 石こうボードt=12+12(片面) LGS100(スラブまで)	(C-3)	 石こうボードt=12(片面) GW=50 LGS65(天井まで)			(E-3)	 シーリング石こうボードt=12+12, t=12 LGS100(天井まで)
(A-4)	 強化石こうボードt=12+12, t=12+12 GW t=100 LGS100(スラブまで) 【1時間耐火】	(B-4)	 石こうボードt=12(両面) LGS100(スラブまで)	(C-4)	 石こうボードt=12(片面) LGS65(スラブまで)			(E-4)	 シーリング石こうボードt=12(両面) GW t=50 LGS50(天井まで)
(A-5)	 強化石こうボードt=12+12, t=12+12 LGS100(スラブまで) 【1時間耐火】	(B-5)	 石こうボードt=12(片面) LGS100(スラブまで)	(C-5)	 石こうボードt=12(片面) LGS65(天井まで)			(E-5)	 シーリング石こうボードt=12(片面) GW t=50 LGS50(天井まで)
		(B-6)	 石こうボードt=12, t=12+12 LGS100(スラブまで)					(E-6)	 シーリング石こうボードt=12(両面) LGS50(天井まで)
								(E-7)	 シーリング石こうボードt=12(片面) LGS50(天井まで)
(A1→A3 = 50%縮小)		株式会社 笹戸建築事務所	管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大	日付 R07/10	工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	図面名称 壁仕様図 2階	縮尺 A1:1/60 A3:1/120	図面番号 A - 61	

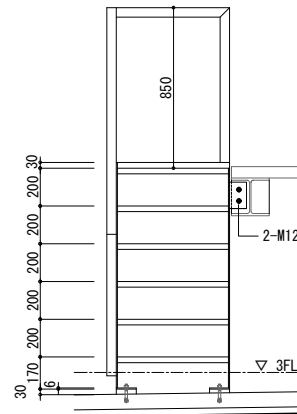
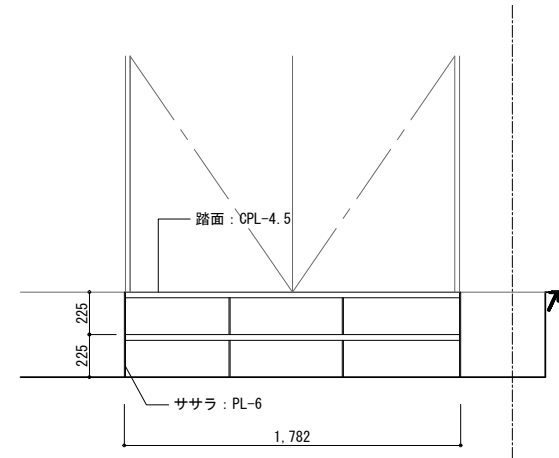


凡例									
(A-1)	強化石こうボードt=21+21 (片面) LGS100(スラブまで) 【1時間耐火】	(B-1)	石こうボードt=12+12, t=12 GW t=100 LGS100(スラブまで)	(C-1)	石こうボードt=12+12(片面) LGS65(スラブまで)	(D-1)	石こうボードt=12(片面) LGS50(スラブまで)	(E-1)	シーリング石こうボードt=12(両面) GW t=100 LGS100(天井まで)
(A-2)	強化石こうボードt=21+21 (片面) GW t=100 LGS100(スラブまで) 【1時間耐火】	(B-2)	石こうボードt=12+12(両面) LGS100(スラブまで)	(C-2)	石こうボードt=12(両面) GW=50 LGS65(天井まで)			(E-2)	シーリング石こうボードt=12+12, t=12 GW t=100 LGS100(天井まで)
(A-3)	強化石こうボードt=21+21, 石こうボードt=12 LGS100(スラブまで)	(B-3)	石こうボードt=12+12(片面) LGS100(スラブまで)	(C-3)	石こうボードt=12(片面) GW=50 LGS65(天井まで)			(E-3)	シーリング石こうボードt=12+12, t=12 LGS100(天井まで)
(A-4)	強化石こうボードt=12+12, t=12+12 GW t=100 LGS100(スラブまで) 【1時間耐火】	(B-4)	石こうボードt=12(両面) LGS100(スラブまで)	(C-4)	石こうボードt=12(片面) LGS65(スラブまで)			(E-4)	シーリング石こうボードt=12(両面) GW t=50 LGS50(天井まで)
(A-5)	強化石こうボードt=12+12, t=12+12 LGS100(スラブまで) 【1時間耐火】	(B-5)	石こうボードt=12(片面) LGS100(スラブまで)	(C-5)	石こうボードt=12(片面) LGS65(天井まで)			(E-5)	シーリング石こうボードt=12(片面) GW t=50 LGS50(天井まで)
		(B-6)	石こうボードt=12, t=12+12 LGS100(スラブまで)					(E-6)	シーリング石こうボードt=12(両面) LGS50(天井まで)
								(E-7)	シーリング石こうボードt=12(片面) LGS50(天井まで)

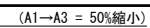
女子トイレ カウンター詳細図 1/20		男子トイレ 詳細図 1/20		消火器ボックス各種詳細図 1/10		屋上タラップ詳細図 1/10	
							
女子トイレ 手洗いカウンター 1/20		給湯コーナー 流し台 1/20		掃除用 倉庫 洗濯パン 1/20		車いす置場 詳細図 1/20	
							
自主研究室他 化粧洗面台（電気温水器共） 1/20		A E D 埋込ボックス 1/10		床下点検口詳細図 1/10		床下タラップ詳細図 1/10	
							
※手洗いカウンター：TOTO ML60 同等品（給水・排水管 M工事）		※化粧洗面台：TOTO LDSWB060BAGEN1 同等品（給水・排水管 M工事） 電気温水器：TOTO 6L 同等品		※カネソウ MAES-M-600 同等品 フローアハッチ 充填用（充填深さ：24.7mm） 屋内用 一般形 アルミニウム+ステンレス製 ステンレス目地 把手ロック式		L-65x65x5 St-22 φ 2-M12 ※全て溶融亜鉛メッキ仕上	
(A1→A3 = 50%縮小)		株式会社 笹戸建築事務所		管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡 設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大		日付 R07/10	
						工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学 研究室棟新築工事	
						図面名称 部分詳細図 1	
						縮尺 A1:1/20 A3:1/40	
						図面番号 A - 63	



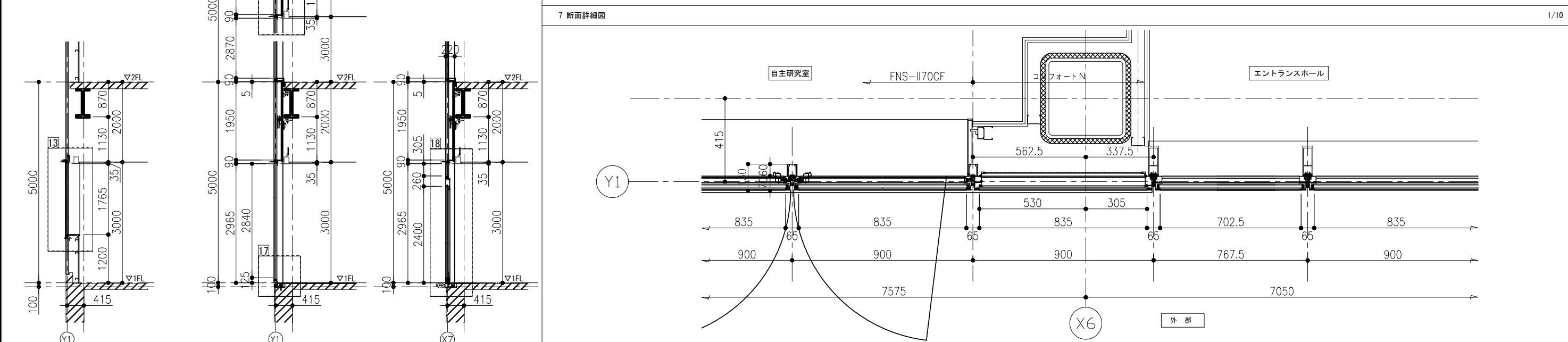
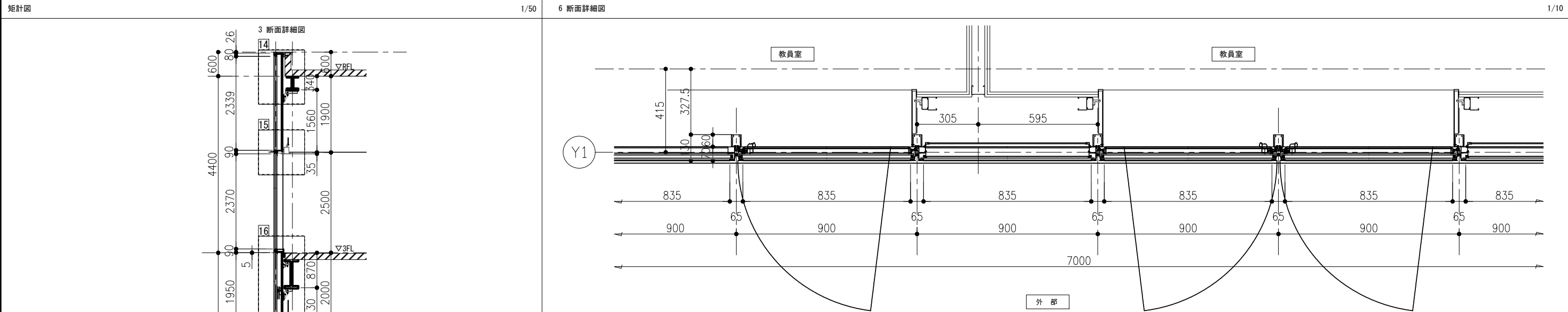
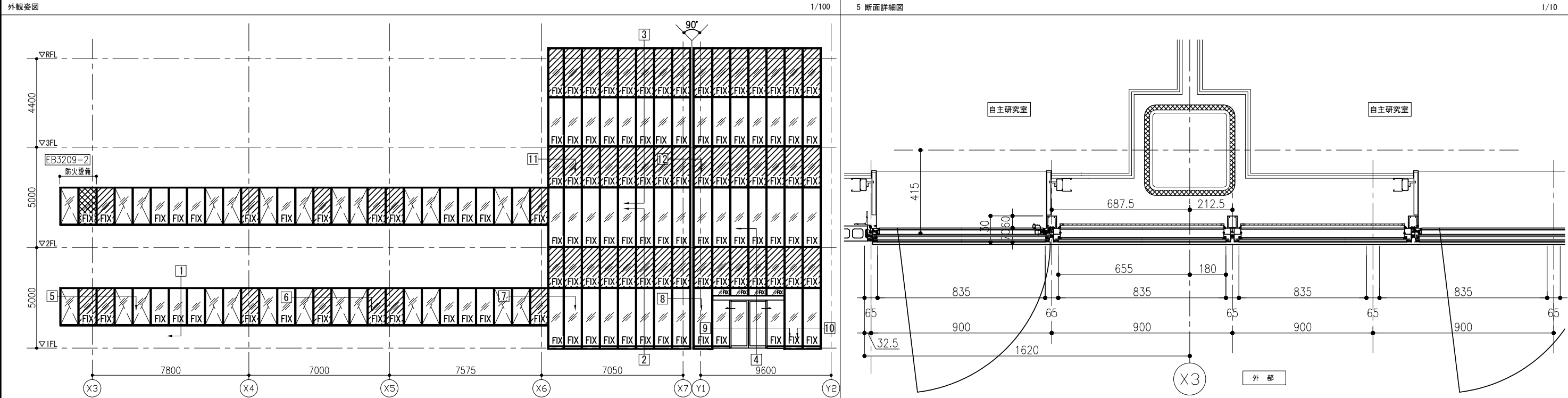
機械室出入口用ステップ

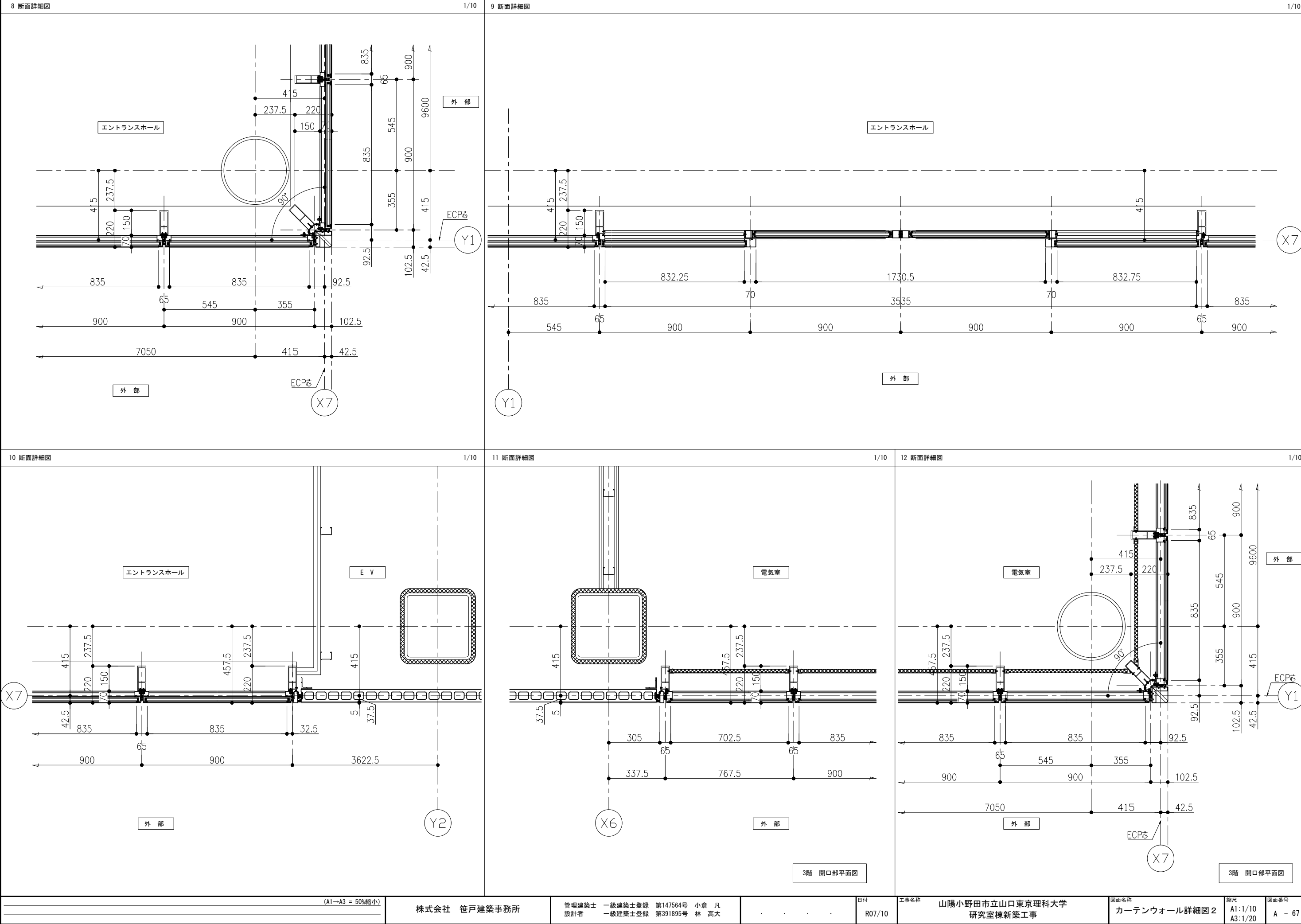


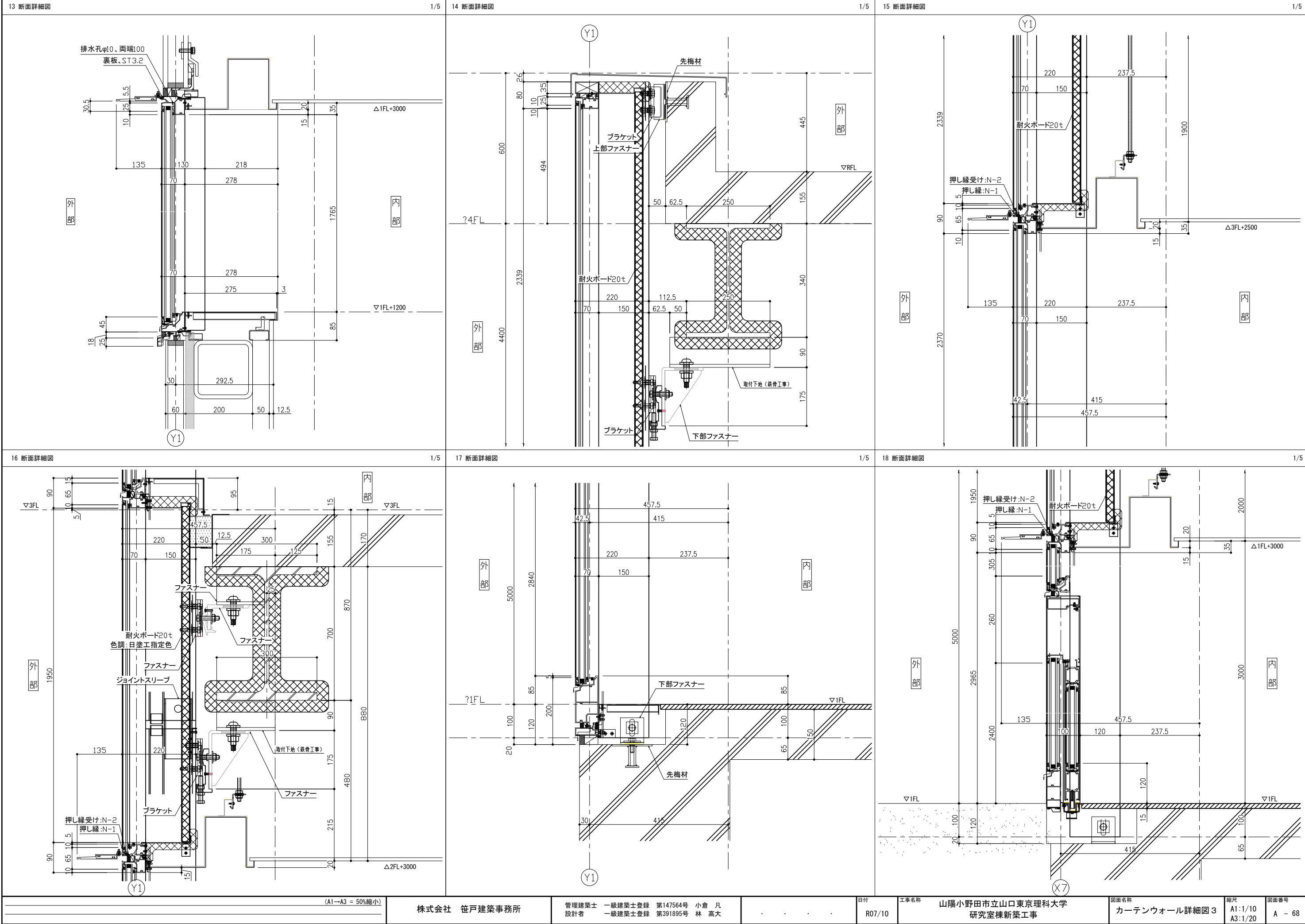
1/20

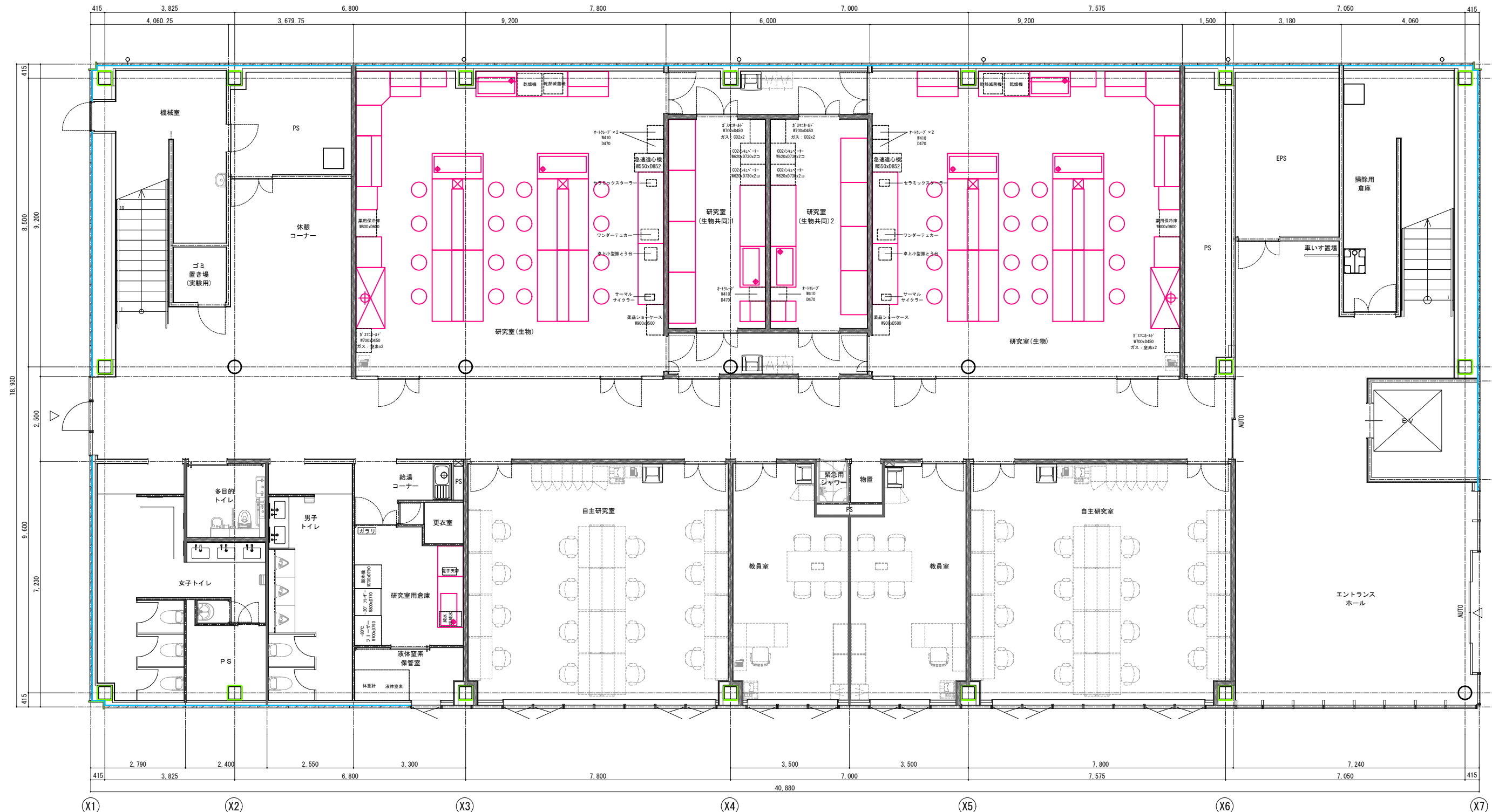


縮尺 A1:1/20 A3:1/40	図面番号 A - 65
--------------------------	----------------





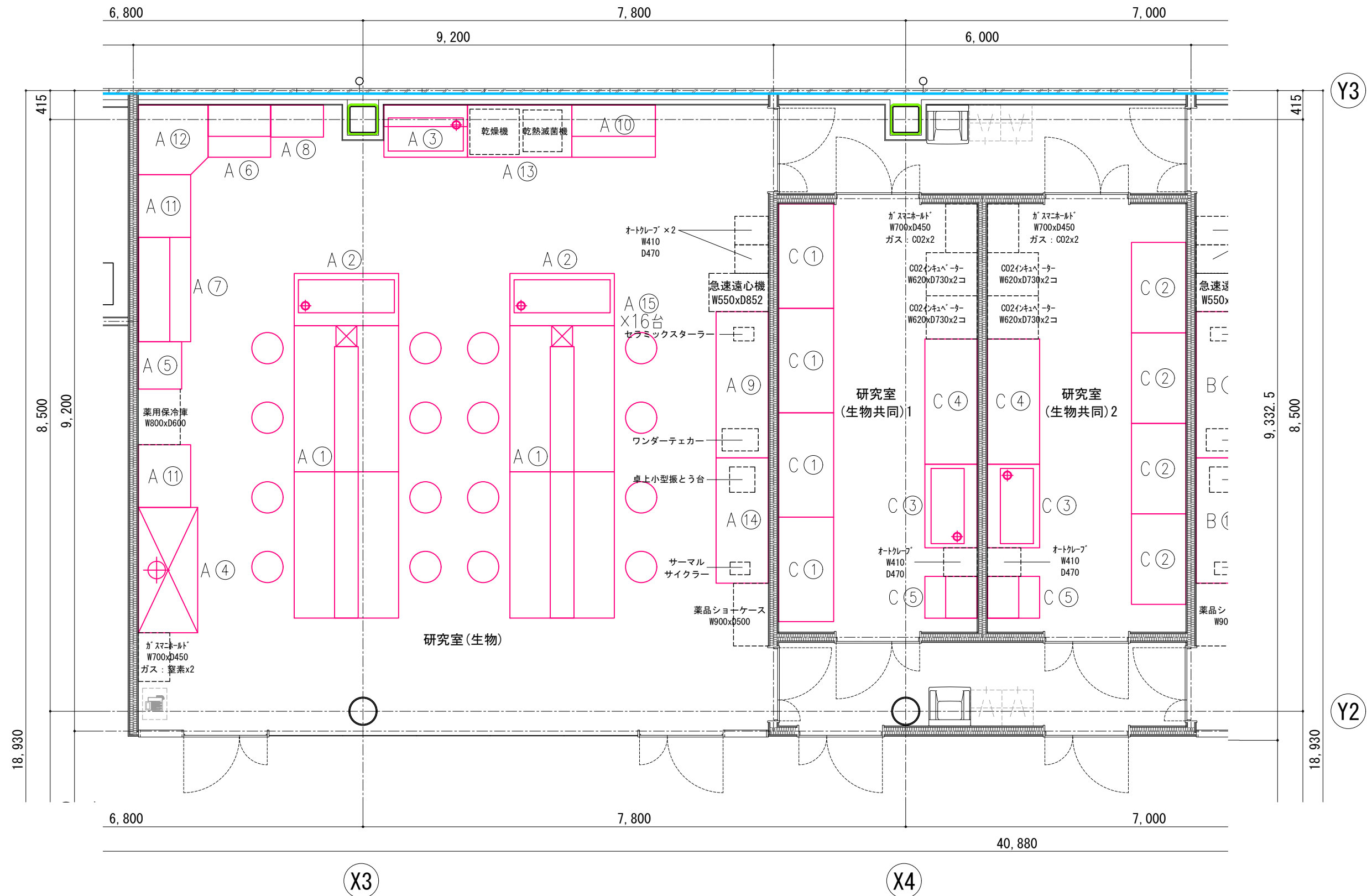




室名	番号	名称	型式	寸法(mm)			台数
				開口	奥行	高さ	
A: 研究室(生物1)	A①②	中央実験台	MGF42MM-AAABA-A1T	4950	1500	850/2050	2
	A③	流し台	MNF12MM-SAAAA-AOT	1200	750	850	1
	A④	ドラフトチャンパー	MDA18MM-ACAAB-AOT	1800	850	2250	1
	A⑤	ボトルキャビネット	BCG-18+BCB-5	680	620	1600	1
	A⑥	収納戸棚	MCM09MM-CFACA-AOT	900	450/750	2460	1
	A⑦	収納戸棚	MCM15MM-CFACA-AOT	1500	450/750	2460	1
	A⑧	スーパーライディングシェルフ	DS-S-IR	758	460	1600	1

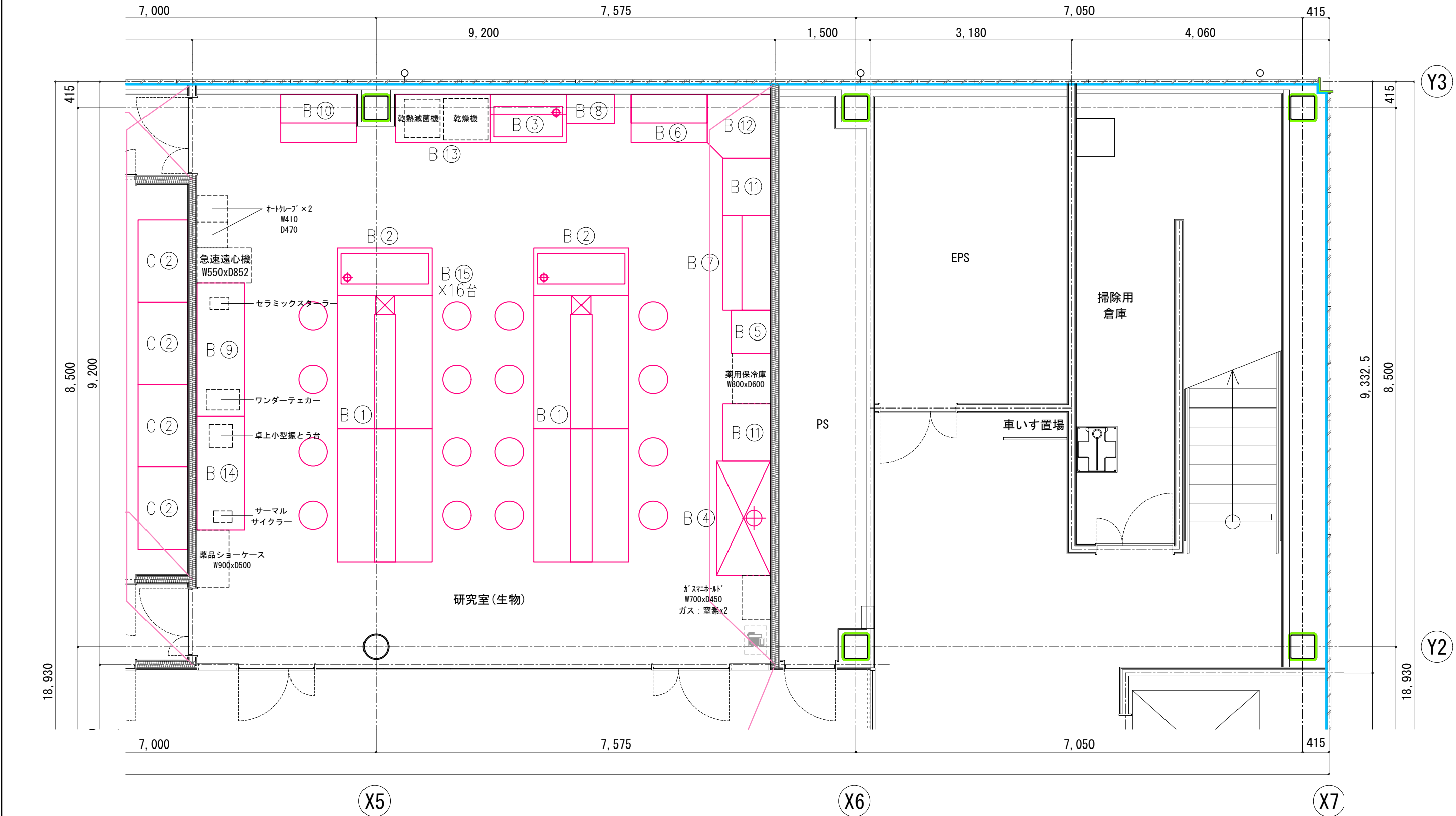
室名	番号	名称	型式	寸法(mm)			台数
				開口	奥行	高さ	
A: 研究室(生物1)	A⑨	サイド実験台	MWF21MM-AAAAA-A1T	2100	750	850	1
	A⑩	収納戸棚(滅菌専用)	MCM12MM-CFACA-AOT	1200	450/750	2460	1
	A⑪	サイド実験台	MWF09MM-ANAAA-AOT	900	750	850	2
	A⑫	サイド実験台	MWM10MM-ALAAA-AOT	1000	1000	850	1
	A⑬	サイド実験台	MWF15MM-AAAAA-AOT	1500	750	850	1
	A⑭	サイド実験台	MWF18MM-AAAAA-A1T	1800	750	850	1
	A⑮	ラボチェア	TSMN-W26L	φ400/510	450	665~825	16

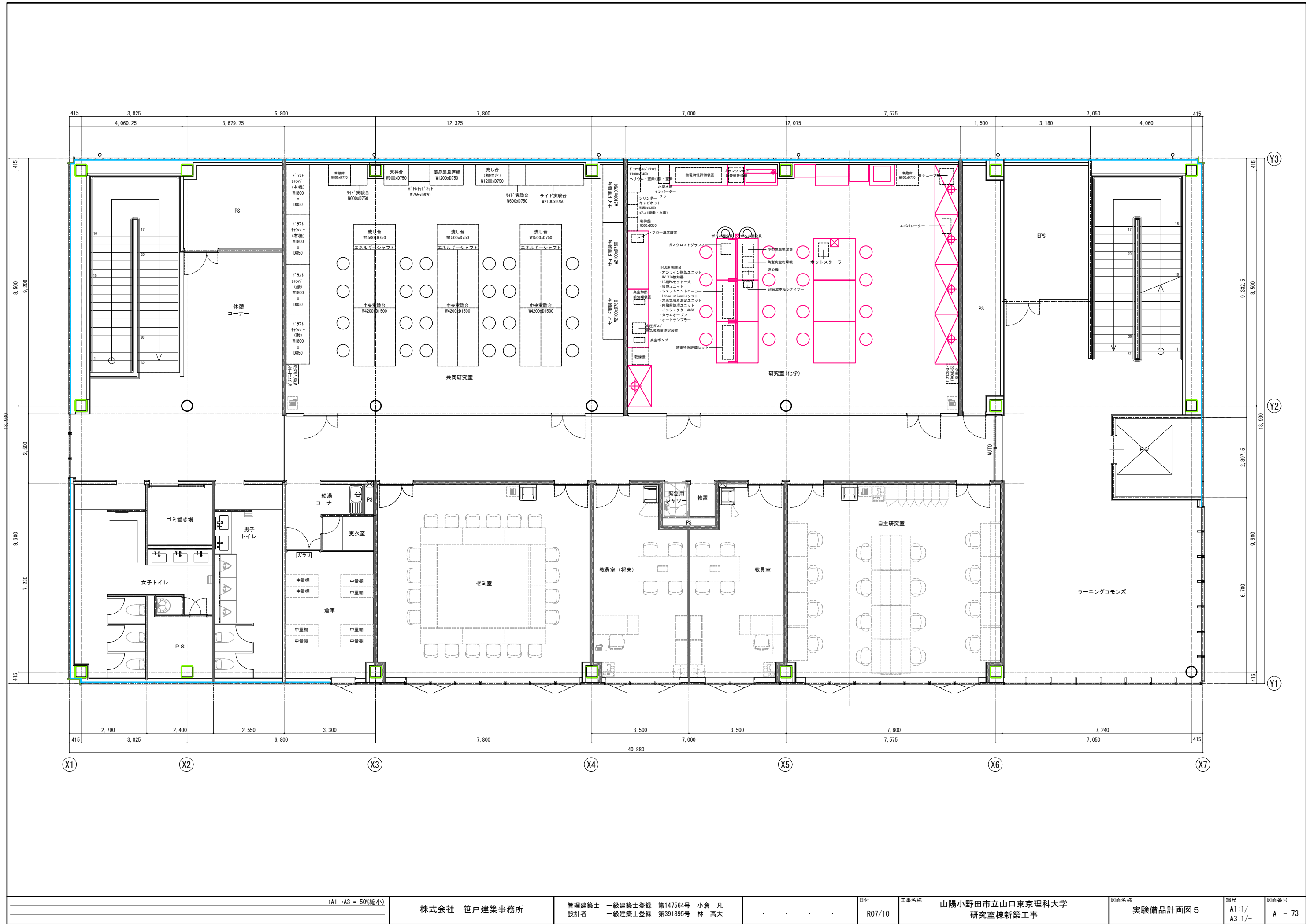
室名	番号	名称	型式	寸法(mm)			台数
				開口	奥行	高さ	
C: 研究室(生物共同)	C①	ハイバード滅菌ガラスキャビネット	NSE-1500ⅡA2A	1500	790	1950	4
	C②	バイオ操作用クリーンベンチ	SC-13BGB-T	1300	780	1790	4
	C③	流し台	MNF12MM-SAAAA-AOT	1200	750	850	2
	C④	分析機器台	MAF18MM-AABAA-AOT	1800	750	850	2
	C⑤	収納戸棚	MCM09MM-BXACA-AOT	600	400/750	2000	2



室名	番号	名称	型式	寸法(mm)			台数
				開口	奥行	高さ	
B: 研究室 (生物2)	B ①②	中央実験台	MCF42MM-AAABA-A1T	4950	1500	850/2050	2
	B ③	流し台	MNF12MM-SAAAA-A0T	1200	750	850	1
	B ④	ドラフトチャンパー	MDA18MM-ACAAB-A0T	1800	850	2250	1
	B ⑤	ボトルキャビネット	BCG-18+BCB-5	680	620	1600	1
	B ⑥	収納戸棚	MCM12MM-CFACA-A0T	1200	450/750	2460	1
	B ⑦	収納戸棚	MCM15MM-CFACA-A0T	1500	450/750	2460	1
	B ⑧	スーパードライングシェルフ	DS-S-IR	758	460	1600	1

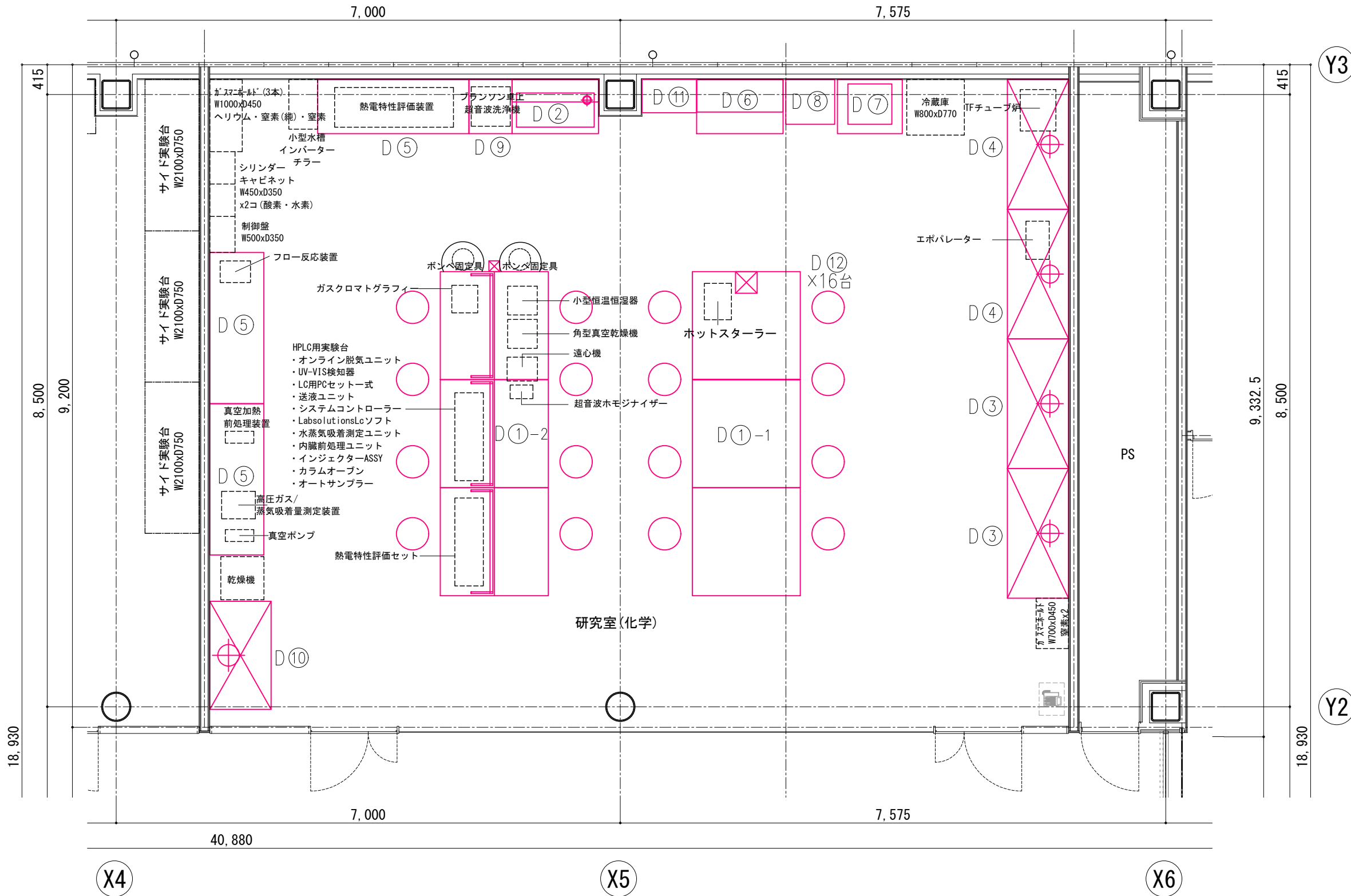
室名	番号	名称	型式	寸法(mm)			台数
				開口	奥行	高さ	
B: 研究室 (生物2)	B ⑨	サイド実験台	MWF21MM-AAAAA-A1T	2100	750	850	1
	B ⑩	収納戸棚 (滅菌専用)	MCM12MM-CFACA-A0T	1200	450/750	2460	1
	B ⑪	サイド実験台	MWF09MM-ANAAA-A0T	900	750	850	2
	B ⑫	サイド実験台	MWM10MM-ALAAA-A0T	1000	1000	850	1
	B ⑬	サイド実験台	MWF15MM-AAAAA-A0T	1500	750	850	1
	B ⑭	サイド実験台	MWF18MM-AAAAA-A1T	1800	750	850	1
	B ⑮	ラボチェア	TSMN-W26L	φ400/510	450	665~825	16

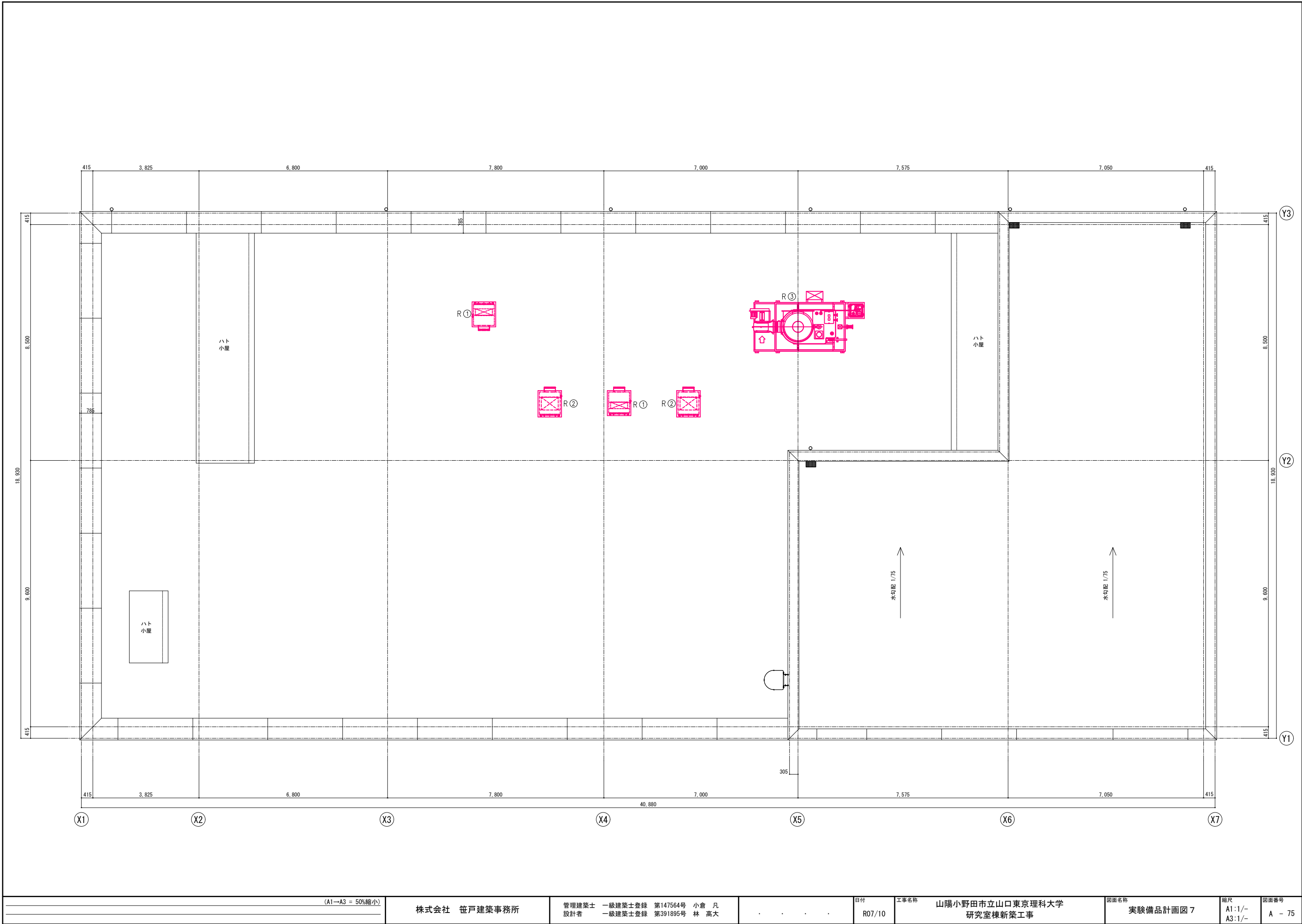




室名	番号	名称	型式	寸法(mm)			台数
				開口	奥行	高さ	
D: 研究室(化学)	D①-1	中央実験台	MGM45MM-AAABA-A1T	4500	1500	850	1
	D①-2	分析機器台	MAF45MM-AAABA-A0T	4500	1500	700	1
	D②	流し台	MNF12MM-SAAAA-A0T	1200	750	850	1
	D③	ドラフトチャンパー	MDA18MM-ACAAB-A0T	1800	850	2250	2
	D④	ドラフトチャンパー	MFA18MM-ASAAB-A0T	1800	850	2250	2
	D⑤	サイド実験台	MWF21MM-AAAAA-A1T	2100	750	850	3
	D⑥	収納戸棚	MCM12MM-CFACA-A0T	1200	450/750	2460	1

室名	番号	名称	型式	寸法(mm)			台数
				開口	奥行	高さ	
D: 研究室(化学)	D⑦	マイクロ用天秤台	BF1B-AA3M-AA20	900	750	750	1
	D⑧	ボトルキャビネット	BCG-18+BCB-5	680	620	1600	1
	D⑨	サイド実験台	MWF06MM-ANAAA-A0T	600	750	850	1
	D⑩	ドラフトチャンパー	MFD15MX-XCAXB-A0T	1500	850	2250	1
	D⑪	スーパードライングシェルフ	DS-S-IR	758	460	1600	1
	D⑫	ラボチェア	TSMN-W26L	φ400/510	450	665~825	16





(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

日付
R07/10

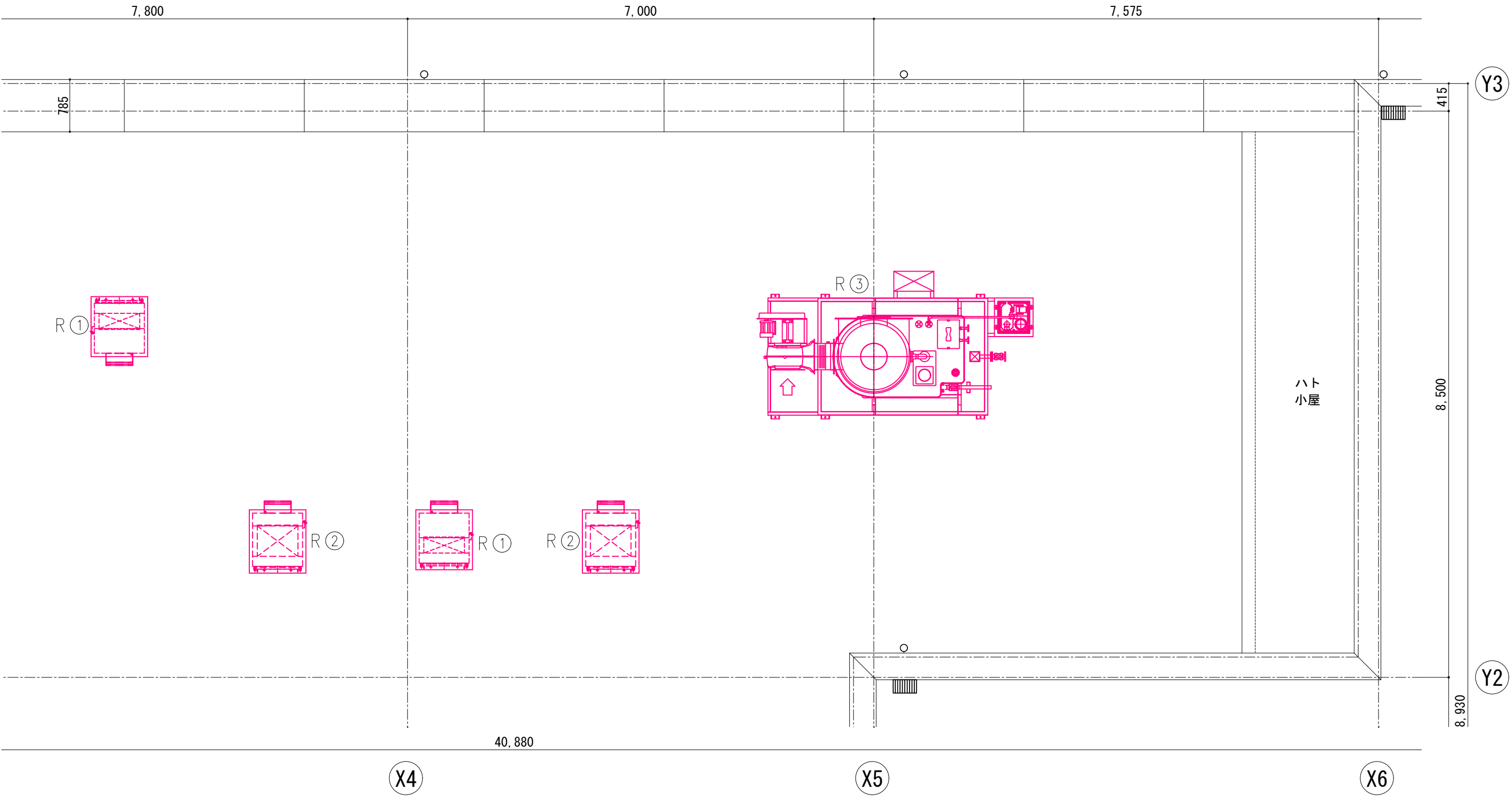
工事名称
山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

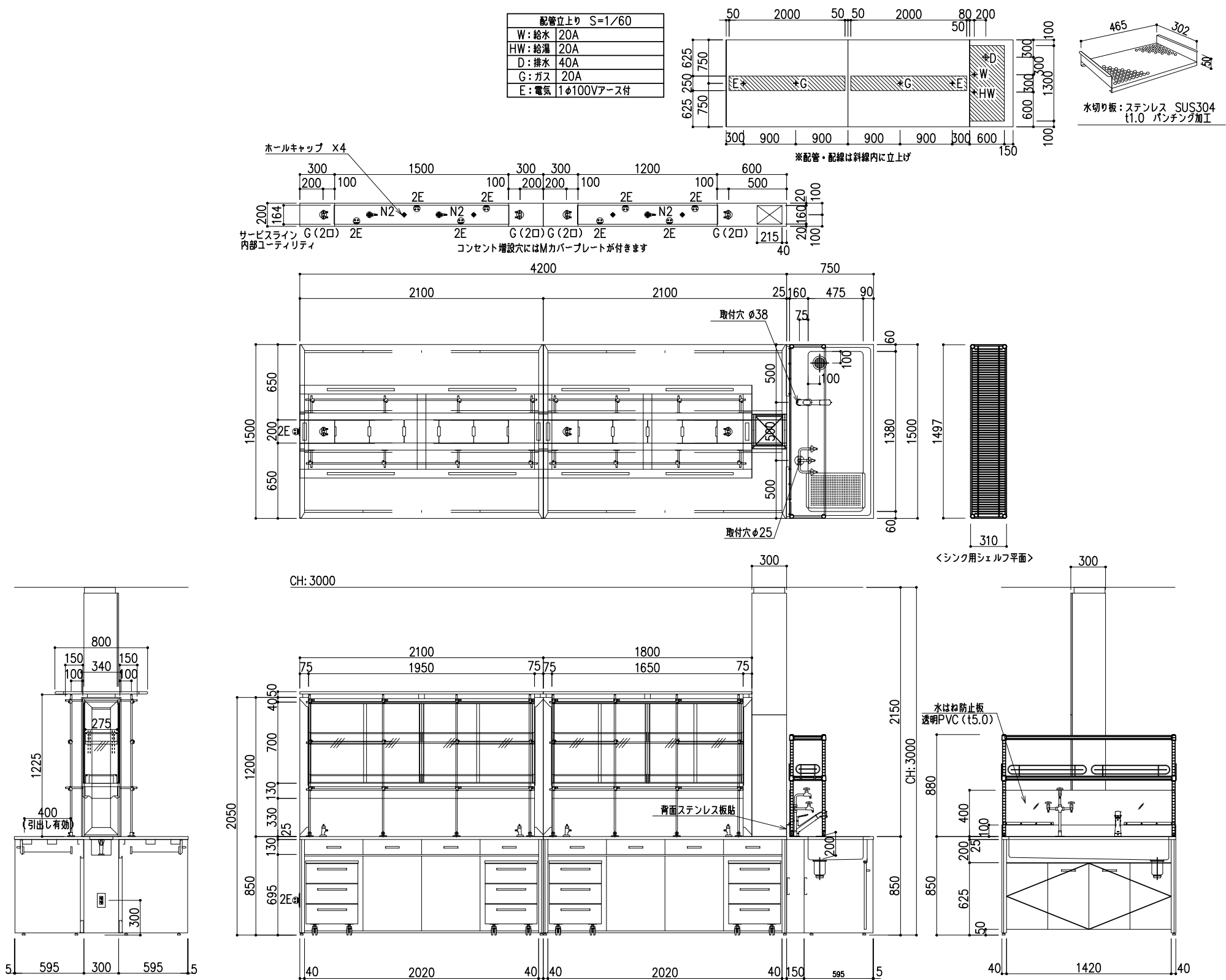
図面名称
実験備品計画図 7

縮尺
A1:1/-
A3:1/-

図面番号
A - 75

室名	番号	名称	型式	寸法 (mm)			台数
				開口	奥行	高さ	
R: 屋上	R①	乾式排ガス処理装置	CLV-20型	850	850	1850	2
	R②	乾式排ガス処理装置	CLV-40型	850	950	1850	2
	R③	排ガス処理装置	VSN-60-W-T	3980	2160	2973	1





中央実験台 スチールフレームタイプ MGF21MM-AAABA-A1T 2台

名称	数量	備考
天板	2	ラクスG天板 t25仕上げ 芯材：耐水合板 PPエッジ付 (色：ダークグレー206)
フレーム	—	スチール製 (色：W9/N-30)
塗装	—	耐薬品性焼付塗装仕上げ (色：ホワイトW9/ダークグレーN-30)
幕板	8	VOC低減化粧板 (色：ダークグレー)
天板下引出し	8	MDF前板 (色：ダークグレー) 内部パーティクルボード 耐震ラッチ付
サービスライン	—	固定天板/フタ：スチール製 t25 内部：スチール製 (色：ダークグレーN-30)
エネルギーシャフト	—	耐薬品性焼付塗装仕上げ (色：ホワイトW9/ダークグレーN-30)
木製ワゴン	4	引出タイプ MMM04ML-BAAAP-A00 寸法：W454×D520×H640
付属品	8	Mカバープレート
	8	抜け止めコンセント100V15A2口アース付 (AH)
	4	ガス栓 (都市ガス) 卓上2方口
	3	特ガスニードルバルブ N2×3<BROEN>
	4	ホールキャップ (CP-30-HC-25) PE製 (黒)
	1	抜け止めコンセント100V15A2口アース付 (AW)

中央用シェルフ スチールタイプ MSF21MH-WBABA-A0T 1台
MSF18MH-WBABA-A0T 1台

名称	数量	備考
本体	—	スチール製 (色：支柱前・上パネルW9/他N-30)
塗装	—	耐薬品性焼付塗装仕上げ
セーフティパイプW	8	ステンレス製 φ9.5
セーフティパイプD	8	ステンレス製 φ9.5
透明ガラス	—	t3.0
上部照明	8	LED照明 (リモコン仕様)
付属品	—	スタッチーフ SUS304 φ13パイプ 縦パイプ：L=1225 (片側エンドキャップ付) 16本 横パイプ：L=1670 (両端エンドキャップ付) 6本 横パイプ：L=1970 (両端エンドキャップ付) 6本 座付きパイプ：L=150 (先端樹脂キャップ付) 32本 ボールクランプ (A型) 48ヶ 中間安定台 16ヶ

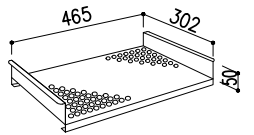
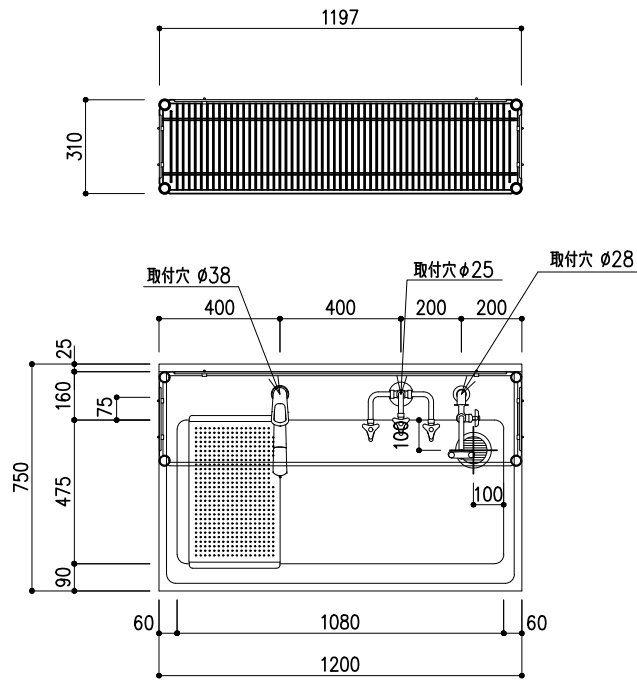
流し台 スチールユニットタイプ MNF15MM-SAAAA-A0T 1台

名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm 排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	—	スチール製
塗装	—	耐薬品性焼付塗装仕上げ (色：ホワイトW9/ダークグレーN-30)
扉	—	両面化粧パーティクルボード (色：ホワイトDW9)
付属品	1	化学水栓 (3方口) <D42C1>
	1	シャワー付シングルレバー混合栓<D61A3>
	1	水切板 (SUS304 t1.0) パンチング穴加工
	1	水はね防止板：透明PVC (t5.0)

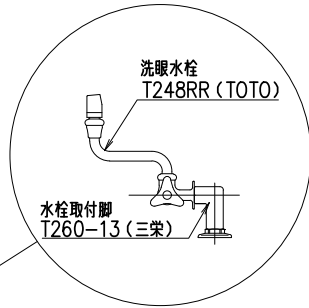
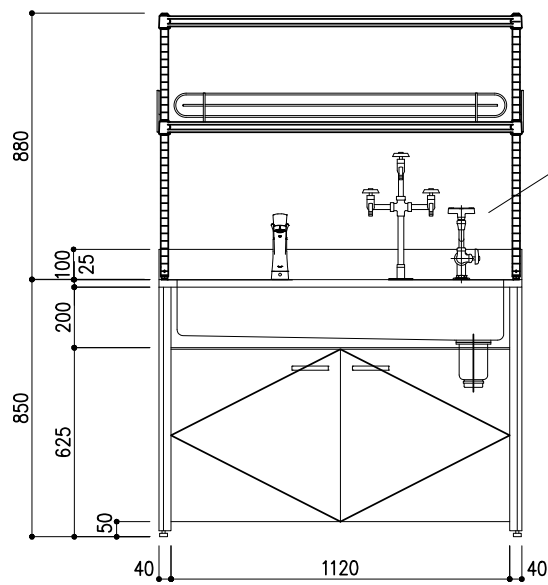
シンク用シェルフ (NRTS-3115L-T) 1台

名称	数量	備考
棚板 (SUS)	2	SUS304 2.0t φ3.5-φ6ワイヤー 電解研磨仕上
支柱 (PS)	4	SUS304 φ25x1.2t #400研磨仕上
シンク固定金具	4	SUS304 t2.0
ステンレスレッジ (側面)	2	SUS304 φ6ワイヤー
ステンレスレッジ (背面)	2	SUS304 φ6ワイヤー

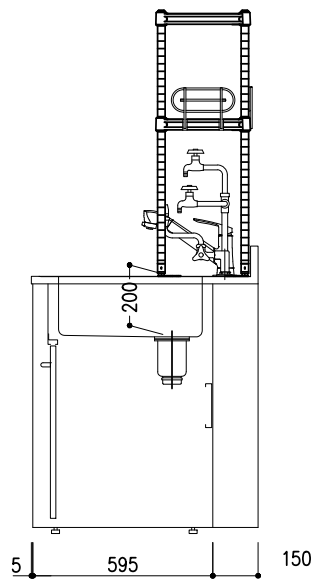
階	室名	機器番号	台数
11号館1階	A研究室 (生物1)	A ①②	2式
	B研究室 (生物2)	B ①②	2式



水切り板：ステンレス SUS304 t1.0 パンチング加工



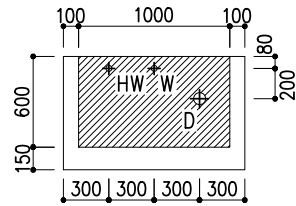
水栓取付脚 T260-13 (三栄)



名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm 排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	-	スチール製
塗装	-	耐薬品性焼付塗装仕上げ (色：ホワイトW9/ダークグレーN-30)
扉	-	両面化粧パーティクルボード (色：ホワイトDW9)
付属品	1	化学水栓 (3方口) <D42C1>
	1	シャワー付シングルレバー混合栓<D61A3>
	1	洗眼水栓 T248RR (TOTO)
	1	水栓取付脚 T260-13 (三栄)
耐震対策	1	水切板 (SUS304 t1.0) パンチング穴加工
	-	耐震ラッチ付

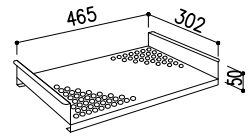
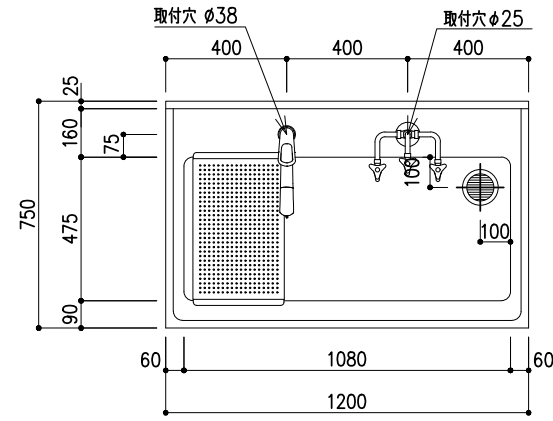
名称	数量	備考
棚板 (SUS)	2	SUS304 2.0t φ3.5-φ6ワイヤー 電解研磨仕上
支柱 (PS)	2	SUS304 φ25x1.2t #400研磨仕上
シンク固定金具	4	SUS304 t2.0
ステンスレージ (側面)	2	SUS304 φ6ワイヤー
ステンスレージ (背面)	1	SUS304 φ6ワイヤー

配管立上り S=1/40
W:給水 20A
HW:給湯 20A
D:排水 40A

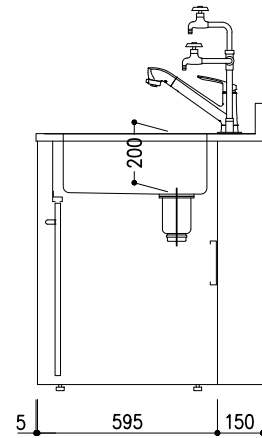
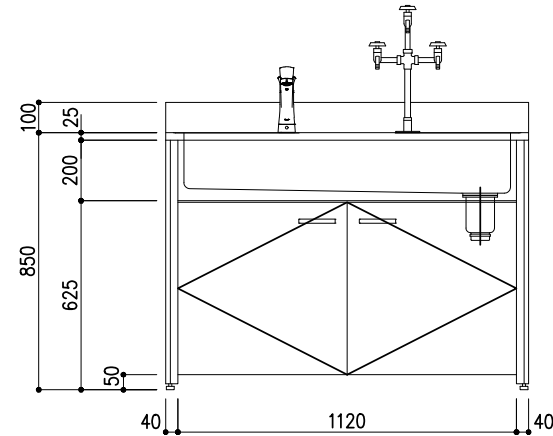


※配管・配線は斜線内に立上げ

階	室名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室 (化学)	D ②	1台
階	室名	機器番号	台数
11号館1階	A研究室 (生物1)	A ③	1台
	B研究室 (生物2)	B ③	1台

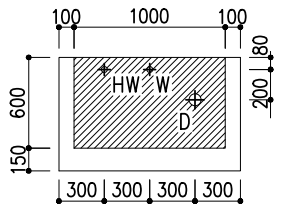


水切り板：ステンレス SUS304 t1.0 パンチング加工



名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm 排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	-	スチール製
塗装	-	耐薬品性焼付塗装仕上げ (色：ホワイトW9/ダークグレーN-30)
扉	-	両面化粧パーティクルボード (色：ホワイトDW9)
付属品	1	化学水栓 (3方口) <D42C1>
	1	シャワー付シングルレバー混合栓<D61A3>
	1	水切板 (SUS304 t1.0) パンチング穴加工
耐震対策	-	耐震ラッチ付

配管立上り S=1/40
W:給水 20A
HW:給湯 20A
D:排水 40A



※配管・配線は斜線内に立上げ

階	室名	機器番号	台数
11号館1階	C研究室 (生物共同)	C ③	2台

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

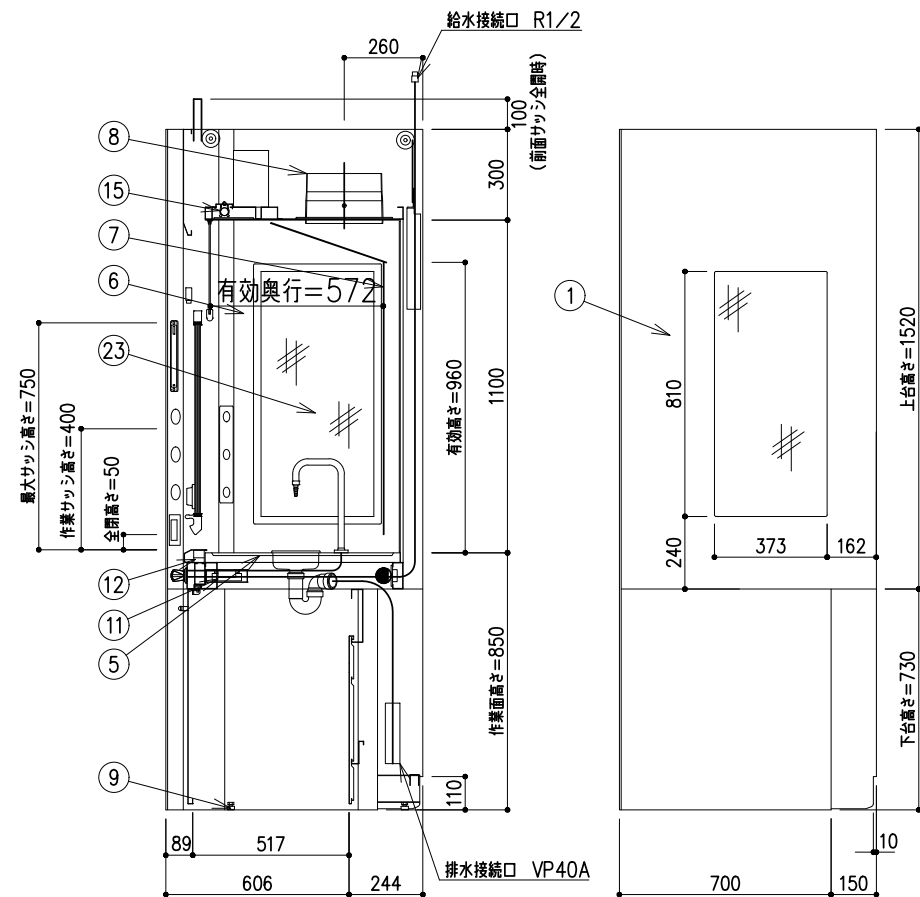
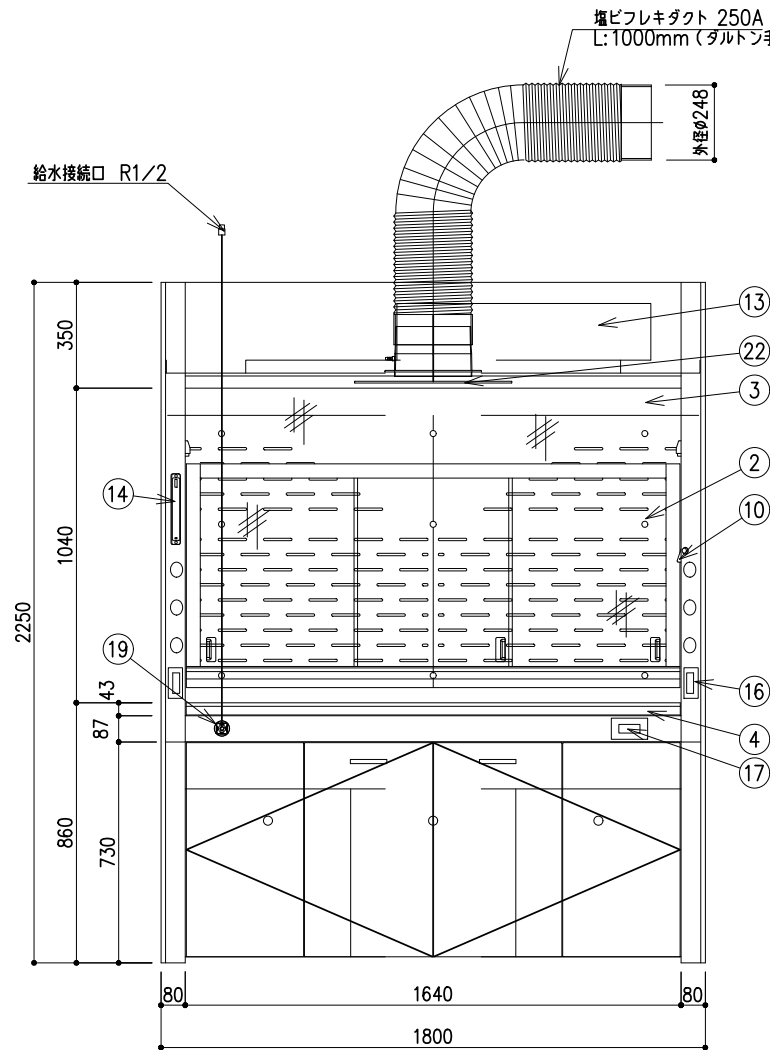
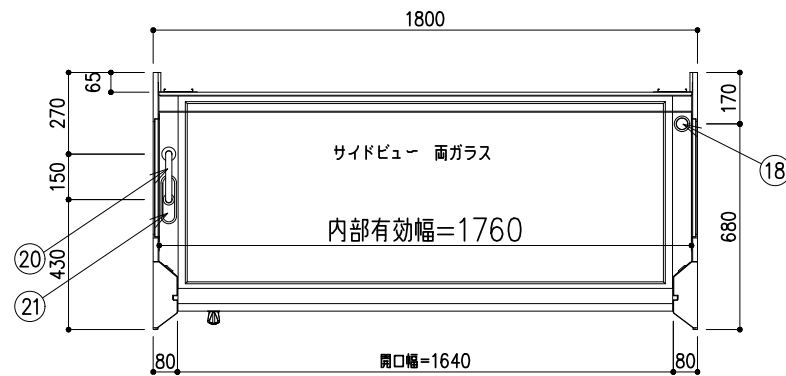
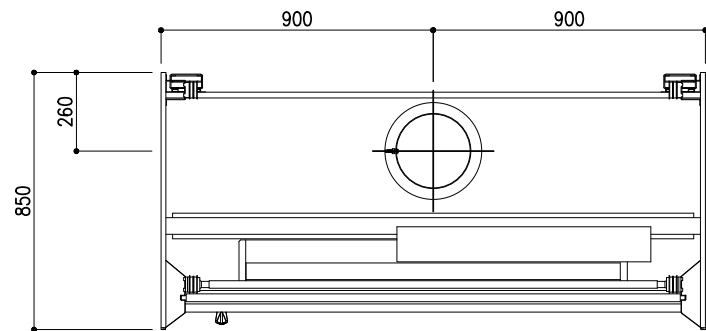
日付 R07/10

工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

図面名称 流し台詳細図

縮尺 A1:-
A3:-

図面番号 A - 78

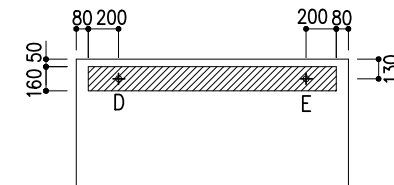


番号	名称	数量	備考
1	本体	上台	スチール製（庫内側カラー鋼板）
			側板 粉体焼付塗装 ホワイトW9
			正面 粉体焼付塗装 ダークグレーN-30
		下台	上面板 溶融亜鉛めっき
			スチール製 ダークグレーN-30扉付 扉板付
			側板 粉体焼付塗装 ホワイトW9
2	前面サッシ	1	強化ガラス（コンビネーション） アルミフレーム 粉体焼付塗装 N-30
3	固定ガラス	1	強化ガラス ガイドPP製
4	エアフォイル	1	スチール製 （セラミックコーティング）
5	作業面	1	ケルミス
6	内壁	1	ダルトンデキセラノンF
7	パツフル板	1	ダルトンデキセラノンV
8	排気ダクト	1	PVC製
9	アジャスター	4	
10	サッシ制服ストッパー	1	鍵付
11	サポートファン	1	DC24V
12	エアロダクト	1	スチール製 粉体焼付塗装 ホワイトW9
13	配電盤	1	スチール製 溶融亜鉛めっき
14	操作スイッチ	1	静電容量式 運転状況表示用有機ELモニタ付
15	照明	1	LED
16	抜け止めコンセント	2	100V15A（2口）アース付
17	抜け止めコンセント	1	100V15A（2口）アース付 （下台内）
18	配線口	1	PP製 内径41mm
19	給水操作ハンドル	1	リモートハンドル
20	給水栓	1	グースネックノズル
21	排水ポット	1	PP製 プトラップ付
22	ステータスランプ	1	LED 停止：白点灯 正常：緑点灯 異常：赤点滅
23	サイドビューガラス	2	強化ガラス

前面サッシ 作業高さ (H)	参考捕集面 風速m/s	排気風量 CMH	排気ダクト 外径	本体静圧 Pa
400	0.25	600	φ248	50

記・

※機内配管への一次側供給圧力は 下記とする ※給水圧力は0.735MPa以下 （7.5kgf/cm ² 以下）	配管立上り S=1/40	
	D：排水	40A
	E：電気	1φ100V 20A アース付 （コンセント、照明用）



※上記指定寸法以外は、斜線内に立上げ
※増設コンセント電源、操作線は
別途打合せとする

階	室名	機器番号	台数
11号館1階	A研究室（生物1）	A ④	1台
	B研究室（生物2）	B ④	1台

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

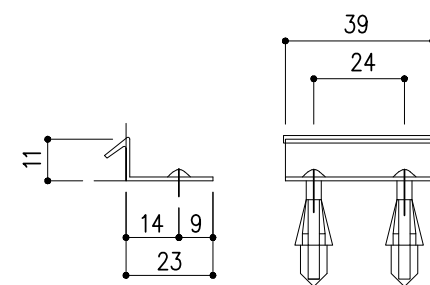
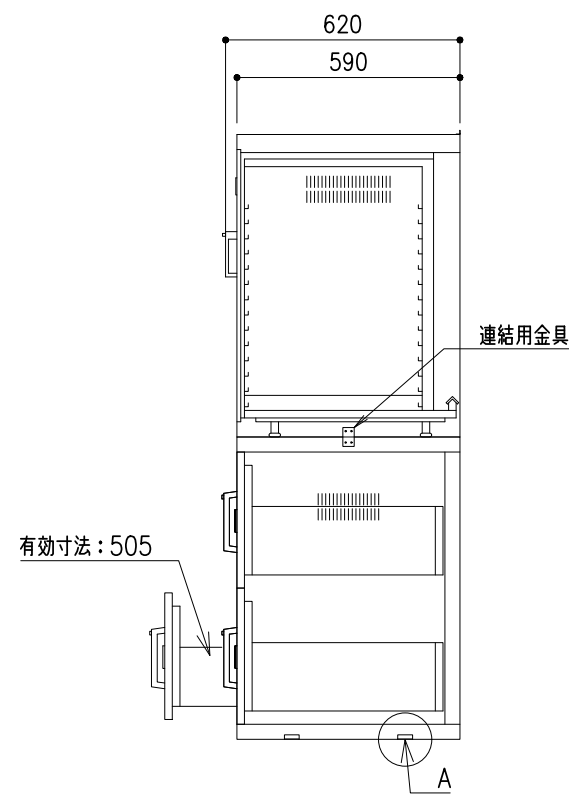
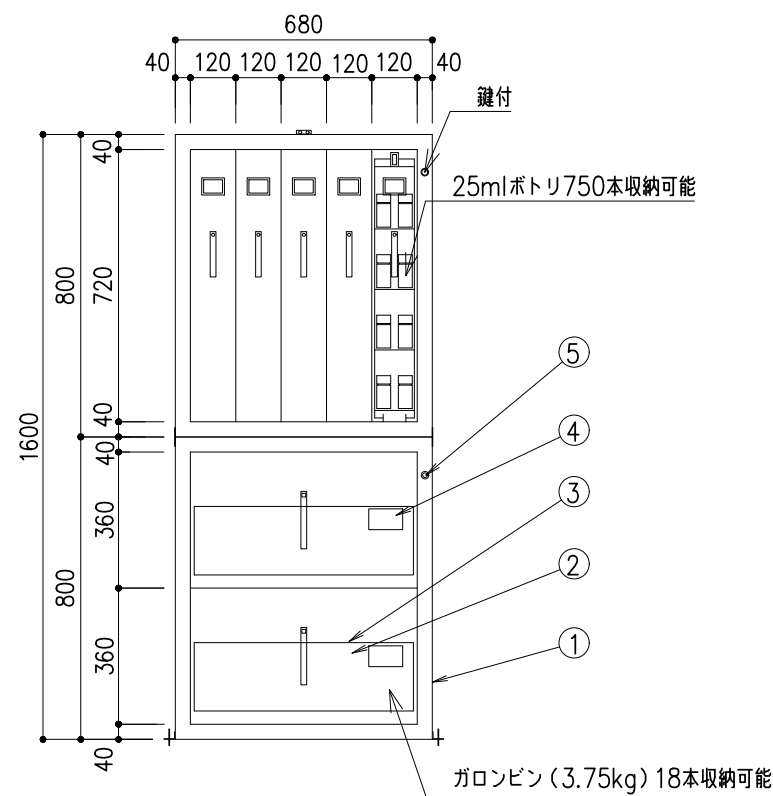
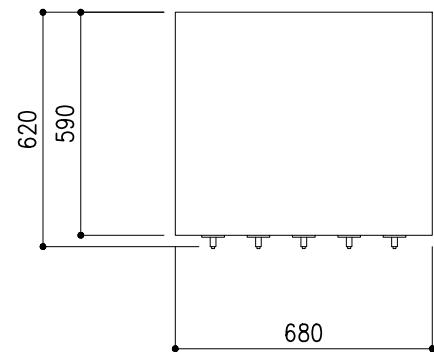
管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

日付 R07/10

工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

図面名称 低風量型ドラフトチャンパー
詳細図

縮尺 A1:-
A3:-
図面番号 A - 79

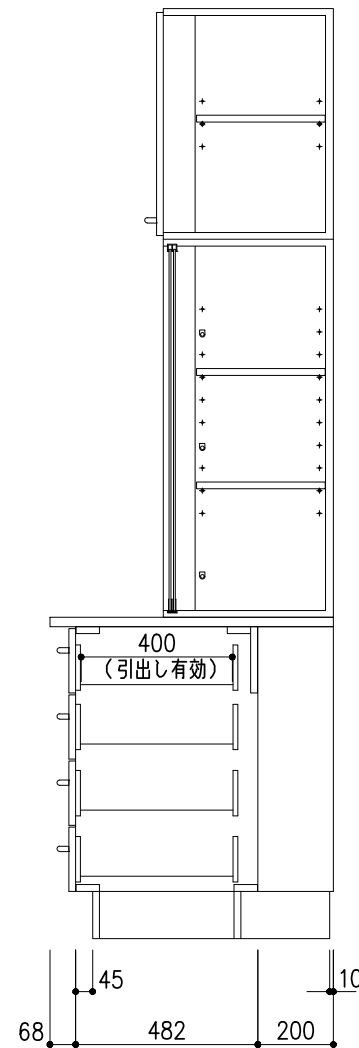
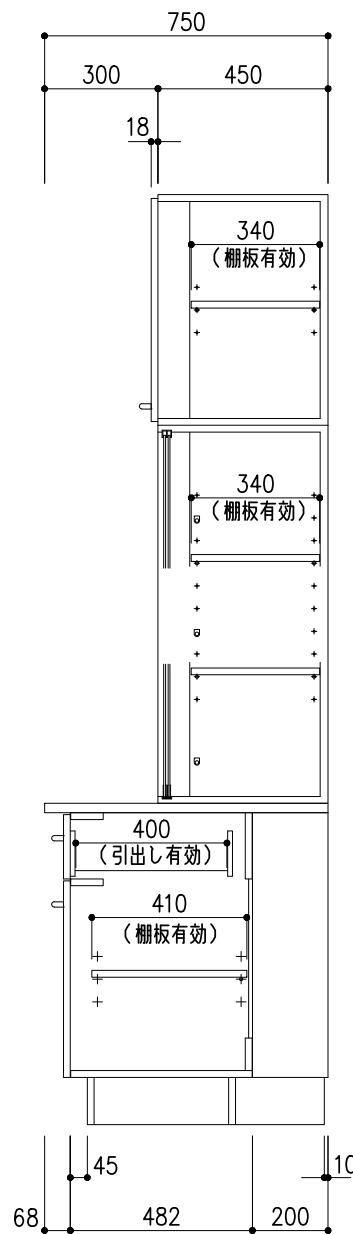
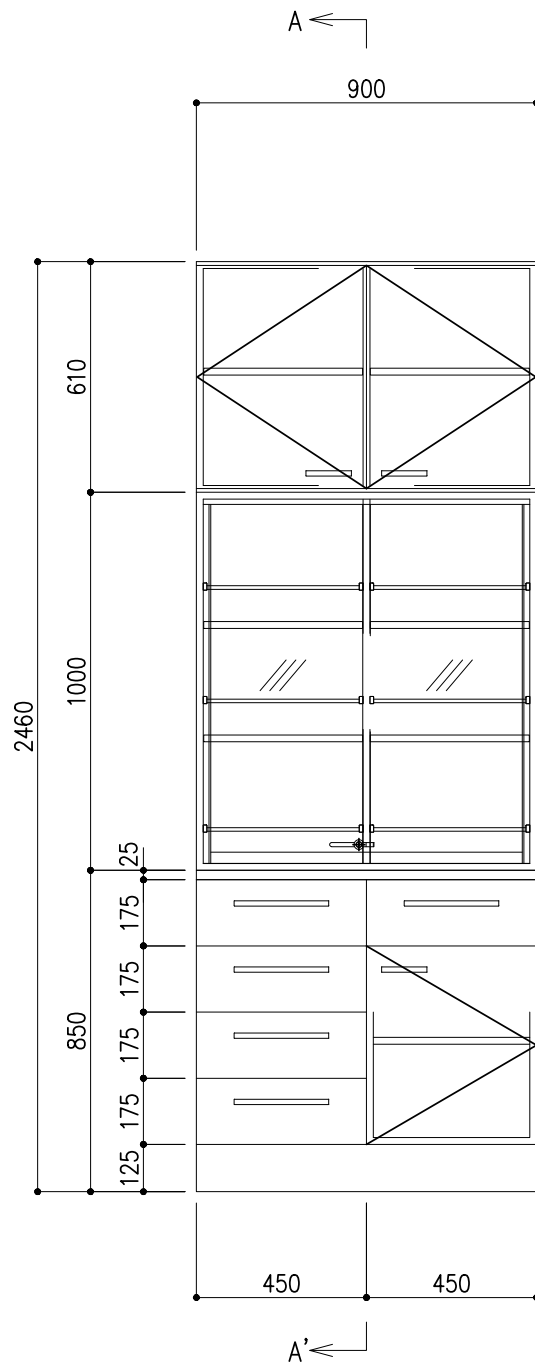
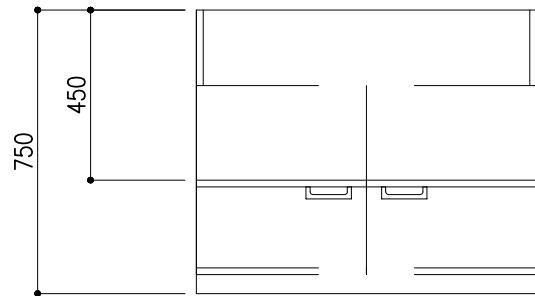


A詳細図 S=1/2

ボトルキャビネット BCB-5		1台
本体主材	ステンレス SUS304	
ネームプレート受	樹脂製	
引出用ロックボタン	樹脂製	
把手	樹脂製	
引出用スライドレール	SPCC	
棚	樹脂製	
本体固定金具	ステンレス SUS304	床用金具 2ケ 壁用金具 1ケ
連結用金具	ステンレス SUS304 2ケ (ビス付)	

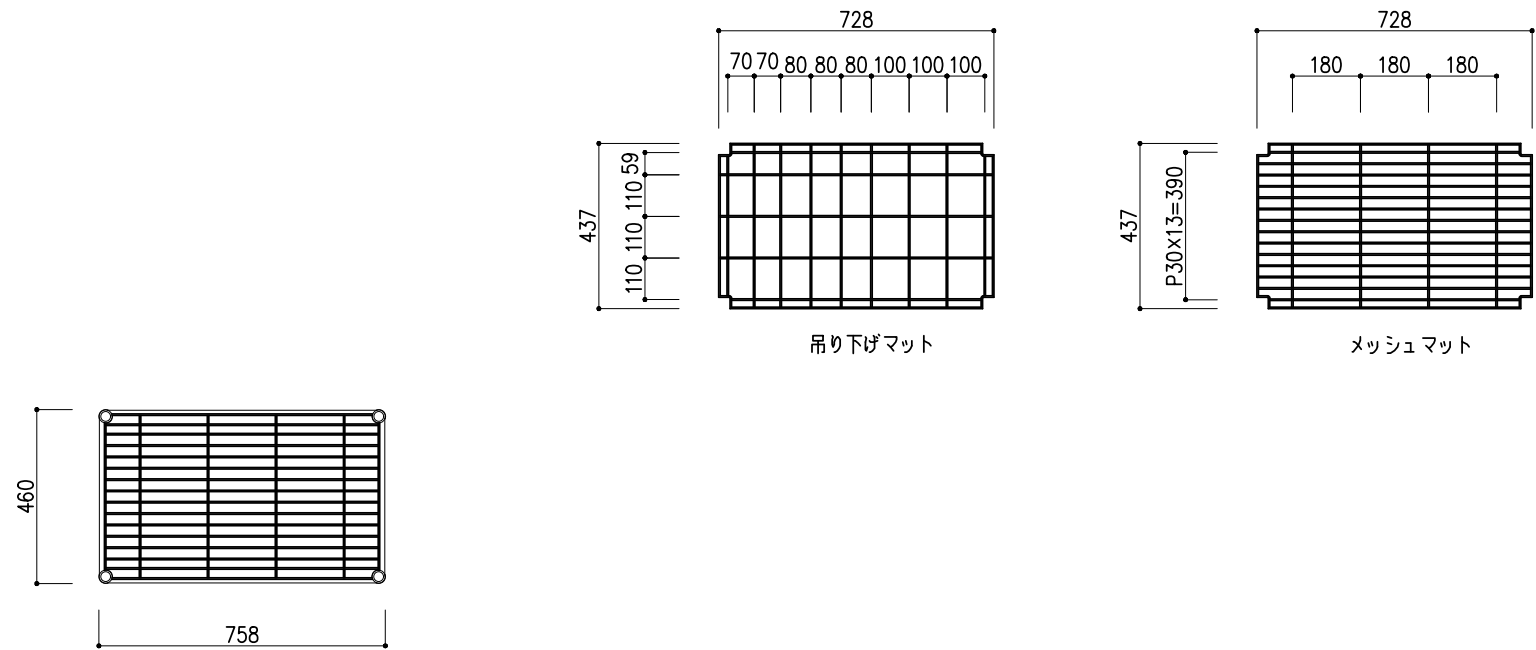
ボトルキャビネット BCG-18		1台
番号	品 名	備 考
①	本体	ステンレス SUS304
②	取手	樹脂製
③	引出ロックボタン	樹脂製
④	ネームプレート受	樹脂製
⑤	鍵	BsBM クロームメッキ仕上
⑥	本体固定金具	ステンレス SUS304 床用金具 4ケ 壁用金具 1ケ
	連結用金具	ステンレス SUS304 2ケ (ビス付)

階	室 名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室 (化学)	D ⑧	1台
11号館1階	A研究室 (生物1)	A ⑤	1台
	B研究室 (生物2)	B ⑤	1台

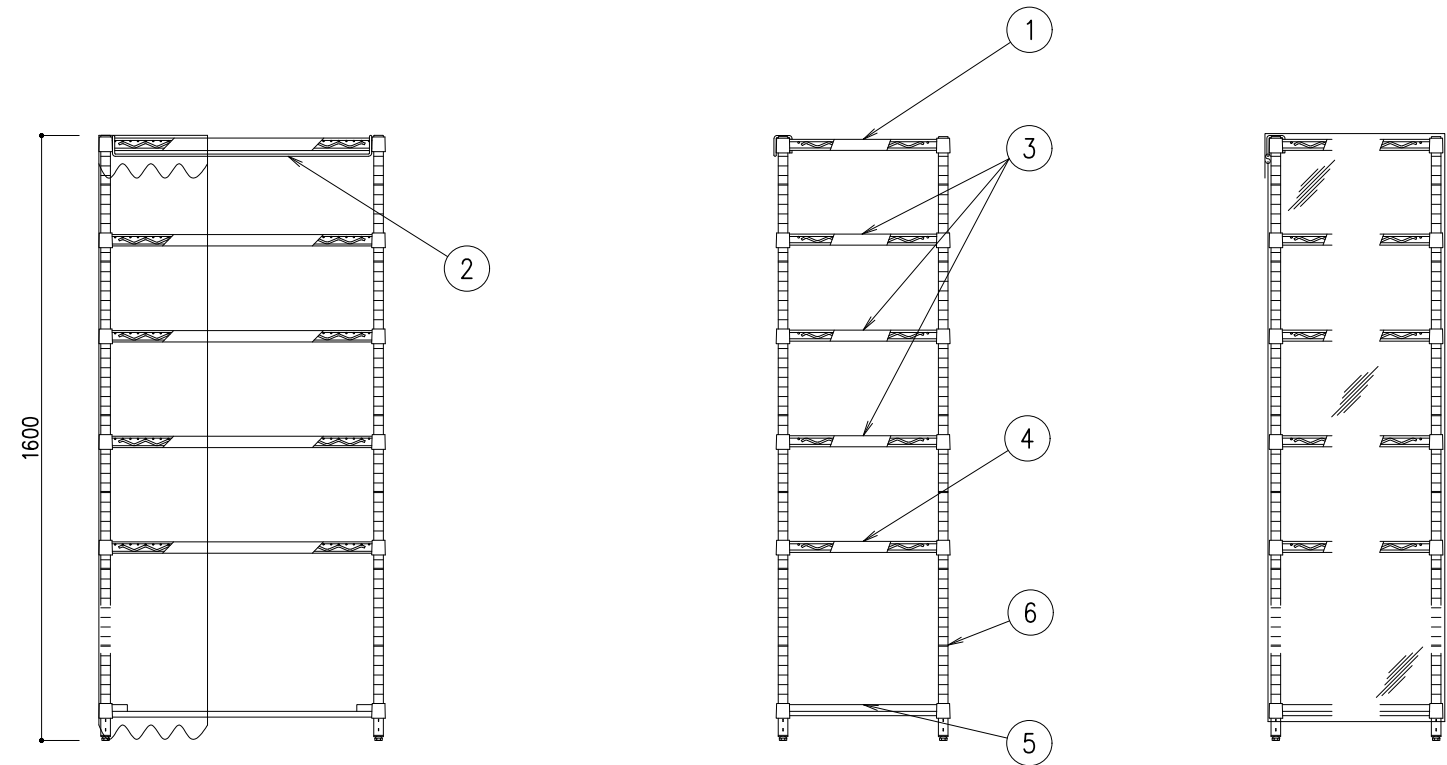


名称	数量	備考
天板	1	ラグスG天板 t25仕上げ 芯材：耐水合板 PPエッジ付 （色：ダークグレー206）
本体主材		両面化粧パーティクルボードt18
	-	木口：オレフィン系樹脂シート貼り （色：ホワイトDW9）
	-	透明ガラス t5 ステンレスハカマ付
	-	上レール：オレフィン系樹脂成形品
	-	下レール：ステンレス
	-	引手：PP成型品（色：ダークグレー）
台輪	6	セーフティパイプ：ステンレス φ9.5
	-	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板 （色：黒）
補助材	-	VOC低減・消臭化粧板（色：DW9）
付属品	1	スライドロック
耐震対策	-	耐震ラッチ付

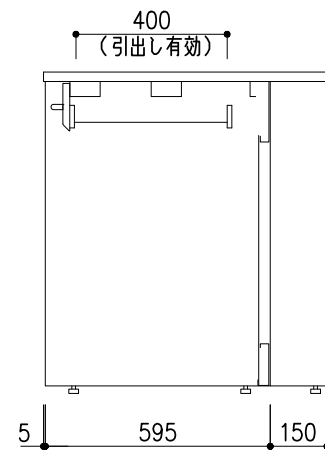
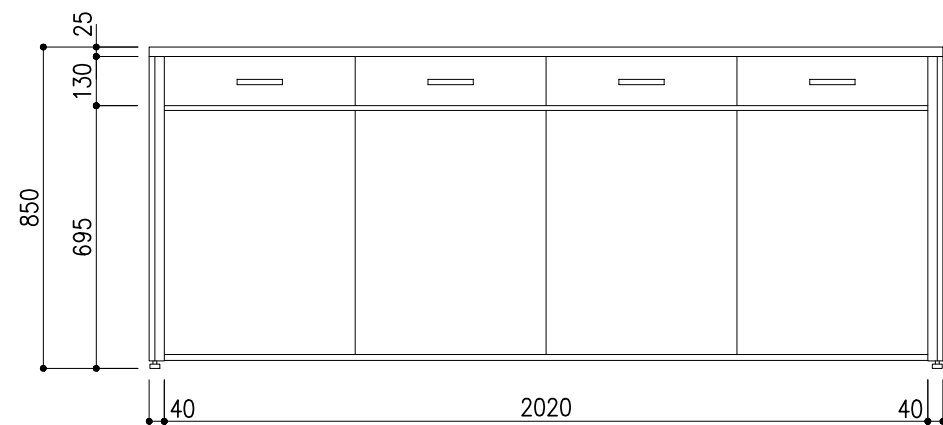
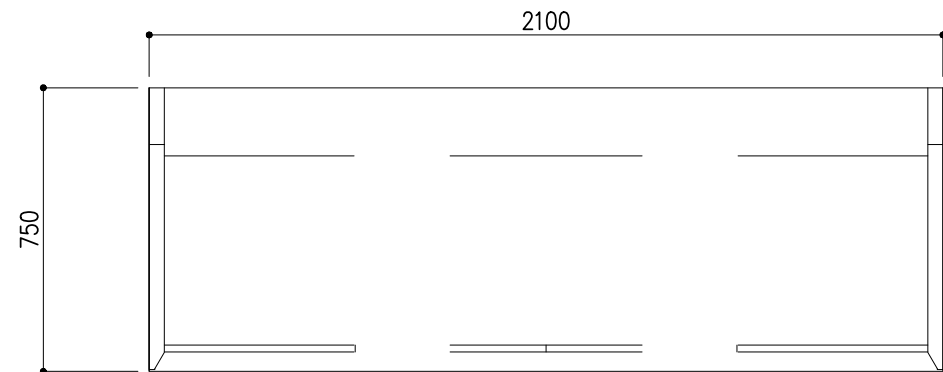
階	室 名	機器番号	台数
11号館1階	A研究室（生物1）	A ⑥	1台



①	天板	1	スチール、Ni、Crメッキ
②	カバーレール	1	スチール アクリルクリア塗装
③	メッシュシェルフ	3	フレーム：スチール、Ni、Crメッキ アクリルクリア塗装 メッシュマット：スチール P、Eコーティング
④	吊り下げシェルフ	1	フレーム：スチール、Ni、Crメッキ アクリルクリア塗装 吊り下げマット：スチール P、Eコーティング
⑤	水受けシェルフ	1	水受フレーム：スチール、Ni、Crメッキ アクリルクリア塗装 水受：SUS304
⑥	ジョイントボール	4	スチール、Ni、Crメッキ アクリルクリア塗装 (アジャストボルト付)
	附属品		テーパー 50ヶ カバー用S管フック 7ヶ カバー 1式 取扱説明書 1冊



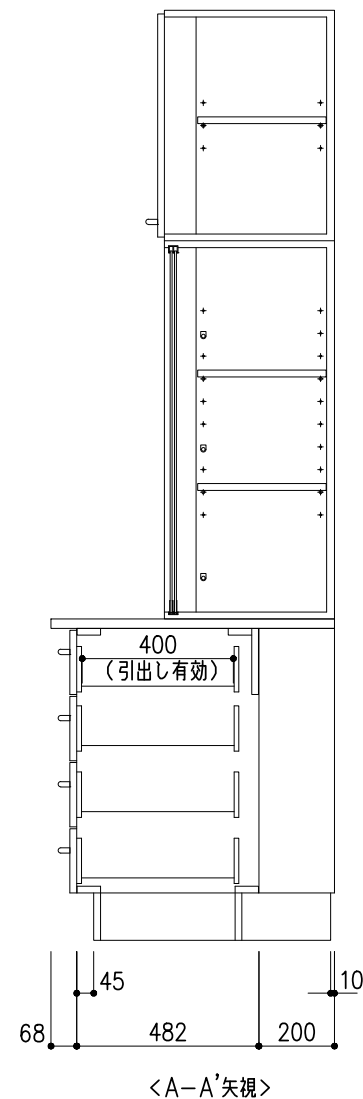
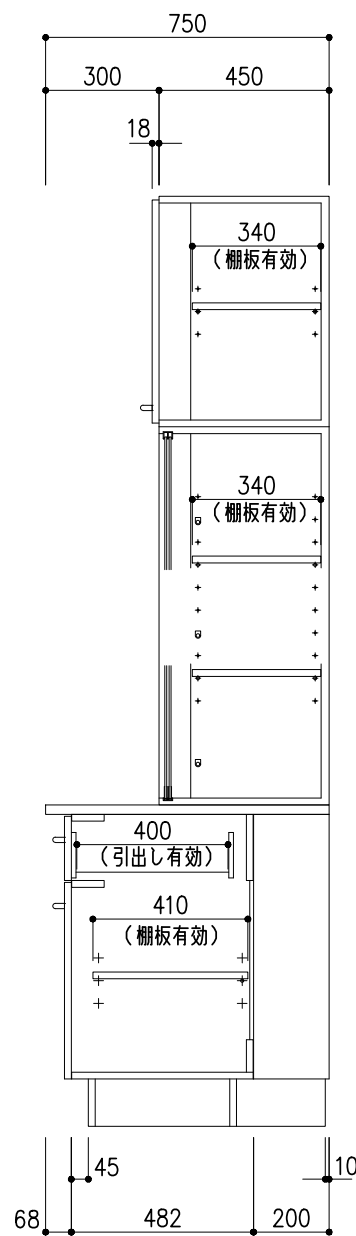
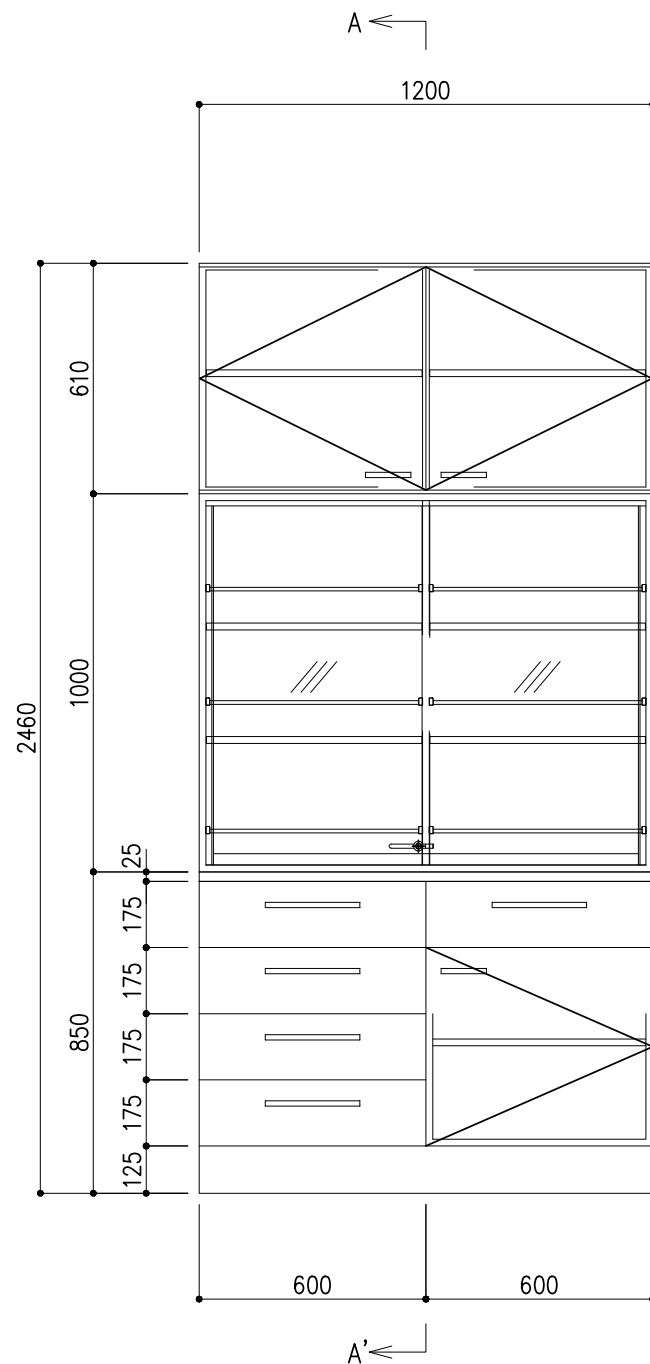
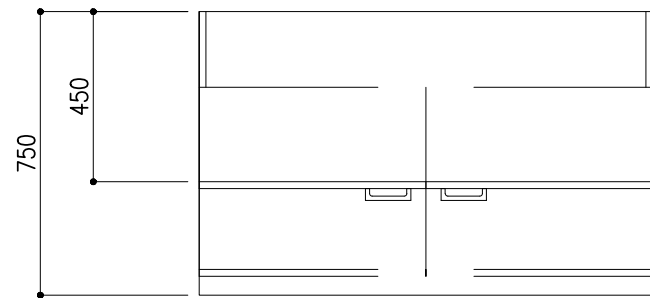
階	室名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室（化学）	D ⑪	1台
階	室名	機器番号	台数
11号館1階	A研究室（生物1）	A ⑧	1台
	B研究室（生物2）	B ⑧	1台



名称	数量	備考
天板	1	ラグスG天板 t25仕上げ 芯材：耐水合板 PPエッジ付 (色：ダークグレー206)
フレーム	—	スチール製 (色：W9/N-30)
塗装	—	耐薬品性焼付塗装仕上げ (色：ホワイトW9/ダークグレーN-30)
幕板	4	VOC低減化粧板 (色：ダークグレー)
天板下引出し	4	MDF前板 (色：ダークグレー) 内部パーティクルボード 耐震ラッチ付

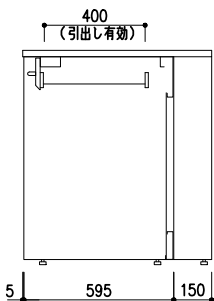
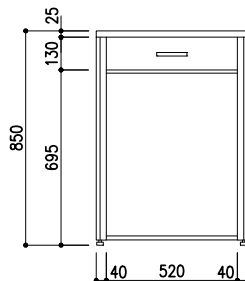
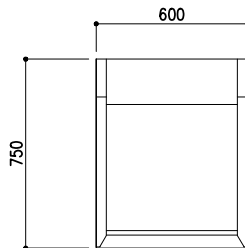
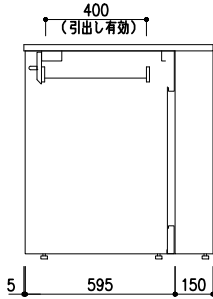
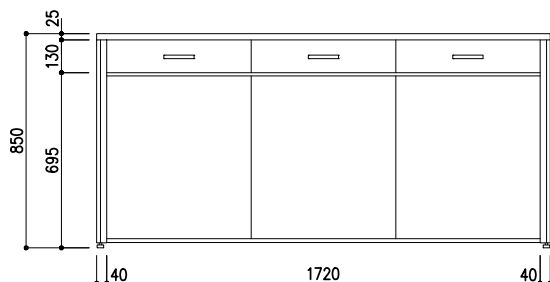
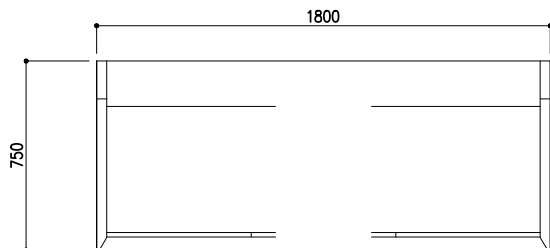
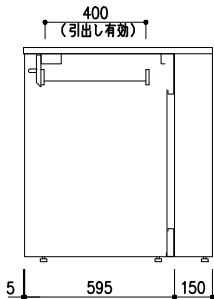
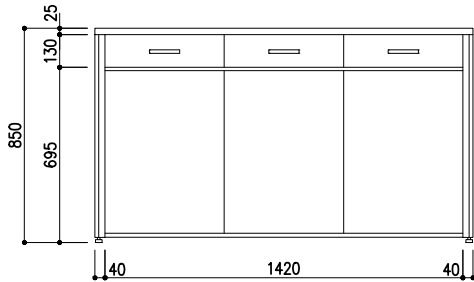
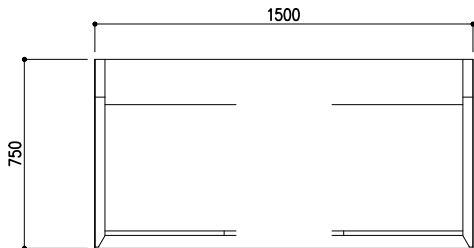
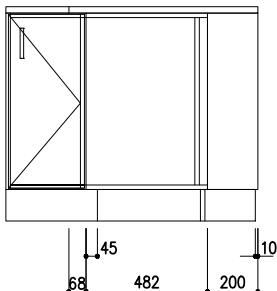
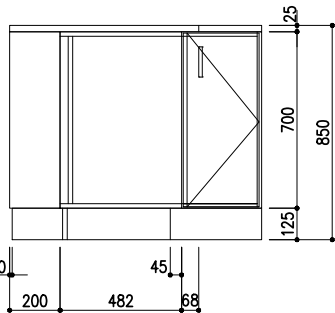
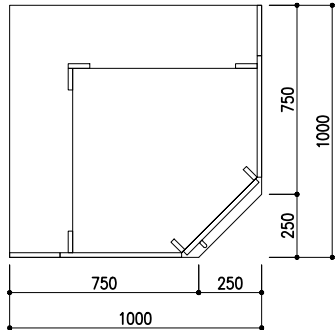
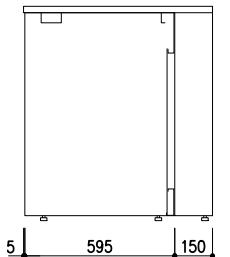
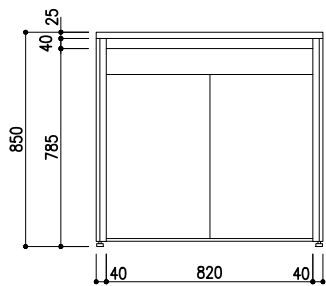
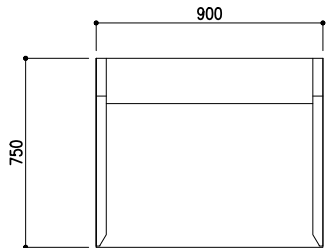
	ワゴン MMM型 D520×H640		
	W450 04ML BAAAP	W600 06ML BAAAP	W900 09ML BAAAP
3段引出し			
	1 台	1 台	1 台
引き出し	AXAAP	AXAAP	AXAAP
	1 台	1 台	1 台
コンビネーション			CAAAP
			1 台

階	室 名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室 (化学)	D ⑤	3台
階	室 名	機器番号	台数
11号館1階	A研究室 (生物1)	A ⑨	1台
	B研究室 (生物2)	B ⑨	1台



名称	数量	備考
天板	1	ラクスG天板 t25仕上げ 芯材：耐水合板 PPエッジ付 (色：ダークグレー206)
本体主材		両面化粧パネチクルボードt18
	—	木口：オレフィン系樹脂シート貼り (色：ホワイトDW9)
	—	透明ガラス t5 ステンレスハカマ付
	—	上レール：オレフィン系樹脂成形品
	—	下レール：ステンレス
	—	引手：PP成型品
台輪	6	セーフティパイプ：ステンレス φ9.5
	—	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板 (色：黒)
補助材	—	VOC低減・消臭化粧板(色：DW9)
付属品	1	スライドロック
耐震対策	—	耐震ラッチ付

階	室名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室(化学)	D ⑥	1台
階	室名	機器番号	台数
11号館1階	B研究室(生物2)	B ⑥	1台
階	室名	機器番号	台数
11号館1階	A研究室(生物1)	A ⑩	1台
	B研究室(生物2)	B ⑩	1台



名称	数量	備考
天板	1	ラクスG天板 t25仕上げ 芯材：耐水合板 PPエッジ付（色：ダークグレー206）
フレーム	—	スチール製（色：W9／N－30）
塗装	—	耐薬品性焼付塗装仕上げ（色：ホワイトW9／ダークグレーN－30）
扉板	2	VOC低減化粧板（色：ダークグレー）

階	室名	機器番号	台数
11号館1階	A研究室（生物1）	A ⑪	2台
	B研究室（生物2）	B ⑪	2台
階	室名	機器番号	台数
11号館1階	E研究室用倉庫	E ②	1台

名称	数量	備考
天板	1	ラクスG天板 t25仕上げ 芯材：耐水合板 PPエッジ付（色：ダークグレー206）
本体主材	—	画面化粧パチクルボードt18
	—	木口：オレフィン系樹脂シート貼り（色：ホワイトDW9）
台輪	—	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板（色：黒）
補助材	—	VOC低減・消臭化粧板（色：DW9）
開き扉	—	画面化粧パチクルボードt18
	—	木口：オレフィン系樹脂シート貼り（色：ホワイトDW9）
	—	煙番：スライド煙番 105°開き
耐震対策	—	耐震ラッチ付

階	室名	機器番号	台数
11号館1階	A研究室（生物1）	A ⑫	1台
	B研究室（生物2）	B ⑫	1台

名称	数量	備考
天板	1	ラクスG天板 t25仕上げ 芯材：耐水合板 PPエッジ付（色：ダークグレー206）
フレーム	—	スチール製（色：W9／N－30）
塗装	—	耐薬品性焼付塗装仕上げ（色：ホワイトW9／ダークグレーN－30）
扉板	3	VOC低減化粧板（色：ダークグレー）
天板下引出し	3	MDF前板（色：ダークグレー）
		内部パチクルボード 耐震ラッチ付

階	室名	機器番号	台数
11号館1階	A研究室（生物1）	A ⑬	1台
	B研究室（生物2）	B ⑬	1台

名称	数量	備考
天板	1	ラクスG天板 t25仕上げ 芯材：耐水合板 PPエッジ付（色：ダークグレー206）
フレーム	—	スチール製（色：W9／N－30）
塗装	—	耐薬品性焼付塗装仕上げ（色：ホワイトW9／ダークグレーN－30）
扉板	3	VOC低減化粧板（色：ダークグレー）
天板下引出し	3	MDF前板（色：ダークグレー）
		内部パチクルボード 耐震ラッチ付

階	室名	機器番号	台数
11号館1階	A研究室（生物1）	A ⑭	1台
	B研究室（生物2）	B ⑭	1台

名称	数量	備考
天板	1	ラクスG天板 t25仕上げ 芯材：耐水合板 PPエッジ付（色：ダークグレー206）
フレーム	—	スチール製（色：W9／N－30）
塗装	—	耐薬品性焼付塗装仕上げ（色：ホワイトW9／ダークグレーN－30）
扉板	1	VOC低減化粧板（色：ダークグレー）
天板下引出し	1	MDF前板（色：ダークグレー）
		内部パチクルボード 耐震ラッチ付

階	室名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室（化学）	D ⑨	1台

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

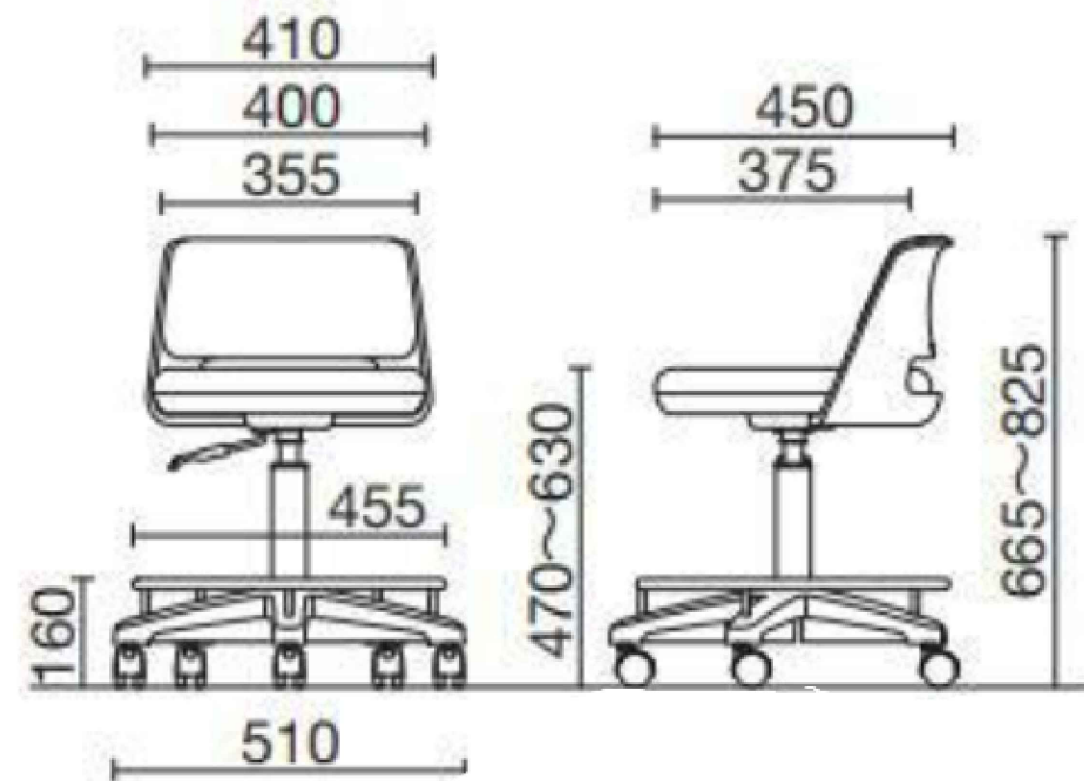
日付
R07/10

工事名称
山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

図面名称
サイド実験台詳細図

縮尺
A1:—
A3:—

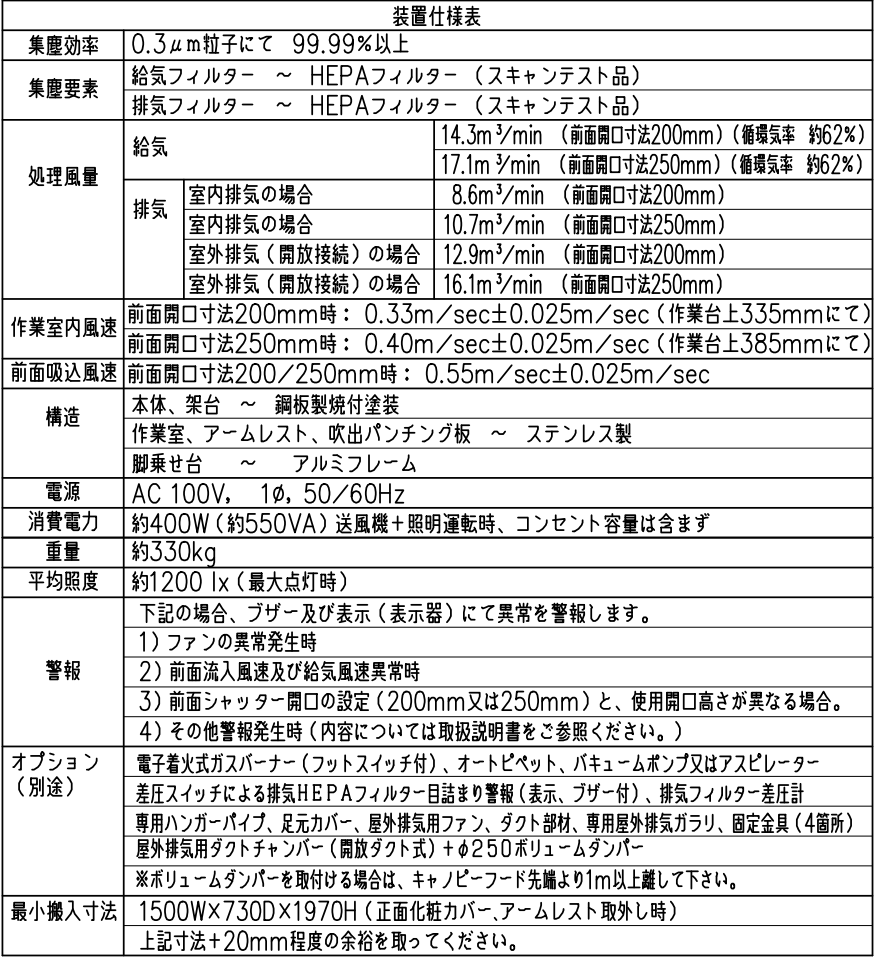
図面番号
A - 86



仕様

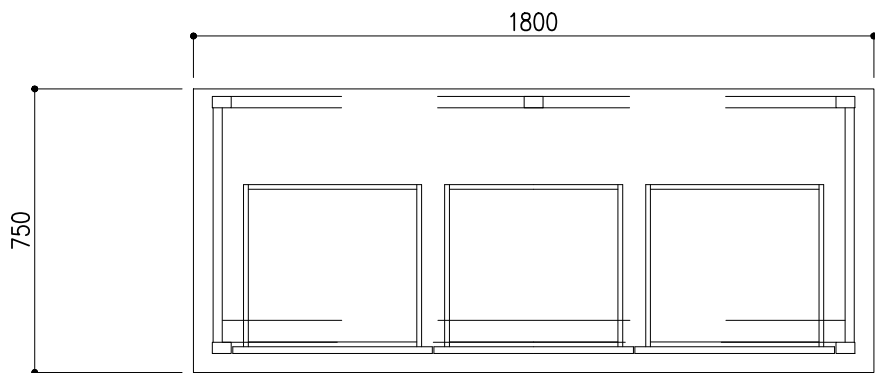
- 材質:張地=SMD2ビニールレザー(耐アルコール, 耐次亜塩素酸, 抗菌, 防汚)
背=PP/パッド
座=モールドウレタン/合板/スチール
脚=スチール/PP/スチールメッキリング
- ガス上下調節オートドライタイプ

階	室名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室(化学)	D (12)	16脚
階	室名	機器番号	台数
11号館1階	A研究室(生物1)	A (15)	16脚
	B研究室(生物2)	B (15)	16脚

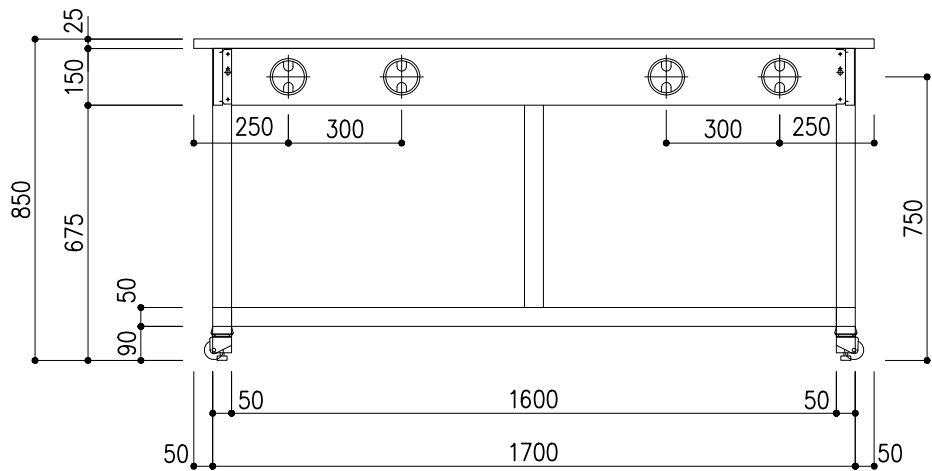
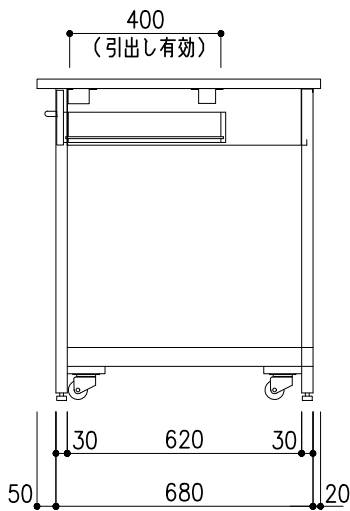
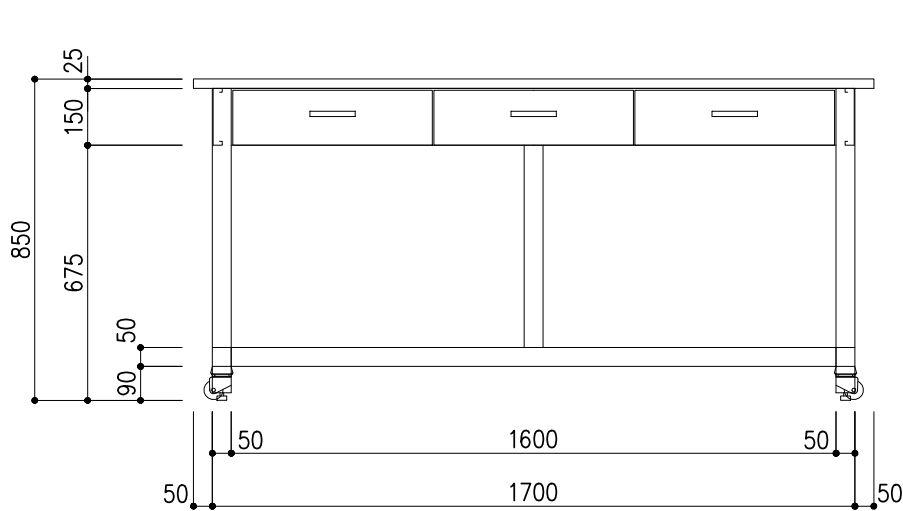


番号	名称	数量	備考
1	端子台	1	
2	ファンメンテナンスフタ	1	取外し可
3	送風機	1	最大出力750W
4	漏電ブレーカー	1	主回路10A カバー内
5	ノーヒューズブレーカー	1	コンセント用5A カバー内
6	前面シャッター	1	強化ガラス5t
7	取手	1	
8	防滴コンセント	2	庫内 背面
9	ドレインコック	1	3/8'
10	コンセント	1	架台 側面
11	排気口	1	取外し可
12	排気風量調整板	1	
13	操作パネル	1	
14	バキュームコック	1	
15	ガス継手	1	
16	PAO一次側測定コック	1	
17	ガス供給コック	1	
18	バキューム継手	1	φ10
19	制御盤	1	
20	LED照明灯	3	11W 5段階調光式
21	アームレスト	1	取外し可
22	脚乗せ台	1	前後位置可変可能
23	電源コード	1	2PEプラグ付 機外3m
24	排気フィルター	1	CD3148479
25	給気フィルター	1	CD3130965
26	吹出パンチング板	1	SUS304 取外し可
27	殺菌灯	2	15W インバータ式
28	吸込パンチング板	1	
29	作業台	1	SUS304 取外し可
30	キャスター	4	
31	アジャスター	4	L=200

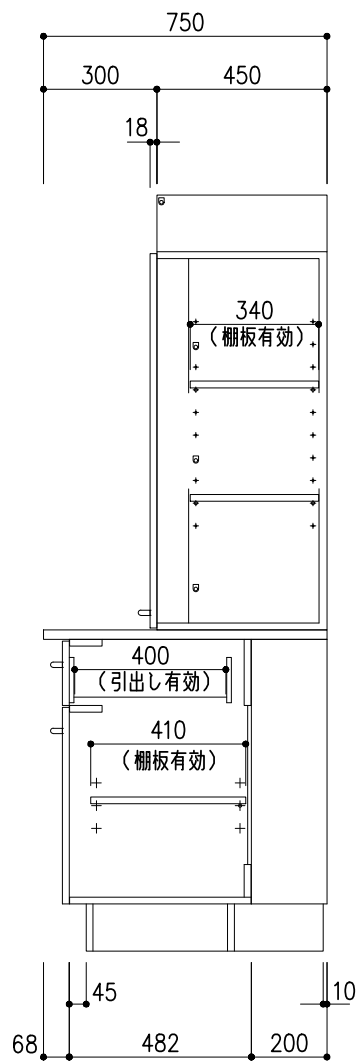
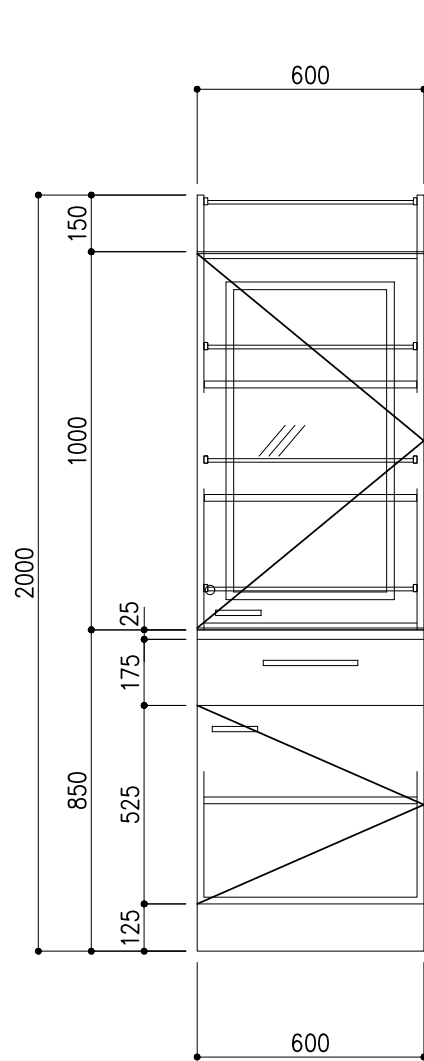
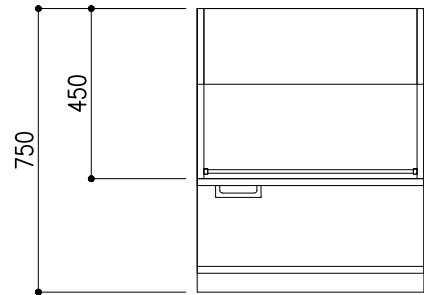
注記：殺菌灯はシャッター全開時のみ点灯する、安全インターロック式です。
注記：前面シャッター開口（200mm又は250mm）は、予め設定された開口高さにて御使用ください。



名称	数量	備考
天板	1	ラグスG天板 t25仕上げ 芯材：耐水合板 PPエッジ付 (色：ダークグレー206)
フレーム	—	スチール製(色：ホワイトW9)
塗装	—	耐薬品性焼付塗装仕上げ
キャスター	4	
天板下引出	3	両面化粧パーティクルボード(色：ホワイトDW9)
耐震対策	—	耐震ラッチ付
付属品	4	配線貫通用キャップ
耐荷重：300kg		

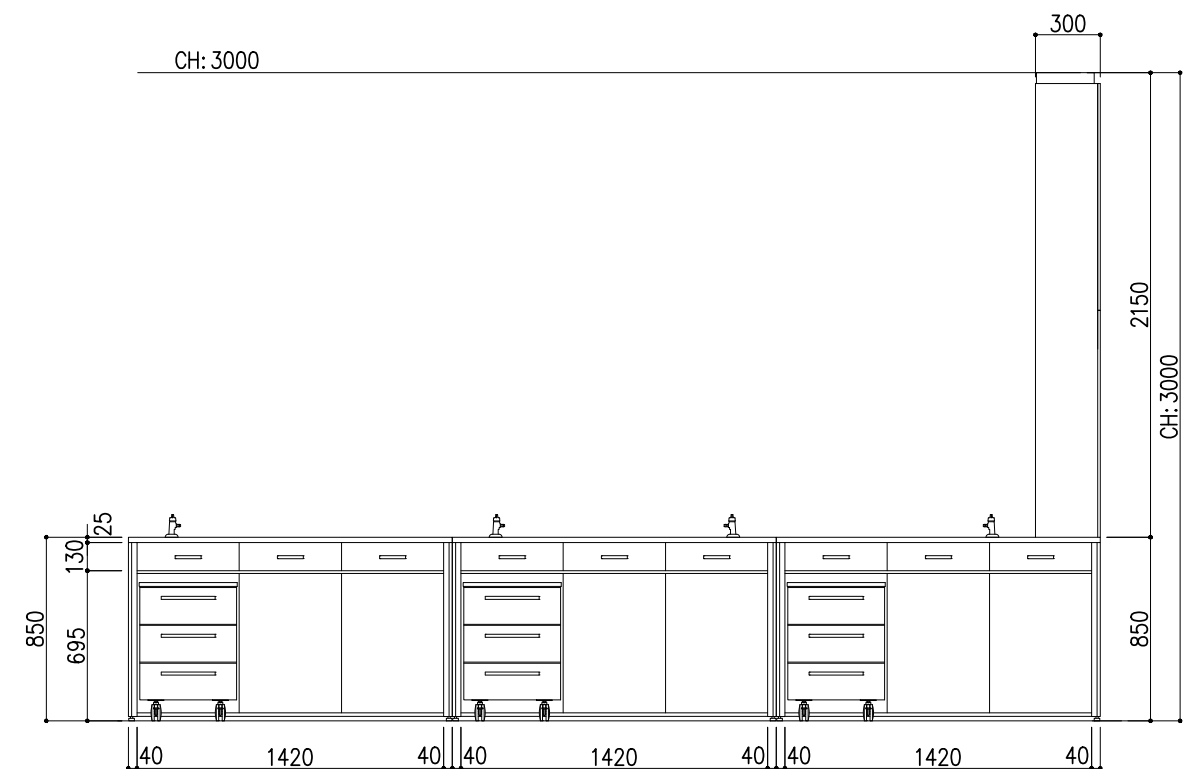
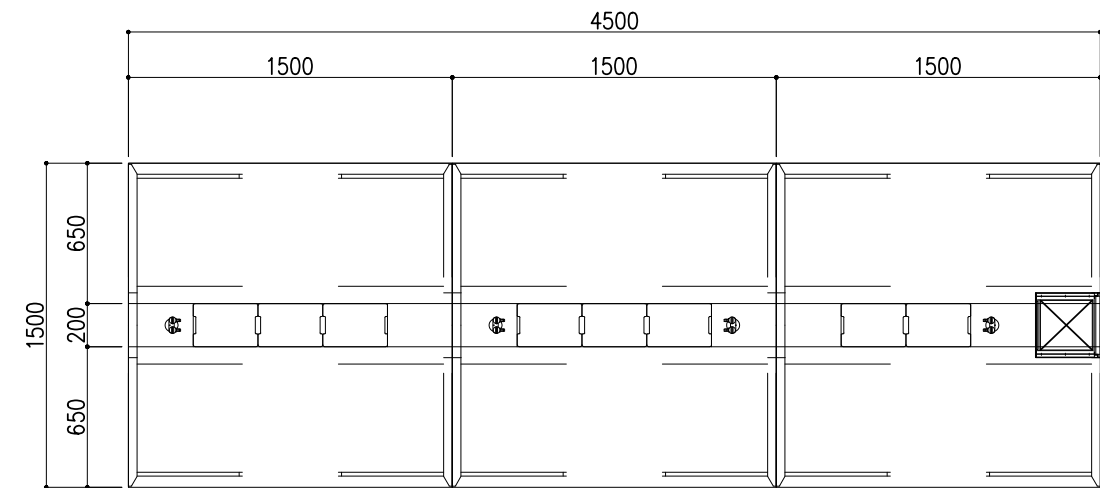
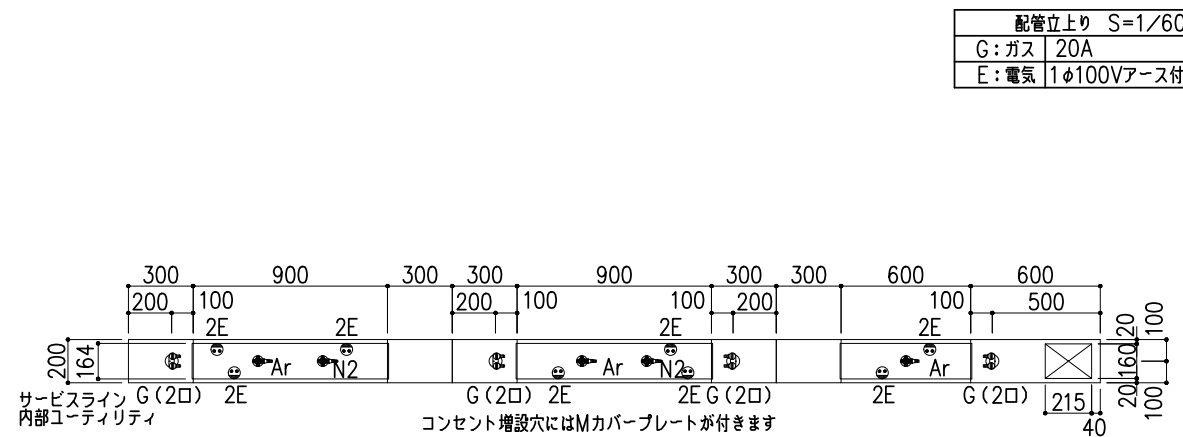


階	室名	機器番号	台数
11号館1階	C研究室(生物共同)	C ④	2台

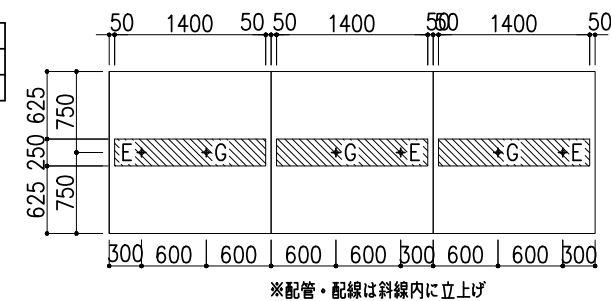


名称	数量	備考
天板	1	ラクスG天板 t25仕上げ 芯材：耐水合板 PPエッジ付 (色：ダークグレー206)
本体主材		両面化粧パーティクルボードt18
	-	木口：オレフィン系樹脂シート貼り (色：ホワイtdw9)
	-	透明ガラス t3
	4	セーフティパイプ：ステンレス φ9.5
台輪	-	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板 (色：黒)
補助材	-	VOC低減・消臭化粧板 (色：DW9)
付属品	1	シリンダーロック
耐震対策	-	耐震ラッチ付

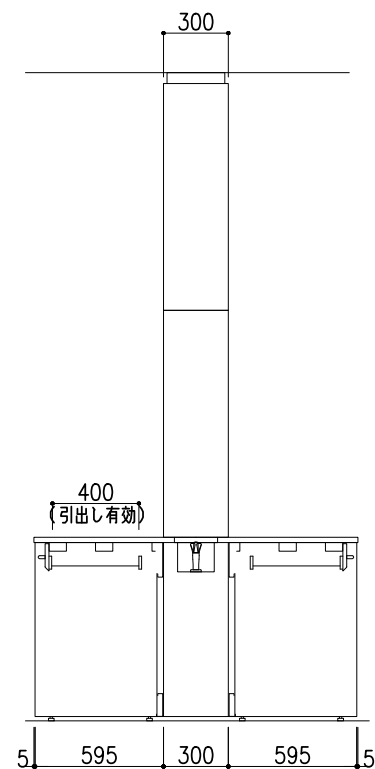
階	室名	機器番号	台数
11号館1階	C研究室(生物共同)	C⑤	2台



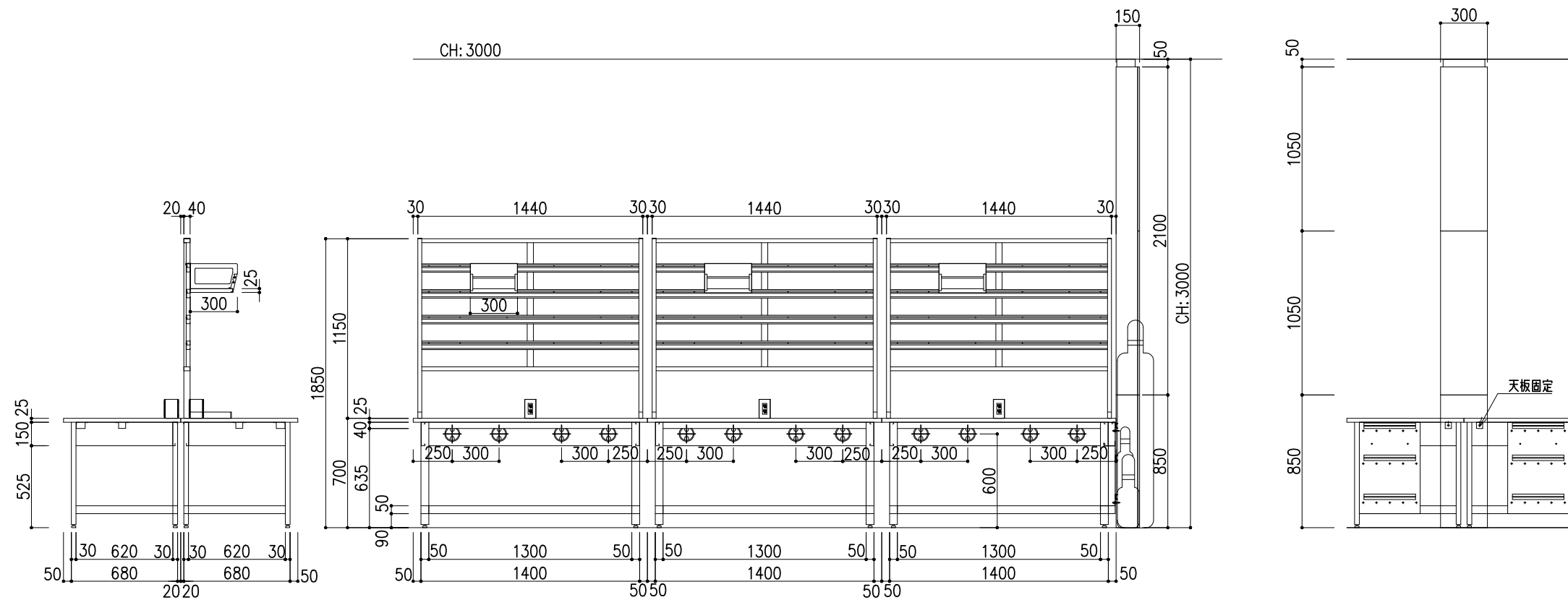
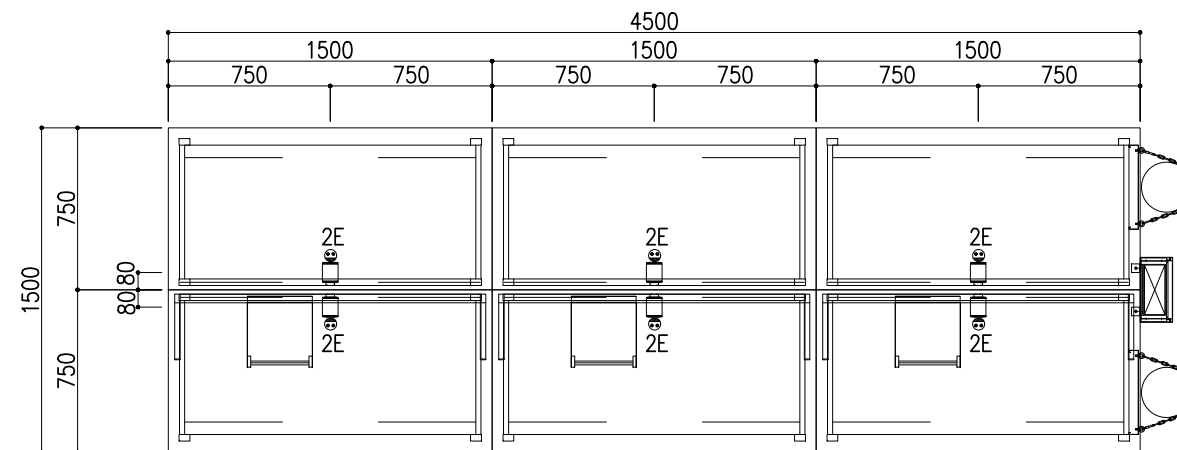
配管立上り S=1/60	
G:ガス	20A
E:電気	1φ100Vアース付

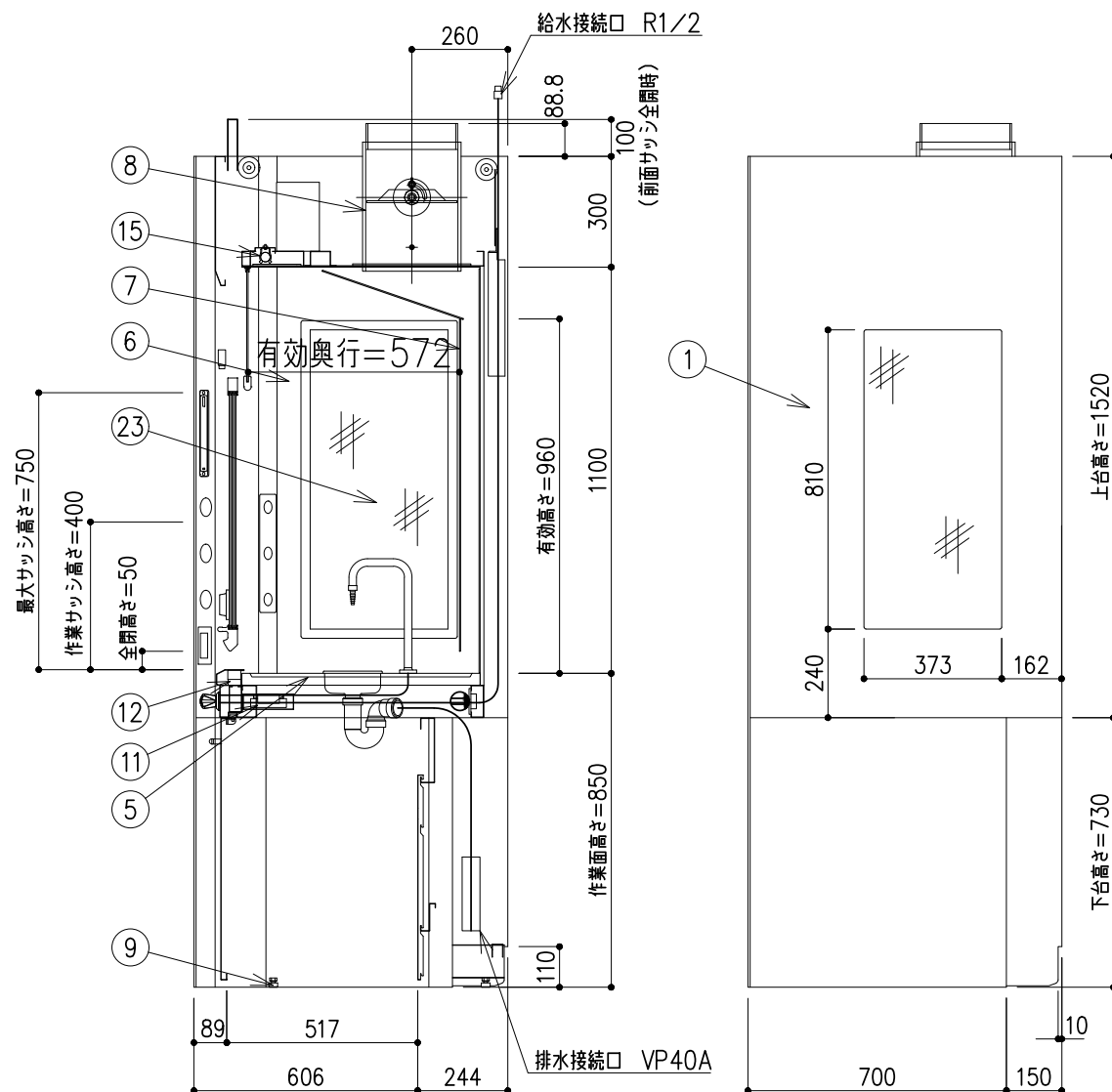
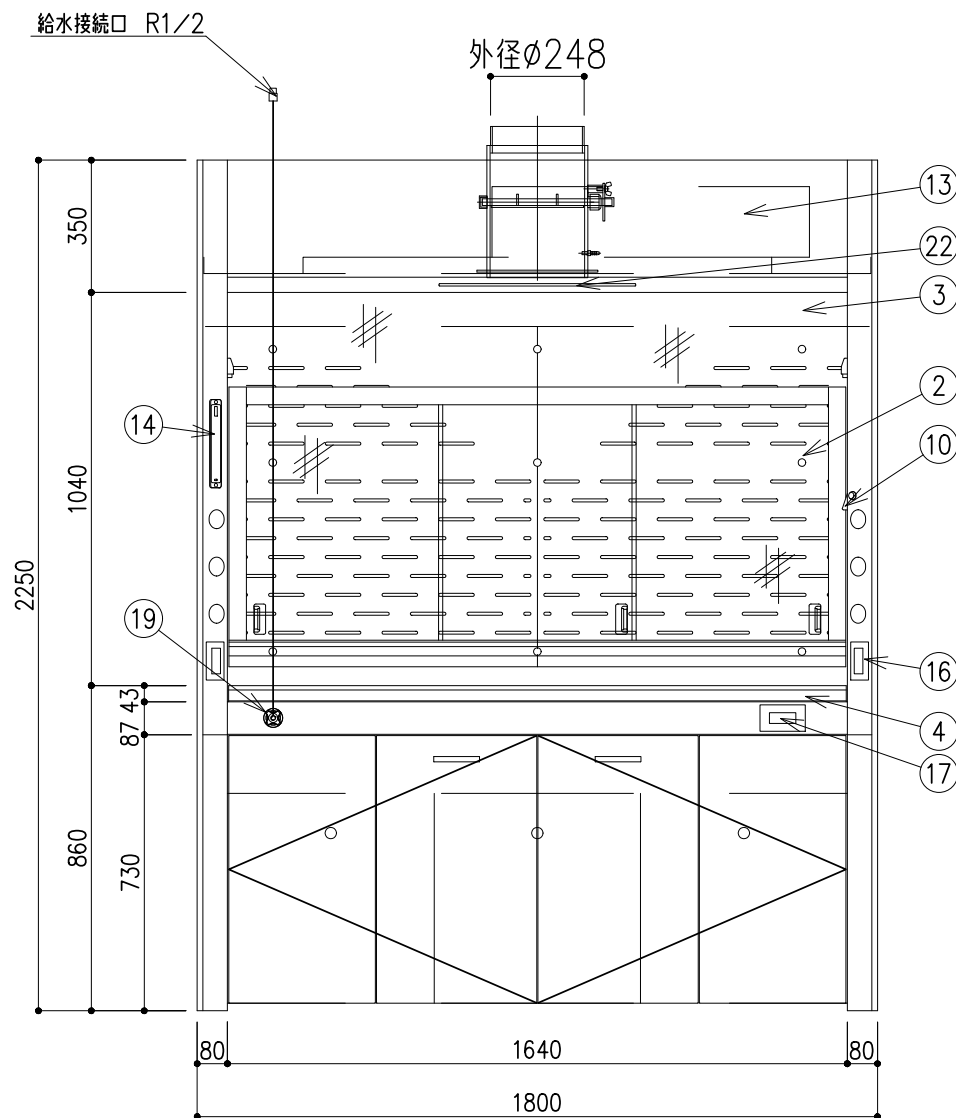
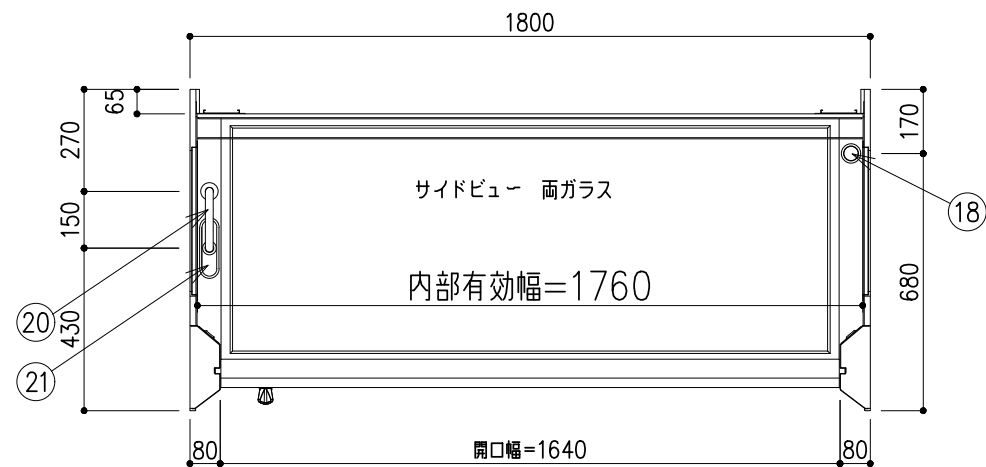
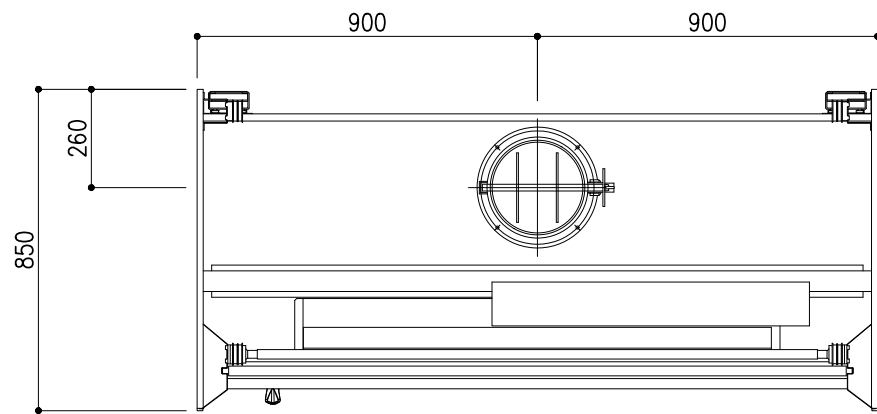


中央実験台 スチールフレームタイプ MGF15MM-AAABA-A1T 3台		
名称	数量	備考
天板	6	ラクスG天板 t25仕上げ 芯材:耐水合板 PPエッジ付 (色:ダークグレー206)
フレーム	—	スチール製(色:W9/N-30)
塗装	—	耐薬品性焼付塗装仕上げ (色:ホワイT W9/ダークグレーN-30)
幕板	18	VOC低減化粧板(色:ダークグレー)
天板下引出し	18	MDF前板(色:ダークグレー) 内部パーティクルボード 耐震ラッチ付
サービスライン	—	固定天板/フタ:スチール製 t25 内部:スチール製(色:ダークグレーN-30)
木製ワゴン	6	引出タイプ MMM04ML-BAAAP-A00 寸法:W454×D520×H640
付属品	8	Mカバープレート
	8	抜け止めコンセント100V15A2口アース付(AH)
	4	ガス栓(都市ガス) 卓上2方口
	5	特ガスニードルバルブ N2×2、Ar×3<BROEN>
エネルギーシャフト MEB03MM-AAAAA-A10 1台		
名称	数量	備考
本体	—	スチール製(色:W9/N-30)
塗装	—	耐薬品性焼付塗装仕上げ (色:ホワイT W9/ダークグレーN-30)



階	室名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室(化学)	D①-1	1式





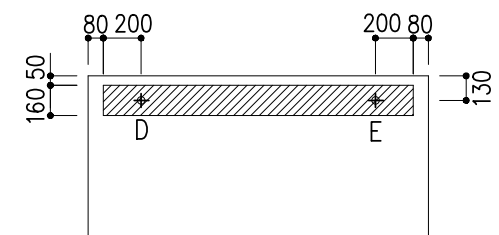
番号	名称	数量	備考
1	本体	上台	スチール製 (庫内側カラー鋼板)
			側板 粉体焼付塗装 ホワイトW9
			正面 粉体焼付塗装 ダークグレーN-30
			上面板 溶融亜鉛めっき
		下台	スチール製 ダークグレーN-30扉付 扉板付
			側板 粉体焼付塗装 ホワイトW9
2	前面サッシ	1	正面 粉体焼付塗装 ダークグレーN-30
			強化ガラス (コンビネーション)
3	固定ガラス	1	アルミフレーム 粉体焼付塗装 N-30
4	エアfoil	1	強化ガラス ガイドPP製
5	作業面	1	スチール製 (セラミックコーティング)
6	内壁	1	ケルミス
7	パツフル板	1	ダルトンデキセラソフ
8	排気ダクト	1	ダルトンデキセラソフV
9	アジャスター	4	PVC製 (VD付)
10	サッシ制限ストッパ	1	
11	サポートファン	1	鍵付
12	エアロダクト	1	DC24V
13	配電盤	1	スチール製 粉体焼付塗装 ホワイトW9
14	操作スイッチ	1	スチール製 溶融亜鉛めっき
15	照明	1	静電容量式 運転状況表示用有機ELモニタ付
16	抜け止めコンセント	2	LED
17	抜け止めコンセント	1	100V15A (2口) アース付
18	配線口	1	100V15A (2口) アース付 (下台内)
19	給水操作ハンドル	1	PP製 内径41mm
20	給水栓	1	リモートハンドル
21	排水ポット	1	グースネックノズル
22	ステータランプ	1	PP製 Pトラツプ付
23	サイドビューガラス	2	LED 停止: 白点灯 正常: 緑点灯 異常: 赤点滅
			強化ガラス

前面サッシ	捕捉面	排気風量	排気ダクト	本体静圧
作業高さ (H)	風速m/s	CMH	外径	Pa
400	0.25	600	φ248	50

記・

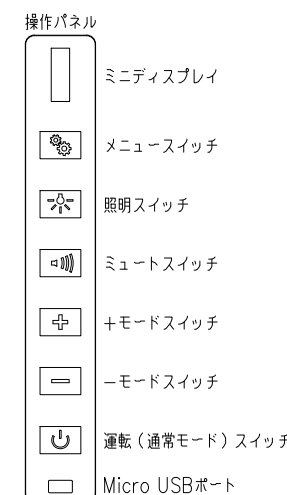
管への一次側供給圧力は
する
力は0.735MPa以下
5kgf/cm² 以下)

配管立上り S=1/40	
D：排水	40A
E：電気	1φ100V 20A アース付 (コンセント、照明用)



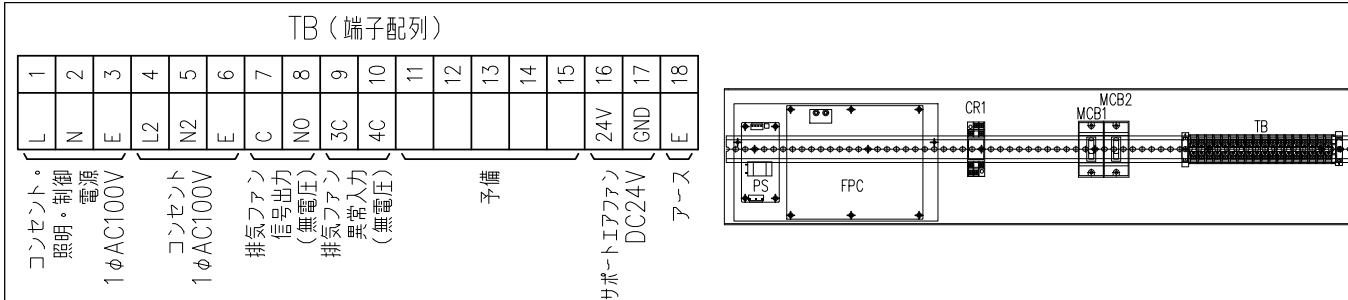
※上記指定寸法以外は、斜線内に立上げ
※増設コンセント電源、操作線は
別途打合せとする

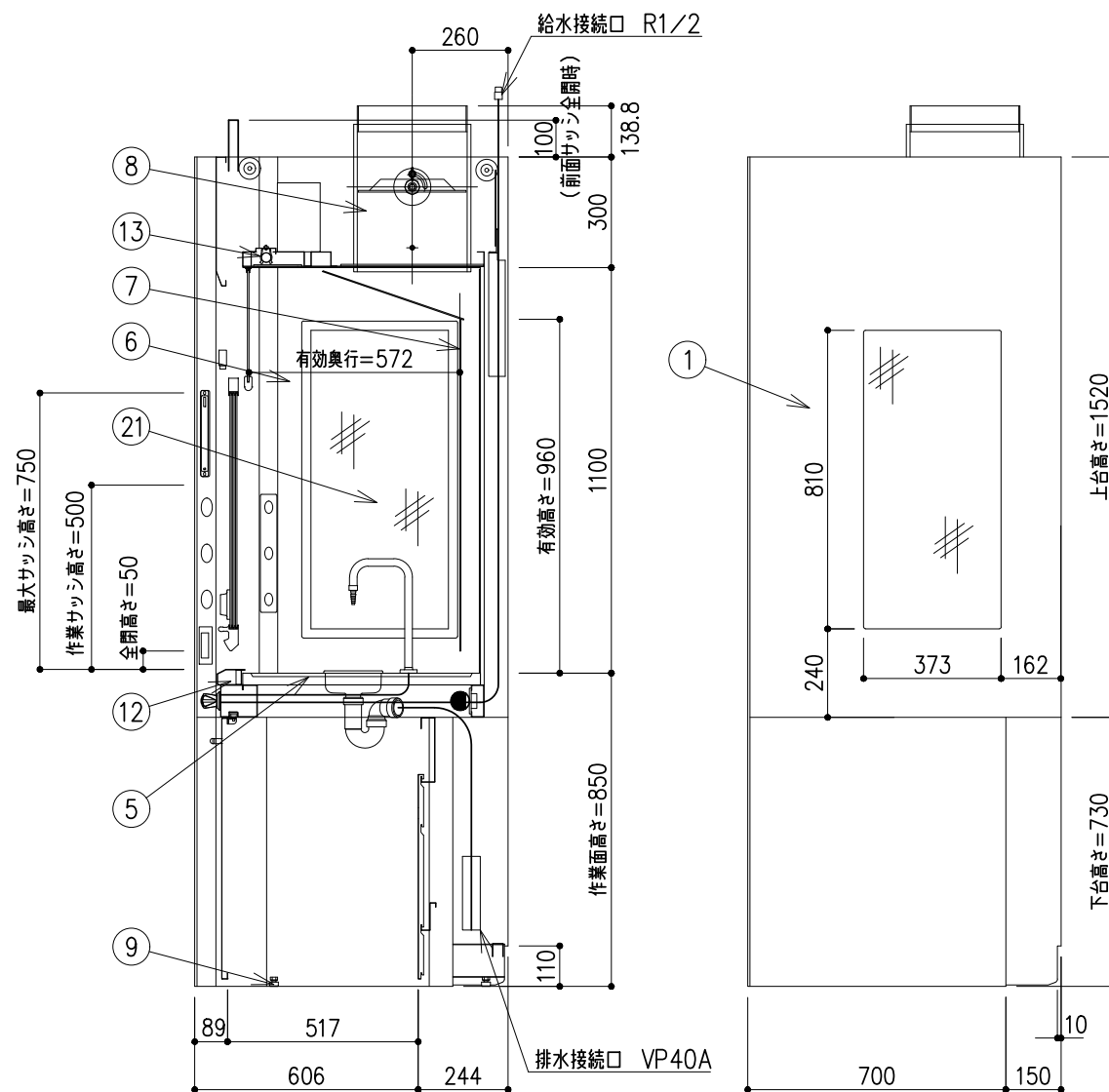
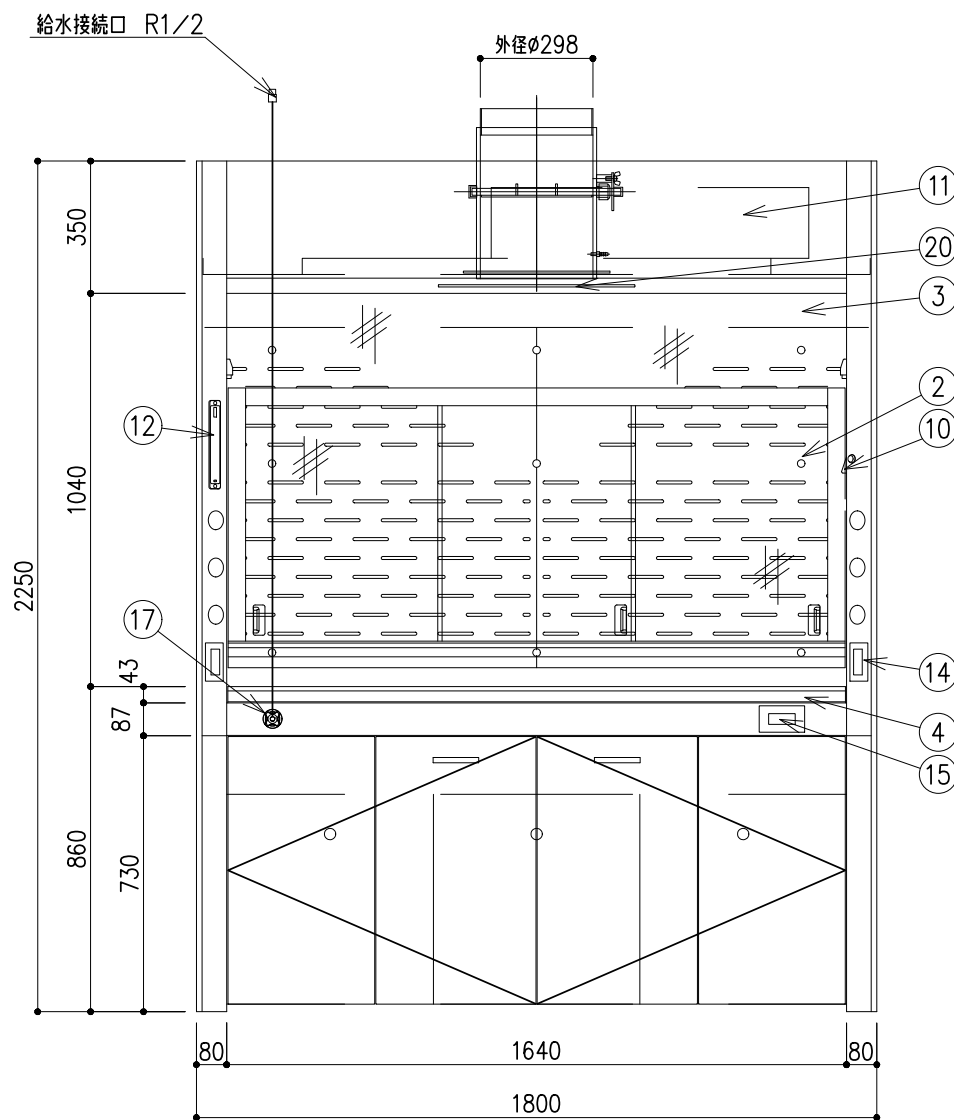
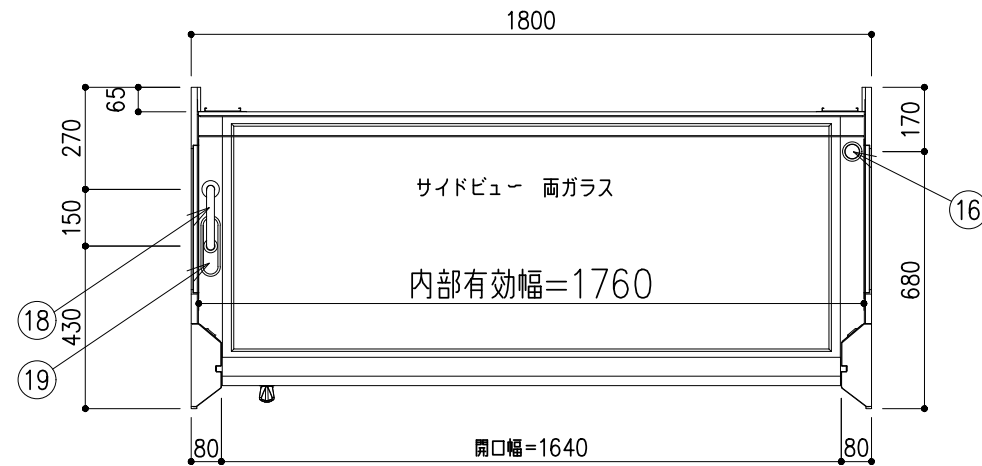
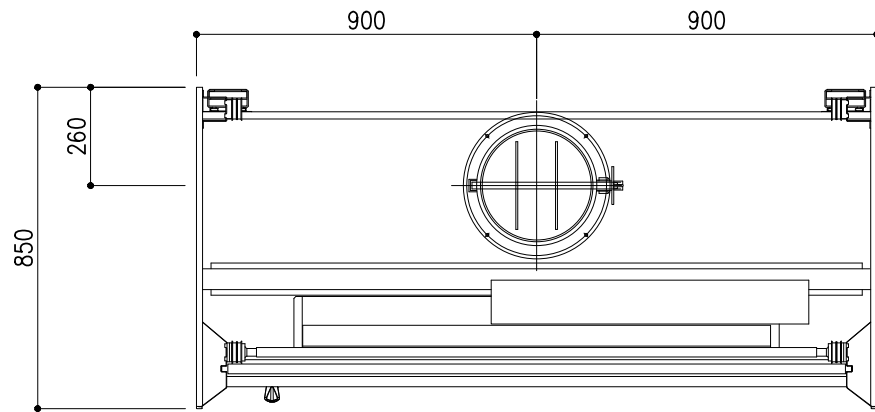
階	室名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室 (化学)	D (3)	2台



階	室 名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室（化学）	D ③	2台

低風量タイプ、信号送り、ステータスランプ有り





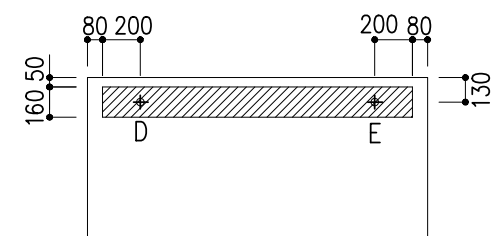
番号	名称	数量	備考
1	本体	上台	スチール製(庫内側カラー鋼板)
			側板 粉体焼付塗装 ホワイトW9
			正面 粉体焼付塗装 ダークグレーN-30
		下台	上面板 溶融亜鉛めっき
			側板 粉体焼付塗装 ホワイトW9
			正面 粉体焼付塗装 ダークグレーN-30
2	前面サッシ	1	強化ガラス アルミフレーム 粉体焼付塗装 N-30
3	固定ガラス	1	強化ガラス ガイドPP製
4	エアフォイル	1	スチール製 (セラミックコーティング)
5	作業面	1	ケルミス
6	内壁	1	ダルトンデキセラシーF
7	バッフル板	1	ダルトンデキセラシーV
8	排気ダクト	1	PVC製(VD付)
9	アジャスター	4	
10	サッシ制限ストッパー	1	鍵付
11	配電盤	1	スチール製 溶融亜鉛めっき
12	操作スイッチ	1	静電容量式 運転状況表示用有機ELモニター付
13	照明	1	LED
14	抜け止めコンセント	2	100V15A(2口)アース付
15	抜け止めコンセント	1	100V15A(2口)アース付 (下台内)
16	配線口	1	PP製 内径41mm
17	給水操作ハンドル	1	リモートハンドル
18	給水栓	1	グースネックノズル
19	排水ポット	1	PP製 Pトラップ付
20	ステータスランプ	1	LED 停止: 白点灯 正常: 緑点灯 異常: 赤点滅
21	サイドビューガラス	2	強化ガラス

前面サッシ 作業高さ(H)	制御風速 m/s	排気風量 CMH	排気ダクト 外径	本体静圧 Pa
500	0.6	2040	φ298	220

記・

※機内配管への一次側供給圧力は
下記とする
※給水圧力は0.735MPa以下
(7.5kgf/cm²以下)

配管立上り S=1/40	
D: 排水	40A
E: 電気	1φ100V 20A アース付 (コンセント、照明用)



※上記指定寸法以外は、斜線内に立上げ
※増設コンセント電源、操作線は
別途打合せとする

階	室名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室(化学)	D(4)	2台

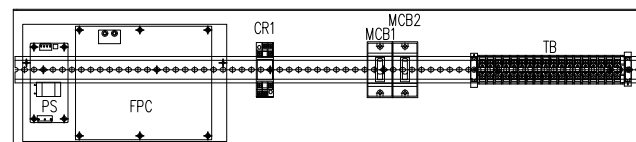


操作パネル

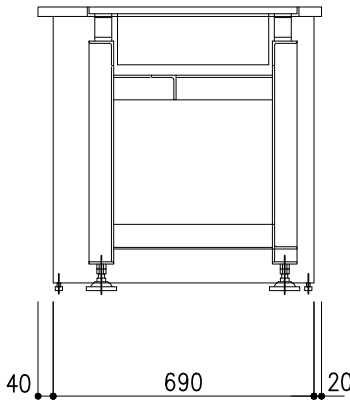
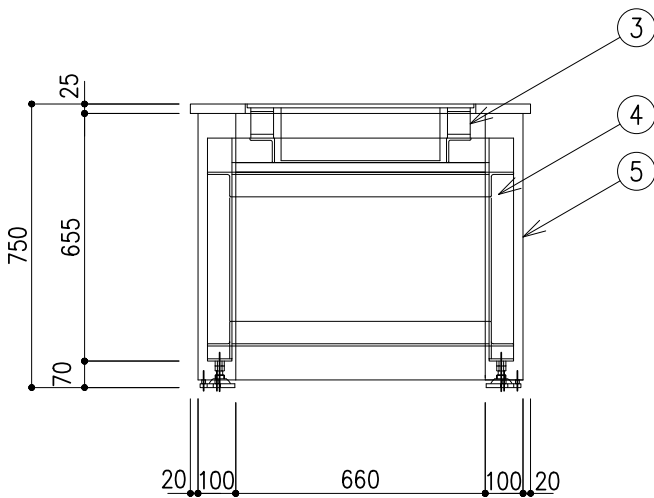
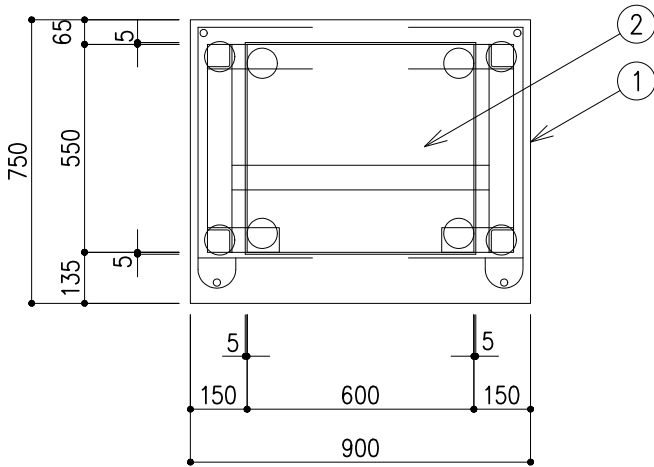
- ミニディスプレイ
- メニュースイッチ
- 照明スイッチ
- ミュートスイッチ
- +モードスイッチ
- モードスイッチ
- 運転（通常モード）スイッチ
- Micro USBポート

階	室 名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室（化学）	D ④	2台

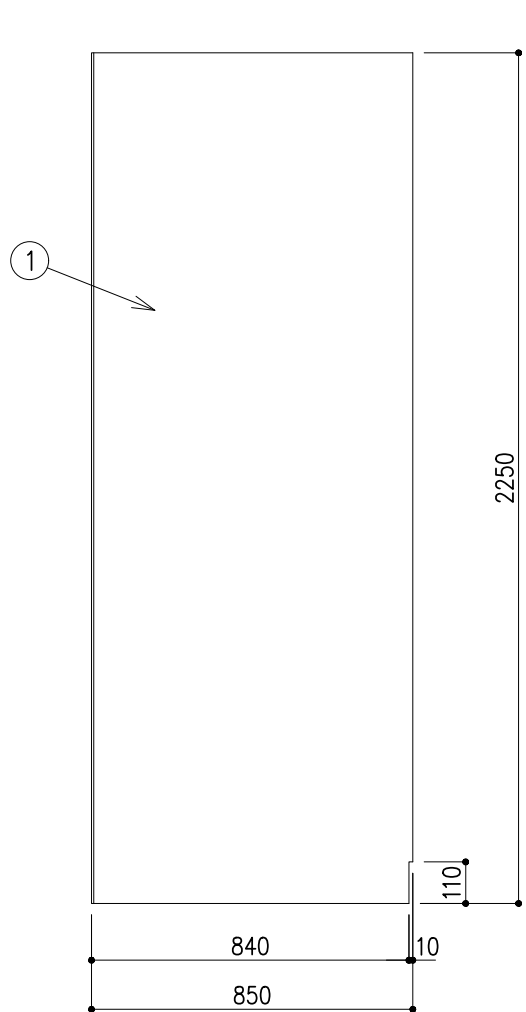
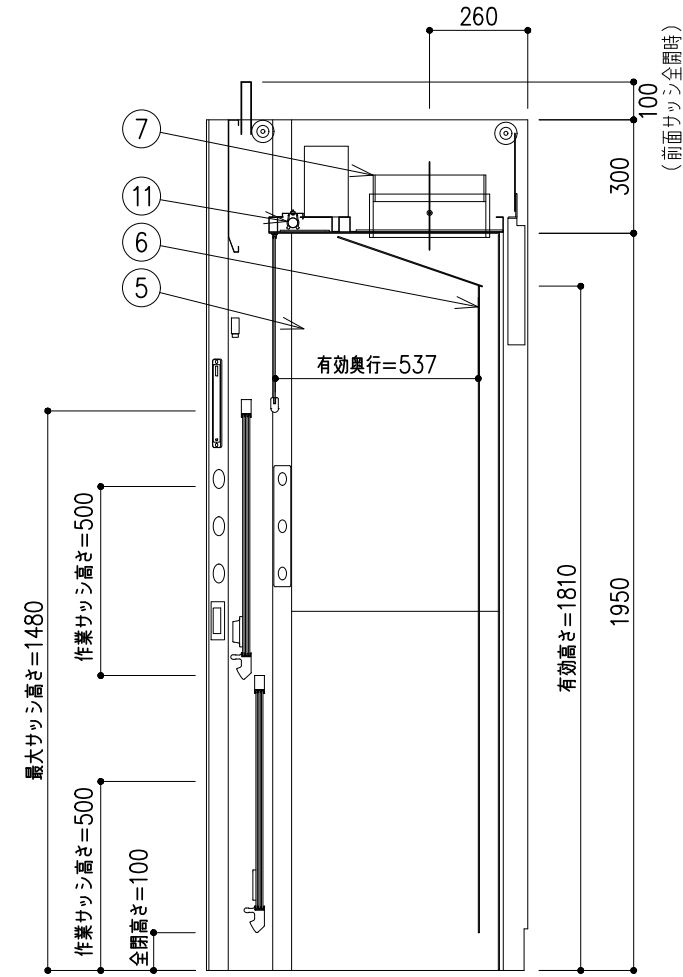
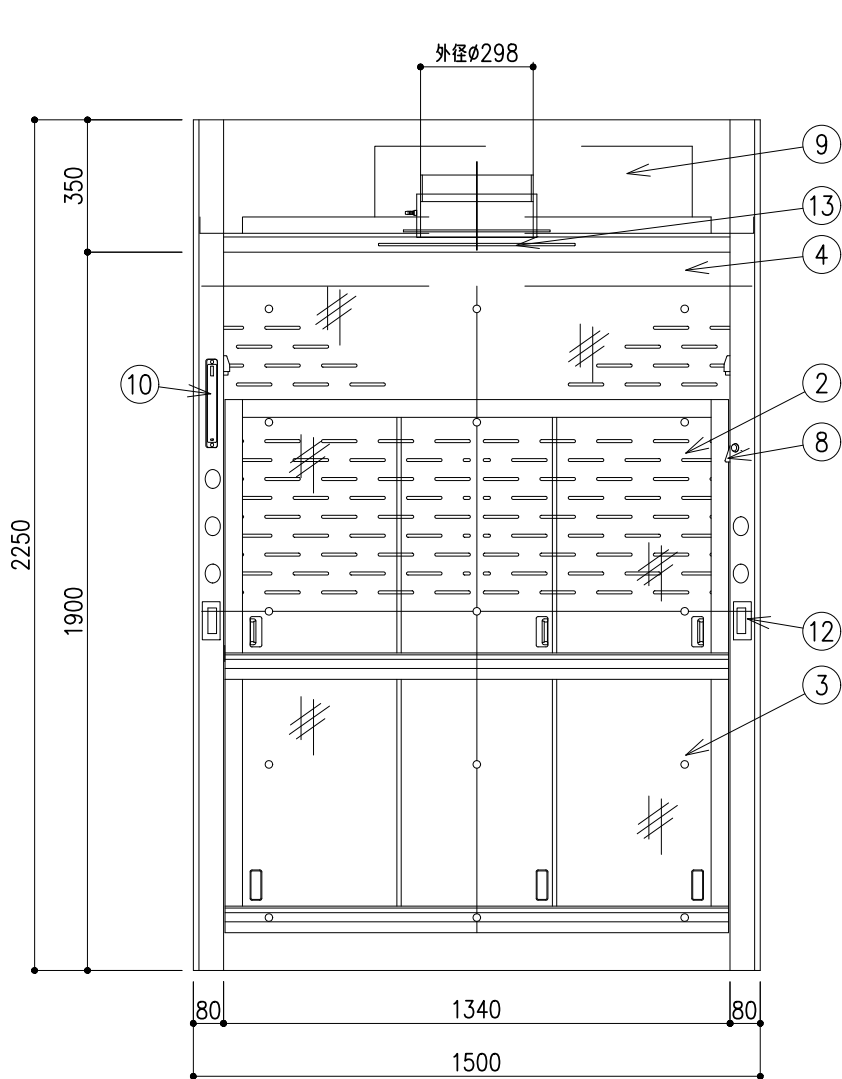
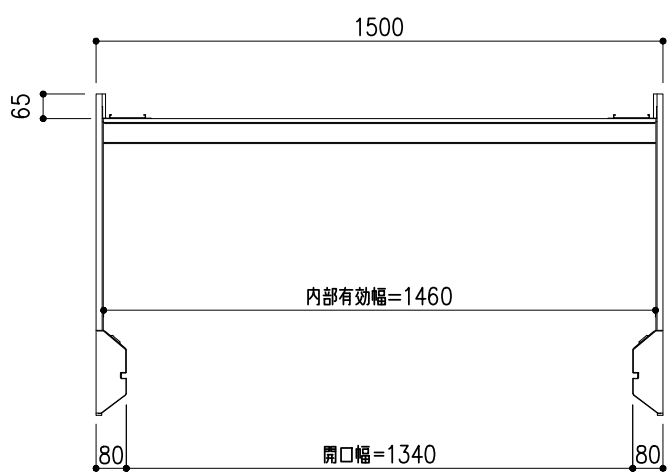
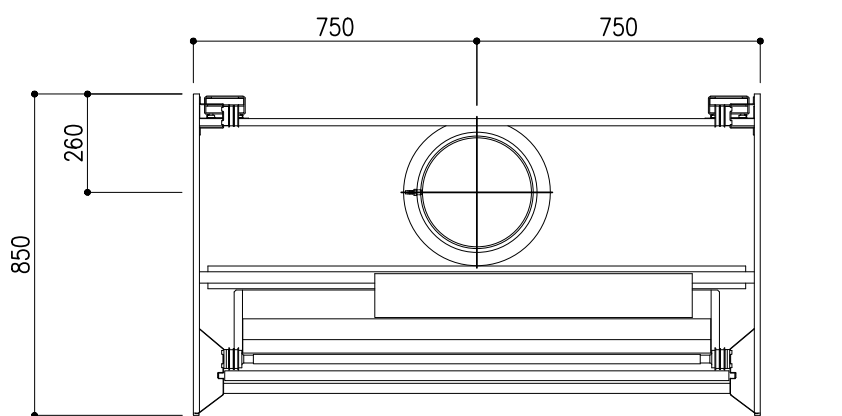
制御風速タイプ、信号送り、ステータスランプ有り



番号	名称	数量	備考
1	天板	1	ラクスG天板 t25仕上げ PPエッジ付 (色：ダークグレー206)
2	天秤搭載部	1	スチール製 黒色塗装仕上げ
3	防振ゴム	4	ー
4	架台	1	スチール製(色：W9) 耐薬品性焼付塗装仕上げ 内壁 t1.0 L65×65×4 アジャスター付
5	机カバー	1	スチール製(色：W9) 耐薬品性焼付塗装仕上げ t1.0 アジャスター付



階	室名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室(化学)	D ⑦	1台

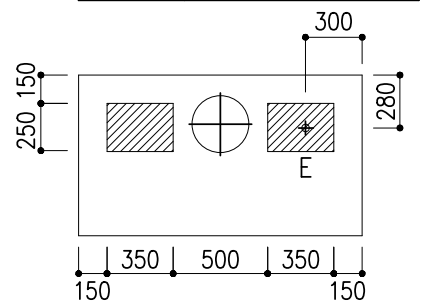


番号	名称	数量	備考
1	本体	1	スチール製(庫内側カラー鋼板)
			側板 粉体焼付塗装 ホワイトW9
			正面 粉体焼付塗装 ダークグレーN-30
			上面板 溶融亜鉛めっき
2	前面サッシ(上)	1	強化ガラス(コンビネーション) アルミフレーム 粉体焼付塗装 N-30
3	前面サッシ(下)	1	強化ガラス(コンビネーション) アルミフレーム 粉体焼付塗装 N-30
4	固定ガラス	1	強化ガラス ガイドPP製
5	内壁	1	ダルトンデキセラーン-F
6	バッフル板	1	ダルトンデキセラーン-V
7	排気ダクト	1	PVC製
8	サッシ制限ストッパー	1	鍵付(上サッシのみ)
9	配電盤	1	スチール製 溶融亜鉛めっき
10	操作スイッチ	1	静電容量式 運転状況表示用有機ELモニタ付
11	照明	1	LED
12	抜け止めコンセント	2	100V15A(2口) アース付
13	ステータスランプ	1	LED 停止: 白点灯 正常: 緑点灯 異常: 赤点滅

前面サッシ 作業高さ(H)	制御風速 m/s	排気風量 CMH	排気ダクト 外径	本体静圧 Pa
500	0.5	1740	φ298	160

記・

配管立下げ S=1/40	
E: 電気	1φ100V 20A アース付 (コンセント、照明用)



※上記指定寸法以外は、斜線内に立下げ
※増設コンセント電源、操作線は
別途打合せとする

階	室名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室(化学)	D(10)	1台

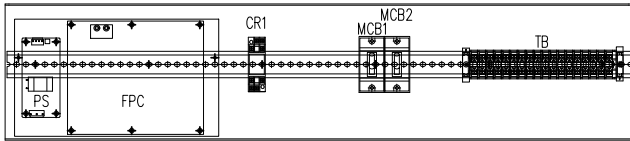


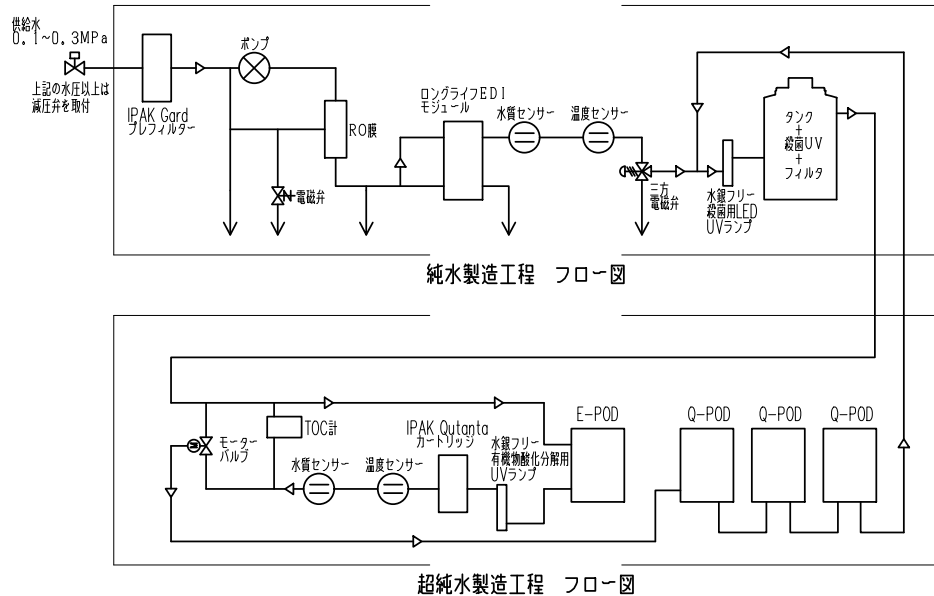
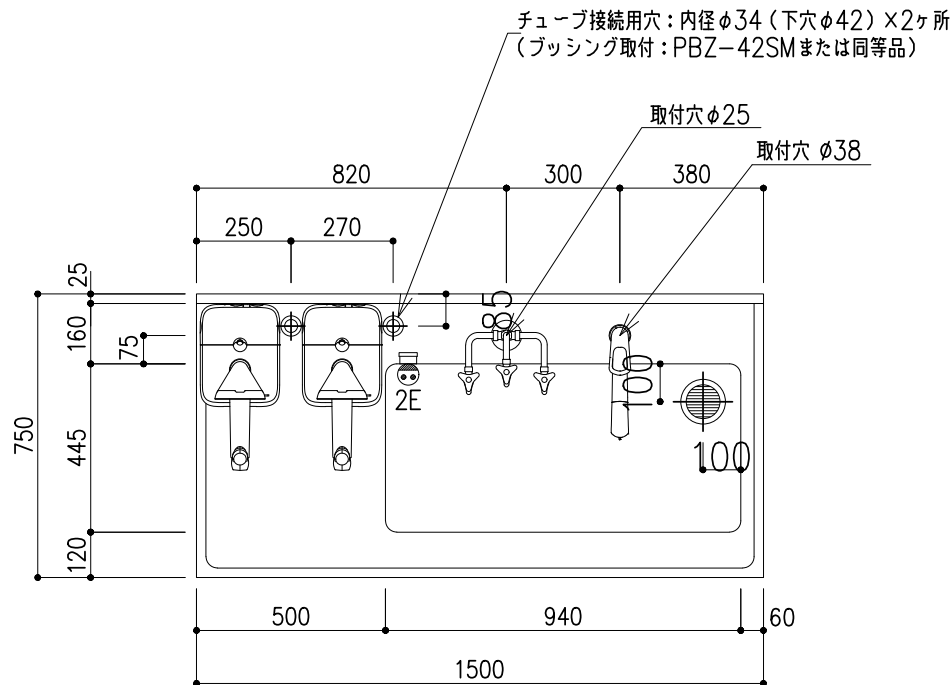
The diagram shows a vertical control panel with the following components from top to bottom:

- ミニディスプレイ** (Mini Display): A rectangular screen.
- メニュースイッチ** (Menu Switch): A button with a gear icon.
- 照明スイッチ** (Lighting Switch): A button with a sun icon.
- ミュートスイッチ** (Mute Switch): A button with a speaker icon and a diagonal line through it.
- +モードスイッチ** (+ Mode Switch): A button with a plus sign icon.
- モードスイッチ** (- Mode Switch): A button with a minus sign icon.
- 運転〔通常モード〕スイッチ** (Operation [Normal Mode] Switch): A button with a power icon.
- Micro USBポート** (Micro USB Port): A rectangular port.

階	室 名	機器番号	台数
11号館2階	D研究室（化学）	D ⑩	1台

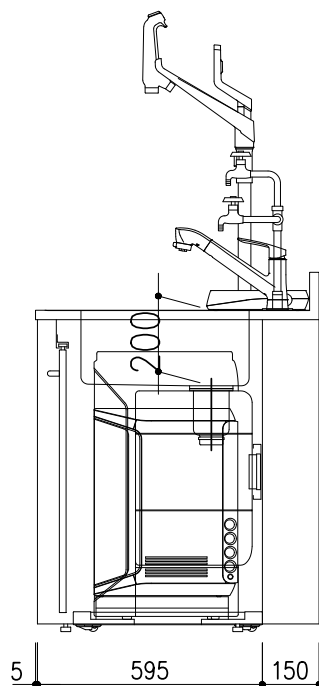
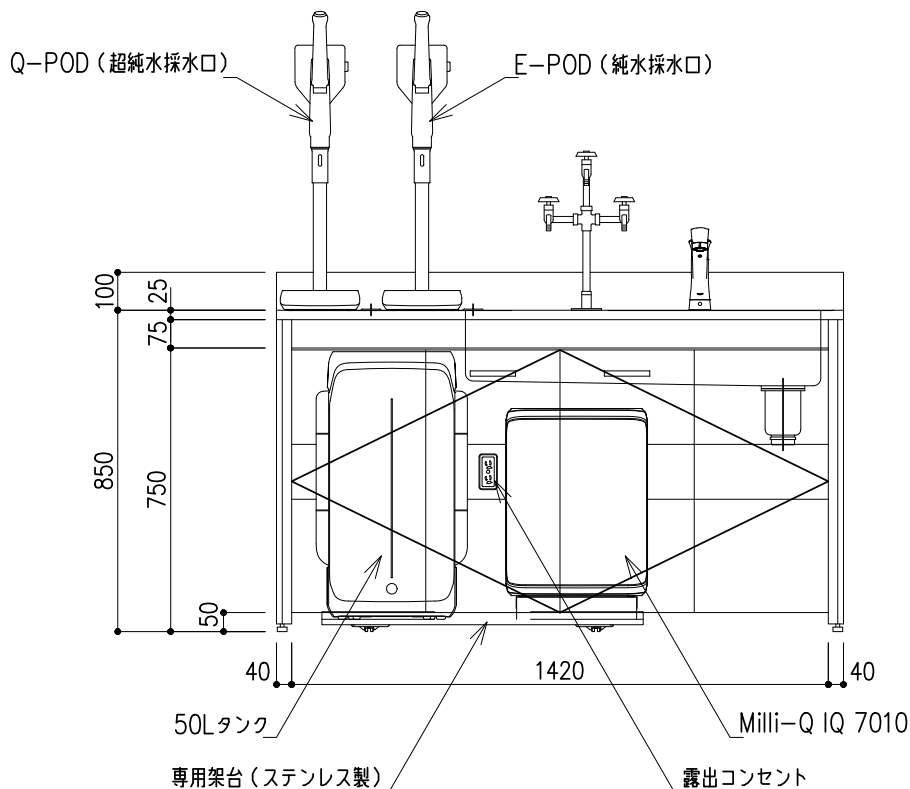
制御風速タイプ（ウォークイン・卓上）、信号送り、ステータスランプ有り



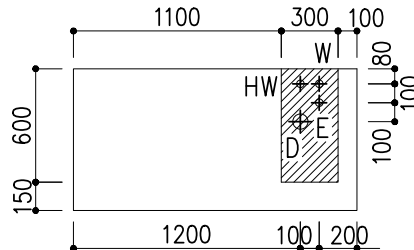


名称	数量	備考
シンクトップ	1	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ200mm 排水口 ステンレス製トラップ 40A 目皿付
本体主材	-	スチール製
塗装	-	耐薬品性焼付塗装仕上げ (色: ホワイトW9/ダークグレーN-30)
扉	-	両面化粧パーティクルボード (色: ホワイトDW9)
付属品	1	化学水栓 (3方口) <D42C1>
	1	シャワー付シングルレバー混合栓<D61A3>
	1	露出コンセント 100V15Aアース付2口 (WK3064)
純水製造装置	1	Milli-Q IQ 7010 本体
	1	Milli-Q IQ 7010 スターターキット
	1	Q-POD 本体 (フットスイッチ付)
	1	E-POD 本体 (フットスイッチ付)
	1	50Lタンク
供給水圧	0.1~0.3MPa安定してあること ※以下の場合は昇圧ポンプ、以上の場合は減圧弁が必要です	

純水製造装置	Milli-Q IQ 7010 仕様	
製造能力	10L/時	
採水量	一滴 ~ 最大 2L/分 (Q-POD)	
	最大 2L/分 (E-POD)	
純度	18.2MΩ・cm (超純水)	
	5MΩ・cm以上 (純水)	
除去方法	172nmUV (超純水) + IPAK Quantaカートリッジ	
	プレフィルター+RO+EDIモジュール+265nmUV (純水)	



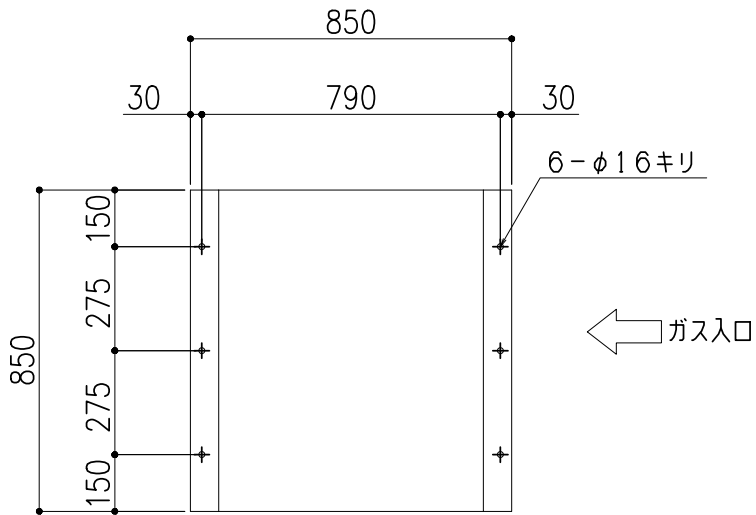
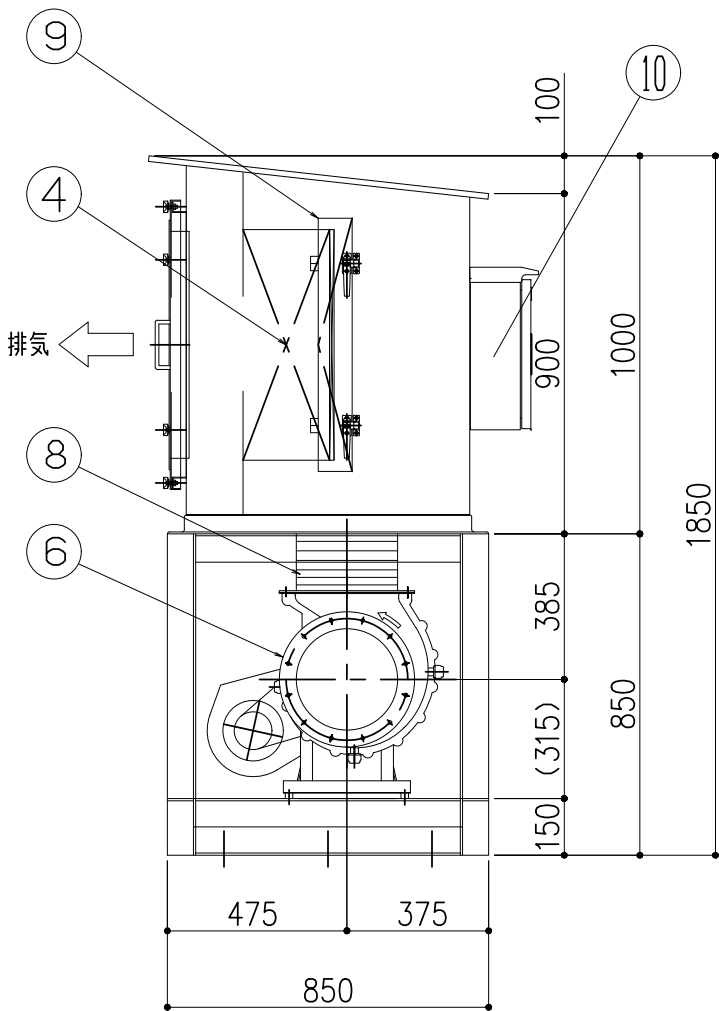
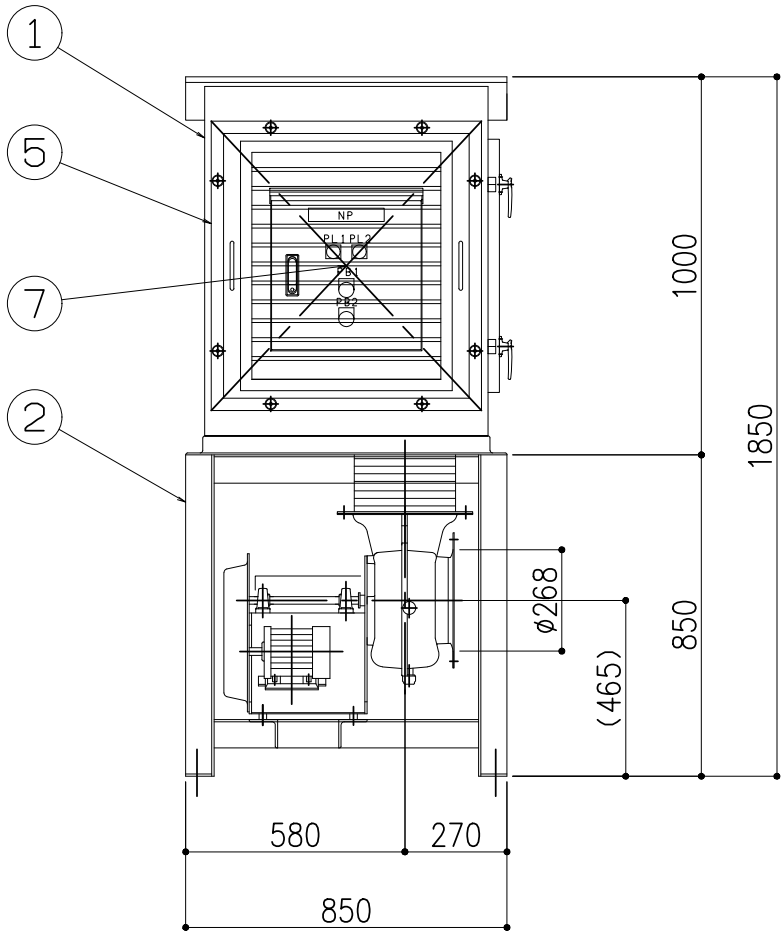
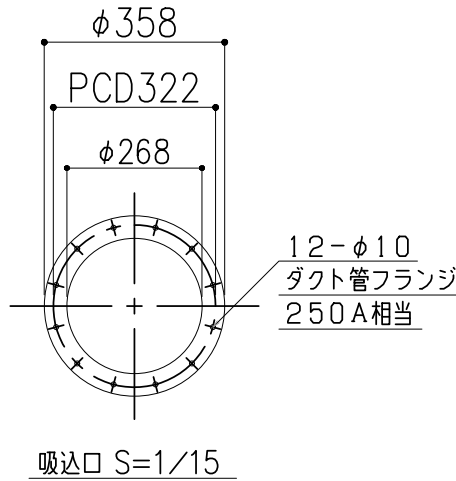
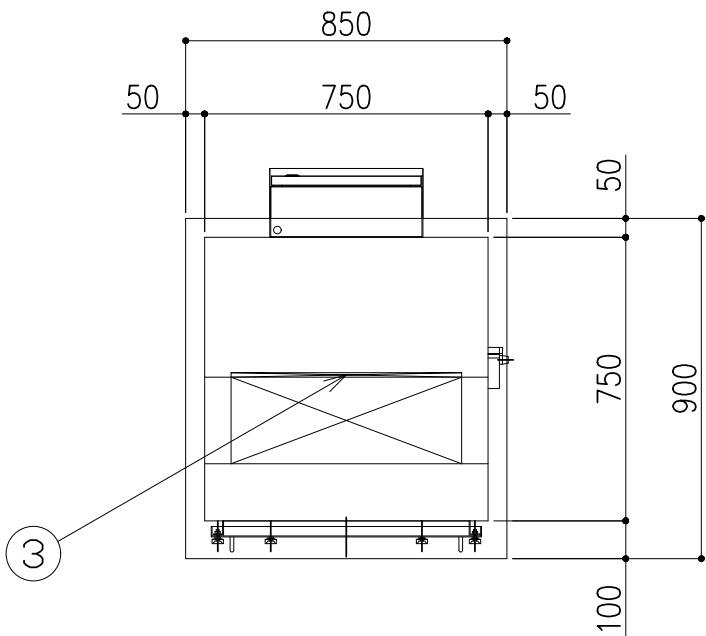
配管立上り S=1/40	
W: 給水	20A
HW: 給湯	20A
D: 排水	40A
E: 電気	1φ100Vアース付



※配管・配線は斜線内に立上げ

階	室名	機器番号	台数
11号館1階	E研究室用倉庫	E ①	1台

※排気ファン異常警報を必要箇所へ発報



アンカー固定位置

階	系統	機器番号	台数
11号館R階	A④・B④ 系統	R①	2台

DALTON CLV-20型 乾式排ガス処理装置仕様表			
処理能力	20 m ³ /min		
装置寸法	W850xD850xH1850mm		
材質	本体：SECC，補強：SS400		
	共通架台：SS400，ボルトナットSUS304		
ファン	CES101-RH2（材質：FRPP）		
	20 m ³ /min x 550Pa		
	200V，3φ，60Hz，0.75kW，全閉外扇屋外形モータ（IE3）		
フィルタ	種類	プレフィルタ	活性炭フィルタ（一般有機用）
	寸法・数量	610×610×t12×1枚	610×610×t229×1枚
	活性炭重量	—	15kg
	圧損	10Pa	30Pa
本体圧損	約 150 Pa		
機外静圧	約 400 Pa		
装置重量	約 280 kg		
本体塗装	内外面メラミン樹脂塗装 5Y9/1.5（近似）		
共通架台	溶融亜鉛メッキ仕上げ		
別途工事	吸込ダクト工事，電気工事，信号線工事		
	基礎コンクリート工事		

番号	名称	材質	数量	備考
1	本体ケーシング	SECC	1	t1.6mm
2	共通架台	SS400	1	L75×75×t6mm
3	プレフィルタ	ポリエステル	1	枠：アルミ DS-300-REA
4	活性炭フィルタ	—	1	枠：SPCC
5	点検口	SECC	1	W650×H700mm（有効）
6	排気ファン	FRPP	1	シロッコファン、防振ゴム付
7	排気口	アルミ	1	防雨タイプ、メラミン樹脂塗装
8	キャンバス	—	1	
9	点検口	SECC	1	
10	制御盤	SPCC	1	

注意）共通架台は溶融亜鉛メッキ仕上げ
（但し、ファン等の単品機器は上記除外とする。）
固定アンカは、後打式ケミカルアンカM12x6本とする。
ガス入口は、相フランジ付（PVC製）とする。

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

日付 R07/10

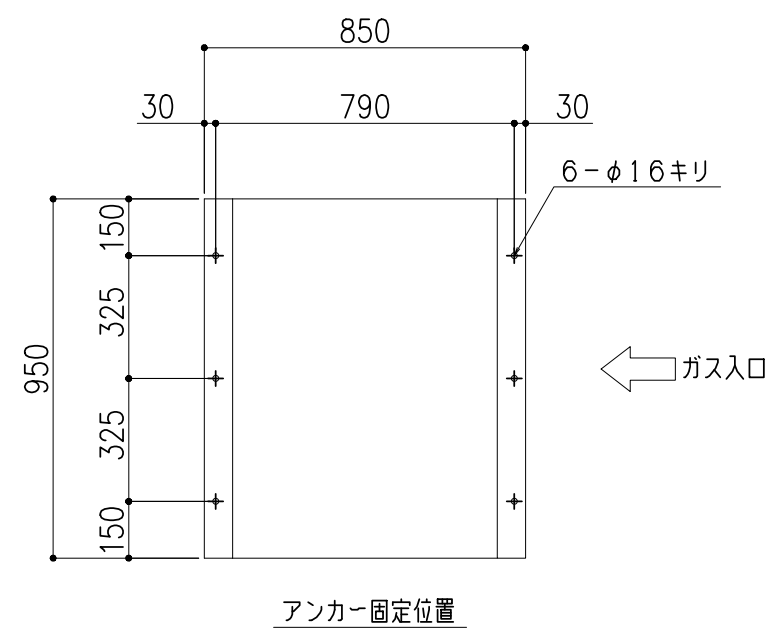
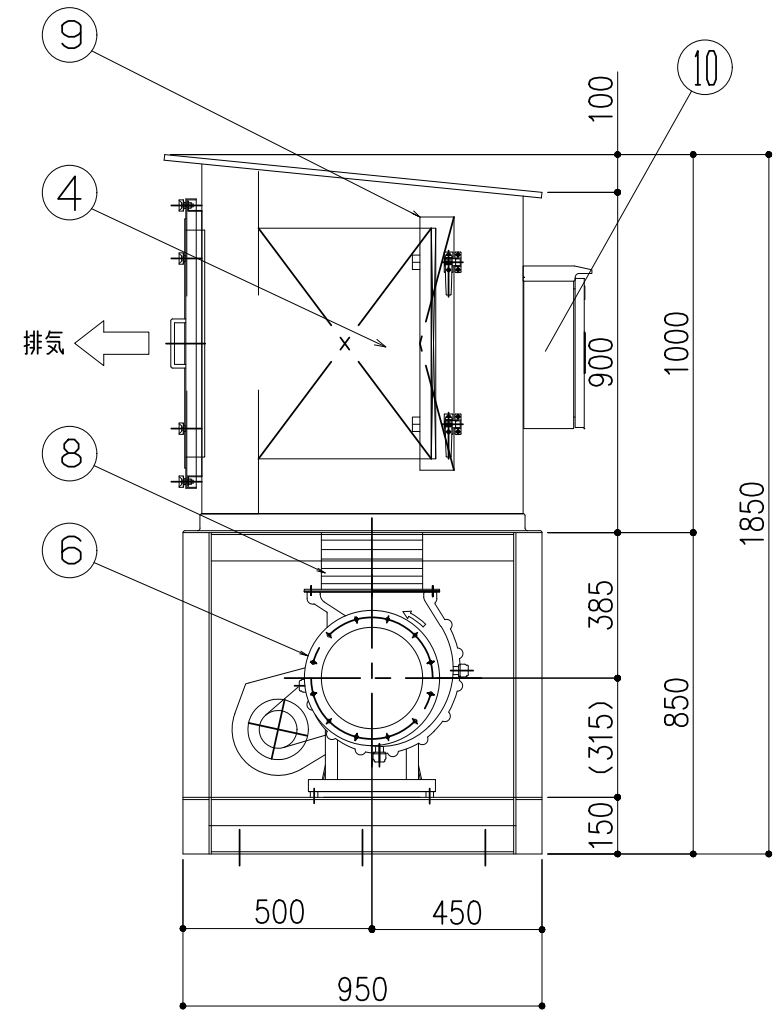
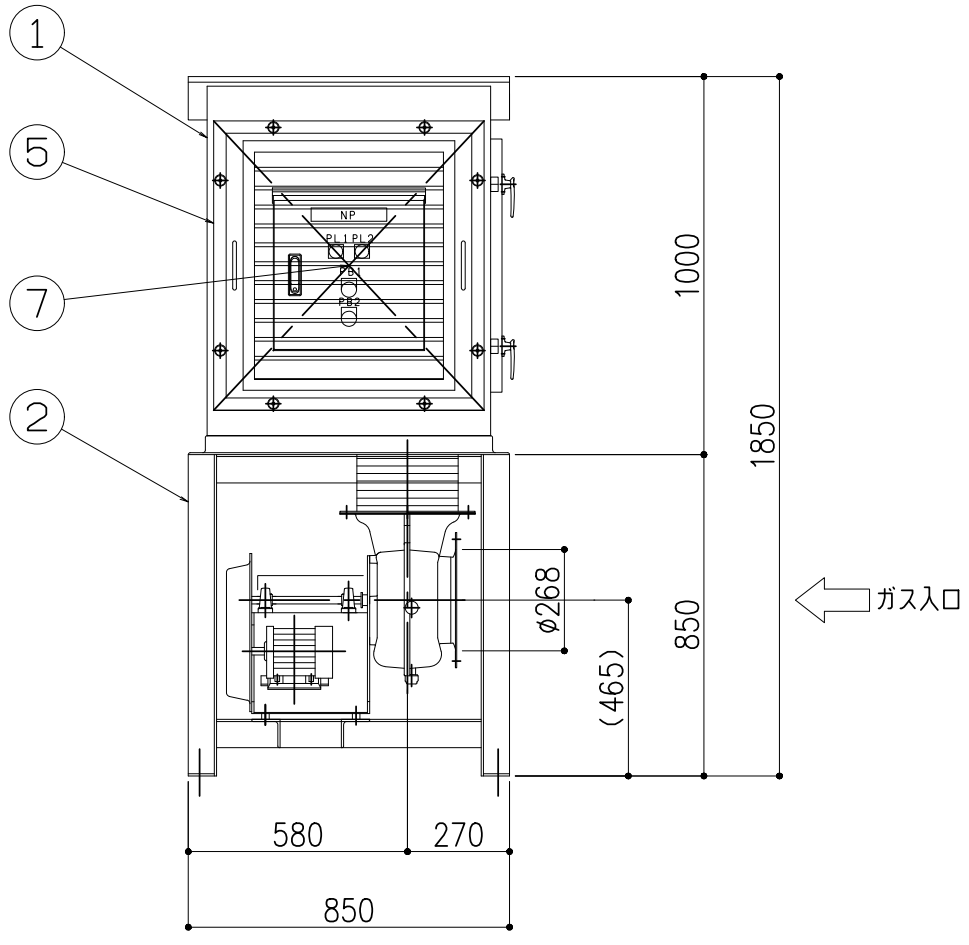
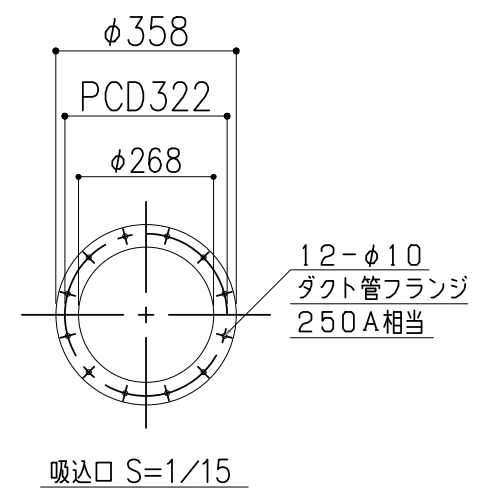
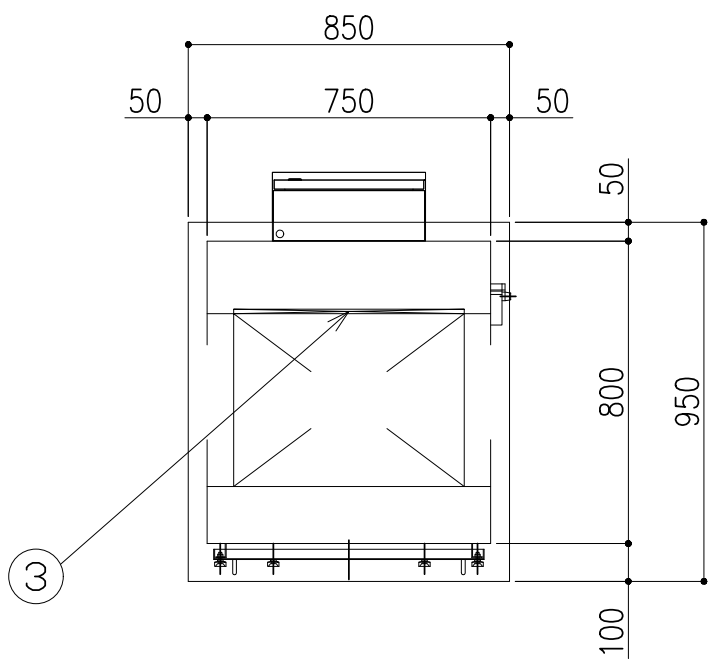
工事名称 山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

図面名称 乾式排ガス処理装置 1

縮尺 A1:-
A3:-

図面番号 A - 101

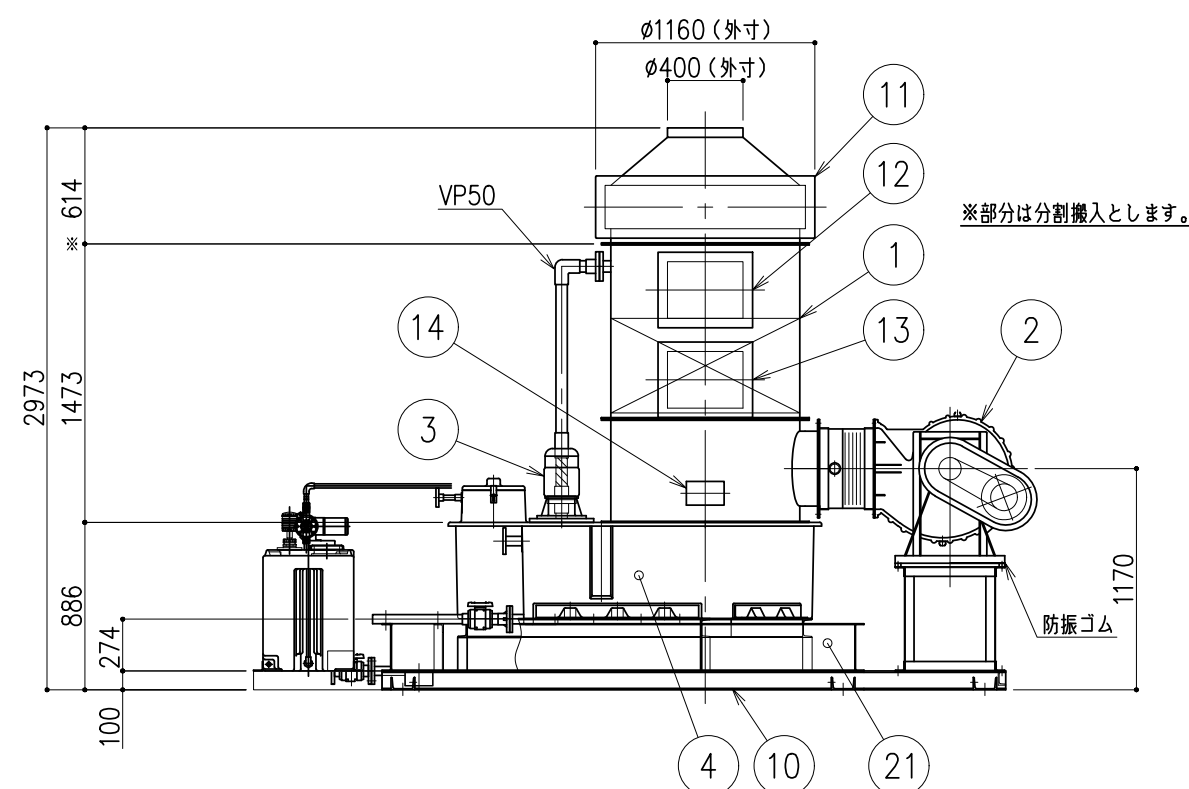
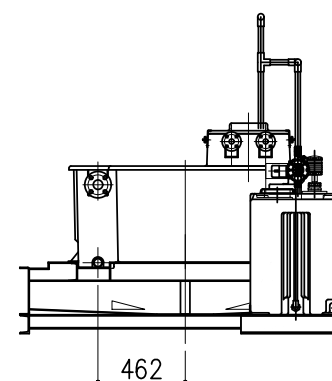
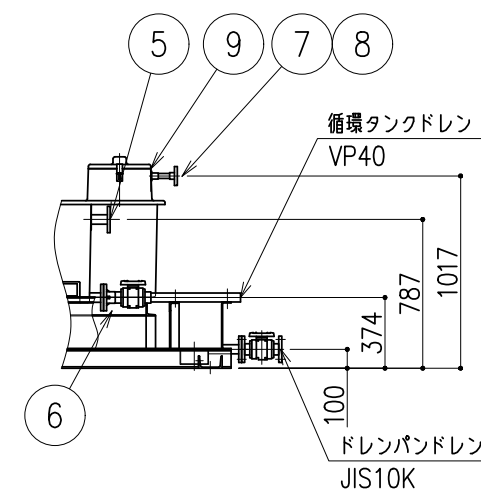
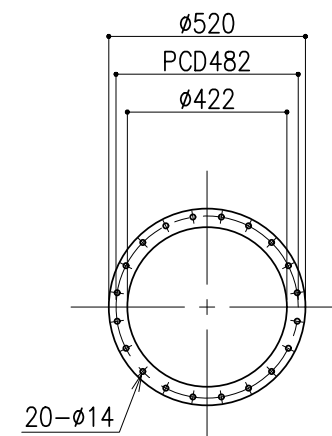
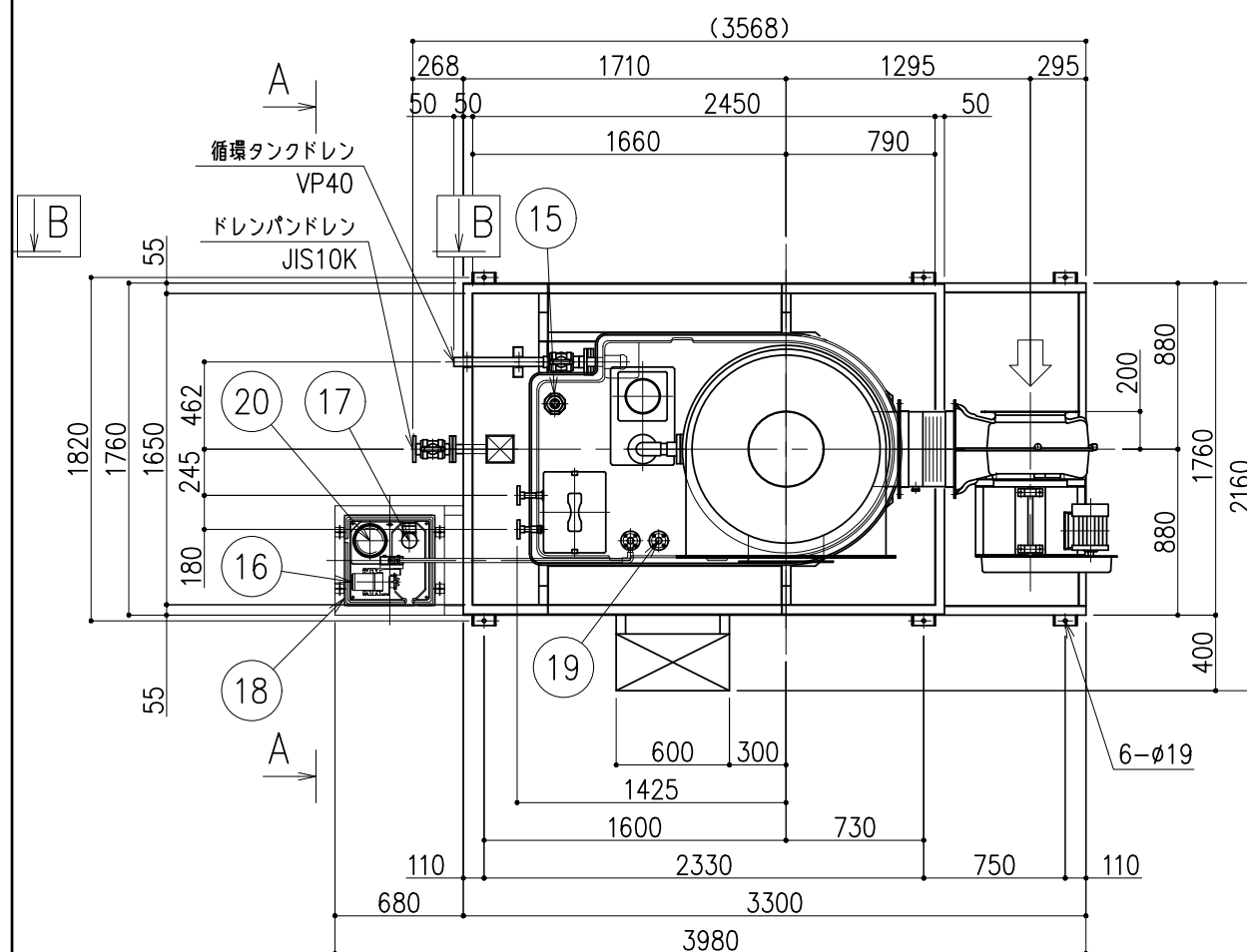
※排気ファン異常警報を必要箇所へ発報



DALTON CLV-40型 乾式排ガス処理装置仕様表			
処理能力	40 m ³ /min		
装置寸法	W850xD950xH1850mm		
材質	本体：SECC，補強：SS400		
	共通架台：SS400，ボルトナットSUS304		
ファン	CES101-RH2（材質：FRPP）		
	40 m ³ /min x 600Pa		
フィルタ	種類	プレフィルタ	活性炭フィルタ（一般有機用）
	寸法・数量	610×610×t12×1枚	610×610×t457×1枚
	活性炭重量	—	30kg
	圧損	10Pa	70Pa
本体圧損	約 200 Pa		
機外静圧	約 400 Pa		
装置重量	約 340 kg		
本体塗装	内外面メラミン樹脂塗装 5Y9/1.5（近似）		
共通架台	溶融亜鉛メッキ仕上げ		
別途工事	吸込ダクト工事，電気工事，信号線工事		
	基礎コンクリート工事		

番号	名称	材質	数量	備考
1	本体ケーシング	SECC	1	t1.6mm
2	共通架台	SS400	1	L75×75×t6mm
3	プレフィルタ	ポリエステル	1	枠：アルミ DS-300-REA
4	活性炭フィルタ	—	1	枠：SPCC
5	点検口	SECC	1	W650×H700mm（有効）
6	排気ファン	FRPP	1	シロッコファン、防振ゴム付
7	排気口	アルミ	1	防雨タイプ、メラミン樹脂塗装
8	キャンバス	—	1	
9	点検口	SECC	1	
10	制御盤	SPCC	1	
注意）共通架台は溶融亜鉛メッキ仕上げ				
（但し、ファン等の単品機器は上記除外とする。）				
固定アンカは、後打式ケミカルアンカM12×6本とする。				
ガス入口は、相フランジ付（PVC製）とする。				

階	系統	機器番号	台数
11号館R階	D③・D⑩系統	R②	2台

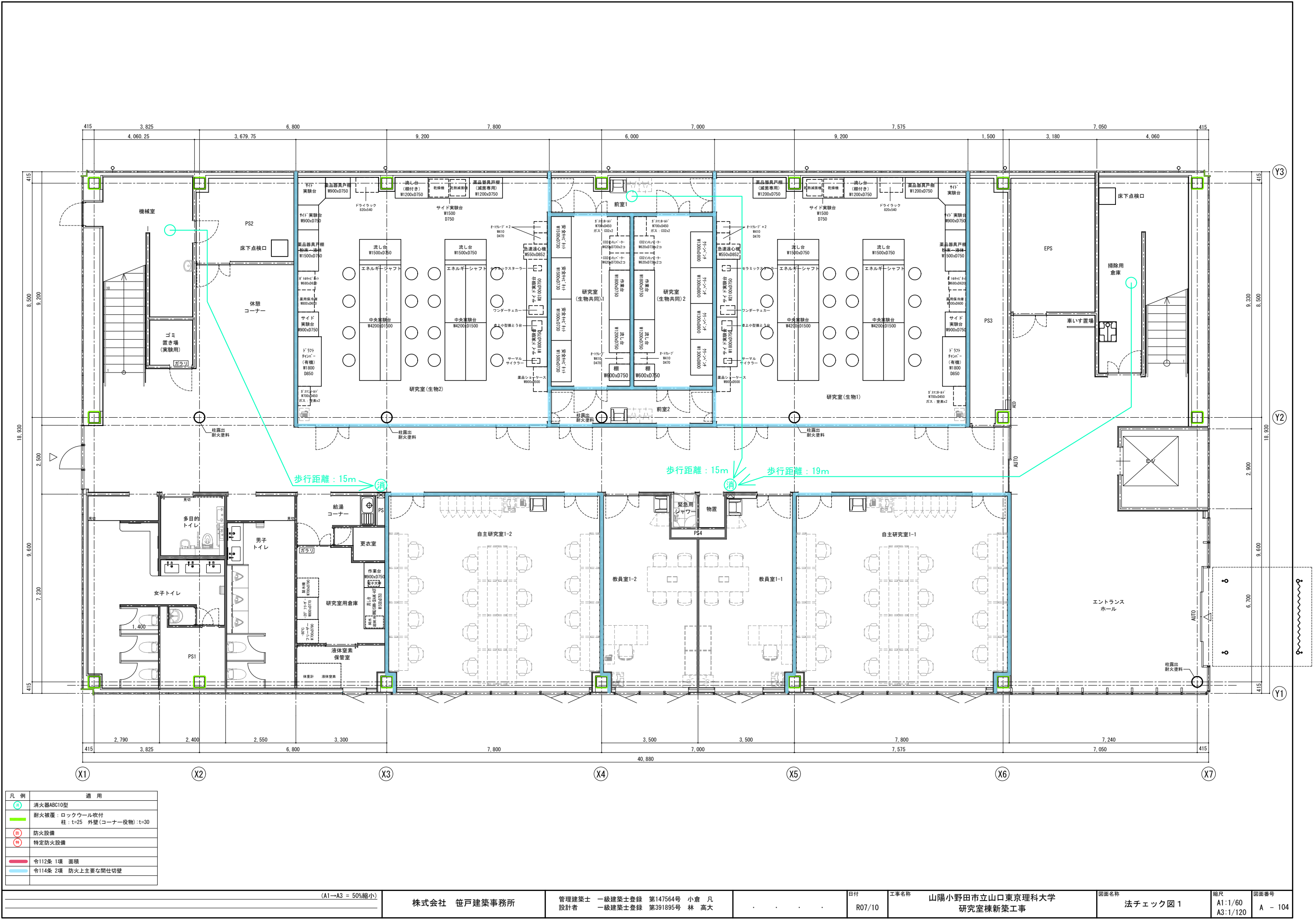


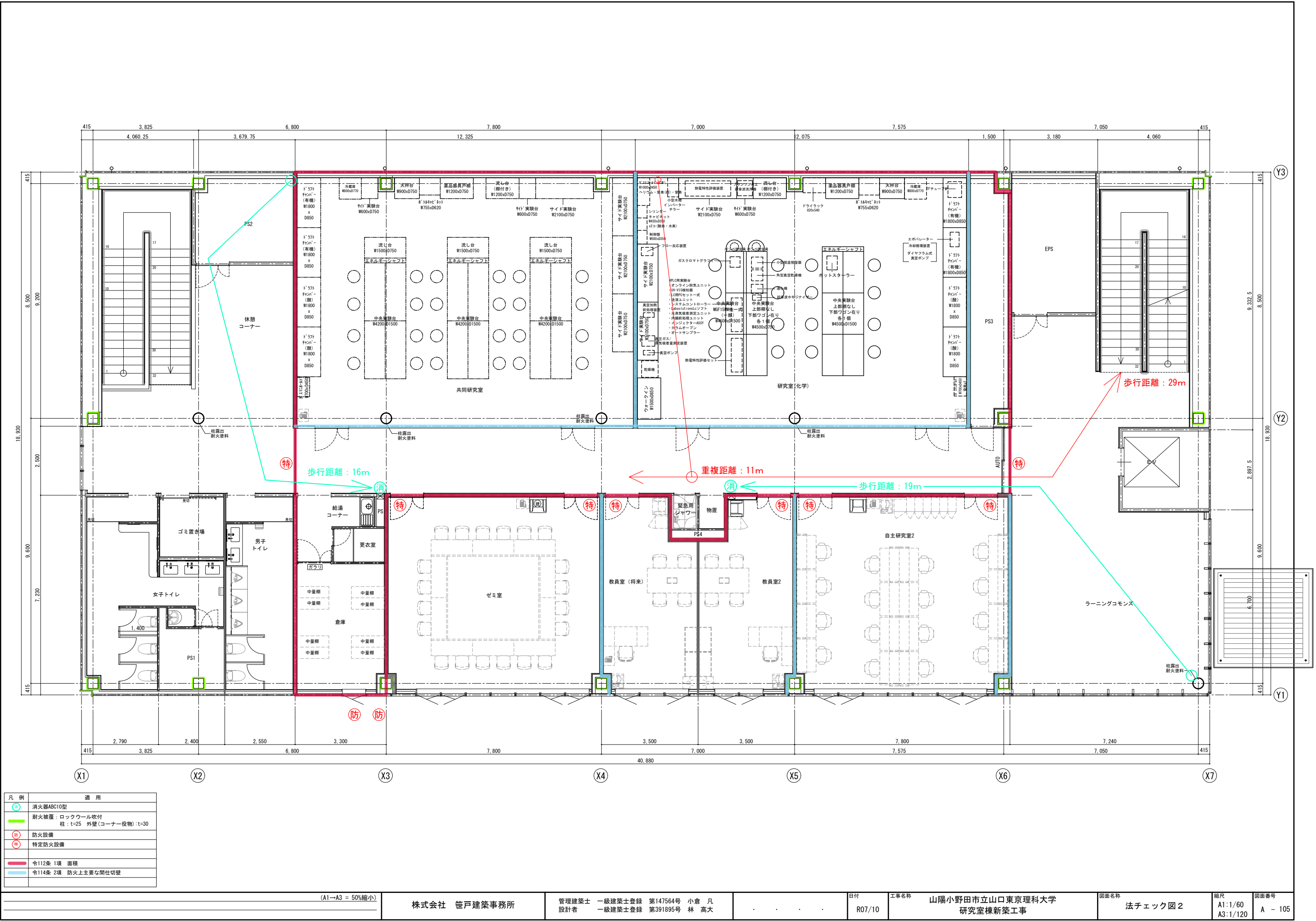
DALTON CMD-HS80T型 排ガス洗浄装置仕様表	
処 理 能 力	3300CMH
装 置 寸 法	W3980xD2160xH2973mm
材 質	本体 : FRP
	充填材 : PVC
	エリミネータ : PVC
	共通架台 : SS400
フ ァ ン	CES201-RL2-B (材質:FRPP)
	3300CMH×900Pa
	200V, 3φ, 60Hz, 3.7kW, 屋外形モータ (IE3)
ボ ン ブ	VHP-0502 (材質:G-PP)
	160L/min×5.5m
	200V, 3φ, 60Hz, 0.40kW, 屋外形モータ (IE3)
本 体 圧 損	450Pa
給 水 □	20A
ボールタップ給水口	15A
排 水 □	40A (PVCバルブ付)
オーバーフロー	40A
新 水 補 給 量	約 600mL/min
タ ン ク 貯 水 量	約 820L
装 置 重 量	約 900kgf
運 転 重 量	約 2000kgf
別 途 工 事	給・排水工事、一次側電気工事 吸込ダクト工事、基礎コンクリート工事

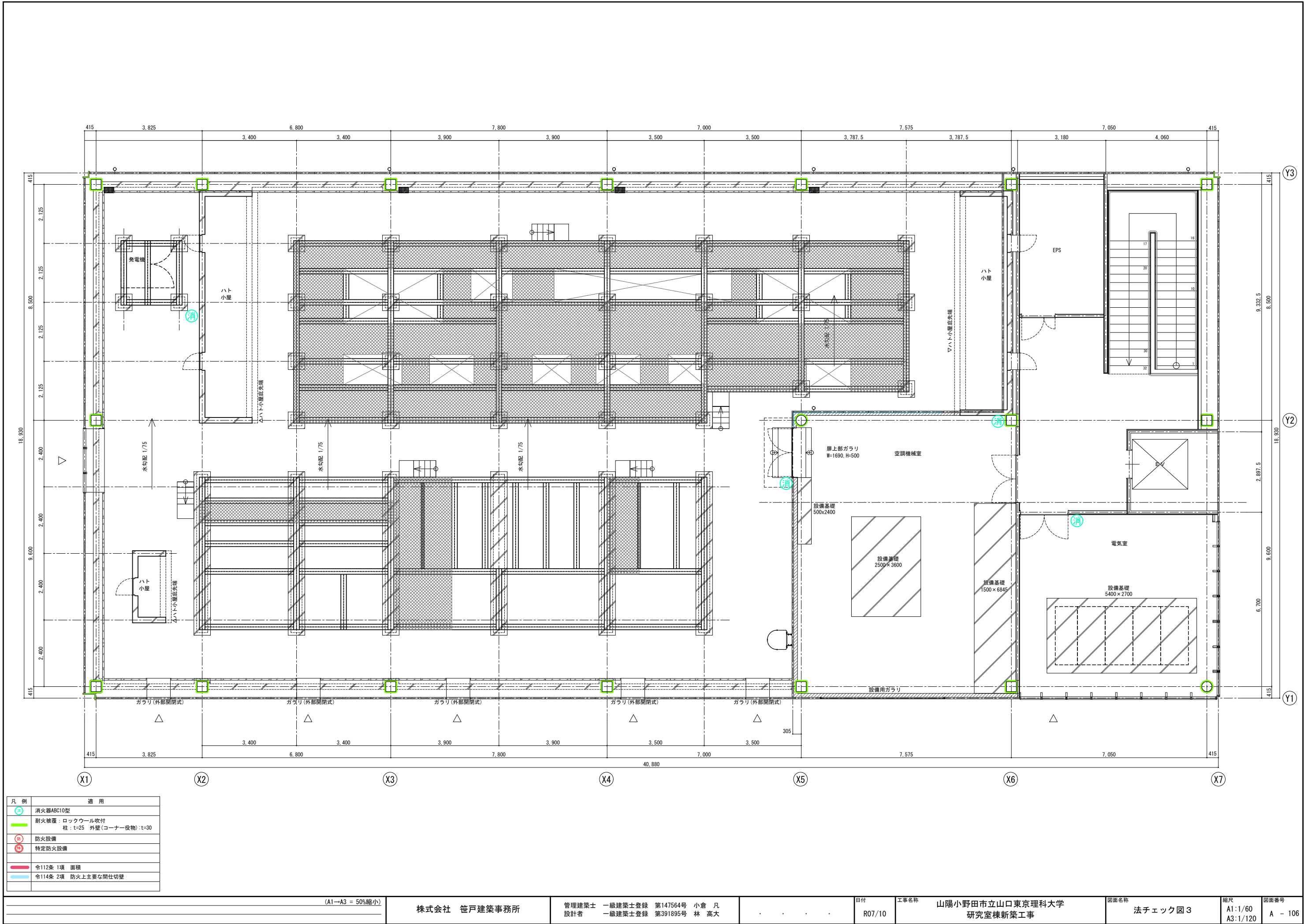
		部		品		表	
No	名 称	材	質	数量	摘 要		
1	洗 浄 塔 本 体	F	R P	1	CMD-HS80T		
2	送 風 機	F	R P P	1	CES201-RL2-B (防振ゴム架台付)		
3	循 環 ポ ン プ	G	- P P	1	VHP-0502		
4	循 環 タ ン ク	F	R P	1	容量 820L		
5	オーバーフロー	F	R P	1	40A JIS10Kフランジ		
6	ド レ ン	FRP/PVC		1	40A PVCバルブ付		
7	ボールタップ給水口	P	V C	1	15A JIS10Kフランジ		
8	給 水 口	P	V C	1	20A JIS10Kフランジ		
9	循環タンク点検口	F	R P	1	300X400mm		
10	共 通 ベ ー ス	SS400		1	溶融亜鉛メッキ仕上げ		
11	ミストキャッチャ取出口	F	R P	1	1060X230mm		
12	充 填 物 投 入 口	F	R P	1	400X300mm		
13	充 填 物 取 出 口	F	R P	1	400X300mm		
14	銘 板	アクリル		1	200X125mm		
15	p H 電 極			1	電極：2505HI-10 (5m) ホルダー取付具：CT-B,NT-B,NTF-HI		
16	薬 注 ポ ン プ	P	V C	1	200V, 3φ, 60Hz, 0.06kW		
17	フロートスイッチ	PVC・PP		1	TL-101-1P-V-1-PP L=700mm 1a下限ON (薬液槽)		
18	薬 液 槽	P	E	1	TSP-100N		
19	フロートスイッチ	PVC・PP		1	TL-101-2P-V-1-PP L=650mm 2a上限・下限ON (循環タンク)		
20	薬液投入口			1			
21	ドレンパン	F	R P	1			
22	制 御 盤	S	E C C	1			

注意) 共通架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとします。 (但し、ポンプ・ファン等の単品機器は上記除外とします。) 固定アンカは、後打式ケミカルアンカ M12×6本とします。 ボールタップ給水口への給水圧力は 80kPa 以下にして下さい。 洗浄塔外面色：マンセル N-7 ファンは防振ゴム付とします。 搬入トラックは4tワイド車が必要です。
--

階	系統	機器番号	台数
11号館R階	D④系統	R③	1台







凡 例	適 用
	消火器ABC10型
	耐火被覆：ロックウール吹付 柱：t=25 外壁(コーナー役物)：t=30
	防火設備
	特定防火設備
	令112条 1項 面積
	令114条 2項 防火上主要な間仕切壁

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

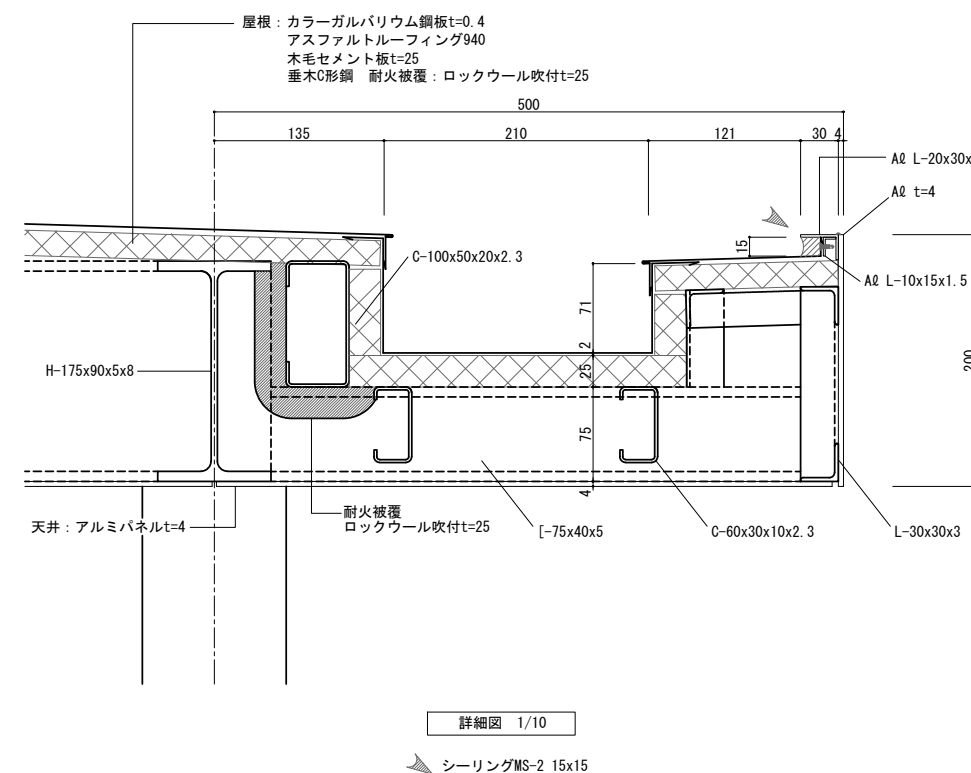
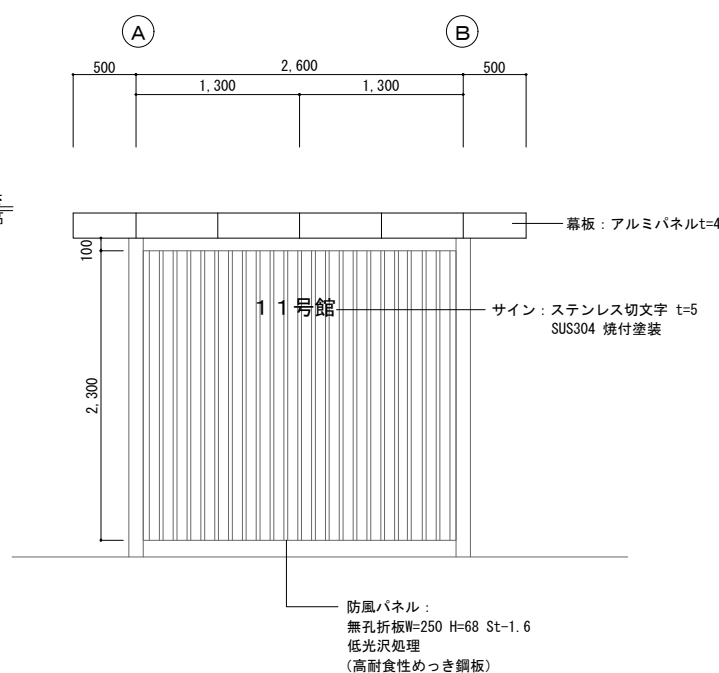
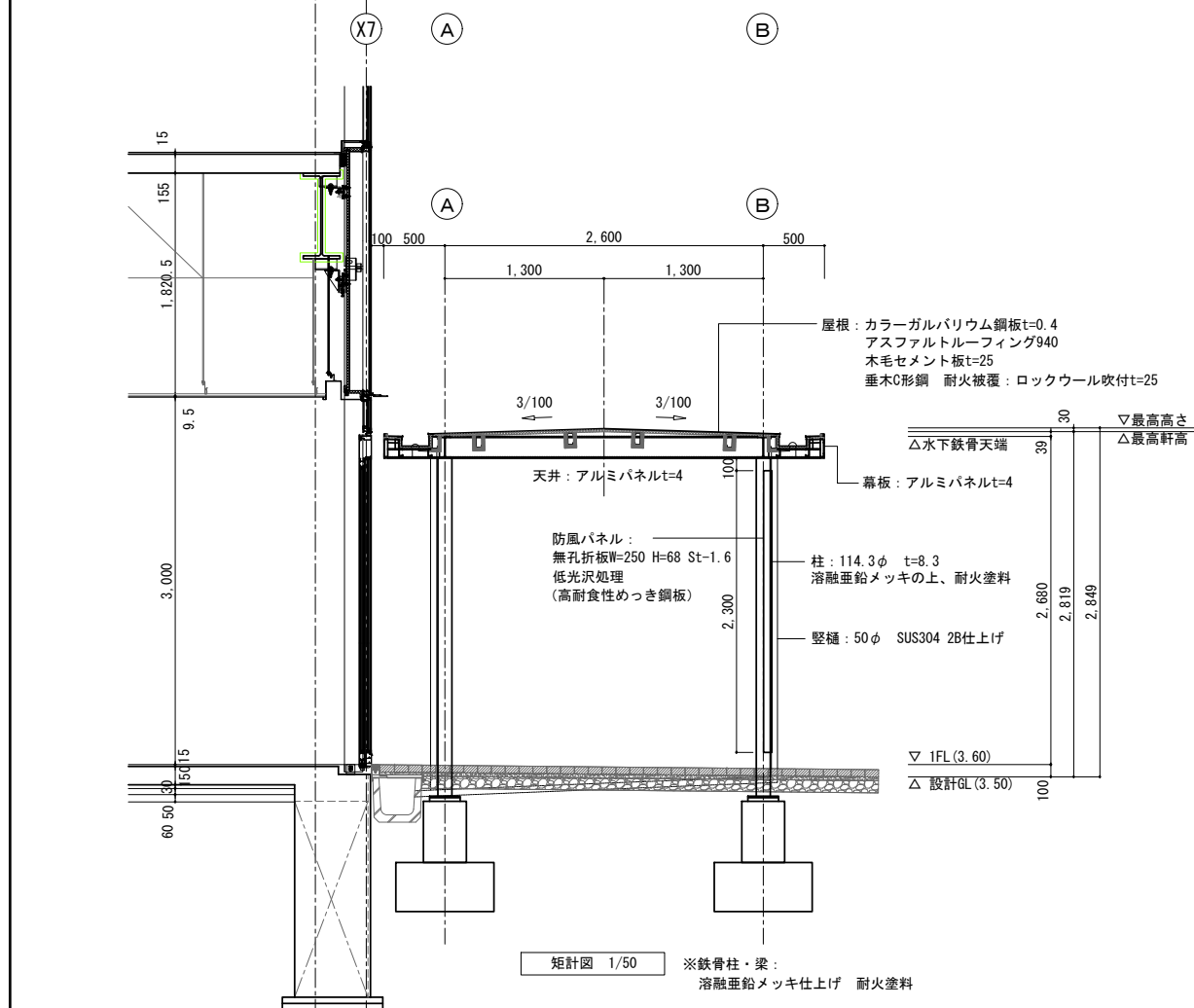
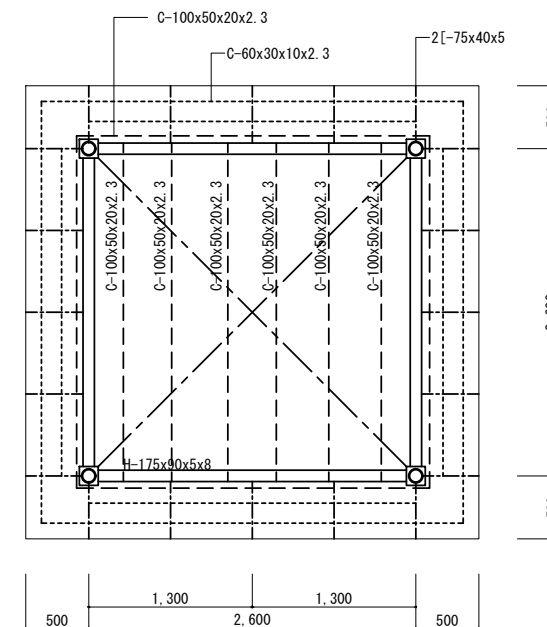
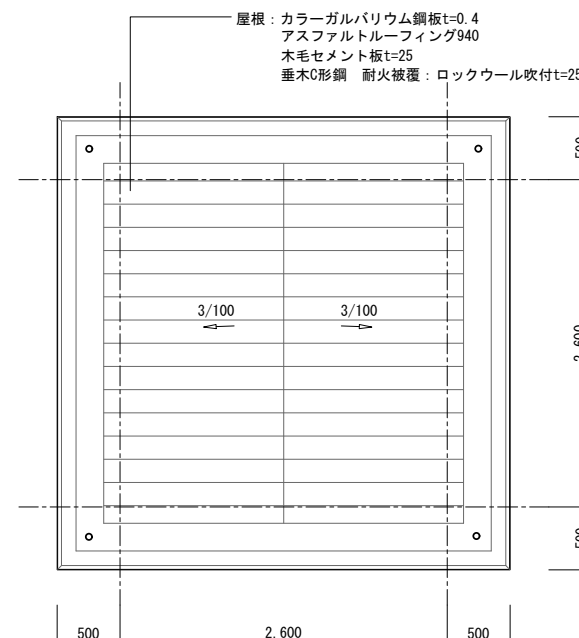
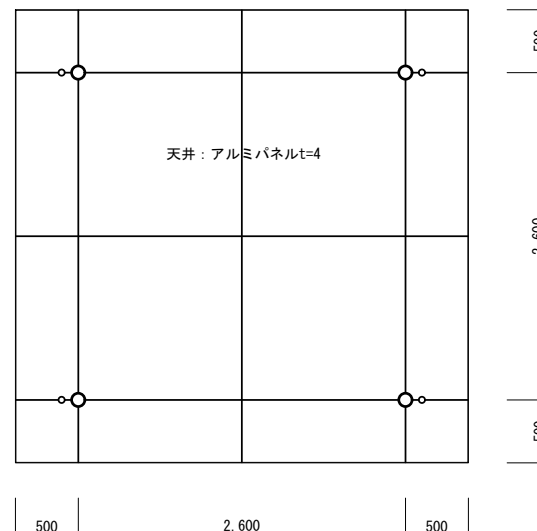
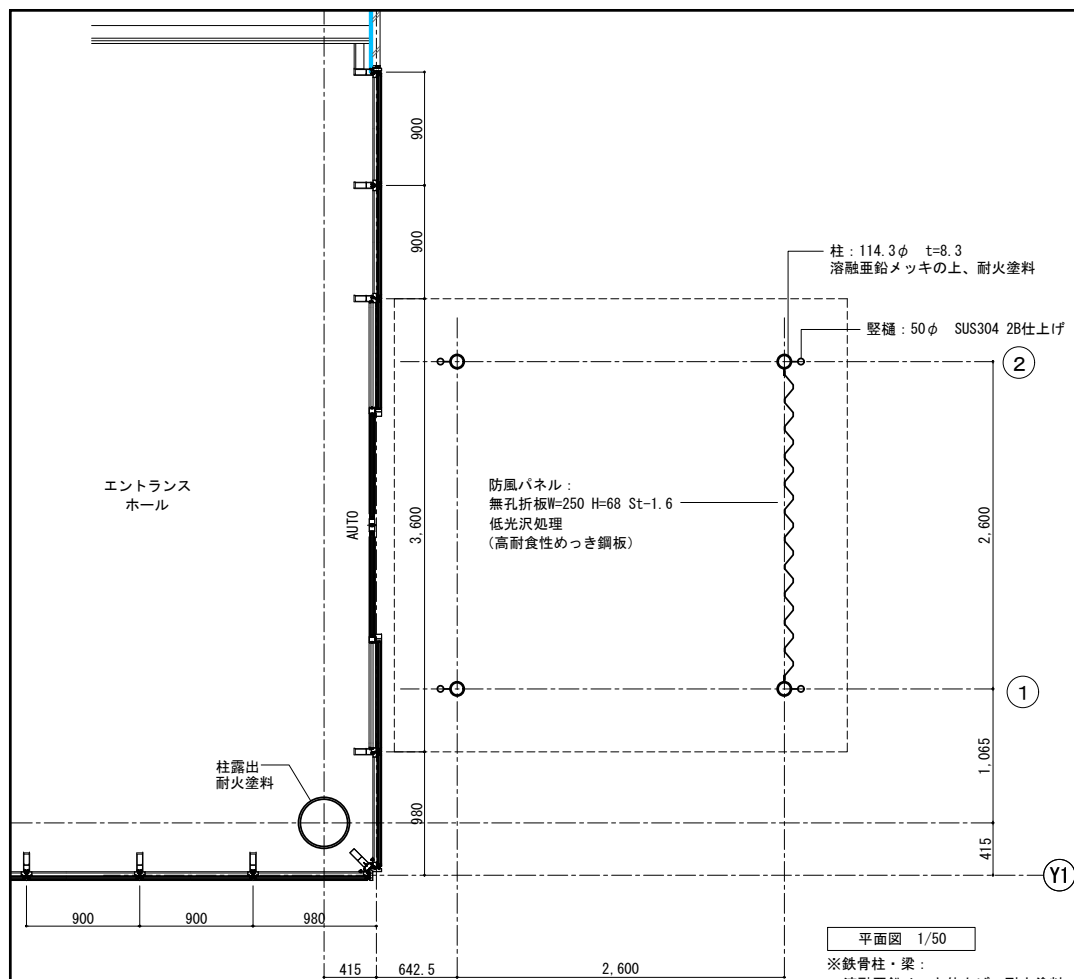
日付
R07/10

工事名称
山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

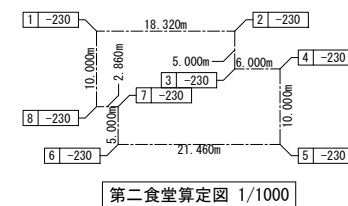
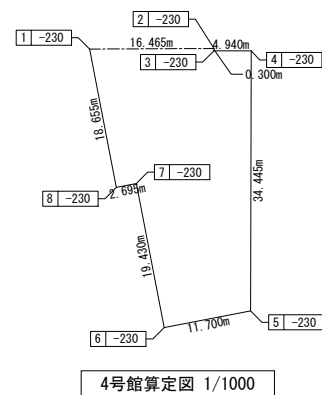
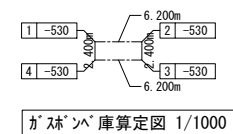
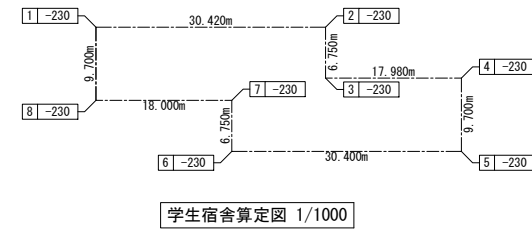
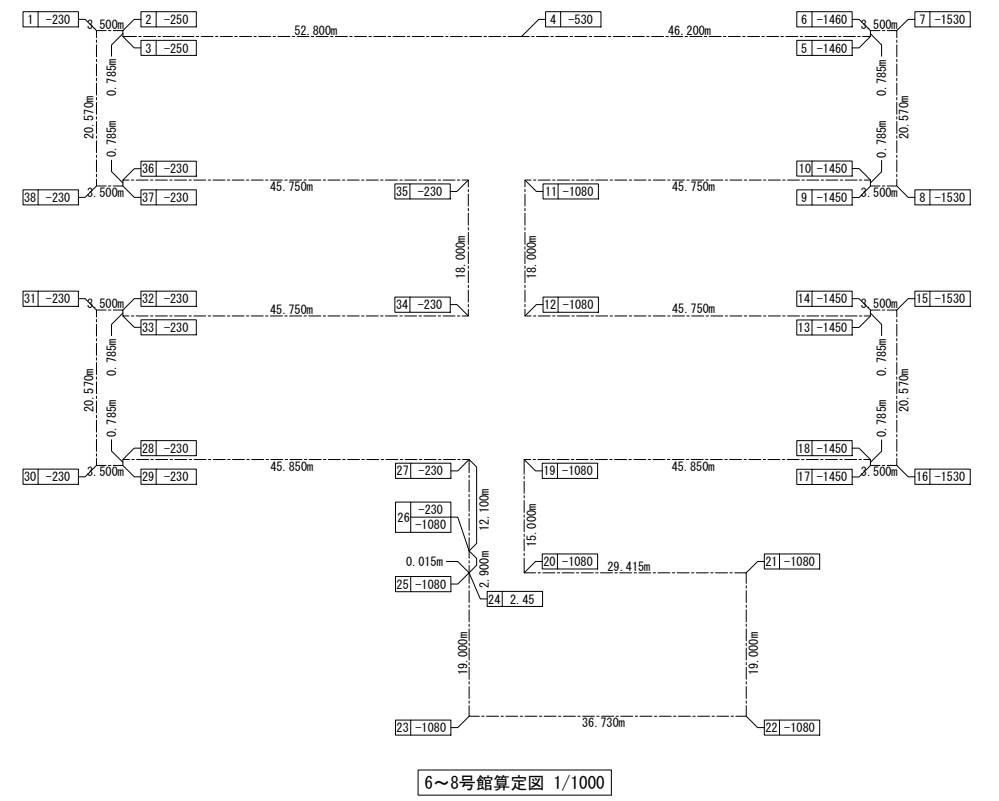
図面名称
法チェック図 3

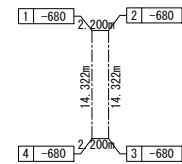
縮尺
A1:1/60
A3:1/120

図面番号
A - 106

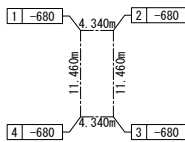


棟名	番号	地盤面と接する 距離 (m)	×	設計GLからの高さ (m)	=	面積 (㎡)	棟名	番号	地盤面と接する 距離 (m)	×	設計GLからの高さ (m)	=	面積 (㎡)	棟名	番号	地盤面と接する 距離 (m)	×	設計GLからの高さ (m)	=	面積 (㎡)								
1 号館	1a-1	74.675	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-17.175250	6 号館	14-1	3.500	×	0.500 × (-0.23 + -0.25)	=	-0.840000	自転車 庫 ①	27-1	4.340	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-2.951200	駐 車 場 ①	50-1	19.410	×	0.500 × (0.00 + 0.00)	=	0.000000	
	1a-2	20.100	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-4.623000		14-2	0.785	×	0.500 × (-0.25 + -0.25)	=	-0.196250		27-2	8.600	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-5.848000		50-2	7.015	×	0.500 × (0.00 + 0.00)	=	0.000000	
	1a-3	41.600	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-9.568000		14-3	52.800	×	0.500 × (-0.25 + -0.53)	=	-20.592000		27-3	4.340	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-2.951200		50-3	5.580	×	0.500 × (0.19 + 0.19)	=	1.060200	
	1a-4	46.250	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-10.637500		14-4	46.200	×	0.500 × (-0.53 + -1.46)	=	-45.969000		27-4	8.600	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-5.848000		50-12	44.82	×	0.500 × (0.19 + 0.19)	=	8.515800	
	1a-5	3.000	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-0.690000		14-5	0.785	×	0.500 × (-1.46 + -1.46)	=	-1.146100		28-1	4.340	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-2.951200		50-13	5.58	×	0.500 × (0.19 + 0.19)	=	1.060200	
	1a-6	11.180	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-2.571400		14-6	3.500	×	0.500 × (-1.46 + -1.53)	=	-5.232500		28-2	5.740	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-3.903200		50-14	7.015	×	0.500 × (0.00 + 0.00)	=	0.000000	
	1a-7	62.600	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-14.398000		14-7	20.570	×	0.500 × (-1.53 + -1.53)	=	-31.472100		28-3	4.340	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-2.951200		50-15	19.41	×	0.500 × (0.00 + 0.00)	=	0.000000	
	1a-8	11.600	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-2.668000		14-8	3.500	×	0.500 × (-1.53 + -1.45)	=	-5.215000		28-4	5.740	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-3.903200		50-16	7.015	×	0.500 × (0.00 + 0.00)	=	0.000000	
	1a-9	69.915	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-16.080450		14-9	0.785	×	0.500 × (-1.45 + -1.45)	=	-1.138250		29-1	4.340	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-2.951200		50-17	37.08	×	0.500 × (0.30 + 0.30)	=	11.124000	
	1a-10	14.687	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-3.378010		14-10	45.750	×	0.500 × (-1.45 + -1.08)	=	-57.873750		29-2	5.740	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-3.903200		50-18	25.915	×	0.500 × (0.00 + 0.00)	=	0.000000	
	1a-11	18.000	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-4.140000		14-11	18.000	×	0.500 × (-1.08 + -1.08)	=	-19.440000		29-3	4.340	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-2.951200		駐 車 場 ②	51-1	32.678	×	1.000 × (0.132 +)	=	4.313496
	1a-12	3.000	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-0.690000		14-12	45.750	×	0.500 × (-1.08 + -1.45)	=	-57.873750		29-4	5.740	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-3.903200			51-2	2.083	×	0.500 × (0.132 + 0.09)	=	0.231213
	1a-13	64.650	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-14.866950		14-13	0.785	×	0.500 × (-1.45 + -1.45)	=	-1.138250		30-1	4.340	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-2.951200			51-3	32.678	×	1.000 × (0.09 +)	=	2.941020
	1a-14	18.575	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-4.272250		14-14	3.500	×	0.500 × (-1.45 + -1.53)	=	-5.215000		30-2	5.740	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-3.903200		駐 車 場 ③	51-4	2.083	×	0.500 × (0.09 + 0.132)	=	0.231213
	1a-15	12.000	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-2.760000		14-15	20.570	×	0.500 × (-1.53 + -1.53)	=	-31.472100		30-3	4.340	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-2.951200			52-1	6.078	×	1.000 × (0.008 +)	=	0.048624
1b-1	2.176	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-0.500480	14-16	3.500	×	0.500 × (-1.53 + -1.45)	=	-5.215000	30-4	5.740	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-3.903200	52-2	2.083	×	0.500 × (0.008 + 0.05)		=	0.060407				
第 一 食 堂	1b-2	11.329	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-2.605670	14-17	0.785	×	0.500 × (-1.45 + -1.45)	=	-1.138250	31-1	4.340	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-2.951200	駐 車 場 ④	52-3	6.078	×	1.000 × (0.05 +)	=	0.303900			
	1b-3	9.300	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-2.139000	14-18	45.850	×	0.500 × (-1.45 + -1.08)	=	-58.000250	31-2	14.320	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-9.737600		52-4	2.083	×	0.500 × (0.05 + 0.008)	=	0.060407			
	1b-4	6.000	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-1.380000	14-19	15.000	×	0.500 × (-1.08 + -1.08)	=	-16.200000	31-3	4.340	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-2.951200		53-1	15.078	×	1.000 × (0.008 +)	=	0.120624			
	1b-5	20.100	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-4.623000	14-20	29.415	×	0.500 × (-1.08 + -1.08)	=	-31.768200	31-4	14.320	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-9.737600		53-2	2.083	×	0.500 × (0.008 + 0.05)	=	0.060407			
	1b-6	18.000	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-4.140000	14-21	19.000	×	0.500 × (-1.08 + -1.08)	=	-20.520000	32-1	2.000	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-1.360000		53-3	15.078	×	1.000 × (0.05 +)	=	0.753900			
	1b-7	14.075	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-3.237250	14-22	36.730	×	0.500 × (-1.08 + -1.08)	=	-39.668400	32-2	11.460	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-7.792800		53-4	2.083	×	0.500 × (0.05 + 0.008)	=	0.060407			
	1b-8	6.104	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-1.403920	14-23	19.000	×	0.500 × (-1.08 + -1.08)	=	-20.520000	32-3	2.000	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-1.360000		駐 車 場 ⑤	54-1	6.078	×	1.000 × (0.008 +)	=	0.048624		
	1b-9	4.482	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-1.030860	14-24	0.015	×	0.500 × (-1.08 + -1.08)	=	-0.016200	32-4	11.460	×	0.500 × (-0.68 + -0.68)	=	-7.792800			54-2	2.083	×	0.500 × (0.008 + 0.05)	=	0.060407		
	2-1	29.000	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-6.670000	14-25	2.900	×	0.500 × (-1.08 + -1.08)	=	-3.132000	33-1	8.535	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-1.963050			54-3	6.078	×	1.000 × (0.05 +)	=	0.303900		
体 育 館	2-2	48.500	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-11.155000	14-26	12.100	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-2.783000	33-2	5.810	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-1.336300	研 究 室 標	54-4	2.083	×	0.500 × (0.05 + 0.008)	=	0.060407			
	2-3	29.000	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-6.670000	14-27	45.850	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-10.545500	33-3	8.535	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-1.963050		55-1	40.880	×	1.000 × (0.00 +)	=	0.000000			
	2-4	48.500	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-11.155000	14-28	0.785	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-0.180550	33-4	5.835	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-1.963050		55-2	1.480	×	0.500 × (0.00 + 0.10)	=	0.074000			
	4a-1	6.960	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-1.600800	14-29	3.500	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-0.805000	34-1	5.255	×	0.500 × (-0.23 + -0.23)	=	-1.208650		55-3	3.242	×	0.500 × (0.10 + 0.068)	=	0.272328			
客 員 宿 舎	4a-2	2.500	×	0																								

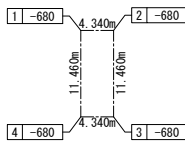




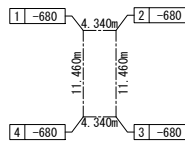
17' 自転車置場算定図 1/1000



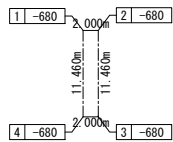
18 自転車置場算定図 1/1000



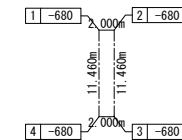
19 自転車置場算定図 1/1000



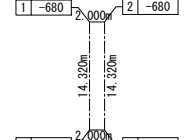
20 自転車置場算定図 1/1000



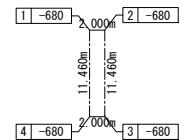
21 自転車置場算定図 1/1000



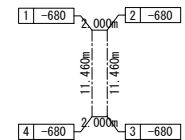
22 自転車置場算定図 1/1000



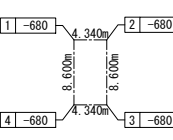
23 原付置場算定図 1/1000



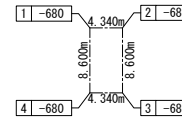
24 原付置場算定図 1/1000



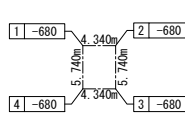
25 自転車置場算定図 1/1000



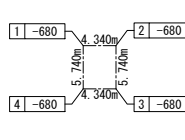
26 自転車置場算定図 1/1000



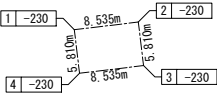
27 自転車置場算定図 1/1000



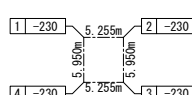
28 自転車置場算定図 1/1000



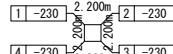
29 自転車置場算定図 1/1000



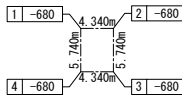
30 車庫A算定図 1/1000



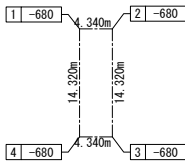
31 車庫B算定図 1/1000



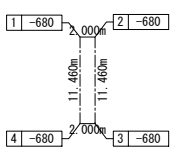
32 物置D算定図 1/1000



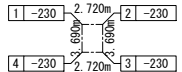
33 自転車置場算定図 1/1000



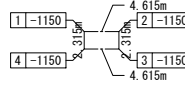
34 自転車置場算定図 1/1000



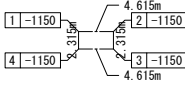
35 自転車置場算定図 1/1000



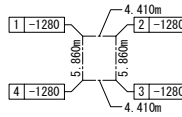
36 機械室算定図 1/1000



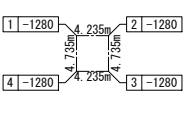
37 保管庫棟算定図 1/1000



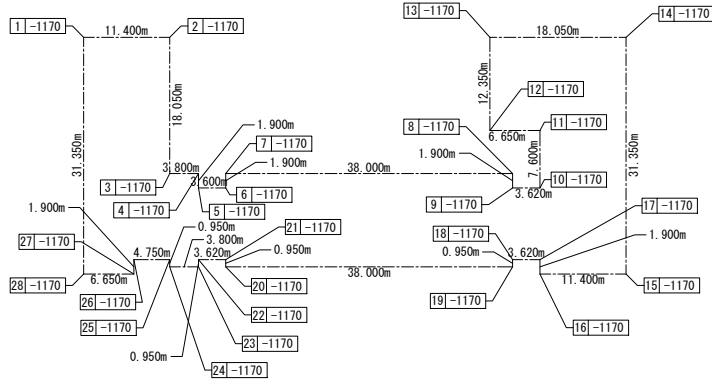
38 危険物倉庫棟算定図 1/1000



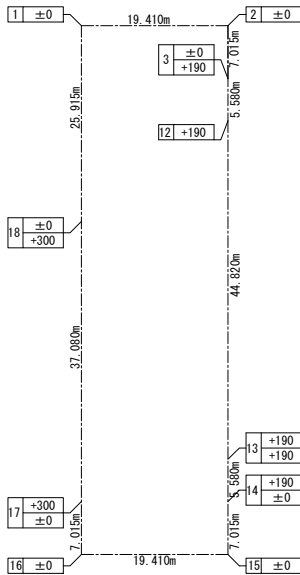
39 温室棟算定図 1/1000



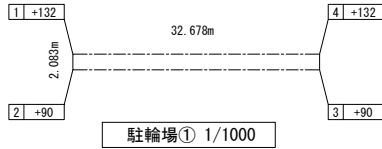
40 温室管理棟算定図 1/1000



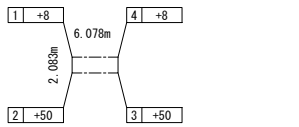
41 多目的文化施設算定図 1/1000



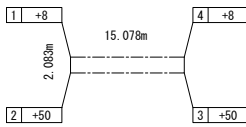
42 10号館算定図 1/1000



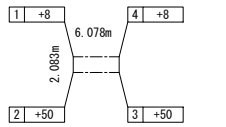
43 駐輪場① 1/1000



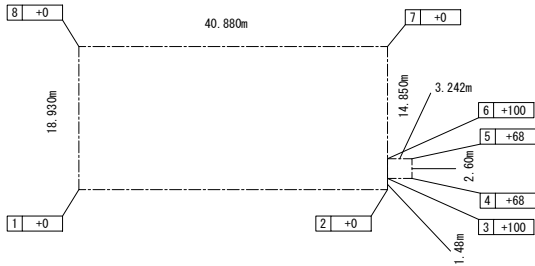
44 駐輪場② 1/1000



45 駐輪場③ 1/1000



46 駐輪場④ 1/1000



47 研究室棟 1/1000

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

日付
R07/10

工事名称
山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

図面名称
平均地盤面算定 3

縮尺
A1:500
A3:1000

図面番号
A - 110

影倍率表 [緯度 = 33.95°][冬至]

時刻	太陽高度	太陽方位角	影長倍率	X倍率	Y倍率
8:00	9°06'	-53°35'	6.239	-5.020	3.704
8:30	13°57'	-48°35'	4.026	-3.020	2.664
9:00	18°25'	-43°08'	3.004	-2.054	2.192
9:30	22°26'	-37°10'	2.423	-1.464	1.931
10:00	25°54'	-30°40'	2.059	-1.050	1.771
10:30	28°44'	-23°36'	1.823	-0.730	1.671
11:00	30°51'	-16°03'	1.674	-0.463	1.609
11:30	32°09'	-8°08'	1.591	-0.225	1.575
12:00	32°36'	0°00'	1.564	0.000	1.564
12:30	32°09'	8°08'	1.591	0.225	1.575
13:00	30°51'	16°03'	1.674	0.463	1.609
13:30	28°44'	23°36'	1.823	0.730	1.671
14:00	25°54'	30°40'	2.059	1.050	1.771
14:30	22°26'	37°10'	2.423	1.464	1.931
15:00	18°25'	43°08'	3.004	2.054	2.192
15:30	13°57'	48°35'	4.026	3.020	2.664
16:00	9°06'	53°35'	6.239	5.020	3.704

■凡例

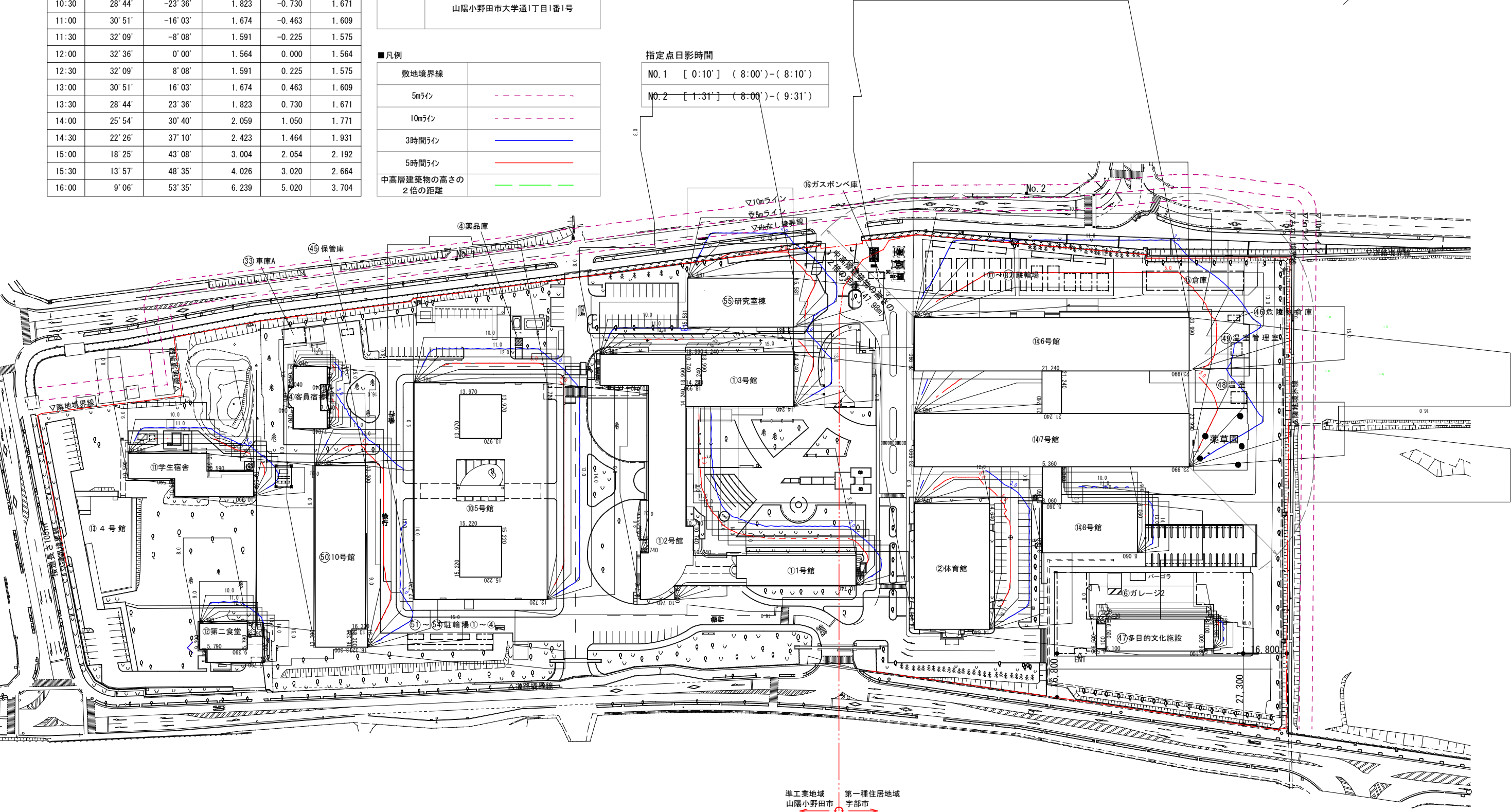
用途地域	第一種住居地域
日影規制	3時間/5時間
緯度	33.95°
測定面	地盤面+4.0m
場所	宇部市大字東須恵字波多野開作3763番1他 山陽小野田市大学通1丁目1番1号

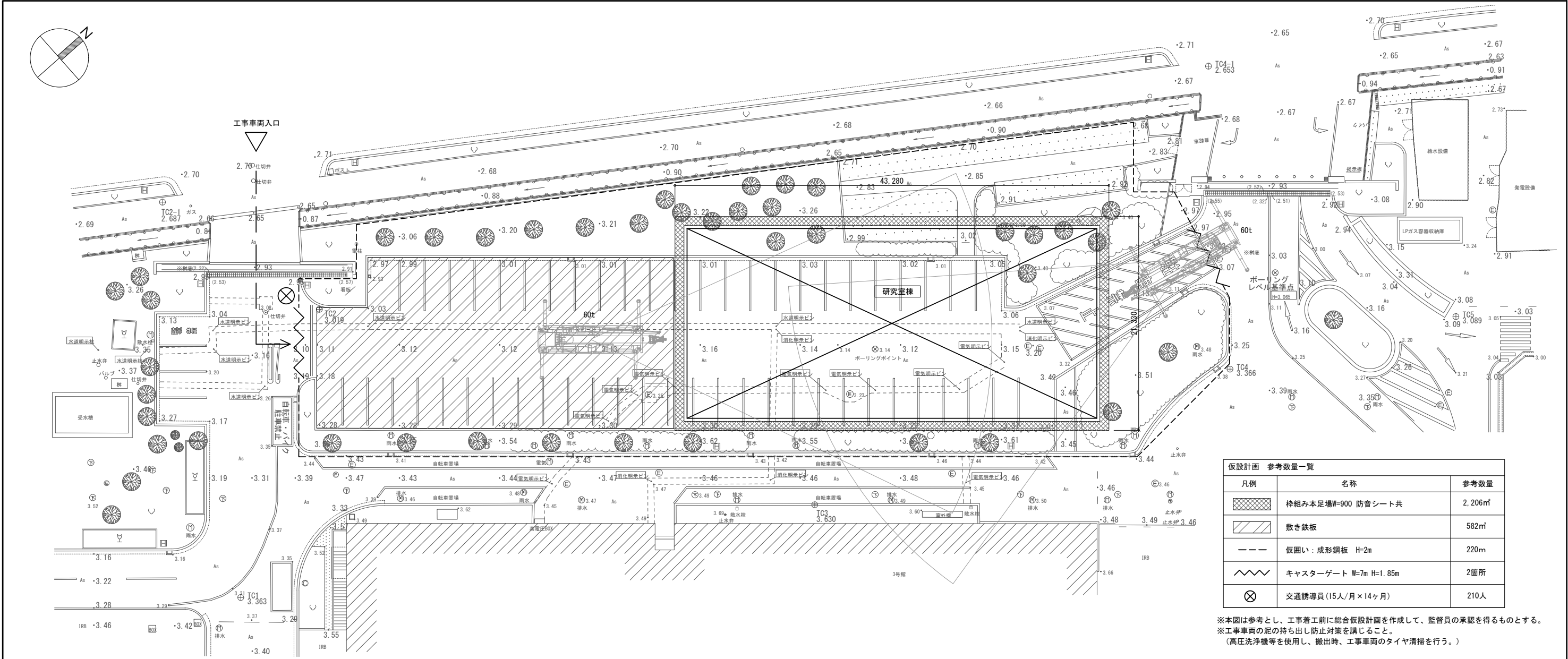
■凡例

敷地境界線	
5mライン	
10mライン	
3時間ライン	
5時間ライン	
中高層建築物の高さの2倍の距離	

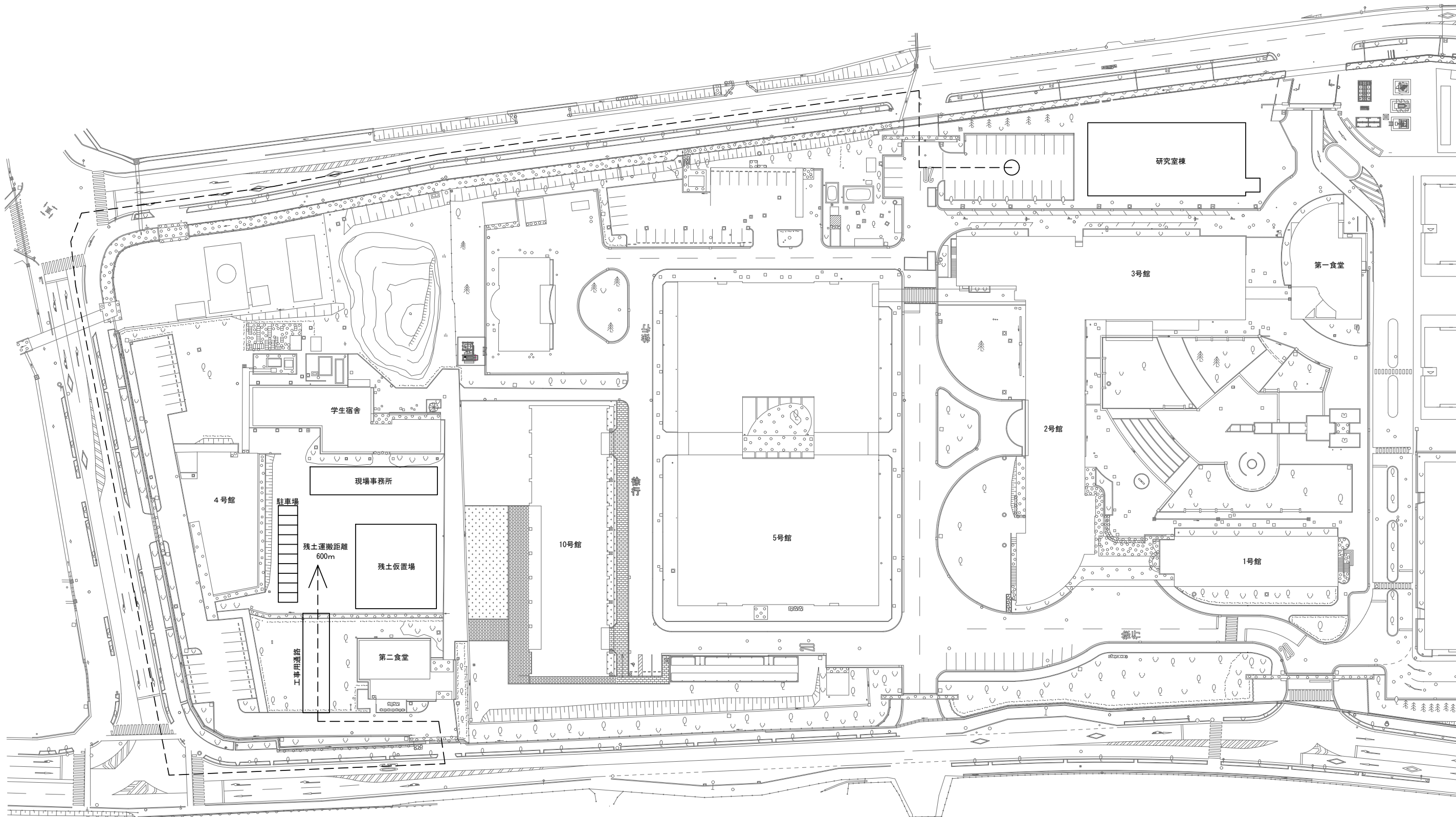
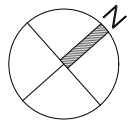
- 日影図(数値は時間を示す)
- 平均地盤面からの高さが4mを超える建物を示す
- 平均地盤面からの高さが4m以下の建物を示す

- 指定点日影時間
- No.1 [0:10'] (8:00')-(8:10')
- No.2 [1:31'] (8:00')-(9:31')





研究室棟新築工事 概略工事工程表										工事期間 令和8年1月5日～令和9年2月28日（14か月）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
項目	令和8年（2025年）														令和9年（2026年）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	1月				2月				3月				4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
仮設工事	●				●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							



※本図は参考とし、工事着工前に総合仮設計画を作成して、監督員の承認を得るものとする。
※工事車両の泥の持ち出し防止対策を講じること。（高圧洗浄機等を使用し、搬出時、工事車両のタイヤ清掃を行う。）
※現場事務所・工事用通路・残土置場など、監督員と事前協議を実施して、承認を得ること。

(A1→A3 = 50%縮小)

株式会社 笹戸建築事務所

管理建築士 一級建築士登録 第147564号 小倉 凡
設計者 一級建築士登録 第391895号 林 高大

日付
R07/10

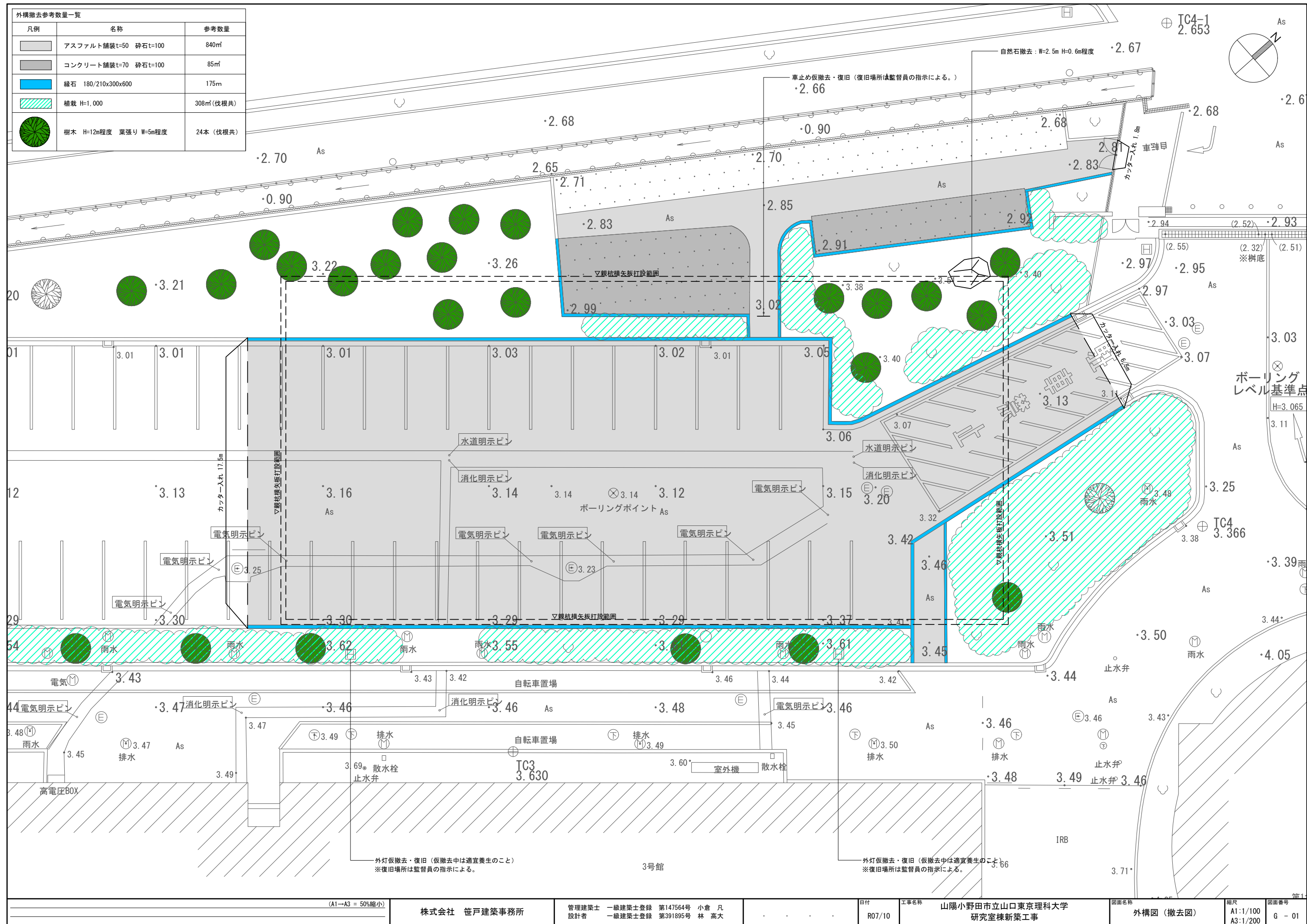
工事名称
山陽小野田市立山口東京理科大学
研究室棟新築工事

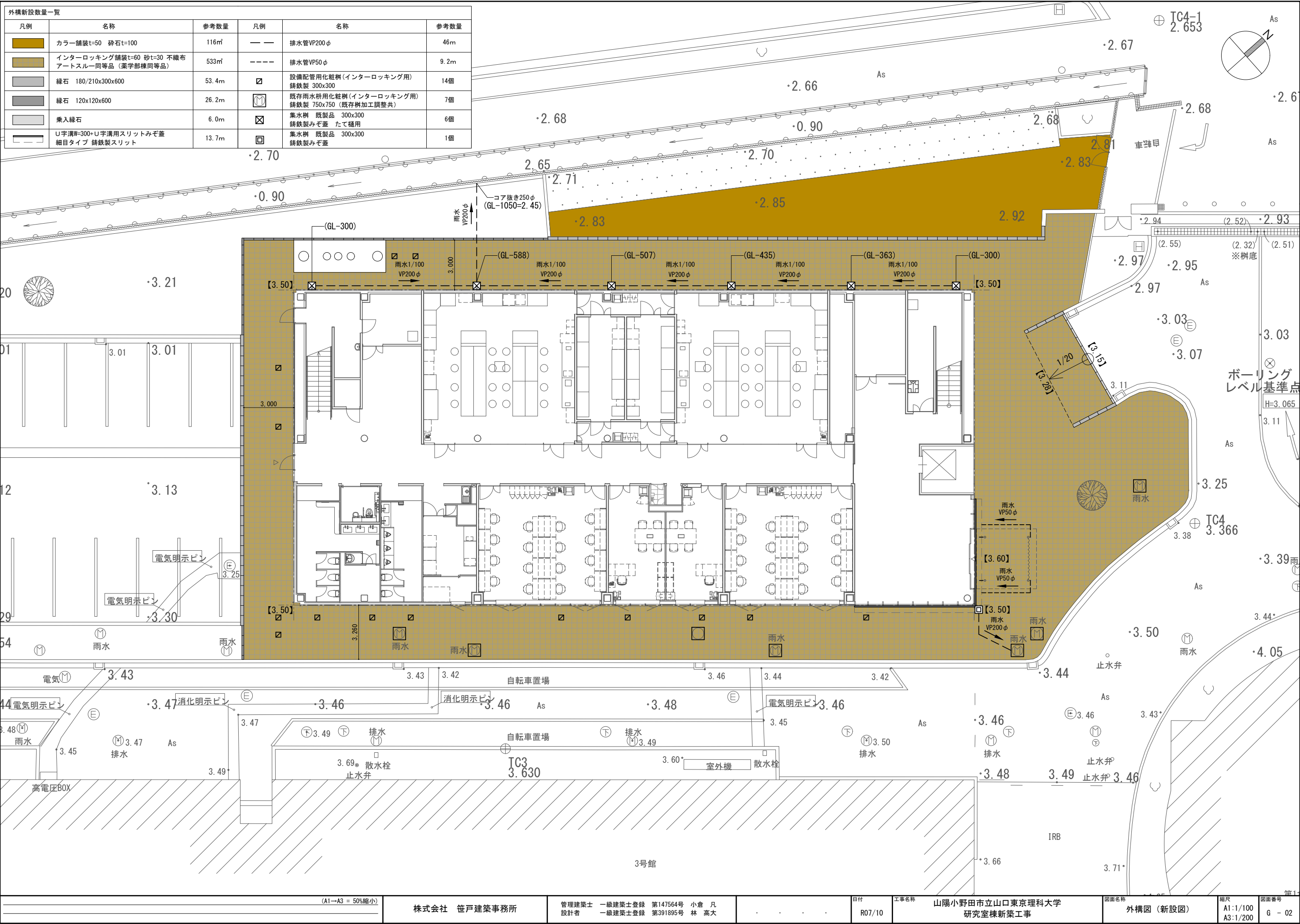
図面名称
仮設計画図2（参考図）

縮尺
A1:1/500
A3:1/1000

図面番号
A - 113

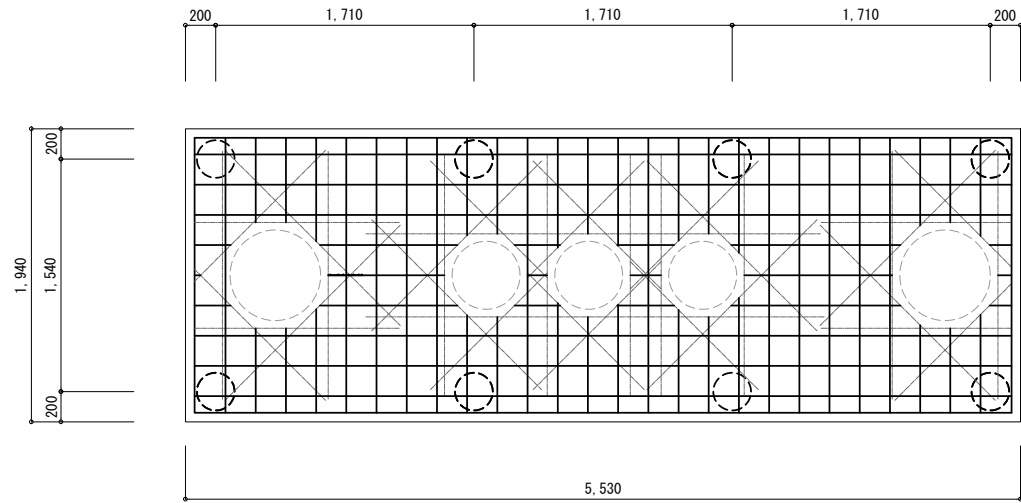
凡例	名称	参考数量
	アスファルト舗装 t=50 砕石 t=100	840㎡
	コンクリート舗装 t=70 砕石 t=100	85㎡
	縁石 180/210x300x600	175m
	植栽 H=1,000	308㎡ (伐根共)
	樹木 H=12m程度 葉張り W=5m程度	24本 (伐根共)



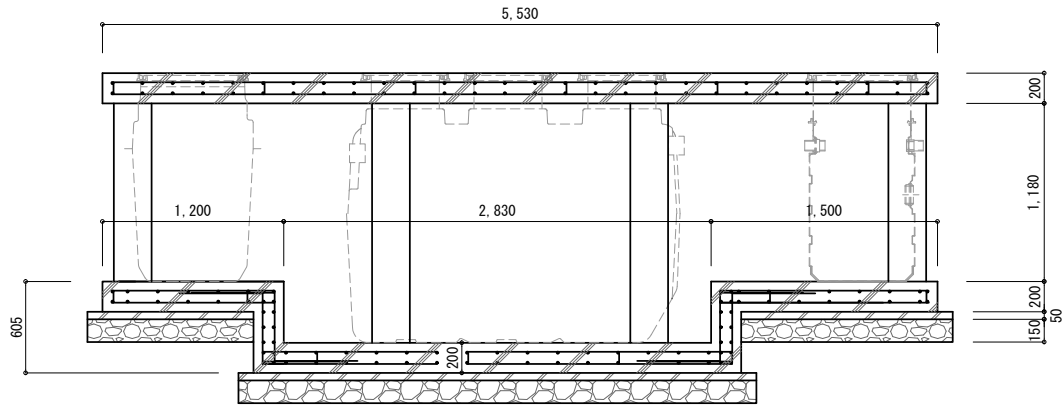


一 般 事 項	
コンクリート	設計基準強度 $F C = 21 \text{ N/mm}^2$ $S = 15 \text{ cm}$
鉄 筋	異形棒鋼 $SD295$
定着及継手	$40d$ d : 鉄筋径

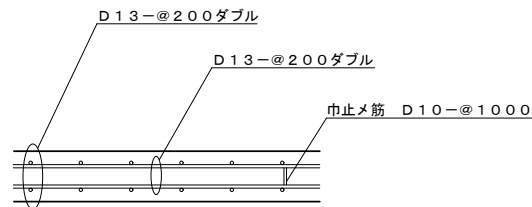
※6 t 耐圧



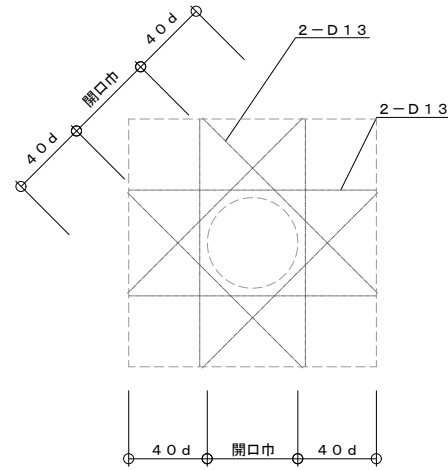
上部スラブ平面図 1/50



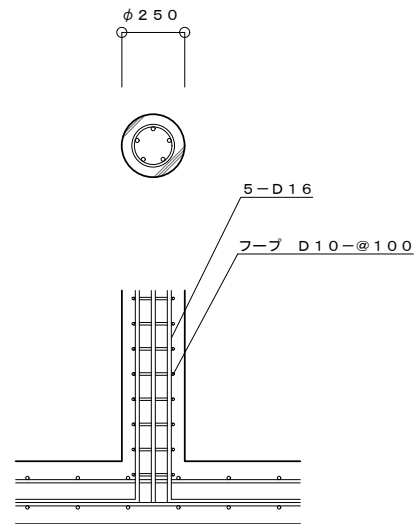
断面図 1/50



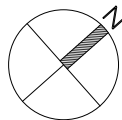
配筋詳細図



開口補強



支柱詳細図



外構撤去・復旧参考数量一覧		
凡例	名称	参考数量
	アスファルト舗装t=50 砕石t=100 撤去・復旧（設備配管用）	102㎡
	カッター入れ	410m

